次期高松市総合計画
意識調査
自由意見集

平成26年3月

高松市

目 次

【市民意識調査】

問 1 3 自由意見等について.....	3

【事業所意向調査】

問 8 自由意見等について.....	51

【有識者意向調査】

問 1 (1) 都市として魅力ある点、満足できる点、55 誇れると思われる点.....	55
問 1 (2) 問題があると思われる点.....	60
問 1 (3) 今後、高松市において実施すべきもの、改善すべき点.....	65
問 3 まちづくりに対する重視すべき時代の潮流について.....	71
問 4 目指すべき都市像について.....	81
問 5 高齢社会への対応について.....	91
問 6 少子化・子育て支援への対応について.....	98
問 7 教育問題への対応について.....	104
問 8 地域コミュニティを軸とした協働の推進について.....	111
問 9 安心・安全なまちづくりについて.....	118
問 1 0 商工業・観光などへの取組について.....	125
問 1 1 健全な財政運営について.....	132
問 1 2 自由意見等について.....	138

【市民意識調査】

問13 自由意見等について

自由意見については、28.6%（542人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容は次のとおりです。

記述内容
他県から来て思った事、感じた事です。①中学生以上の不登校(不良)が多く目につきます。子育て中の親としては小学校卒業したら他県に引っ越したいと考えます。レベルが低い不良にしか見えません。もっと中学生に力を入れて教育サポートを充実させるべきだと思います。②交通マナーの悪さ。自己中心的で交通ルールを無視して右折左折をする。信号無視で通り過ぎる初心者マークの若い女の子の車に親子で轢かれそうになりました。他県に比べ教習所の指導と試験がかなりゆるすぎると思います。環境が良く好きな町ですが長く住みたい町ではないと思います(危険すぎる)子育て中の親はほとんどの方が感じていると思います。子供達やお年寄り、市民の命を守る対策を早急にして下さい。③よさこい祭などのように香川県に代表する踊りや祭のイメージがない。もしあるのであれば、在校生(小学生)の運動会などで小さいうちから指導して広げていけば県として盛り上がっていくのではないのでしょうか。子供達が大人になっても踊れる故郷の踊りや祭は、その後Uターンで戻ってくる県民を増やすのではと思います。他県へ流出する人口ストップになればと思います。④転入転出の多い市なのにサポート不足(町アピール不足)市役所で手続きする際に高松市の主要施設(病院や市分室等)の地図、詳細を無料配布すべき。以前いた市では頂いていてとても役立ちました。町を早く知ってもらい好きになってもらう努力は必要だと思います。
高松市に住み始めて10年になります。関東から来たので多少の不便は感じつつも子育てにはとても良い環境だと喜んでます。一番暮しやすくと感じるのは県自体が狭いため、1時間内にほとんどの事がこなせる事です(役所、病院等)子育ての時期は本当に助かります。心配なのは進学、そして就職が県内ですまない事です。子供達が大好きな環境に住み続けられるよう方法があればいいと思います。何人の子が高松に残ってくれるかな。
大規模な災害に対処を早急に行う必要がある。ため池等の修理
保育所(幼稚園)の待機児童を無くする。子供が球技の出来る場所を作る。小中学生の通学路を整備する(歩道が無い所や極端に狭い所がある。)禁煙対策を強化してもらいたい。(飲食店での受動喫煙の防止)紫外線対策の啓発を強化する(日中の外出時は帽子を着用する。肌の露出の少ない服を着る等)熱中対策の啓発の強化
あまりにも難しい言葉での質問(問5)等、市民の関わりが少ない行政の改革等分からない事が多い。特に私は食育改善委員として参加している食育については市が取り組んでいるのが良くわかり、少しでも改善に繋がればと思い色々な角度から勉強させてもらっている事に感謝しています。市が色々と取り組む事が多くある事は大変でしょうが一市民として高松に住めることは幸せに思っています
医療、介護、生活保護等、無駄な支出を抑制し適正な財政で健全を図る
TV、新聞などでも自転車の扱い方が色々あって、高松市はその先端を実現されるよとの努力にうれしく思っています。市街地から離れると自転車の通り道に困る事も時々あります。小、中、高齢者は歩道?高校生~60歳は車道と決める事も出来ないと思います。実際の路上で車道を走る自転車は自家用車を運転する人にとっては、事故を起さぬ様、格別の要注意となりますので。一般人で教えてもどうにもなりません。自転車だけについて書かせていただきました

記述内容

高松に来て公園があまりに少なくボールを使った遊びが出来るような場所が全く無い事に驚きました。特別な設備はいらないので子供達が気軽に遊ぶ事の出来るオープンな場、グラウンドなどがあつたらとても嬉しいです。屋島山頂にもグラウンド(県木園)がありますが、通行料が高く気軽に上がれません。道路整備に必要な料金なのかもしれませんが通行料が安ければもっと上がる事もあるのと思います。遠くの観光客を呼ぶのも大切な事ですが住んでいる私達も、もっと気軽に上がれたらなあと思います。ちょっとしたスペースでいいので子供達が遊ぶ事の出来る場所が欲しいです。国道 11 号線は自転車では段差が多く走りにくいです。もっと自転車で走れるような道路整備をして下さい。お願い致します

クルマ最優先の道路環境になっていて、自転車が十字路でいちいち地下を通行しなければなりません。自転車と歩行者にとって便利で快適な道路にしてほしいです。高松駅、サンポート周辺は景観が良くなったが、不便になったと思う。特に高速艇、フェリー乗り場の所に売店がない。クレメント前の三差路の信号待ちの時間が長い、の2つでフェリー乗り場で物の買い忘れに気付いたらまた駅まで戻らなければいけないのだが、これがかなりおっくう。あの三差路の上にこそ歩道橋を付けるべき。景観より生活者の利便性が大切。サンフラワー、レインボー通り周辺の地域はマンションや住宅の増加に伴って人口がここ 10 年余りで急激に増加。にも関わらず、銀行と郵便局は増えず、それらの仕事のキャパが田んぼだらけだった頃のまんま。特に伏石郵便局は常にごった返して待たされます。伏石第二郵便局作って下さい。あとあんお地域の不在者郵便物をわざわざ中央郵便局まで取りに行くのは面倒。もう少しあの地域から近い所で保管してもらえないでしょうか。レインボー循環バス、朝 6 時~7 時早目が 1、2 便欲しいです

若者の就職の確保。未来に希望が持てるようなまちづくりが重要

何を行うにしてもまず、財政の健全化が前提になると思います。少子高齢化に歯止めが掛らない以上高齢者の方々に隠居して頂くのを先延ばししてもらい、可能な限り社会参加をして頂く必要があると思います。つまり、高齢者に対し、一方的、画一的な給付やサービスを止め、高齢者の方々が積極的に社会参加出来るような環境を整備することが重要だと思います。高齢者の方々が今まで一生懸命働かれて苦労されてきた事は十分承知しておりますが、だからといって今の福祉水準を維持するために子や孫の世代にまで公的負担を強いるのはおかしい話であり、また多くの高齢者の方々もそのような事は望んでいないように思います。高齢者が就業、自立し易い環境を整備し、さらに各家庭で子が親をまた親が子や孫を支援し易いような制度を確立して頂きたい。それでも足りなければ、福祉水準の低減、サービスを受取るための負担増まで、財政再建のためには必要になると思います

私は 77 歳ですが自分でも長生きをしていると思うが、同じ世代の人達はそれなりに裕福な生活をしている人が多い。特に 60~70 歳近くの人々は他の人より自分だけの楽しみを優先している。人の為にボランティアなど好きな人がしている様に思われている。年金をもらう様になればせめて年に 1、2 回はボランティアを義務(体の悪い人は別)として道路、公園の草抜きなどするべきだと思う。自分がかけた年金を当然だと思っている人が多すぎる。給付されている金額を個人が全額かけているのではないのです。国や会社などが負担をしている事は知らずすぎていると思う。私は年金を頂いてからこの案を色々な人に話しますが誰も本気で理解してくれた事はありません。如何なものでしょうか。

町中から 1 本で行き来ができるバスがあればいいと思う。自転車への交通ルールの徹底をしてほしい。無灯火やスマートフォンを見ながらの運転などなくなると良いと思う。県外から嫁いできたが、県外の人にとって「うどん」はやはりかなりのアピールポイントだと思う。うどんの食べ比べのツアーにレオマワールドやレオマのホテルで宿泊するなどのプランがあれば人気が出るかもしれない。うどん食べ比べ+金比羅参りや観音寺の銭型を巡るなども。うどん脳のシールやうどん県グッズもお土産に持って行くと面白がってもらえた

坂出市三木町は乳幼児医療が 15 歳までになったので高松市も医療費 15 歳までは無料にしてほしい。小さい子供を持った母親が働きやすい職場を増やしてほしい

夏の冠水対策はこれまで同様に充実させてほしい。今夏はまだ断水はありませんが出来る事なら断水はなしでお願いしたいです

役所が日曜日休み 9 時~17 時までしか対応しないのはおかしい。日曜日こそ必要。24 時間対応でも足りないくらい。図書館が月曜日休みになっていると一度も利用出来ない。仕事の都合で月曜日休み多い。

定年で高松に何十年ぶりかで帰って来ました。目を見張るばかりの開発と華やかだった常磐街の衰退に悲しむばかり。交通事故数が全国ワースト1。野菜を食べない県民ワースト2など。県民全体の意識を高める為に高松市がお手本となる様に子供の教育、交通マナー、食事(栄養バランス)日本の政治の重要さ。人間や動物の命の尊さ等の基本をしっかりと身につけたいものです

記述内容
コミュニティセンター等、人員が多すぎ、見るからに暇そうでネットサーフィン等して遊んでいるのに税金から高給が支払われているのは腹が立ちます。もっと必要な所に雇用をし、貴重な税金を使ってほしい
高齢化が進み老人介護が増加している中、生活は貧困に苦しんでいる人が増加しているようです。車社会の中、私達のまわりに何でも揃うようなスーパーがなく、普段の生活に必要なものを必要な時に買う事が出来なく困っている人が多い。歩いて買い物に行く事が出来る生活環境の整備をしていただきたい。シニアの人達の意見が多いのでそうした政策をしていただきたい
常磐街を若者中心の街にして活性化しようとしています。逆転の発想で老人の介護施設や老人用マンションなどを誘致し、巢鴨のように特化した街にしたほうがいいのではないかと友人達とよく話しています
屋島城の石垣の整備は無駄なもの、それより屋島水族館西側の旅館跡地の整備を急ぐべきだと思う。私だけの意見ではなく他の人も同じ考えである
今後高松市が発展していくには企業の誘致をして人口増加をはかる事が重要である。もう一つは交通網の整備が必要だ。それには早く新幹線を整備して各都市を結びつける事が重要だ
県外から帰り、他の県は駐車場無料の公園、動物園など身近にある。小さい面積の県では仕方ないと思うが、散歩コースなど全然ないし、子供を遊ばせる近くの公園もないし車で行かないとダメな所ばかりで年寄りになるとどこにも出歩けない
日頃、自転車を利用していますが、歩道が歩く所と自転車に分かれているのにも関わらず自由に行き来しているので各自の意識が低いと思う。夜中暴走族のバイクがうるさくて眠れない時がある。日中だけでなく夜も取り締まってほしい
老後の不安を感じながら過ごさなければならない現在の状態を何とかしてほしい。貧富の差が益々広がる日本、これからどうなるのでしょうか。不安です
箱物を作ることによるまちづくりは、結局後々の負担になるなどやめてほしい。出来るだけ既設設備の有効活用で対処するようにしていただきたい。行政は業者等に丸投げするのではなく、職員自身ももっと勉強しレベルアップをはかれる事を期待します。本アンケートのやり方はもっとネットを利用するなど経費の削減に努めてほしい。地区によってまちづくりへの財政投資額に差がある。同じ税金を払っているのであるから平等な便益が得られるべきである
○財政は必ず黒字にすること。赤字が不景気の元凶。 ○市街地の開発、中心地に偏りすぎ、全体を開発が大切。 ○箱物を作りすぎ、過ぎると自然との対しが弱くなる。 ○交通機関の活性化は低料金乗車が必要。 ○企業誘致、起業化促進より身近な仕事の確保促進。 ○英語教育6年習って会話も出来ない。文法がわかるは根本がおかしい
返信封筒のサイズが小さくて苦勞しました。サイズを考えましょう。正しい税金の使い方をして下さい
高松空港への新規路線の乗り入れや旅行者に対する支援金など健全な人間かつ富裕層に対し税金を投入する事により疑問を感じる。地域医療や高齢者への支援を増やし市全体が活性化するような税金の使い方を考えていただきたい
高松市中央図書館のこどもコーナーにある子供用トイレで子供に用を足そうとさせると和式だから出来ないと言う。保育園でも家でも洋式やおまるなので是非2つの内1つは洋式にしてほしいです。あるいは大人用トイレに補助便座をつけてほしいです
①交通関係で。県道36号線八栗信号右折(元東郵便局)の南西信号機～100m位の所に何年も道路専用巾1m800長さ24m300歩行者が利用出来る巾は310狭い。頭上注意のみ建物3F1部有り。交通量の多い所でドライバーまた自転車等困っている警察、県議会等個人の財産取り除けば頭上注意のみで危険であるのに撤去の予算がついたとはいえ実行出来ていない。私は交通関係で2回程指摘しましたが、前へ進んでいないのが実感で残念である。県市警察で1日も早い解決を望む。②アンケートの欄が多すぎる

記述内容
1.道路の分離帯の植え込み内の雑草は地域住民や企業等に責任を持ってやってもらシステムを作る。(快適な生活に資する会社の前の分離帯の雑草が身の丈ほど伸びているのはいかがなものか) 2.先日香川県内の栗林公園や琴平を案内する観光バスに乗車した。県人、市民でありながら観光バスに乗ったのは初めてであったがガイドの案内言葉に唖然とした。①栗林公園なんて県民は来ないですよ。②うどん県や龍馬空港なんでも名前をつければいいというものではない。阿波踊り空港なんて恥ずかしくてガイドできないですよ。③空港にうどん、じゃこアイスがあるけどはっきり言ってまずいです。うどんアイスなんて粘土を食べているような味と食感がしますから食べないように。などなど。香川県の高校野球の部員も県外者への悪口等聞くにたえないようなガイドを2、3時間聞かされた。全国から集まった会長等はどのように思ったのだろうか？このガイド自分はジョークはうまい、語りはうまいと思ってるようだ。市長も一度案内してもらったらどうか。頑張っている人の心を踏みにじるようなガイドの観光案内が今日も続いていると思うとやり切れない思いがする
子供手当等の支給等の子育て支援ではなく、全ての人が平等に受け入れられる給食や制服等の無料制度が望ましいです。高松が率先して導入してはどうでしょうか？高松が住み易く素晴らしい市になるように願っています
市の許認可をもう少し早くすること(特に建築で最近経験したので)
全て具体例がなく全く参考にならない。にぎわいづくりはどうなれば良いか等
道路について。最近道幅の広い道路が整備されるに従って地下通路が増えた。高齢者、子供が地下通路を通るのは危険な上にめんどくさいこともあって利用する人はほとんどいないし、車中心の考え方に変わってほしい。また高松は自転車を利用する人が多いにも関わらず自転車の通る道がほとんどない。歩行者道も狭く電柱が立っていたりする。教育について。今の教育支援は下のレベルの底上げに重点が置かれているがトップの子供を全国で通用するレベルにすることにも力を入れてほしい。企業を誘致する際に企業は従業員の子供がきちんと教育できる環境にある都市にしか進出してこない。業務の整理について。屋島の観光復活等に多大な職員の労力を使っているが、無駄なのでやめてほしい。その他、市がやる仕事ではない事がたくさんあるので整理して職員も減らすこと
高齢者向けのファッション、専門のブティックが高松市に出来れば良いと思っています。おしゃれな靴、バッグの店も。後期高齢者になり病院に行く回数も増え、夫は酸素吸入をし、毎回3万位払います。後期高齢者にとって医療費3割負担は大変です。今年3月までスポーツをしておりました(テニス)が、ハードなので少しやさしい高齢者向けのスポーツを指導していただきたいです。市内でアパート、マンション等を経営しておりますが、ゴミの収集には困ります。清掃会社に委託していますが、マンションは空室がありやってゆけません。アパートは家賃が安いので私が片付けにゴミステーションへ行っており、これもやってゆけません。土地は下りなぜ医療費が3割負担なのか？又地価が下がっているにも関わらず固定資産税は下がらずにいるというのはなぜですか？
年末辺りとかデコボコしていない道を工事するには意味あるのか？と思う時があります。工事して余計に悪くなった道もあったりします。本当に必要な工事を行ってほしいです
高松第一高校をもっと特色のある学校にする。(先進的な教育の取組み)学業と部活の高いレベルでの両立ができる様な指導体制の充実
若者に魅力のある町にしてほしい。廃家の処置を考えてほしい
日本一、いや世界一かも、安全・安心で災害も少なく住みやすいと感じています。市の努力、向上心にも充分膚に感じております。これからもますます市長さんはじめ皆さん頑張って下さい
この調査対象に何故小生が選ばれたかが理解できない。この年になって意見を述べるには適当でないと思います。自由な意見も良いが、もっと専門家の意見をまとめて欲しいと思います
道路整備の充実(早期、短期間での充実)、下水道の充実、街灯の整備(中心部だけでなく市境までの範囲)信号機のない交差点で止まれの標識がないため早いもの勝ちの感覚で強引な運転が目立つこと。この先道幅が狭くなるのにこれを表示する標識の整備が欠けていること。ゴミの収集について曜日によって収集期間が不定であるので一定の時間の収集をお願いしたいこと。防犯カメラと緊急用押ボタンの設置されている交差点で街灯がなく夜は暗闇である。明るくしていただきたい。以上、早期の整備、実現をよろしく願います
猫の放し飼いが多くある。他人の家に入り大小便をしている。夜には屋根に登って大声を出している。飼猫については少なくとも外出しないような処置をすることを望む。行政にできる取締りをお願いします

記述内容
色々な方々が生活していますが、私は行けば行けない事もありますが、身体力が気になりだして色々な事を皆さんと行動するのに後向きになっています(これは自病)の為なので大きな声で言えませんが、病院等で知り合った人と会うと同じ様な気持の人が多いです。自信のある人はコミュニティとか、色々出てお世話して下さっている人ですが、自信のない者は横目で見ている私達もいけないのですが家を出る、行って悪くなったらと思う気持ち、大きく前に出られません。自分勝手な事を言って申し訳ありません。でも町内、自治会館位は行き、月1回の掃除の手伝い、モーニングの手伝い、近くは行っています。カラオケも歌えませんが聞くだけ、手をたたく位は共に話したり笑ったり位はしています。出来るだけそれ位は続けたいと思います。今日 5 時より夏祭りです。どれだけ迷惑を掛けずに出来るか知れませんが行く予定です。おでん、ポップコーン、氷かき、ガムの形ぬき、すいか割り色々あります。見ているだけでも毎年楽しいです。これは主人が始めた事ですが4月に亡くなりさみしいですが、一緒にいると思って行きます。くだらぬ事を書きましたがつかえが少し取れた思いです。ありがとうございました。
少子化には市がもう少し婚活的な行事をすると良いと思う
市民病院の移転はどうなっているのか？決定しているのであるからスピード感を持って実行してほしい
色々なコミュニティセンターや学校区単位でにぎわい作りとか体育活動を見えています。どの分野にも出席する人達はいつの時も出席並びに参加をしています。全然地区の事に関し無関心な人達も多く見られます。又自治会活動にも参加せずに自治会単位の行事にも色々支障があるようです。自治会に入会している人達も高齢化になっています。特に若い人達の人会が少ないので困っています。
先日聞いたのですが、看板を取り除く事になりそうですけれどその必要はないと思います。美しい町づくりのひとつとしてだそうですが、必要なものだと思います。なぜあれば美しくないのでしょうか。公園にベンチがあるのと同じくかんばんは必要です
活気がある高松市になれば良いと思う。琴電、JRなどの交通機関が整備されたらと思います。道路も出来たら歩きやすい安全性の高い町にして頂けたらと思います。明るく元気がある町に発展されたら良いのではないのでしょうか。これからもうどん県に負けなくらいのキャッチフレーズでインパクトのある市にしていきたいです。頑張ってくださいね。下手な字ですみませんでした
地域や市政で色々な催しがあるようですが、私達を知ることはとても少ないように思います。ポスターやテレビでの宣伝などもっと目にふれるようにしてほしいと思います
サンポートとか中心商店街の活性化も大切だと思うが、高松市全体の活性化にもっと努めるべきだ。下水道などはまだ郊外には整備が行き届いていない現状だ。市民全員が満足する町作りを期待する
高松市は全国的に見ても災害の少ない町であり、生活の面では満足して居ります。然しこれから安全面を考えると色々な災害の起こり得る事例がありそうですから安心は出来ません。災害の無い事を祈り、もしもの事を考え出来るだけ準備と心掛けを常に考えて生活する事を心掛けています。市も出来るだけ市民の為の教育を文書を以て出し各家庭で災害の時の準備行動を示して下さい。良い環境の町で生活している事に感謝して居ります
子供が安全に育つまちづくり。不良と呼ばれる若者の排除
現在成功している瀬戸内博は維持拡大、内容の充実を今後も継続し歴史的資産が多くあるものを観光資源として生かす検討 PR 活動、うどん県の PR はよかった。もっともっとあるはず、知恵を出し、創造する努力を行政も民間に習ってもらいたい。ワースト 1 がいつまでも改善されない状況は行政の責任である。市民の幸福を考えるなら時には非難もやむなし政策も行う勇気もなければ行政はできないのではないのか。目的、目標を決定したなら具体的にどうするか、本当によくなる為にどうするか。5W2H。1人1人担当が理解して取り組まないといつ迄たっても改善は無理であります
サンポート高松の空地にガンダム 1/1 実体版を誘致する。私は静岡に見に行った時、実物大のガンダムを見て人がこんなに集まるものなのかと感動した事がある。有名キャラに頼るのもどうかと思うが現在サンポートの空地を有効活用するにはこの考えがあってもよいのかなと思う。(但し期限付きになると思うが)シンボルタワーの横にそびえ立つ雄大な姿のガンダムを想像してみても。瀬戸内海の夕日を背にみるガンダムはすごく感動すると思う。今まだ西日本にはガンダムが来ていないのでこの機会に是非誘致してほしい。そうすれば近県または関西圏や中部地方、中国地方、九州地方からも多くの観光客が訪れて経済の活性化に繋がるのではないのでしょうか。高松市独自のゆるキャラを誕生させ全国展開させる。くまもんではないが市をあげてゆるキャラを応援する

記述内容

今は何をやっても無駄、高松市のまちづくり？ そんなの初めだけで作ったら人來ないで終わる。高松市のまち作りと言うより高松市というより香川県で言うと医療費が地方でばらばら。高松市も子供の医療費の無料を3歳から7歳までに上げるとかすれば子供も増えるんじゃないかな。まず市民の為に金を使って下さい。まち作り？ 作っても最初だけ人が来てしばらくしたらこないとか。何が言いたいというと、市民の生活が第一、子供が減っているなら医療費の見直し、公共やその他にお金を使うな、市民税は高いもっと自由なまち作りをしてほしいですね。自分は水道に携わる仕事をしています。今アベノミクスが話題ですが、建築業の下請けやっていると収入なんて上がる訳が無い。そんな人達もいる事を忘れるな！ 公務員は我々がいるから生活が出来る。高齢者がどうか言う前に子供を産んでもその後を市が保障できるようにしないとダメですね。そうすれば子供も増えるんじゃないかな

今の世の中、環境の変化についていけない人が多いと思います。町を良くする、市を良くする、県を良くする、国を良くするにも基本は個人だと思います。人間を育成しないと良くならないと思います。頭が良くて立派な職業についても他人とのコミュニケーションが取れない、思いやりが無い、自分だけ良ければいいでは良い環境は作れません。子供を育てる教育がとても重要だと思います。昔は躰の教科書があったと聞いています。それほど、細かく子供を見ていた、見る事が出来た環境だったのだと思います。最近の親は簡単に子供を放置しています。今の親になっている世代の教育はどんなものだったのでしょうか。過去を振り返り反省すべき点は修正し見直していく事が必要だと思います。決して今だけが悪いのではなく過去からの悪しき習慣を正していける人を育てて欲しいです。学校の場合も勉強(テスト)だけでなく人格を育てる為に優秀な先生を増やす努力をお願いします。今のクラスの生徒数も先生には指導できない環境にあると思います。少人数制をもっと取り入れて人格の優秀な先生が個々の人を育てれば、今より良い町、市、県、国、世界となるのではないのでしょうか。愛情を持って正しい判断が出来る環境作り、教育の見直しをお願いします。正直者がバカを見る高松市にしないで下さい。お願いします

市役所へは用事でよく行きます。ほとんどの窓口対応されている方は感じが良く丁寧に応じてくれます。ただ一部(恐らくあまり窓口対応を経験されていない方)については上から目線、役人の態度が見られます。一人でもそのような方がいると高松市役所自体のイメージが悪くなります。そのようなイメージを持ったままでは市民と行政の協働なんてやってられません。今一度、特にバブル期以前に入所した者について意識改革があるので

子供の遊び場がなくて団地の道路でキャッチボールやサッカーをしてとても危ないです。近くに公園があればいいと思います。またたんぼがなくなって住宅ばかり増えています。緑の環境がほしいです

テーマ(公共交通と環状線化)高齢者社会の自動車事故防止と都市交通網の整備を前提に現在の琴平線の仏生山駅より東方長尾駅に整備更に志度駅迄延長を図る。構想による高松まちづくりの環状線が活動すれば100年間の都市基盤造りとなるのではないのでしょうか

高松の丸亀町のように都会的なモダンな町も良いがメイン通りは地方の雰囲気大切に落ち着いた場所にすればどうでしょうか。例えば長野県松本市の中町通りや岡山県の倉敷のような観光する人も地域の人にも楽しめるような所はいかがでしょうか。若い親子世代、学生、高齢者、色々な人が電車やバスを利用して来なくなるまち。ふれたり見たり語り合ったり文化的なものもあり環境を少しずつ整えることを希望します

まちづくりのづくりのひとつの意味としては、づ・常により地域発展の向上を目指し、対応、行動、そして実績を出す。く・クールな経験のある方と市の担当課職員そして知識人が地域等の会議に同席し、有意義な即効性のある会議を行う。り・リーダーシップとして知識のある方が好ましい。子供、青年、中年、老人それぞれの年齢層の考え方を知る事もまちづくりへの手段ではないかと思えます。そういった機会を作るとか学校ですと生徒にアンケートを取るとかしてはいかがでしょう

普段市政と自分との関わりを意識していなかったのできちんとアンケートに答えられたか不安。市税を払っていて良かったと思えたのは図書館を利用した時、市民サービスを感じました。夕張やデトロイトの事を考えると市財政が健全に向かうことを願います。その為には、市職員は市民の影のリーダー的存在になってほしいです。我々のような60代でボランティアで動けて仲間や生き生きと活動したい人達を活動の場に引き出す役目をお願いしたい。例えば小学校の登下校の見守り隊(もっと拡充させていく)耕作放棄地を活用してくれる耕作隊。地域の河川、公園の清掃隊(これは一斉でやるといいかも)私は鬼無地区に住んでいますが、他の地区に比べて児童公園がほとんど無い様に思えます。遊休地の活用で公園を作っていただいたら嬉しいです。市役所窓口での対応はずいぶん良くなって親切、優しくなったような気がします(色んな人がいて大変だと思いますが)

記述内容
先にも記述いたしましたが、まず生活道としての道づくりに注力していただきたい。愛媛県の道路は生活道として整備された道づくりであると思います。メイン道路には必ず右折専用レーンがあります(近年に整備されました。)交通渋滞を防ぎます。交通事故が少なくなります。ドライバーのマナー向上が必要、メディアによる啓蒙活動をする。自転車道の整備が必要、これが歩道か、自転車道かと思う所が非常に多い。交通事故に繋がっている。高齢者が参加出来るスポーツの場を提供するサッカー、ソフトボール、野球、ポーリング等、大会、試合を設ける。下水道整備を促進する(低いと思う)市内でも浄化槽の所が多い
問 7-5 は当然の事であり、問にすること自体？高齢者福祉優先の時代から未来のある子供達への福祉、予算配分に変更すべきと思う(高齢者優遇しすぎと思う)
誰もが気軽に参加したり出来るよう、そしてその為に大切な事は、子供でもお年寄りでも分かりやすい言葉で知らせて下さい。PS. 田舎のように有線放送は分かりやすいですよ
高齢者社会における充実した施策
図書館の利用や不妊治療の助成など直接的に助かっている事も多々あります。その他、スポーツ関係や教育関係については良くわかりませんが、これから出産を控えている者としてはより良いサービスがある事を願います。また駐車場や駐輪場に関してですが、バイクを停める場所が少なく不便に感じます。特に高松駅付近は原付しか対応していない様な。小型や中型用のバイク用駐輪場をもう少し増やして下さい
路上駐車をきちんと取り締まってほしい(屋島西団地)細い道路などは特に救急車両などが通れず緊急の時に困った事がある。共働きの家庭が増え、一家に2台は車を持つ時代、アパートやマンション一世代に対して、駐車場は最低2台取れる様にして、路上駐車しなくてもいい様になるといい。屋島西小学校に早くエアコンを付けてほしい。夏休みに小学校や中学校のプールを開放してほしい。体育館やグラウンド、図書館なども開放してほしい。屋島中央公園にバスケット、サッカーのゴールを設置してほしい。市民税を払っているのでも市の施設を無料にしてほしい。(市民プールなど)高松市民プールを善通寺市民プールの様にウォータースライダーや波のプールを設置してほしい。よろしく願います
難病治療に対する対策をもっと改善してほしい
交通事故をよくみます。運転手の意識を変える事重要ですが、信号や止まれの標識を多くするなど考慮して下さい
少子高齢化の時代に即した社会活動は重要であるが、私自身80歳に近づいてくると考える様な税収の低下は市財政の不満は市民と市行政の間にくい打たれるように、各項目の様な理想的な社会の建設には程遠いような社会が生まれて来るのではないかと思う。その為に高齢者は益々不自由な生活に当面し若い人達の少子化が進行するように思う。アンケートの項目はそれ相当の理想をもって作られたと思う理想論に終わらぬよう期待する
私は高松市の市街地(商店街)で生まれ育ちました。そんなこともあって商店街に活気がなくなるのは非常に悲しい気持ちになります。何とかシャッター街になるのだけは避けてもらいたいです。商店街に活気が戻れば高松市も発展すると思います。予算的に困難かもしれませんが、子供が安心して遊べる場所、ショッピングモール等の建設も検討して下さい
瀬戸内国際芸術祭、うどん県等で観光への取組みに評価できるものがあると感じます。丸亀町グリーンなどで街中ににぎわいも戻ってきました。JR高松駅は四国、香川の玄関口。他県を訪れた時、駅ビル、駅周辺のにぎわいや利便さ(バス、路面電車等)を感じるがサンポートはイベントのある時以外は活気を感じられない。通年を通して国内、外から人が集まる施設(ディズニーランド、水族館、温泉、タワーやビルの商業施設のような)があれば良いと思う。高齢者社会に向け、医療、介護と併設した施設が沢山あると良いが、入所、入居にあたって年金だけではそれもままならないし順番待ちと聞く。割安に多くの方が入所、入居できると良いと思う。まちおこしや企業の成功などについて時折TVで他県のものを見るが、大胆であり違う視点から物を見たり考えられる事に感心する。全国に発信でき持続的である唯一の会社や観光など自慢できる目玉となるものがあると良いと思います
同じ人口 50 万人程度の町に比べて高松市はバスの利用率が低い。おそらく自転車の使用しやすい環境にある事が原因と思う。屋島西町から中心街に行くのにはバスしかなく、しかも 60~90 分間隔の運行である。せめて 30 分に 1 本のバスにしてほしい。また屋島西交差点ですが、右折レーンが無い事から 1 台の右折車で西方向 2 車線から 1 車線しか使えない。右折レーンを設けるための 100 万円程度の税金を投入する事でみんながハッピーになれますよ。まちづくりも重要であるがこの様な小さなまちづくりも大切です。高松市が何故Busが拡充しないのかを研究する事でBusの利便化向上につなげてほしいです

記述内容
私は生まれも育ちもずっと香川県民です。いなかで特に何も無いつまらない県だと思っていましたが、他県民の人が良い県だと言うと嬉しく思います。ずっと住んでいる私達が当たり前だと思っている所を他県の人に聞いて良い所、悪い所、色々な意見を聞いて欲しいです
1.まず高松市民の為の高松市役所になってほしい。2.官は小さく民を大きくする。3.②の為に市の部署を統廃合する。わけたふりはダメ。4.市の予算を三分の一程度減らす。まず第1番・市職員数、市議会議員数の削減から始める。当然給与等減る。2番・箱もの始め同じ種類の文化事業の統廃合(三分の一は減らす)3番・市民に対するサービス低下はまず隗より始めよ。4番・他人あつての自分、市民あつての市役所、市民および市職員の責任と義務をはっきりする。5番・副市長、各部長及び上級職の人々は町(市内)へ出て市民の要望6番・市役所内の改革より始める
地震、津波対策を万全にして被害を少しでも減らせるようにしてほしい。交通や施設は充実しているが、その為子供にとっては危険と思われる所が多い。安心して子育ては出来ないと思う。最近核家族も多く近所付き合いも少ないので子育てが孤立しやすい気がします。子供は沢山ほしいが、そのための環境が整っていないと強く思います。子供を沢山産みたいと思える町づくりをしてほしいです
環境を大切に(緑を豊かになど)子供が安全に暮らせるように(特に母子家庭などが困らないよう)年寄りケアを受けやすいようにする。私が自分の住む町に期待するポイントです。大変ですがよろしくお願いします
直島、男木島に行った時、県外から沢山の若者が来ていることに驚きました。芸術祭などの県外へのアピールがうまくいっているのかなと感じました。丸亀町GREENやいろは市場など長期的な計画があまり感じられないものがどんだんすたれている。もったいない。自転車をよく利用します。多発する交通事故を避けるために作られたのですが、あの沢山ある地下道は自転車にとってとても不便です。これから交通事故を減らすことも大事ですが、環境の為に車を減らす事を考えていくと地下道はなくすべきだと思います。図書館の受け渡しサービスの場所(ホテル、コープ等)が増えて助かっています。
道に犬のフンが沢山落ちていて飼い主が持ち帰るといった基本的マナーを守らない人が多すぎます。全体的にモラルが低いのかそういうのを罰する条例を作ってほしいです。小さい子供がいると安心して歩くことさえできません。新しくできる道路は整備され歩道もあって良いのですが、昔からの道は歩道が確保されていないので歩行者、自転車、車の運転、どの立場になっても危ない思いをします。拡げる事は簡単な事ではありませんが、学校近くなど新しく道を作る前に昔からの道の整備にも目を向けてほしいです。公園も昔からの場所にはほとんどなく結局車で行く事になってしまいます。空地があるなら、公園(遊具があること)にして利用出来るようにしてほしいなと思います。高松駅からJRで旅行に行こうとするとそこまでの移動手段に不便を感じます。駐車場代もすごい高いのでJRを利用する人は800円/1日とか長く停めても上限額が決まっているというサービスがあると嬉しい
アンケートの集計結果について公表するのでしょうか。市民の多数がこの様な意識を持ちこんな事を希望しているとか表向きでない実質的な援助を待っているとか、こんな市民の声があったとか、公表すべき声、公表しなければならぬ声をたとえ少数であっても市民に知らせる事によって実現、実行出来るかもしれないと思います
随分欲張ったアンケートですね。高松市に対するニーズは多様化しておりますが、いくら合併して職員数が増えたとはいえ市の職員のマンパワーには限界があります。基礎自治体としての基礎をもう一度見つめ直すべきではないでしょうか。中心市街地、まちづくり、観光、文化振興などは民の力を活用する仕組みを考える必要がありますが、市の全面に出る必要はないと思います。高松競輪はなくさないで下さいね。返信用封筒はこの大きさでは小さい
若者の就職の機会や活躍の場を設け活気あるまちにしないと老人のみ働いて元気な社会はある意味異常。公共機関がバカ高い。コト電を廃止して市バスとして安く運行するべき。他県を見ても香川だけ異常にバス・電車が安い。観光客も足が遠のく。お遍路さんもついでの観光がしづらい。全てがことなかれ主義で医療や研究機関も周辺県より大分劣っている。大学も然り。文化レベルもかなり低く演芸なども金毘羅歌舞伎以外の優れたものはあまり高松で公演しない。商店街の開発など何をやっても不発に終わるのは若い人に力がないから。老人のみ元気。老害で働く場所も奪われている。県から優秀な頭脳が流出している。いずれ過疎化する
市債(借金)のない高松市にする事。公務員の数を少なくして下さい。市税滞納者を納める様、市の公務員も仕事をしっかりして下さい。(働くことです)
高齢になり運転免許返上すれば買物、病院、銀行などたちまち生活に困るようになると思う。今は全て車社会中心の形態になっているので公共交通機関をより充実させ日々の生活苦にならないように望む

記述内容

道路(通学路)で交通量の多い所の整備。計画道路を早く通してもらえたら。人口が増えている地域の学校の整備(教室等)。放課後こども教室について。保育所にはいつもお世話になっております。台風の時やお盆でも預かっていただき、また夜も7時まで延長していただいているのでとても助かっています。ありがとうございます。ただ、子供が小学生になってからも仕事を続けられるか心配です。まず台風などの時も仕事はありますし、学童は延びたとはいえ6時半、しかも入れるかどうか分からないと聞いています。女性の就業では保育所の整備が特に言われがちですが、女性が働き続ける為には小学校に入る時にも壁があるように感じます。女性の社会進出に力を入れるのであれば是非よろしくお願い致します

私は大分で生まれ育ち高松に嫁いで来ました。今でも感じるのが道路の狭さです。これはもともと土地が狭いので仕方ないかもしれませんが、徒歩、自転車、車それぞれ危険を感じます。すごく便利だと思うのは道が碁盤の目のように高松市内を走っている事です。多肥にあるサンメッセから西に行く道路はいったいいつ完成するのか疑問です。着工時には期待もしていましたが今となっては期待も薄くなっています。家の前の狭い道が抜け道となり交通量が多いので危険です。通学路でもあります。小学生の子供がいますが、近くに公園がなく道路で遊んでいます。住んでいる所には大小の用水路がたくさんありボールなどを落とすと大変な思いをして取る事も多々あります。私が育った大分では住宅地内の区ごとに1つの公園があり、遊び場所に困った事はありませんでした。公園といっても最低でも何も無い更地でも十分だと思います。今は植地などによる死角、遊具によるけがなどがあるので、逆にない広場のみの公園でボール遊びを思いっきりさせてあげたいですね。伏石の小、中学校の方には何個も公園が出来ているのに多肥上町の方にはないのは何故なのでしょう。今回のようなアンケート機会により市民の声を聞いて参考にして欲しいです。今後の高松市の発展を大いに期待しています

1.シルバー人材センター 工賃を大幅に減らした(弱者に対する配慮に欠けている)最低賃金を上げるべきだ。
2.国会等、公務員が多い(国会は実質的には減っていない)毎年暮れボーナス 74 万円(平均)高松市 人は減らさない、賃金が多い。小さな生計を目指すべきだ。税金の無駄使いでは。
3.イベントで増やそう&消費税等に見られる様(市民からいかに吸い上げようかとばかり考えているのでは)

年配の方々が若い人に伝えていくべきことを伝えていない。中央球場がなくなって中央公園が元野球場という事を若者は知らない。高校野球 夏の大会は昔北四国(香川、愛媛)で1校。なかなか愛媛では甲子園に行けなかった。それだけ愛媛が力を入れていたのに香川はのんびり戦後甲子園で優勝していない四国の県は香川のみ。色んな事を若い人に伝えて若者に頑張ってもらいたい。年配の人は若い人と大いに対話しなくてはと思う。

タクシー運転手の人材育成をサービス。河川の底の部分の清掃とゴミ処理。市役所の方の言葉遣いと電話対応の悪さ(一部の方)

北欧の福祉国家のように緑豊かで環境が整備され福祉が充実というのが住みやすい理想です。自転車道路が充実しているのを TV で見たが、高松市でも自転車がたく拡張して欲しい。それには財源要のため企業誘致が確かかと思う

道路整備などまだきれいな道なのに掘り起こした舗装するなど、無駄な事をしているのではないかと思うところだが、よく見られる。ガタガタな道なのにいつまでたっても直してもらえない所とか。税金を有効に使ってほしい

老人に対して福祉施設での介護代金にお金をかけすぎだと思う。元気な人は行く必要はないと思う。1人10万~20万円は掛けすぎです(週4回も行く)その上、老人は病院の外来、入院でもすれば年間300万以上も使っている。市民税が高くなり、いくらあっても足りないと思います。支払っている人の身にもなってください。今までは福祉というのがなかったので景気もよかったし豊かな社会だったのにもっと考えて下さい。福祉に行ったらみんなに迷惑がかかり税金の無駄遣いといって行かない人もいる中老人にお金を掛けすぎていると思います。1人で歩ける人は行かなくても良いと思います。昔は老人は家にいて草抜きをしたりしていましたが、今の老人は税金ばかり使っている

個人の自覚が大切です。生きがいは人に喜んでもらえる事。高齢化ですが小さな力でも沢山の人でゴミ、草、清掃した後のすがすがしい事。今一番私が心配しているのは子供を育てる環境がない。(給料が少なく、若者が結婚できない、食べていだけで)長生き出来る社会、子育て経験の人達によるボランティアに近い託児所や公園は木、草等を清掃するグループ等、声を掛け明るい町作りをしてほしい。人とのふれあう大切さ、物を大切にする事、命ある尊さ等を小さい頃から分からせたいと思う年齢です

記述内容
合併後は議員 1 人、職員もかなり少ない人数だと思われる。過去を振り返るとかなりの人件費だったんだろうと思う。現在では住民票もデパートにある出張所でも間に合うようになった。他の面でも便利になったと思うし、ムダがなくなったように思う。今は老も若きもスマートフォンをスイスイと使いこなし、今後はネット社会が普通となり、今以上に便利な世の中になると思う。でもネットでは出来ないものも沢山あります。身近な所で感じるのは農業関係です。今後何年もすると田畑の荒れた地も増えてくる事は間違いない。農が減びたら国も減びていってしまうような気がする。他にも大事な問題は山積みだと思うが、少子化、高齢化といっても基本は食べて行く事だからです。農業がしんどいとか重労働のイメージを変えインテリジェンスで楽しめてオシャレな感覚で何の魅力があり今風の農業で高収入、ある程度の収入があればきつと盛り上がると思う。農業が盛んになれば環境も自ら守られるようになると思う。農業が中心でその後から豊かな暮らしが約束されるのではないかと思う。そうならないと本当にダメになるような気がする
高松に生まれ育ったちっぽけな 1 人ですが、この高松にいて良かった事は沢山あります。思い出も色々あります。高松はええとこでええ人がいるええ町やと皆が思える所でこれからもあってほしいと思っています。私もその 1 人になりたくっています。協力し発達していけるまちづくりを望んでおります。意見までです
市内で多くの道路整備をしているように見えるが、市街地を離れると古くなっている生活道路は多くあるように思う。車の保有台数が多い県なので小さな道路の整備もしっかりとすすめてほしい。また、少子化の影響もあってか産科の病院が減っているように思う。不妊治療の補助金制度も全ての病院に適していないようなので間口をもう少し大きくしてほしい
地域的に太田第二土地区画エリアに居住していますが、区画整理をして商業施設を作りにぎわいを見せていますが、道路、公園等の荒廃ぶりを見るにつけて、高松市民地元住民のモラルの低さを痛感します。以前に居住していた芦屋市と比較して申し訳ないですが、公園、道路の清掃が行き届き、良く清掃、手入れがされてきました。地元住民が手入れをされる行政の清掃員の方を見て、皆で美観に努める意識が大きかったと思います。言い方は悪いですが、高松市は作るものは作ったけど後は知らない的なイメージが私には強いです
本アンケートから市の意図が感じられない。問 5 のような冗長な内容を答えさせられても何を聞きたいのかどう回答を反映させていきたいかという意図が見えない。行政の実績の冊子等を同封されていればそれに対する考えを反映したアンケートとなると思うが、今回の回答を記入するのに 2 時間弱かかった。まともなデータ取りをするのであれば設問は三分の一程度が適当と考える。立派なアンケート集計結果報告書は出来るのかもしれないが
若い人がこの様なことに少しでも目を向けるようにするのが必要だと思う
1.多目的公園、動物園を作る。五色台山上、屋島山上等 2.学校いじめ問題について、市教育委員の職員が抜き打ち的に学校へ行き(中学生)生徒の行動を見てその事を相談、解決に持って行く。3.観光についてもっと積極的にアピールして観光客を増やすように努める。 4.何年も使用していない休耕田を活用し(法律等で定め、市、団体が管理)退職者、高齢者等に利用してもらおう(農業等に利用)
他市に倣うばかりの方針について。①実行がない 例)ライトレール、コンパクトシティ、部→局にして利点は？経費は？②独自のユニークさを創造したらどうでしょうか。道路、街灯(夜間防犯灯)等の効果 町内会長に委ねずに夜間の点検も計画的に行うとどうか？ 市職員の犯罪が現市長就任以来激増しています。一度広報で政令、中核、一般都市の内容を公表し、肅正に努めたら
交通網、特に自家用車に頼らずに移動できるよう電車等の公共交通機関を整備することが子供にも老人にもやさしい町作りになると思う
このアンケートに充分にお答えする事が出来なく申し訳ありません。市の政策課が多方面にわたってよりよい生活環境に向かって努力しているのがよめてありがたく思っています。84 歳になって健康に生活しています。何も市に対して協力出来ない年齢ですが、今ある自然を大事にしながら毎日を生きています。満足しています。この土地に生まれ生涯ここで生きるの緑を今の状態で残してほしいと思っています。アンケートは高松市街地の方々に焦点が合っているようでその方々には関心があると存じます。郊外に住む私にとっては今の環境を如何に生きるかで充分です

記述内容
年金制度が崩壊しない限り、少子化が一番問題である。姉が子育てをしているが、子育て後の再就職が難しいように思う。高松市の発展のためにも企業誘致して下さい。その際、女性の働きやすい職場である企業を誘致して下さい。人が集まればふれあいなどは勝手に市民はやります。人を集めるには企業誘致し、雇用促進すべきです。観光で高松市が食べていくのも良いが、予算を組んでやるわりに島以外の高松市内がうるおっていない。県民性として観光客受け入れに向かない気がする。これをふまえて企業誘致が一番と考えます。新しい事業を起こすのも良いがリスクもある。大学や研究所と連携、優秀な人材は県外に出てしまっている。とにかく雇用を増やすことです。子育て世代に理解のある雇用を。雇用があれば県外に出た人も戻ります。人があつまれば活気が戻り金が集まります。市民税が高い。人が多ければ1人の負担は減る
地方公務員の年収は高すぎると思います。それに正と臨時の職員の差も大きく、尚且つ地域包括センターの職員の9割は色々な特養等の職員を無償で提供させている事は正しいのでしょうか。体裁だけ整えて本当の福祉ができますか？大西市長にお答え頂きたいと思います。一般の職員の給料を正して正職員を増やす方がいいと思います。子供が実際に3年も包括で働いていましたが、元の職場に戻るとブランクもあり大変でした。同じ仕事をして余りにも色々差があり納得いかないままです
自転車が安全に走行できる環境を整備してもらいたい。市のHPを見る事があるが情報が古かったり掲載されていなかったりする。若い世代はまずネットで情報を得るので、見た目は綺麗でなくてよいので正しい最新の情報を載せてほしい。その情報を元に行動するとすみません、HPの情報が間違っていましたで済まされる。もう一度出直したり連絡したり時間と労力の無駄になる。空き家対策を考えてほしい。固定資産税の税率の関係もあるみたいだから今後は空き家が増えてくると思われる。浜街道の整備を再検討できないか。城内中(旧)の南側は通行が危険で渋滞も多い
生活保護をもらっている人に色々なメリットをあげすぎ。普通の人よりも良い物、良い生活をしている。年に1回でも調査する必要があると思います
高松商店街の活性化をすすめる多くの人が商店街に集まるようにしてほしい
とにかく企業が少なく若い人が職につけない。高松市の最大の欠点はこの1点につきます。これさえ確保出来れば高松市は絶対に発展する。あれこれ考えないで市はこの1点に全力を尽くすべきである
民間と自治体が一丸となって中央から地方への権限委譲を促進する。県議や市議がまちづくりに対して自分の選挙区のことだけでなくもっと広い視野に立ち、市全体の事を考える。そうでない人を代表に選ぶべきではない。
サンポートの有効な活用が出来ないのであれば公園整備を進めていき、その為に必要な交通整備見直しも図るべき。観光客誘致の為に芸術祭やうどん県アピールしたのであれば、それに対する費用、効果をきちんと市民に開示してほしい。公共性が一番と言ってもどれだけ金を入れて、それに見合う収入があるのかどうかの判断が今は出来ていないと思うのと、もっと民間の活用を推進していかなければやりっぱなし感がぬぐえない。今はやる事に意義がある時代ではないので、目標とする事があればそれに対してどう民間を巻きこんでいくかそれで効果が上がるかという複合的な視点をもっと考えないといけな。商店街の活性化も商店が少ないのに活性は出来ないし、それをくい止めるのではなく、新しい発想で対応していかなければいけないと思う。老人に住みやすい町にするのであればその先にある墓地の事も考えてビルに共同墓地をつくっても良いだろうし、若者を考えるだけでなく、全体を見て進んでいって欲しい
バス路線が少ないので増やしてほしい。小学生から交通安全指導を厳しくする(小学生は歩道を占領して歩く、中高生は歩道を自転車道と勘違いしている。老人は道路を平気で横断する)歩道を歩く時は一列で歩かせる。自転車は車両である事を認識させ香川中央高校の様に免許制にする等。お金をかけずに意識の向上だけで出来る事からしていけばよいと思う。市の職員は行政サービスというサービス業である事を意識させる。公務員は全ての人に平等でなければいけない。自分がされてイヤな事を人にしてはいけないという様な道徳教育を充実させる
地域の観光、交流を増やす
せっかく色々な取り組みを行っているのだから、町の人全員が何をしているのか、何をしたいのかなどを知れる事が必要である。今の状況は前述の様に質問されても町が何を行っているのか知らないし良くなったとも感じる事がないので答えるのも困る。せっかく県でうどん県をやっているし、瀬戸内芸術もやって全国に香川が知られ活性化しているので高松市も続けたいと思っている
他県から来た者として水不足のイメージ不安を無くす事が重要

記述内容

①交通、人の動きやすい環境についてまちづくりをしていただきたい。中心部へ移動するバスは1日に数回のみで自家用車がないとタクシーだけになる。近くの JR 駅とか琴電駅とかに移送してくれる交通の利便性を望みたい。高齢者の自動車、自転車の事故の多発は高齢になってもマイカーでしか移動できない不便さが原因であり、運転出来なくなると閉じこもってしまい、買い物難民になってしまうこともある。②人と人の繋がりが希薄になってきた。自治会の加入が少なくなり地域にあった祭も衰退してきた。昔から荒神さん、お地蔵さんなど先代から引き継いできた地域の行事やまた災害訓練や地域の清掃活動に住民全員が参加していくような行政の積極的な指導が欲しい。例えば活動に対する小額でもよいので補助の制度とかあれば住民が話し合う機会が出来るのではないだろうか

高松市駐輪場等の施設などマップを分かりやすく手続きなど明示してほしい。市バス路線などわかりにくいのでバス停がよくわからない方がいらっしゃいます(県外の人など)

信号機の設定が悪い。場所 観光町 ホテルNo1の西の信号 内容:信号機の西にある踏切信号(コトデン)が赤の時、この信号が青にならない為に渋滞が発生している。対策:踏切信号を無視してこの信号だけの設定に戻すこと(簡単です) 効果:この簡単な設定で無駄な信号待ちが減少してスムーズな通行が可能になる

私の住む地域は緑と盆栽畑に囲まれた場所ですその中に2つの高校、中学校、各、小、幼、保があるが、公園がなく子供の遊び場が無いのが現状となっている。他地区からの通学生も入れると学園都市のように発展していただければ良いと思います。山と緑に囲まれ学習やスポーツに励むには素晴らしい環境であるといえるので自然は残しつつ駅前や県道をまたいで子供や高校生の休めるスポットの推進を望みます。又、子供達を守るような外灯の明るいまちづくりに気持ちいい緑は残しているような地域になってほしいと思います

若者、定年退職者が安心して仕事が出来るまちづくり希望

水に悩まされてきた市民でありながら水環境を大切にしていない。河川のゴミを見るたびに情けなくなる。社会常識のない小中学生が多くなった。親を教育する機会を。教育先進市を名乗る以上、人間性あふれる人材育成が必要と思われる。レンタサイクルの質が悪い。成熟した自転車王国の支援を

商店街の自転車通行不可については24時間ではなく9時~22時というように店がOpenしていない時間は許可してほしい(雨天時に商店街を通勤、通学時に通れないのは不便である)教育については小、中学校(義務教育)の学力向上ならびに大学の教育水準向上(最高学府が現在の香川大では教育、研究水準、特色に欠けていると思う優秀な人材が残らない、来ない)に努めて頂きたい

街作りも必要だが、その受け皿も必要。多肥に住んでいるが、多肥小学校のキャパが足りていない。小学校の校区を見直し新しい小学校が必要だと感じる。新しい家やマンションが出来ているのだから早急に対応願います。あんなに狭い所で運動会をしている。親もきついが子供達が可愛そう。人を集める事をしているが、その受け皿が整っていないのは行政の怠慢

四国の玄関口だった昔の面影もない現在、全国における高松市というインパクトも薄い状態だと思います。私の住んでいる高松市西部の生島町では他地域からの転入者も少なく過疎化がどんどん進んでいます。その原因の一つとして大型スーパーが隣地区に出来、地元の商店は経営難により閉店、買物に行こうにも公共交通機関も発達しておらず、車に頼らざるを得ない状態だと思います。それゆえ若者の地元離れ=子供の減少といった悪循環に陥っています。それもこれもすべては公共交通機関がバスしかないせいではないでしょうか。せっかく県の総合運動公園があっても便数の少ないバスだけでは不便ではないかと思えます。学生さんが暑い中、汗を流しながら自転車で競技場まで通っているのを見るとつくづく交通網整備が出来ていないと思えます。私が素人ながら考えるにコトデンを高松築港から総合公園まで延長し、アクセスをよくします。駅が出来れば、各駅前にはコンビニ等ながしの店舗が出来、地域の活性化に繋がるのではないかと思います。将来的には坂出方面まで延ばし、飯山、円座方面へ連結し環状線とすればさらに利便性が向上すると思えます。こんな提案いかがでしょうか？

1.公務員採用時、未だに縁故に頼る者が大半である。特に教職員がレベルの低いことの原因であることを改めなければ、このままでは国家衰退の危機に入っている。いや、入っていると云わざるをえない状況である。2.次の世代を育成するのが、今の成人達のする仕事であり、自分の子も他人の子供達も区別なく育てる事が国家を守ることである。3.子供達、若者達を様々な実体験を通じて意欲を持つ。助け合いの心を持つ。未来に希望を持って前進する心強い精神を持てる教育術を熟考、実行してほしい。4.行政に関わる者達は、国民を一番下から支えることが、一番の仕事である事を忘れるな。それには現場のあらゆる状況を自分の目で見て熟慮することにある。上からの目線が全てが見えなくなる事を教えられている現実を反省してくれますか。以上の事は御自分達の子供さん達のことでもあります。全国民の事です

記述内容

下記の交通網の提案 ①琴電電車 高松駅-県営球場(生島)の新設 ※理由:球場に行くにあたってはバス又はマイカーしかなく交通渋滞で球場付近の人は泣いています。 ②50cc バイクの交差点右折において直進後次の信号が変わるまで待機して渡る。直進後、後方の自動車等の進行を防ぎ危険である。最近では50ccバイクも性能向上に付き、自動車同様右折してはいいと思うけど、変わって危険である。後方の車に追突される恐れがある。右折の場合は速度出ないで危険とは思わない。なお直進し停止する方が後の車は速度が出ているので危険と思う。速度も50cc以下は30キロ/Hとなっているが、40キロ/Hに変えては。 ③上記①において、旧城内中の南の電車線路両手前に歩行者用押しボタンの横断歩道、これはやめてもらいたい。危険度高く歩行者は電車が来ていて車が止まっている時、ボタンを押し青になっていないのに渡る人が多く交通渋滞の原因となっている。歩行者、歩行者というが、もっとマナーを守ると共にこんな所の両押しボタン歩道は変わって駄目。

自動車運転等のマナーが悪い。交通安全教育が必要ではないか

このような調査を否定するものではないが、目の前の現象を対症療法的に講じようとしても同じ事の繰り返しになるだけだと感じる。日本人の価値観を根本的に見直さなければならない時期にあると思う。通年、自己チョウなるものがはびこり、どうもこれが世相を変えているように思えてならない。従来の個の尊重があまりにも日本人の価値観をむしばんでいるように思える。日本人にとってはそもそも個より公、金より徳を重んじ、競争より和、地位や名声より家族や仲間との繋がりがこそが精神の安定と幸福の源だったはずです。日本人の礼儀正しさ、正直で穏やかな心で生きる平等な秩序ある社会という本来の価値観を取り戻す事が直面する様になり困難な課題を解きほぐす糸口になるだろうと常に感ずるところである

高松市民の環境整備等の意識の低さ。交通マナーの悪さ。大、小河川の整備等にもっと力を入れてほしい。郊外や町中の河川の水が清らかに水が流れる市街地にしたいものです。色々市の発展のため力を尽くして居られる事に心から感謝しております

1.アンケートに頼らず、市政を担当する市議員さん自ら動いて足で情報を得るようにして下さい。議会と家の往復が主では市はよくなりません(率先してされている方がいましたら失礼お許しを) 2.商店街周辺は大変良くなっています(自転車乗り入れ禁やグリーンの開発など)しかしながら人が集うという魅力から見るとあと一歩足りないのかも。 3.選挙、工夫出来ませんか。投票は大人の責任と思って行っていますが、投票率を上げるための工夫欲しいです。投票した人には出口で高松市で使える100円券?がプレゼントされるというような全国に発信できそうな奇抜なアイデアのある生き活きとした市にして下さい。 4. アンケートの集計ありがとうございます。より良い高松市になるよう願っております

もっと遊べる場所を作ってもらいたい。動植物園や老若男女問わずみんなが楽しめる場所。香川といえばだいたい人がうどんを連想するが、正直それ以外に注目されているものもないし、香川自体が中途半端。特に若い人達を振り向かせる何かを題材にまちづくりを活性化してほしい。ちょっと前に丸亀街のグリーン町が出来、利用が増えるのはいいことだけどその部分だけではなく、高松市の市町村に活気を取り戻したい地域からの要望などがあれば積極的に行動を起こしてほしい。神戸や横浜みたいな外国の町並みを取り入れた所にあこがれる。自分が住んでいる町がそんな感じなら高松市がもっと好きになる。

市町民も意識向上を図り、より良い高松を次世代に持続したいと思えます。行政も個人の意識向上に努めてもらい自覚を持って市政発展に寄与願いたい。本来の公平、平等を基本に公費の配分に徹して欲しい。

早急に、具体的に組織化した災害対策を。市政の基本理念の一つに市民が心豊かに暮らせる平和で安心安全なまちづくりがあげられます。高松市におかれましては各領域において建設的で独創的な実践が積み重ねられていることを一市民として日々の生活の中で体感しています。現在、さしあたっての最大の課題は防災対策の組織的な推進が挙げられます。3.11以来、災害対策に対する関心がさらに高まってはいるものの、地域の諸状況に応じた具体的な対策においては徹底されていない点があるように思います。特に災害時における生活用水の確保(避難場所として設定されている箇所には井戸を設置する等) 避難場所における医療救護所の通信体制の検討、整備(行政の指導に負う点が多い) 各家庭や地域における飲料水、食材の備蓄を生活の必需品の一つとして考える(市民の自覚)災害が生じた際に当面の生命の安全を確保するための事前の広報をさらに活発化させる必要があると思えます。一筆

中学校の新校舎建設が進められている。古い校舎に耐震工事や太陽光パネルなどの工事を行いその後で校舎の取り壊しが行われている。せつかくの設備やそのための工事費などがとても無駄になっている。もう少し計画的に行ってせつかくの税金を大切に使ってほしい。生活保護、準要保護を受けている人の中で家を新築したり、外車に乗ったりしている人がいる。本当に必要な人かどうかをきちんと調べてほしいし、見て見ぬふりはやめてほしい

記述内容
とても大変でした
庵治町より高松市に出る道路整備は？ 私は屋島で生まれ 25 歳の時大阪へ、又 15 年後に東京、埼玉県に 19 年。38 年間のブランクはありますが、生まれた所に主人と 2 人帰り今住んで 10 年経ちました。主人は病氣(5 年半)の後、昨年亡くなりました。主人も第二の人生は高松からでしたのでこの辺りが大好きでした。屋島ケーブルが止まった時はとても残念がっておりました。存続を願いあちらこちらへ行きました。ケーブル駅の跡地を有効に皆様のお力でしていただきたく思っております。山上の空地も同様に。
観光産業について。今催されている瀬戸内国際芸術祭も大変良いと思いますが、常時瀬戸内海を巡る屋夜クルージング遊覧船があれば観光客や宿泊客、そして市民にも喜ばれるのではないのでしょうか。屋島一帯を開発し、屋島ロープウェイを復活させて瀬戸内海や山頂の絶景を観光資源に活用してほしい。
①近年、屋島観光が減少していましたが、この所少し活性化しているように思います。屋島山頂からの景色は他県にも劣らぬ素晴らしいものだと思います。この宝石を活かして観光に結ばないのは残念なことだと思います。サンポートと屋島をロープウェイのようなもので渡れるようになれば素晴らしいのでは。②琴電築港駅と JR 高松駅は直で繋がっていた方が便利でしょう。時間にすれば短いですが、乗客にすれば都会の利便性から見れば不便を感じると思います。③観光地の接客態度の向上を心がけるのもいいと思います。人の印象は旅をする人にとって心に残る大切なものです
公測公園のちびっ子広場は素晴らしいのですが、公衆トイレがとても汚くて汚くて残念でなりません。公園と子供の遊び場なんとしてもトイレを改善して下さい。お願いします。そうすれば香川を代表する場所になると思います
世界を旅して県外を旅して高松に帰り思うことは、はたして高松の魅力とは何だろう。わざわざ高松まで来た人にここが魅力ですよと紹介する場所はどこだろう。旅行者を見かけるとあれこれお世話したくなる。高松市民ははたしておもてなしの心をどんな風に表しているだろうか。住む人が誇りに思う街。訪れる人に紹介したくなる街。そんな街になるといいな。お願い・・・よく親子で参加というイベントがありますが、大人1人での参加、大人達での参加はだめでしょうか。大人だって高松市民として色々な施設を見学し、体験してみたいものです。いつも参加条件を見てはがっかりします。働く人、高松市の活動に興味を持っている一市民にも子供と一緒になくても参加させてもらえたらと思います。
電車路線、バス路線を再整備し、周辺でいくつかの拠点を設ける。JR 高松駅周辺への一極集中を改善し市全体でバランスの取れた町づくりが推進される

記述内容

現在7年前に購入した高松市内の分譲マンションに居住しており、ここを永住の地と考えております。マンションの理事長をはじめ各種役員を経験して感じたことから、高松市が著しく遅れていると思われる点について早急に対応願いたいことを提言させていただきます。マンション管理については管理業務の大半を管理会社に委託してはいるものの、管理の主体は、輪番制による素人の集団である管理組合であり、あらゆる面において公正な立場から多くの支援を必要としています。平成12年のマンションの管理の適正化の推進に関する法律により、マンション管理士制度の新設、管理会社の登録制などがスタートしましたが、同時に国及び地方公共団体の措置についても第5条で国及び地方公共団体は、マンション管理の適正化に資するため、管理組合又はマンションの区分所有者等の求めに応じ、必要な情報及び資料の提供その他の措置を講ずるよう努めなければならない。と規定されております。国は国土交通省、公益財団法人マンション管理センター等による情報発信が行われていますが、香川県やマンションが急増している高松市においては管理組合への情報発信は皆無といった状況です。マンション管理についての担当部署すらわからないのが実情です。マンションに関しては、比較的立地のいい場所に建設されること、長期的な維持管理が不可欠であること(耐用年数で50年以上)、区分所有という特殊な所有形態であること、何をすることも合意形成が必要であること、そのため適正な維持管理が行われてないと、マンションのスラム化、都市景観や都市防災、防犯への悪影響、住民同士や近隣住民とのトラブル発生の懸念があり、問題発生後の解決には非常な困難が予想されます。従って単なる私有財産とは別次元の認識と対応が必要であると考え、多くのマンション管理先進地域(大都市部)では、早い時期から行政が積極的に関わってきたようです。県のマンション管理士会については、事業者系の方々が中心の10名程度の団体で活動実態はほとんどなく、マンション管理士としての経験不足感が否めません。高松市においても、県と協力して管理組合を支援する体制の整備が望まれます。高松市に体制整備を希望する内容 1.マンション管理専門の担当部署の設置(マンション主事)、国、関係団体等との連携 2.高松市内のマンションの実態把握(現状分析、問題把握、今後の展望等) 3.セミナーの開催 ①公益財団法人マンション管理センターとの共催セミナー ②マンション居住者へ区分所有者の責務、維持管理情報、コミュニティ形成等 ③マンション購入予定者に対する管理の重要性啓蒙等 ※現状は、管理会社や設計事務所の組合が開催するセミナーはありますが、詰まる所営業目的であり、公正公平な立場から純粋に管理組合を支援する性格のものではありません。 ※マンションは鍵一本で安心だし、近所付き合いの煩わしさもないと気軽に購入すると大きな間違いで、自分の所有部分は住戸内の空間だけで、ほとんどすべての部分が共用部分のため、管理規約や各種保則を守り、何事も区分所有者の合意形成により決定されないと進みません。管理組合の役員は輪番制で回ってくるので如何なる事情があろうとも区分所有者としての当然の責務として果たさなければなりません。住民同士は、マンションという一つの屋根に住む運命共同体でありより密接な関係者であるといえます。にも関わらず、住民の意識が低くコミュニティ形成が難しい状況です。管理会社任せになりがちです。大規模災害時等への対応にも不安があります。 ※マンションと戸建では事情が全く異なるためマンション単位で自治会や自主防災組織を検討することが、現実的であると思います。そのためのノウハウは既存の自治会では限界があろうかと思えます。またマンションについては立地の個別性を除けば共通することが多いので色々な点でマンションバージョンを作りやすいと思います。 4.管理組合の相談窓口設置 5.マンション管理組合連合会の設立支援 市内の管理組合の横の繋がりを形成し、情報交換し、知識経験等を蓄積活用する。ゆくゆくはここが主体で、各種情報発信、相談窓口開設、セミナーの開催、マンション管理士等の相談員派遣等も実施する。 ※まずは先進事例として(社)北海道マンション管理組合連合会等のホームページをご覧ください。私も今年限りで退職しますので、出来る限りボランティアで協力したいと思っております

かつては支店産業で栄えた高松市だが、不況により支店産業の低迷。企業減税等により、企業誘致等を積極的に取り組む

財政状況の改善をはじめ、様々な問題があるが、まずは前進していくための人材育成が最重要課題。それが成功すれば必ず良い方向に進んでいくはずである

生活習慣病や介護サービスによる医療費の削減の為、予防医療や総合医療といった民間療法を取り入れ、健康寿命の貢献にも積極的に調査、研究等に取り組んでほしい

県下の交通事故発生等の件数が対人口率からみても全国に多いということは道路環境等が悪い事が要因の一つであることから今後は道路行政にもう少し力を入れていくべきだと思います

高松市郊外に子供達が遊べる公園が少ないので結局家でゲームをしたりする時間が増えています。昔はもっと安心して外で遊んだり出来ていましたが、最近では不審者が怖くてあまり子供達だけでは外出させられません。もう少し公園に遊具を置いたりできればと思っています。よろしく願います

記述内容
個人的な事で失礼します。書かしてもらいます。昨年主人が脳梗塞で亡くなりました。その時の気持から娘は看護婦を目指し今、40歳代です。准看～正看、昼間は病院、夜間の勉強で頑張っています。親の目から見ても大変そうです。看護婦不足で外国から受け入れて手伝ってもらっている状態、国内で育成出来ないのだろうか。仕事として若い主婦、男性も資格を目指す人に経済面、時間面で工夫してもらえないだろうか。学生の現場の声を聞いて支援していただければと思う、懸命に取り組む姿をみて応援していきたいのです。食品の安全今隣の国の中国、最近の環境汚染で問題になっております。特にハチミツ等、自然界との関わりのある食材に厳しい検査をお願いします。買ったものの開封したが、使う気にならない、免疫の病気で困っているから。近所の高齢化（自治会の役員）班を作りまわってくるが、空き家、空地、高齢化で会長、副会長、役員選びが難しくなってきた。
今高松市に住んでいて、不便に感じることは全くありません。道路の整備や交通の便、警察の方との巡回もよく見かけますし、安心して日々暮らしています。今は子供もいないので教育の面はよくわかりませんが、近くに公園等も整備されていますし、緑も多いので不安な面は全くありません
今社会的に大きな問題は、非正規雇用が拡がり若者が安心して働ける就職の機会が狭くなっていることです。国はもちろん、地方自治体でも雇用は正規雇用が当たり前の社会にし、安心して若者や高齢者が働ける社会環境を作ることが大切だと思います。子育てや高齢者の扶養が出来、家族で安心して暮らせる環境を作るための福祉の充実を図ることが大切だと思います
今の高松市の規模でこれ以上の発展を望む事態がおかしいのではないかと。時代に合わない部分は改善し、税収入にあった市政を望む。市民全体が満足する事は不可能。だから市政目標を絞った行政は出来ないものか
広範囲の自転車道の整備をお願いします
私達高松市民の為、市政は色々尽くして下さいと思いますが、赤ちゃんから年寄りまで生活しやすい、日本一の高松市にしてほしいです。財政が厳しいですが、私達個人の家と同じように市政も市民のため知恵をしぼって節約できる所はして市長、議員、皆、市民の為にやってほしいです
今回のアンケートは全体的にピンボケ感があります。どれだけの市民が市政に関心があるかどうか？私は大手企業に勤め、転勤を何度もして高松市に居住を決めましたが、町内会には入会できませんでした。入会金が200万円と高額でした。他の市町村では月100円～200円です。よって市の広報誌は役所まで取りに行くしかありません。よって市の行政はよくわかりません。税金を納める気持はありません。高松市の行政全国 No1 の最悪だと思いますよ
1.道州制について。アンケートを取れば総論賛成、各論反対になるのは目に見えていると思う。自分の地域が同州の中心にならないから反対というのであれば世の中に進まない。情報化時代の中で住み分けは出来ると思うので道州制に賛成する
歴史ある史跡(栗林公園、屋島等)がせっかく市内にあるので観光客のために景観やまわりの土産物店の施設等整備してはどうかと思います。
高松のブランド化 瀬戸内芸術祭、国際ピアノコンクール、街角に音楽等。芸術文化で世界に発信するまちづくりを一層推進して欲しい。 緑豊かなまちづくり 近辺に広場やため池はあるが、単なる空地で、緑が少ない。樹木や芝生を植えたり、ため池周辺を桜並木にするなど市民が憩える空間作りをしてほしい
中途半端な自転車道を作って自己満足はやめてほしい
県外に行って思うのですが、所によってはきめ細かく交通手段が取られている所もあります。その点、高松には私から見た所、あまりあるようには思えません。折角名所もあちこちにあります。ゆっくりと散歩でもすれば何度行っても良い所もあります。それには交通手段が必要です。小型バスでもいいので、あれば老人、子供も気軽に行けるのではないのでしょうか。もっともっと高松の良さをいかしてほしいですね。
多発的に交通事故及び死亡事故を最重要点として力を入れてほしい。商店街には自転車の乗り入れを禁止してほしい
水道、下水道、電気などの工事を 1 本化し何回も同じ道路を工事しない様にしてほしい。細い農道も整備し拡張して車の通りやすい道にしてほしい。ゴミステーションの数を増やしてほしい。
自転車専用道路をもう少し増やして欲しいです。
運転マナーが悪すぎる。高松に来て約9ヶ月事故にあいかけたのは10回以上。歩きタバコも多いと思います
道路、河川敷等どこを見ても犬のフンがある。犬を飼う人のマナーをきちんと教育してほしい
中心部の交差点の地下道をできるだけ減らして欲しい。

記述内容
公共交通機関の充実を図る。ハンデ(身体的、年齢的、地域的)のある人への対策。支所等、出先機関への意義をはかる(支所は取り次ぐだけを少なくする)。旧高松の市街地のみ支援するのではなく、地域全体の発展をはかること。山間部の荒れていく実情を食い止めて環境を守るべきではないか
おだやかな香川県の玄関口にふさわしい高松市のプライドにかけて色々な事を考えて下さい。学識者の顔ぶれが定まっている様に思う。中心商店街も他市にそろそろ遅れを取るように思う。新分野を前向きに考えなければ。ゆとりの世代の教育のやり直し。今の幼、小、中、高を大切にしてもらいすぎと思う。自転車と歩道を区別しただけ歩行者に危険な思いがする
市道舗装工事について。要望書を提出しているのですが、いまだに工事をして頂いてないので早急をお願い致します。道路の中心がなくて家側の方が狭くて高齢者や足の悪い人が多いので。また頻繁に自動車が高いスピードで来るので歩行者が転びそうになるので早々工事をお願いします。要望書 市道古馬場町築地線舗装工事(塩屋町外1町)
市内数ヶ所に設けられている小公園について。1.配置場所、位置的に見て、利用する上で格差がある。2.設置されている遊具に差がある。※全市民(児童)が同じように使えるよう、考えて下さい
一般的に設問が難しく具体的なでないために問いかけの意味が理解できません。我々一般市民向けのアンケートではなくて専門家を対象にした調査でしょうか。私達レベルでは責任ある返答は出せませんでした。読み進んで大変に不快でした
私は生まれてから今日まで香川県で生活してきました。今年、子供が進学の為県外へ行ったのはじめて私も県外での生活に触れることが出来て香川県との違いを知りました。大型商業施設へ行けば買物が全て1ヶ所で済むので便利ですが、その反面地域との繋がりはありません。子供の住んでいる所は買物は不便ですが、地域とのふれあいがあるように思えます。でも買物には時間がかかります。感想を書いてしまいましたが、買物へ行く為のバス、バス停が家の近くにない、田舎の方まで多くバス停を作ってほしいです。私は正社員で働いています。私の子供は大きいですが、小さい子供を育てながら働いている方も多数います。お子さんが熱を出したら早退しますが、その場合有休を使うことが出来ます。私は父母祖父母を病院へ連れて行くことがありますが、有休は認められません。おかしいと思います。それなら家で介護はせずどこかへ預けてしまいたいと考えてしまいます。有休は何の為にあるのでしょうか。毎年有休を捨てるばかりです。使うのは会社からの研修へ出る時ばかり。自分の有休を使って会社からの研修に出かけるのは納得できませんが、言い返せば辞めなければいけません。家庭で介護しながら働ける環境を作ってほしいです。保育園の待機児童の事も大事ですが、同じくらい介護の事も考えてほしいです。自分の意見ばかりですみません。宜しくお願い致します
自転車が普通の道路をよく通っているが、道の真ん中の方まで出てきている自転車が本当に多い。特に通勤時間。とても危ないため自転車道をつくるなどしてほしい。死亡事故が多いのだから特別に高齢者など免許の更新制度等作って欲しい。本当に危ない所に警察が取り締まりするべきだと思う
今後介護を必要とする人が増えてくると思われるが、介護サービスの充実に取り組んでほしい。道州制が導入された場合、ぜひとも州都になれるような対策を講じてほしい。家庭用水の確保に努めてもらいたい。節水すれば下水処理の費用も減ることなども含めて節水のPRにもっと努めてほしい
高齢社会に対応して市外、市街各所に公衆便所を新、増設して頂きたい
高松市一宮町の住民ですが、近年車が増え、歩道、自転車等、危険がいつぱいの場所があります。道路と歩道の区分はないに等しい、道路の両側に水路があり、ふたが部分的にしかない。全体に水路のふたをしてほしい。水路の都合もあるのかと思いますが、ふたをして広くしてほしい。1日に何度もそこを通過して買物などに行くが、障害物(段差等)もあり、ひやっとする事が幾度もあります。また道路に面して商店もあり、そこに入るため水路に脱輪車も何度も見かけました。鹿角-川東線(172号線) 場所 一宮のレディ薬局の前付近。1日も早く対処して下さい。
赤ちゃんから高齢者まで世代を越えて集まれるような施設(空家等を利用して)を作り、情報交換、子育て相談などコミュニケーションの場とし、交流を図れるよう行政から連携した取組みがほしい。働くお母さんが安心して仕事に集中できるよう、病児保育等、低料金で負担を少なく、預かってくれる施設を増やして欲しい。高齢者がいきいきと過ごせるよう街の巡回バスを高松市の地区ごとに運行し、地域のレクリエーション、ボランティアなど生きがい活動に参加できるようにする

記述内容

クリーン作戦(年4回)を年6回(2ヶ月に一度)にすることを提唱します。月に1回実施する。従って後の6回は自主参加、その為には先ずリーダーの育成(ボランティア)次にモデル地区を設定(何ヶ所か)そこから拡大してゆく。まちづくりは行政が中心になるのではなく、あくまでも市民が中心になってやっていく事、即ち自立を支援する。現在地域清掃として各店が中心となり、有志を集めて毎月上旬と下旬の2回実施している所があります。最初10名位から始めて現在は毎日150~200名。これはウィークデーの朝6時集合、6時半~7時半、1時間の道路清掃をしています。去る7月25日(木)天山閣レインボー通り店周辺150名位参加して実施したのは〇〇〇〇です。如何でしょうか

農業、工業にしても売れる物を作り、高松市が裕福になれるよう市がバックアップして開発してほしい。市が裕福になれば、色々な所に手入れが出来、みんなが安心して暮らせるのでは。そうする事により人口も増え、町が活性化してきます。みんながニコニコ笑顔で暮らせる町作り、素晴らしいコーディネーターの出現を期待します。教育面ですが、小中一貫推進には納得がいきません。只の少子化対策としか考えられません。ただでさえ、いじめが小学校低学年から問題視されているのに今までであれば、6年卒業で断ち切れていたものが、そのまま中学に上がってずっといじめられ続けると思うとぞっとします。いじめられている側に立って考えられませんか。9年間長いですよ。勉強所ではありません。勉強出来なかった子の行ける高校はまずないですね。するとその先は落ちていくしかありません。たった一人でもそういう子を学校が作って良いのでしょうか。成人したとき、楽しかったなと思える学校作りを皆で考えていきませんか。一言言っておきますが、決していじめられた子は全く悪くありません。いじめた子が悪いのです。そしていじめた子はいじめた事を忘れるのも事実です。悲しいです。人格を大切に作る社会作り、この一言につきると思います。学校でも人格についてしっかり指導して欲しいです。提出確認のハガキが来ました。これば税金のムダ遣いでは?これは単なるアンケートですよ。それともどこかに誰が提出しているか当局のみわかる印があるのですか。いっぱい書いたので不安です

美しい海と山が近くに揃っている高松市を貴重と考えます。この地方こそを活かし守り続けていく責任があります。心豊かに各々が暮らせば、町は生き活きしてくると思います。小さな畑地で育てた野菜、果物を地域で売るのも増えていてそれを求める者も幸せを感じます。環境こそ守ってもらいたいと願います

今住んでいる屋島東町についてですが、全くお店が無い事が不便です。何かの時に作ってはいけない地域だと聞いたような気がします。まだ車や自転車に乗れる年齢ですが、年を取るごとに不安が大きくなっていると自分でも思います。特にここ数ヶ月、一番近い八栗のマルナカ(歩きで約30分弱)へ行く為、海を渡る唯一の橋が工事中となりとても歩いてちょっとという距離ではない位、遠回りをしなくてはならない事態になっています。地元の方々はお年寄りが多いのでとても大変な思いをしているのでは、と考えてしまいます。(一応工事開始の頃は、全面通行止めだったものが、今は歩行者と二輪車は通行可にはなっていますが、工事の看板にはいつまでの記載がなく憂鬱です)

高松は企業城下町といわれな程に地元密着経済が弱く流通経済は県外企業によるものが多いまちだと思います。県外企業の支店、営業所が引き揚げた場合、地元経済は極めて弱く、流通資金、売買金額等が減少し高松が縮小した感がありますが、これが真の高松の力なのです。高松はまちづくりの前にまず経済基盤の整備を急ぐべきです。今必要ではないインフラ、市民サービスは控えることが懸命だと思います。増して、公社、事業団、機構等、色んな手法や経験を以て無駄、労費をいましめるべきです。なにはともあれ行政が市民に伺いをたてるなど自信のない指導力の無さの現れではありませんか。しっかり胸を張ってついてらっしゃいと言った指導案を提起して頂きたいものだと思います。自分の仕事だから責任をもっと大きな声で。間違えたら後で直す

今、高松市内より郊外の方へ人が流れている。もっと市内を活性化させて市内へ人を流れる様にして欲しい。またもっと住みやすい町作りを目指してほしい。高齢化社会をむかえ高齢者にとっても住みやすい町にして欲しい

香川はうどんのイメージでいいと思いますが、四国に一つもアウトレットがないので四国の中では一番交通が便利な香川特に高松にアウトレットを作ったらいいと思います。高松は医療が日本一充実しているので、それをアピールし、医療、介護、教育を3本柱に日本一住みやすい都市として確立すべきだと思います。模範都市になれると思います

有効な人材を発掘する為には有効な人事制度から必要である。市が何をしているのかを明確に示す必要がある。今期の市のテーマを示すべきでは

高松市民は温暖な気候に恵まれ皆穏やかである。故に、それからの脱皮も難しいが、地域を活性化するためには外からの働きかけが必要なのではないかと思う

記述内容
財政との兼ね合いもあろうかと存じますがもう少し迅速にインフラ整備(例えば朝夕の交通渋滞の緩和の為に高松循環道路の整備、南海地震対策、サンポートの活用等)の促進に努めてもらいたい。高松市のまちづくりの方向性は文化の風かおり光かがやく瀬戸の都高松となっているようですが、もう少し中国四国地域の拠点性に重点を置いた事業の一層の促進に努めてもらいたい。高松市の事業の促進について直接議会や行政に意見を提言出来る、中立、中庸な機関を作り迅速な事業の推進に努めてもらいたい
再就職で5月に引っ越してきました。以前は東大阪市に住んでおり、京都市内の事業所に勤めていました。生まれは香川県の津田です。15年前に仕事で7ヶ月程観音寺の山中で暮らしました。幼少の頃は3才まで香川にいましたが、その頃の香川と今の香川では人情が非常に悪くなっていると感じました。交通ルールは守らない、非常にいらちである。それが運転にはっきり現れています。車がたいへん多くなっています。大橋が出来て人情がすたれてしまったのでしょうか
交通マナーの悪さをどうにかしてほしい。県外に住んだ事があり、地元に戻って車の運転マナーの悪さに驚いた。長年高松にいる人にはそれが普通と思っていると思うが、停車してから右折のウインカーを出す。後ろの車は車線変更出来ずに渋滞する。渋滞にイライラして続く車が無理な車線変更で事故が起きる。このような悪循環をよく目にします。他県では右折するため、ずいぶん前からウインカーを出し人に迷惑かけない運転が普通です。店の入り口前で停車する場合、出入口をふさがないようにするなど自分だけのことでなく、周りのことを考えて運転してほしい。そういった啓発のCMをTVでOAするなど一人一人の意識に訴えかける取組みをしてほしい
今、木太町の長尾街道沿いに住んでいますが、道がとても狭く子供がいるのでベビーカーを押して歩くのもやっつです。もう少し道幅を広くして安心して歩ける道路を作ってほしいです。また公園や子供の遊ぶ場所が少ないような気がします。アパート住まいですが、駐車場で子供がよく遊んでいるのを見かけます。飛び出してきたりと非常に危険なので早く遊べる場所を作ってほしいです
児童館をもっと増やして欲しい
新しい建物がどんどん増え、田畑が無くなり空き家がどんどん増え、無用心だし老朽化が怖い。年寄りの1人住まいが増え、私もその1人ですが、先行き不安でいっぱいです。年金だけでは食べて行かれません。年を取ると働く所もだんだんなくなり、今まで少しずつ貯えたものを切り崩し、いつまで生きていくのかとぼっくり行くことを願うばかりです
行政の皆様の日々の奮闘に対し、敬意を表します。市民の価値観が多様化しており、市民からのクレームも多く寄せられると思いますが、市の職員1人1人が共に市民生活を向上させていくとの思いを共有し、更なるご活躍をお願い致します
働く所が少なすぎる。探すにも大変。土日祝出ないと雇ってもらえない所が多い。通勤族だとあまり雇ってもらえない。バスが通っていない。車がないと不便。色んな所が中途半端。このアンケートで改善ができるのだろうか
公共交通機関利用に思う。各種催し物がある時よく見聞きする言葉です。でも利用したくても出来ない過疎地があるのを知ってもらいたいと思います。ここ県道檀紙鶴市線からバスが無くなって早、数十年です。かつてマイカー利用者が増え、バスが廃止になったという経緯があります。でもかつてのマイカー利用者の各々も高齢化してきました。運転免許を返上したくても出来ないのです。また返上した人は1人ではどこにも行けず、家にこもり、ウツに悩んでおられます。年金暮らしにとってタクシー代金は余りにも高額だからです。現在、高松西部地区乗り合いタクシーは存在しています。JR 鬼無駅、大林病院等々、近辺利用に使われていますが、市民病院、中央病院、日赤、各デパート、商店街等々もっと幅広く利用出来る交通の足がありません。そこで提案です。檀紙鶴市線 檀紙が郷東のバス時刻に合わせこの間のみマイクロバスか乗り合いタクシーの運行を検討してください。大型バスと違い経費、税金投入額も抑えられ交通の足の確保により、高齢者の方々の活力ある社会への後押しに役立つと思います。1.高齢者の事故減少 2.介護保険、健康保険料の減少 に繋がると思います。どうぞ検討宜しくお願い致します
地域の活性化に行政が力を入れる。商店街に人が集まる様な環境整。交通網の整備。産めや増やせの環境にする
人口や財源が減少する中、徹底した行財政の改革効率化に努力する必要があると考える。なかでも最も抵抗があると思われる市議会議員数を先行して半減するか議員の歳費、経費を半減することを提案したい。市議会議員削減等の横並び体質を改め、高松市議会議員が何事も先行して行財政改革していく事が必要である

記述内容
問5の設問については回答はしたが意図がよくわからなかった。施策名を挙げられても高松市がどんな事に取り組んでいるのか知らない。よって改善されたかどうかわからなかった。今後の重要度だけでよかったのではないかと思う。アンケートをやって実績作りのためだけに実施したのであればそれだけで無駄な事業なので経費をかける必要もないと思う
散歩をしたくなる様なみどりを多くし、時折イベントが開催している中心地になれば人も集まってくるのではないのでしょうか。岡山市内には水と緑がとてもマッチしています。どこを利用してもお金が発生してくるのでは子育てが大変です。地域で育てるのであれば3世代が交流出来る場を考えてほしい。皇居の周りの様にジョギングする人、ゆっくり本を読んだり散歩する人、木陰も少しあるホッと出来る場所は出来ないものではないでしょうか
とにかく女性(子育て世代)が働きやすくしてほしい。まだまだ保育園も定員いっぱい兄弟で同時に入所できなかったりと幼稚園に仕方なく預けて働いている人も沢山いる。せめて保育園と同じ時間まで延長料金なしで預かってほしい。夏休みも無料(保育料は別をして)で見たい。少子化といいながら子供を沢山産んでも全く育てやすくない、産める訳がない。医療費もせめて小学生の間は負担を減らすべきだと思う
このような事は大変疲れました
高松市は若いうちはいいけど、年をとったら住みにくいまちになるのではと今から不安です。道路が整備されているが故の車社会、コンパクトな県であり市でもあるのにそれを活かさないと感じます。県外から来て10年ちょっとですが、高松市は全体的に住みやすいです。ハード面の充実が8割方は行き着いていると思います。これからはソフト面(人、福祉等のサービス)を充実させる事で安定した市になっていくのではないのでしょうか。期待しています
南古馬場の東から西への一方通行の交通量が最高に多い時間帯 20時～22時頃、一度でも見た事がありますか？特別多いのは20時40分～21時半頃です。フェリー通りも同じです。タクシーは別として運転手が乗っている車、誰も乗っていない車のオンパレードです。飲食をする為に来る、お客様と車を運転して通る人達は嫌な顔をしています。お店の入口をふさがれたり、大変営業妨害をしていると思います。クリーンな掃除をして下さい
行政の方々のご努力のお陰でこのままでも充分に楽しく暮らしていける高松になるだろうと思います。ますますの発展のためにどうぞ宜しくお願い申し上げます
以前ヘルパーをしていました。お年寄りの家でクーラーが壊れ大手の電気屋さんに電話をしていましたが、音声案内でした。番号を押して下さいと案内がありましたが、そのお年寄りの方は意味が分かっておらず、ボタンを押さずに口で番号を言って電話を切ってしまいました。80～90歳代の方でした。今の時期、熱中症などもあり音声案内だけでは分かりづらいと思うので直接電話が繋がるようにしてほしいと思います
子供を連れて出かけられる場所がもっとあったらと思う。駐車場もあってワークショップなど参加できるイベントをやっていたり雨天でも室内で工作などを楽しめるような所があればと思う。あっても定員がいっぱいで参加出来なかったり車が止められなかったりする事もある
文化施設が東部に多くあり偏っている。また公共交通機関(主にバス)の廃止により買い物難民が発生している。車に乗れない年齢になったらと不安がある。リタイアして時間的に余裕がある高齢者と共稼ぎで子供の育児に不安がある若い世代との交流を図り、お互いに助けあう制度を拡大し徹底して伝達していくのは行政の役目だと思う。少子化により空きとなった教室など使うのも一案だと思う。特に長い夏休みの学童保育を卒業した年齢の子供を持つ親は近くに親族がいないと安心して働けないのではないだろうか。大きな企業の少ない高松では雇用、税収等からも企業を誘致すると共に人件費等、支出も考え直す必要があるのではないだろうか
緑の基本計画などはまちづくりの重要な約束事であるにも関わらず、10年以上着手されていない事業がある事があります。これでは計画だけを体裁の良いものにしておけばいいという事になり市民を無視しているように思われます。PDCAサイクルにより毎年チェックして改善が必要です
保護とか支援は家族でする事で行政がしなくても良いと思います。皆平等に生きるべきです。今はサービスのしすぎです。高齢で希望する方には家庭医にでも自分が延命だけに入ったらどうしてほしいのか、元気なうちに申告しておく様なシステムにしたら良いと思います。例えばカルテに本人の書いたものを貼り付けておいてもらうとか。もう一つは自分が大変な時に助けてと言える人を指名して冷蔵庫に貼り付けておく様にしたら良いと思います

記述内容
国分寺町在住の者です。小学校は一部エアコンがありますが、中学校はエアコンはおろか教室に扇風機すらありません。職場の人に聞くと綾川町やもともと高松市だった小中学校はエアコンが付いていて 30 度になると付けてもらえるそうです。三者面談で中学校に行きましたがあの環境では学習の質が確実に落ちると感じる程、暑かったです。また高校生の子供は電車を利用していますが、歩道や自転車道が整備されておらず登下校が不安です。街灯も少ないです。少子高齢化で昔以上に子供の生活に対する親の期待が大きいです。高齢化に関しては自分が年を取るのが恐いです。住宅ローンは 65 歳まで組んであります。それまで雇用があるのか、年金は払っていますが本当にもらえるのかすごく不安になります。60 才からも働ける環境があるといいと思います。あと生活保護の方がすごく多いように感じます。仕方のない方ももちろんいらっしゃるでしょうが、車を持っていたり携帯を使っていたり本来保護が必要のない人も多いと思います。税金を使っているのであれば支給は本当に困った人だけにしてもらわないと働いている人はいい気持ちはしません。これからも高松市に住み続けたいと思っています(他県出身ですが)よりよい町になって行く事を期待しています
折角無作為に選んでいただいたのですが、あまりにも設問が難し過ぎ適当に〇をつけたものがあまりにも多く正しいアンケートとしても集計には乏しいかもしれません。いかに自分が行政、市政等に無関心であったかを思い知らされました。今まで 30 年余り快適に子育ても終らせ高松で過ごしている事に感謝しつつ不備な答えのアンケートにお詫びします
投資教育にも力を入れてほしい
公共のサービスの時間帯を長くする(平日の受付時間を少しのばし、仕事が終わってからでも行けるようにして欲しい)
地震への対策が行われていないと思う。行っているにしても、住民への広報などが不十分だと思う。水不足に対する対策は行っているのか。毎年台風頼みでは不安がある。安全対策等、きちんとしてからのまちづくりだと思う
現在公共交通機関のない地域にバスなどを通して月で定期券を買ってもらい財源を確保して路線をつくっていく。自動車の Co2 削減、交通の利便、中心地がにぎわう
高松市といっても街中と山間部迄広い為、回答に困る部分があり。今自分の住んでいるまわりだけでの回答か、市として考えての回答か難しい。本題とはずれるかもしれませんが、1つの市として発展を考える時、今尚、水道もない、道は十分整備されず街灯ひとつない。山川は荒れ、公共の乗り物を利用するにも遠くに離れていて利用できない。ため池も昔の様に掃除もしない為、水は汚い。もし火災が起きたらと、消火を心配します。この様な集落も高松市民として納税もきちんとしています、充分な恩恵を街中の人間と同じように受けているとは思えません。市の活性化発展はもちろん大切ですが、同じ市民としてこういう集落の人達の生活もあることを頭において取組みを考えてほしいと思います
高齢者の雇用促進
子供の医療費控除を小学生まで他県のように広げてほしい。ふれあいセンターの場所をもっと考え、駐車場が広く皆が利用し易い様などころにしてほしい
前述させていただきましたが、私が住む太田地区に限らず、他町の歩道は住宅街歩道におきましても犬のフンが多すぎます。いたる所にあり、目を背けたくることがたびたびです。なかでも最悪なのは学校の周辺、通学路にも多く未処理のものがあることです。太田中生は部活で外周をランニングしていますが、そんな時に踏みつけたりすると心が痛みます。一回くらい、一度くらいの事が習慣になっているのでしょうか。コトデン太田～三条の高架下の空地を視察して下さい。あまりにもひどい光景です。これはコトデンにクレームを言った方がいいのでしょうか。転勤で他県をまわって高松に落ち着きました。生活の色々な面ですばらしい、住みやすいと思ってきましたが、この件だけはこれほどマナーの悪い県(市)はないと思いました
大きな道路での中央分離帯の切れ目が多すぎる。大きな道路では U ターンを禁止してほしい。何度か危険な思いをした。特に国道 11 号線や県道 10 号線はあぶない
高松市の取組む施策として 60 項目にわたり推進している様ですが、どれだけの市民が施策名を読んで、その施策がどんな方法でどう取り組み、どう改善したのかわかるのでしょうか？私は殆ど理解出来てない。設問の改善度を聞かれてもこたえようがない。どれだけの市民がこの設問に答えられるのか、知らなさすぎるのは私だけかもわかりませんが、いずれにしても総合的でなく争点項目をしぼって市民に見える形で施策してほしい

記述内容
このアンケートの項目すべてがまちづくりという意味あいからなっていますよね。わざわざ細分化されると選択肢を読むだけで大変です。どれも似たようなニュアンスでどれも正確のような。言葉にすると容易いですが、もっと具体的な選択肢であれば良かったかと思います。これがどんな風に市政に反映されるのか楽しみです。高松という街はコンパクトにこぎれいにまとまっていて一見住みやすそうです。ただ、中央商店街などは再開発されている所、すたれる一方の所と明暗が分かれすぎ。振興組合の横の繋がりやもっと風邪通しのよい情報交換など活用してすすめていかないと日本一の商店街とは名ばかりの三越～グリーンだけの賑わいで終わってしまいます。うわべだけきれいなまちはすぐメッキがはがれます
バスの停留所をもっと増やして欲しい。車の運転ができない人や観光客にとってはバス移動が主になるため。電車代が高すぎる。もっと安くすれば利用客増加に繋がると思う。丸亀グリーン等、開発を進めても集客できなければ意味がないので、もっと公共交通機関を充実させるべき。商店街のイベントをもっと増やしてシャッター商店街を減らす努力が必要。せつかく大きな商店街なのにもったいないと思う
借金をなくして欲しい。市職員の人数は民間と比べて適正か。借金で作った箱物の責任は考えた人、それを認めた人達が責任を持って処理してほしい。年金問題も同じ、資料作成に予算を投資して二重に無駄な金を持って何故厚生省のOBが金を出せるのかわからん。仕事をしないで給料もらいまだ年金をもらっている今の制度がおかしい。裁判で個人に請求できないのか。バカヤロウ！なぜ高松の情報を松山へ送る。高松の業者ではダメなのか。地元無視、県外業者に金を出すのか
大学生で県外に住んでいます。H25.3 月より親の都合で高松に住所を移すことになりました。僕自身まだ高松で生活をしていないので答えがありません。アンケート回答にならず申し訳ありません。
円座には誰もが危険だという交差点がありますが、信号が付いていません。小学校に通う子供達の通学路の為、毎日その交差点まで行って反対側に渡らせています。当番の人が立ってくれてはいますが、車は全く止まりません。信号を付けてほしいと要望しても全く聞いてもらえません。人があまり通らない道路の整備はしても重要性の高い場所への信号を付けてはもらえません。もっと市民の声をしっかり聞いた上で、必要性の高いものからの整備等をしてもらいたいです。確かに 32 号線の植物などの整備をよくしているのを見ますが、回数を減らして他に財源を使っても良いと思います。幼稚園も駐車場がなく送迎時が大変です。道も狭いので近隣の住民からもよく苦情が出ます。公立の幼稚園なので高松市がもっと率先して駐車場確保をしてもらえたらと思います。子供の医療費免除も小学生から病院に通う回数が多くなるのに小学生は対象にならないのはおかしいです。もっと子育てしやすい環境作りを市民の声をしっかり聞いて取組んでほしいです。
小、中、高校生の不登校や非行等が気になる。高松市を支える健全な青少年の育成にも力を入れてほしいです
町の行政問題や環境に対する意識に対する気持が薄れ、後期高齢者が多くなった川島地区でも出て来なくなってまともありません。例えば、春日川の清掃、ゴミの後片付け、公のところ(墓地等の清掃)がくると意見が分かれ、まともらず役所に頼めば税金を納めているのでやってもらったらと若い人々は出てきません。奉仕活動に出席しない
子育てしやすい、子供を産みやすい社会がいいと思います。市民のためによりしくお願いします
コトデン、バス、電車を大切にしたいです。高齢になり車が運転できない人が増すと、公共交通機関が頼りです。ぜひ補助などして運賃を安価にし、利用しやすくして下さい。未来ある子供達の豊かな成長を応援したいです。気軽に絵本の読み聞かせなど、時間のある高齢者を利用して欲しいです
政治の事は無知で何もわからず参考にならないと思います。申し訳ありません。高松は災害も少なく住みやすく有難く思っております。ただ私的なことではございますが、家の近くのサンフラワー通りの南端から東西に伸びている道が狭いので危険を感じます。袋小路の解消は出来るのでしょうか。太田駅付近ももう少し道幅が広くなればと希望します。私的要望で申し訳ございません。これからの高松市の大きいなる発展を祈っております
様々な医療の要望に対して現代医学だけでなく総合医学の考え方、体験できる場を作っていくて下さい。体だけでなく、心の健康なまちづくりも大切だと思います
住宅やマンションがどんどん増加していますが、逆に憩いの場はとても少ないように思われます。子供から老人まで過ごせるような大きな公園等を作ってほしいです。芝生や大きな木がある長時間いたいと思うような施設があれば家の外で過ごす機会も増え、健康にも良いのでは。ショッピングモール、電気屋、ホームセンターと買物には便利になっているが、これ以上増えなくても良いかと思う。子供も楽しめるアミューズメントパークや観光スポット等遊べる場所も充実させてほしいです

記述内容
保育所や小学校コミュニティセンター等の施設の耐震性に不安を感じる。保育所の駐車場の確保をお願いします。今年の暑さで子供達の集中力が低下しています。学力低下防止のためにも空調の整備を急いでほしいと思います。街の方には公園はありますが、郊外の公園が高松市は少ないと思います。自転車でいける範囲は子育てする上では必要です
とにかく高松市民は交通マナーが悪すぎます。飲酒運転や一般道路でスピード出過ぎ。方向指示を点灯させない等。当たり前の常識の無いドライバーが多すぎです。あれこれと高望みな市政を考える前に当たり前の常識を大人達に意識変改して頂きたいものです。自転車についても、もっとマナーを教える必要があるのでは。対策としてスピードを出し過ぎている車は厳しく取り締まるべきです。また運転免許証の更新方法も見直すべきではないでしょうか。またうどんばかり子供達に与えるのは糖尿病のもと(炭水化物)親に知識がなさすぎ
高松市に居住するようになって一番に感じた事が交通マナーの悪さでした。無理な車線変更などもそうですが、商業施設等の駐車場で駐車スペースではない場所に駐車しているのを何度も見かけました。他県ではあまり見られない光景なので驚きました。あとは犬のフンの多さです。きちんと飼い主が始末するよう徹底すべきだと思います
色々な面で高松市には住みにくい。要望が沢山あるけど言うところがわからない
前略 アンケート調査の一人に選んでいただきありがとうございます。が、大変申し訳ありません。4月15日に高松に帰ってきました。仕事も見つかり、収入も得る生活が出来ています(田舎には仕事はないかと思っておりました)野菜作りもして楽しんでおります。全く高松の行政、まちづくりはわかりません。大変申し訳ありません
家庭ゴミを出来るだけ自分の家庭内で処理できるようにし、ゴミの排出をなくす様にしていきたい。可燃ゴミは家庭で可燃できるようにし、埋め立てゴミは細かく砕いて埋め立てできるように何か良い案があればと思う。週に何度もゴミ出ししているといくらゴミを処理しても追いつかないと思う。自分の家で処理するようになれば手間もかかるので面倒さを感じ、なるべく出さないような心掛が自然に身についてくると思う。どうしてもゴミだけ引き取るようにしたらと思う。ゴミの山が出来るのは悲しいことだと思う。幸い一軒屋は出来たとしてもマンションに住んでいる方は出来ないと思う。またマンションが建ちすぎていると思う。なるべく土地に近い高さで空き家や中古住宅の再利用もしていけるようになればもっとすばらしい地球になるはずだ。建物も多すぎです。もっと地球が軽量化されることを祈っています
調査票ごと返却するのではなく回答書を入れて書くようにして下さい。他都市との連携が必要です。高松だけで観光や産業な成り立たないと思います。例えば鳴門市は岡山とかの連携が必要では。
街灯が少なく、夜外出するのが(子供を連れて歩くのも)危ないので、街灯を増やしてほしい
社会経済、市民意識は年々変化し、より心の豊かさを求められているように感じています。しかしこういったメンタル面は一朝一夕に叶えられるものではないことは言うまでもないことです。例えば日本の伝統文化、今日の日常生活には知らなくても出来なくてもあまり不自由は感じない社会になってしまっています。けれどひとたび、この伝統的な文化サークル等に足を踏み入れるとその必要性がわかるという現実があり、子供の頃からこういった機会を与える環境が必要だと感じています
現状実施されているまちづくりなどの内容(地域活動、ボランティア、NPO等)を良く知らない。成果上がっている、成果出てない項目、計画だけで活動されていない項目など分析結果より、ヒントを探る必要有り。また項目の中で個人的に参加する事が出来るのかどうかなど基本的な全体の知識がないので、まず第一に市民にアピール、問いかけを広報等で請求強化する必要がある
道路が進み交通の便がよくなったとは思いますが、少し道路を作りすぎている気がする。公園がたくさんあることは大変ありがたい、子育てには重要だが、子供や公園を使う人の目線に立った公園作りをしてほしい。遊具の数、入口の安全性や(最近近所に新しく公園が出来たが、遊具側の入口が車が多く、通る道路側。子供が出て行かないかひやひやする)緑、屋根付きの休憩場所が少ない。熱中症も増えている中、休憩できる屋根付きの場所や大きな木があれば良いのに、といつも思う
病児保育をよく利用しています。すごく助かってはいますが、例えばインフルエンザで週5回預けて最低でも1日2000円×5日=1万。保育料からこの1万を差し引いてくれるわけでもなく二重に払っている事が負担です。何とかありませんか

記述内容
①NPOについて 以前講演を依頼された時の事ですが、前の会議が長引いた事と、講演後の視察のバスの時間があつた際 10 分程度(当初は 40 分)で済まして欲しいと言われた事があります。話の節々から市の補助金を得るための講演依頼のようでそのNPOの目的は産直施設でのツアーだったようです。このようなNPOに補助金を出すのはどうかと思います。NPOに対する監視等を徹底し悪徳NPOを排除するべきです。②アンケートについて 内容が高度すぎると思います。まるで某省の白書を読んでいるといった感想です。現状までの具体的なデータが添付されておらず、この質問と回答から誠意ある回答を得ようとしているとは思えません。このアンケートで住民の意識(本当に考えた上での)が得られるかは疑問です。むしろこのアンケート自体がムダかもしれません。もう少し考えたアンケートにすべきかと思ひます
屋島の活性化を望みます。観光客だけではなく市民も気軽に行けるよう有料道路を無料にして大きな温泉施設なんかが出来ると良いと思ひます。今の寂れた感じをなくしてほしい。営業していないホテルなどは取り壊してほしい。20~30年前は観光バスが何台も来ていたのが嘘のようです
公務員の優遇が目立ちます。税収が一部の人だけで循環し市民に還元されず市の発展が妨げられています。意味の有るプロジェクトだけを行い、公平な委託先に任せて嘘の無い結果を出せばそれだけで良いと思ひます。今回のアンケートを含めて無理に仕事を作り、特別な人達へ優遇して委託して意味の無い結果を出して税収を使うようでは高松市の発展は無いと思ひます。広く一般市民への還元を進めて高松市の経済が潤えば、自然に税収は多くなりさらなる発展が出来ると思ひます。香川の貯蓄高が高いのがそれを示しています。一般市民の貯蓄はそんなに無いので
鳥獣被害対策やカラスのゴミ被害対策をすすめてほしい。(ゴミ袋の色を変える事によってカラスの被害を少なくできたという報告もある)遊休農地を含む遊休地の活用を図ってほしい。超高齢社会を迎える前に高齢者が歩いて行けるような場所で認知症予防教室等を開いてはどうか
子供達が安全で遊べる所を作してほしい。自転車の置き場所を作って欲しいと思ひます
牟礼町在住です。3月より牟礼町公民館がなくなり私の親類に85歳女性がおり元気をなくしております。40人から集い風呂、健康チェック、カラオケと通い毎日活き活きと過ごされておりました。今は外に出るのが7/30と減ってしまい、足腰も弱く気分も晴れず、目に見えて年老いていきます。上記のような施設(年寄りの楽しみの場)を他に用意は出来なかったのでしょうか。再度ご検討いただきたく思ひます。このアンケートの宛名は父(85歳)ですが代筆させていただきました。63歳(女)
・公務員の退職金や年金が多い。減らして財源にあて社会福祉の充実を行うべき。選挙時、公民館にいる立会人の人数が多すぎる。無駄を省き、アルバイトの人を雇い税金の無駄遣いをやめること。・生活保護の人が多い。もっと就業支援や家庭訪問、指導する等、生活保護も60才未満の人へ働きかけ最長6ヶ月とか期限を切る等してほしい。生活保護の人が仕事をせず、保護費でアルコールを飲み体を壊して入院している。生活保護費は現金でなくお米券等チケットで渡してはどうか?もっと私達の税金を大切に使うてほしい
私が住んでいる町は道路は整備されていますが、山間部では舗装の割れた所、欠けた所有り。早々に整備してほしい。高齢者が待たずに施設に入れるように希望する
イベント会場付近の無料駐車場をもっと整備してほしい。(サンポート等)高松市中心地商店街も、もっと駐車場があれば人が増えるかもしれません。(利用しやすい場所、駐車料金であれば)
実りあるお金の使い方を考える。お金は人と自然に。箱物はいらぬ。不要な公共事業もいらぬ
よりよい市政発展の為のアンケート 難しいとは思ひますが、内容、答えさせ方、もっと工夫があればと思ひました。費用もそれなりにかかっていると思ひます。試しに答えた方、市の職員の方の意見(返答の仕方)内容の改善しなかつたのかなと感じました。今後共、よろしくお願ひ致します。高松市大好きな市民より
道路の整備、公園を沢山作ってほしい
瀬戸内国際芸術祭2013年夏会期が好調のようですが、瀬戸芸3年に1度でなく2年?毎年実施でも良いのでは?島ばかりに集中しなくてもよいと思ひます。財源確保のためにも生活保護不正受給の徹底調査。商店街の駐車場代金が高すぎる。毎年の猛暑対策としてミスト通りを作り少しでも早く活性化してほしい
今回の意識調査は4200人を対象としているとの事、多数の回答者の意見集約が出来ると期待しています。また結果の分析、広報ならびに実践をお願ひ致します
質問以外の事ですが、このアンケートについて高松市以外で暮らした事がないので最初の方の質問は解答が適当でないと思ひます。アンケートの対象を外の地区の事が分かっている人がいいのではないのでしょうか

記述内容

高齢者の就労の場と子育て支援を結びつけて、親がわが子に携われない部分を高齢者の方々に支えていただく。核家族が増え、おじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいが不足している子供達にとってはプラスになると思われる。また放課後子供教室や留守家庭児童会への参画も試み、小学校へのかかわりも増やしていけば教員の負担や業務の改善も行う事が出来ると考えられる。子育て中の親も教師も人生経験、社会経験共に乏しい中で人を人として育てていかななくてはならない環境にあるが、高齢者の方々の経験を生かし、親も子も大切にすべき事をきちんと教えていただく必要があると思う。仕事に追われて大切にすべき事(目を見て話す、笑顔で会話、挨拶、ねぎらい、思いやり)やきちんと伝えられていない部分を支えていただく事で子供の人格形成に良い影響を与えていただき、子供が良い方向に伸びれば教師の負担も減り、親も安心して子育てが出来ると思われる。同様に、契約社員やパートタイマー等、正社員として雇用されず納得できないまま働いている人々や職に就けず探している人々の中でも働き盛りの人や責任感の有る人には不足している医療現場で力を発揮していただくのも就労環境の改善に繋がると思う

放射能汚染について情報を常に知らせてほしいです

年金で生活出来ない高齢者に仕事支援をしてほしい。生活保護は受けずに健康な間は仕事を続けたい。65歳過ぎると働ける場所が少ない。若い方の生活保護受けている方がいるのはなぜでしょうか

・空き家が多い。不動産の流通不足、治安の悪化の観点で問題です。・自転車道といっても車道の中に作れば良い。高松の自転車利用は非常に多いので全国のモデルになるように知恵を出してほしい。・香川県と高松市の二重行政がかなりあると思いますがいかがでしょうか。・観光・目的をはっきりさせましょう。だれを、どのように、何のためにやっているのか明確にしていきましょう。海外はキーワードの一つではありますが、上滑りしている感が強いです。・教育・教員のレベルが低すぎます。話になりません。確かに1学級の生徒数は減らすべきかも。教員になる前に3年間、福祉とか海外ボランティア、民間企業等に受け皿を用意するなどして、社会というものを知ってから教員になってください

市美術館、企画展示の充実をお願いします。県庁所在地にある美術であるのでそれにふさわしい展示内容、職員(館内係員)の質の向上をお願いします。過去に、鑑賞中に係員に質問した所、非常にお粗末な対応でした。中央通り、菊池寛通り周辺の歩道のタイルが浮き上がっている部分が多くあります。タイルのためつまずきやすく大変危険です。高松祭りは伝統の踊りをメインにし、ダンス系の踊りやよさこい踊りを真似た踊りは別のイベントとして開催した方がよいと思います。徳島の阿波踊りがすたれないのは伝統的な踊りが保たれているからだと考えます。高松の踊りが一合まいたならそれを大切にすべきかと思えます

瀬戸内国際芸術祭のように地域資源を活かした観光を今後も継続させて地域経済を活性化させてほしい。この10年程で子育てと仕事の両立に関する支援はずいぶん良くなったとは思いますが、それでもまだ共働きで子供を育てていくのは大変である。より一層の子育て支援への充実を願っている。子供だけで安心して遊べる場所が少なく、つい屋内で過ごす時間が増えてしまう。さぬきっ子は肥満気味というのも気になるしのびのびと遊べる公園や施設をふやしてほしい

・手押しの信号機(歩行者用)について。400メートル程、離れている交差点信号と連動しているとのことで押してもなかなか信号が変わらない。お年寄りが信号無視で渡っているのをよく見かける。押すとすぐ青に変わっても良いのではないかと思う。・災害時の避難場所について。避難場所については、市報の配布時にプリントでいただいているが、真夜中の災害時でも学校等の避難場所がすみやかに開設されているのか不安である(高松市ではないが、過去に避難場所の開設を経験した事が2度程あったが、昼間にも関わらず市の職員がなかなか来なく対応が大変であった)開設の手順などについても理解しやすいチャートなどで開示してほしい。夜間停電時の最悪の場合が不安である。自分で逃げる場所を探しておくしかないのであろうが。・旧市内の住宅街の道路について。郊外には新しい道が次々と出来ているが、市内住宅街の道はガス、水道工事などで掘り起こし、継ぎはぎだらけでポコポコである。きれいに舗装してほしいものである

記述内容
保育料が高いと思います。保育園に入園できるだけありがたいですが、子供を2人預けるとお給料のほとんどが保育料になります(他県、他市ではもっと安いと聞きました)朝の通勤、通学時間帯の取り締まりを希望します。市中心部こそ自転車、歩道の分離化が進められていますが、郊外の道路では皆さん好き放題です。自転車がバイクを追い越したり、バイクが車の右側をすり抜けて行ったり。細い道でも交通量の多い所は大変危険です。高松市は公園や子供の遊び場、子連れでも行けるショッピングモール、ごはん屋さんなどが充実していて助かります。もっと欲を言うなら公園に日陰になるような場所を設けたり、牟礼の道の駅のような大きな道の駅が増えるといいなと思います。更に欲を言えばIKEA、コストコ、アウトレットモールなど大型施設が出来るといいなと思います。女性の社会進出はすばらしい事ですが、仕事と家事、育児、結局女性にかかる負担が大きくなるという矛盾が生じているのも事実です。女性の社会進出の為には家庭の柱である男性の協力が必要不可欠です。女性への支援も大切ですが、男性への支援も必要かと思えます。うまく表せませんが、定時退社推進、時短の取得など、会社ではマンネリ化してありえないような事でも市が声を大にして推進すれば少し何か変わるかも
かねてより高松市のまちづくりに疑問を持っています。1.サンポート高松の開発 企業あるいは合同庁舎に代表される国の機関を誘致する反動として高松市中心部の空洞化が加速された。ただでさえ商店街がさびれていっているのに行政がそれを加速させている。中心部の人口が減少することにより、ビジネス、商業いずれも沈滞してしまった。国の機関を合同庁舎に集約するのなら、何故瓦町、常盤街などの再開発と連動させなかったのか？サンポート地区は箱物を作るのではなく、野球、サッカースタジアム等、多くの人が集まり余暇を楽しむ場とした方がどれ程効果的かと思う(広島球場等参考にしたら)高松の古馬場地区のさびれよう、松山市の大街道の夜の賑わい、対照的です。このままでは四国の中心は松山市になってしまうでしょう
通学路の歩道整備をする。津波に備え海拔の表示を数箇所にする
公民館活動について。従来から居住する特定の者が、夜10時まで奇声を上げて卓球をして騒いでおり、新興住宅地のアパートの住民は閉口している。常識的に公共機関のスポーツ施設でも午後9時には終了しているが、就寝時間帯の午後10時近くまでしている。スポーツは健康の為に良い事であるが、皆に迷惑のかからない昼間にするとか午後9までにするとか常識的な活動を期待する。
高松市と住民との協議会はあって無い様なもので市が決めた事を住民に周知する形で進められています。協議していく中で住民の意見が反映され改善できる様な雰囲気、システム体制にしていだけるとより良い町になるのではと思います
1.五番街を中心として西又中央通り等、街道工事等一体化して自転車道の新設、工事費の無駄をなくして下さい。年度末が近づくと予算を使い切らないと言う事が多くみかけます。2.市内交差点に右折用のレーンを狭くても設けて欲しい。道路中がないという利用のみで朝の通勤時の解消を考えて下さい。3.市内設置の公園の草取り等は利用する自治体の住民にやって頂くようお願いしてください。4.私等高齢者は社会のお役に立つように指導して下さい参加させて集う場所を作して下さい。年金だけ受け取り無意味に過ごし人生の終末を迎える時、沢山の治療費を使用し社会に負担をかけていると思います。
医療費負担は高齢化の進行により財源不足が懸念されている。そこで新聞紙上によると高齢者で収入の多い人からの徴収とあるが併せて現行の負担割合が1割から3割となっているが2割を設けて負担が公平になるよう要望します
こんなことに答える時間が無い。貧乏暇なし。これも経費がかかっているのでは。こんなことに税金を使うなら低所得者の税金を下げるとかに使ってもらいたい
レンタサイクルは良い取組みだと思う。横浜や神戸のように街と港が繋がりを持つと良いと思う
四国の玄関として経済交通の中心機能強化が重要。橋では駄目で新幹線の整備が望まれる
子供と遊びに行く場所が少ない。子育て支援センターなどは充実していると思うが、動物園や水族館などの施設の入場料が高くてなかなか行く気になれない。高松市中心部の発展にばかり力を入れず、郊外など全体的にバランスよく発展するのいいと思う
コミュニティの役員をしていますがかんがひかないところがあります。高松市も困っているところがあれば指導してほしいのと、リーダー研修など人材を育成するところを作って欲しい。人材の件ですが、今まで色んなところでそれなりに仕事されていた方がいっぱいいらっしゃいます。いつも同じメンバーでは同じ考え方になります。そんな人材を教えていただく事も必要ではないかと思っています。私達ではそれを探す力がないです。アンケート申し訳ございません。遅くなりました

記述内容
中新町交差点(中央通りと観光通りの交わる所)の地下道が急な勾配でありさらに劣化もひどく雨水のれなどでケガをする子供、年配者をよく見かけるので修繕、改善を行って欲しい
マルナカ、イオン、コープの代表者の協力をしてもらおう。メディアにもNHK、西日本放送にTVラジオ等、地域で取り上げる。小豆島、女木、男木島、屋島等もっとアピールして瀬戸内の海をすすめる。いつもRNCラジオを聞いていてきまみにラジオ(ラジオカー)で、これ参考になります。人と人のつながり、パーソナリティー、フリーのうえまつおさむさんにもラジオ等でお願いしてください。説得力あります
費用がかかる事業も多く難しいかと思いますが、よりよい行政を望んでいます。高松市というひとくくりではなく、高松市の中でもさらに地域性を出していくと身近なよりよい行政になっていくのではないかと思います。
県外から来た人がJR高松駅を出てこれが中心部?一番栄えている所?と言った事がショックだった。サンポートを案内してもシャッター通り。自慢の商店街は駅から遠い。玄関口が寂しい。瀬戸芸は成功。ただどうしても時期限定的。外部の呼び込みはいいが住んでいる内部との温度差が激しい。いろは市場の閉店。天満屋ハピータウンなどの民間も然り、市内の活気が感じられない。一時的な呼び込みではなく長く住める魅力ある街にして欲しい
地域で自給自足できるエネルギー資源を水不足に備えた新たな仕組みの創設、防災組織の充実(特にマンション住民の参画など)市として自立した町作りが出来れば魅力が出てくると思う
開発による環境破壊が酷い。特に河川周辺。20 数年前から特に酷くなった。新川、春日川沿いの無駄な伐採行為。治水方法にも問題有。バルーン式水門や護岸工事によって河川は半死に災害、塩害の為とはいえ今の方法は酷い。もう少しやり方があるとバルーン式水門の設置により新川、春日川、本津川などの干潟が激変した。真魚やシオマネキはどこに行ったのですか。人間の都合、便利さを追求してはいけない。大雨のあとバルーン式水門を開けると上流から大量の土砂が河口に堆積する。一度破壊されてしまった自然を元に戻す事は難しい。よかれと思って開発してくれている事に対しては感謝する。その反面短絡的な開発には辟易。まず高松市内の河川まわりを代表する自然環境を 30 年前に元通りにしてください。自然環境を維持しながら災害塩害などの対策を取って下さい。責任は重大ですよ。誰かがいつも見えていますから
県外からの転入者ですが、香川県民のマナーの悪さ目に余ります。県民性だといえればそれまでですが。車の運転、子供の遊び方等、その様な事をふまえてのまちづくりが必要かと思えます
サンポートにある市民ギャラリーは市民とは名ばかりで市民の閲覧も利用もしにくく目立たない。貸料も高額。利用しても広報への協力体制が低く宣伝や認知は利用者の独自に行うのみに近い状態でただ高い利用料で貸しますよ、的な対応しかなく人の流れも見込めない場所なので利用価値の低い箱物でしかない。街中の商業地を巡るバスの取り組みはあるが、街中へと市民の利用を促進できるような公共交通機関の取り組みが甘い。集客やコンパクトエコシティの意味を促進するならば、夜間終電の帰宅にも便利な時間の利便性のあるバスの営業などの努力が必要。最終が 9 時前後では気軽に街中で飲食をして帰れない。いろは市場の利用が伸びなかった。理由の一端も交通手段や駐車場の問題がネックだった所も否めない
市民は経済的に厳しく生活を切り詰めています。サンポートなど赤字続きだと聞いています。市職員の給料を下げるとか予算も残ったら次年度に使うように努力して下さい
大学生進学者が増えていると思います。それも地元進学を望む声が多いとも思います。各大学の学部、学科の充実がもっともっと必要だと思います。県外に出れば U ターンが望めるとは限りません。地域の発展を考えれば大学の充実がこの先の若い方の地元離れを防ぐことにもなるのではと
後期高齢者の仲間入りになり、足腰色々不自由になり自転車にも自信が無くなり近頃マーケットとかスーパーは大きくなりましたが、近くには小さな商店が無くなりました。日常に必要な物品が間に合いません。場所にもよりますけど。アンケートがよく来るのですが、どの様にして出しているのか。私にはもう出さないで下さい
高齢化がすすむ中お年寄りがいきいきと生活出来る地方都市であってほしい。交通が整備(公共交通機関やそれを利用する際のエレベーター等も含む)され、買い物や病院、文化施設への行き来も安全で楽に出来れば自分から家に引きこもる事なく出かけていけると思う。又、生きがいが見つけれられるように様々なメニューの講座等を開いてほしい
高松市の職員の態度、言葉遣い、意識の改革が必要
犬のフンの始末がなってないのが大変気になります。これまで色んな県(府)に住んできましたが、これほど道に犬のフンが落ちている県はありませんでした。飼い主のモラル強化に取り組むべきだと思います。又、自転車を利用する方が多い割には舗道がデコボコだったり段があったりで自転車に不向きな道が多いです。又特に大きな交差点では地下道を通る事が大変多く子供を乗せて自転車で通行する母親には不便だと思います

記述内容
実家に帰っても働く所がない。もっと雇用の事を考えて欲しい
高松市総合計画について今回のアンケートを通じて初めて知りました。ホームページで閲覧し学ぶ事ができました。もっと高松市政に関心を持たなければならないと思いました。アンケート問5はもう少し具体的な項目にしてほしかった。項目の数も多く答えづらかった。アンケートの集計結果に関して公表されるのか？どのように活かされるのか知りたいと思っています
無駄なアンケートですね。このアンケートで何がわかりますか？後から来たハガキ、税金の無駄遣いにしか思えません
市とは関係ないかも知れませんが、JRに大変不満疑問を持っております。それは高松駅は高松の一番重要な玄関です。客を迎えもてなす配慮、サービスが全くなしといっても過言ではありません。バスターミナルに雨、風寒さ暑さをしのぐ待合室がありません。迎えに行っても駐車場が余りにも狭くて車が立ち往生し、ぶつかりそうです。無駄なところが広すぎます。電車、バス等を利用する立場の人達の事を考慮していないのでは？と疑問に思います。高松市を発展させる為には玄関の高松駅の有り方、作り方をもう一度原点に戻って直すべきだと日頃から強く思っております。私は50年以上大都会に住んでいました。四国の一番大切なおもてなしの心を忘れていないのでしょうか
南新町に若者の商業施設の充実を図ってほしい
高松市は県都なので全ての面で充実していく事は必要ですが、高松ならではの長持ち先行投資するなら1点集中で特長の事業に集約し一時的なものでなく成長でき、愛が持てる事業を取り入れるべきである。特に若い人、若者が少しでも希望が持て住み続けられるような高松市にしてほしい。改革すべき点・従来から続けている事業、慣例的なものは切る。・高齢者向けのサービス、補助は大幅カット。・土木工事等の優先度の見直し。・若い人の雇用を支援する事業を取り入れる。・若者の結婚、教育、子育て等の支援事業を取り入れる
参加しやすく強制的でないボランティア(行事)にしてほしい。少子化なのに子供を産める環境が悪くなり余計少子化になりそう。産院、産科の減少、保育園が少ない。アンケートももう少し答え易いものにして下さい
香川を含む四国は都心部と比べて地方色が強い。原料高に比べ小売業はデフレの影響をまた受けており、大手スーパーの進出に力負けしている。四国ブロックは相互協力しつつ地産地消を積極推進すべきである。また結婚もビジネス化に乗じて若者を食い物にしている人間が多くいる様に思える。これは未婚男女が多くなっている事の一つの事象だと思われます。自治体レベルで対策を取っていけば少子化にも効果が出るのではないのでしょうか
①設問が抽象すぎて具体的な項目がない為答えようがない。②地域、年代に応じ設問を選べる様なアンケートにしたほうがより細かなニーズが把握できるのでは
乳幼児健診と予防接種の予約枠が少なく受診が難しい。街灯が少なく夜間の外出に危険を感じる。流通企業が県外からの参入が多く地場企業の勢いを感じない。中心街の飲食店等の活気が無い。瀬戸内国際芸術祭等のプロ、ヤミプロの発表の場や県外観光客の呼び込みの場はあるものの地域のリージョナルミュージシャンや様々なクリエイターが発表する際には完全に自主制作のイベントとなる。商店街のイベント程度の規模ではなく、市メディア(新聞等)が主催となり、若手アーティストや学生が向上心を持って取り組める作成発表の場を作してほしい
この場で書くことではないかもしれませんが、香川県の立ち上げたうどん県それだけじゃない香川県のプロジェクトは学生の心をつかみきれていません。飽き飽きしているのが現状です。ですから瀬戸内国際芸術祭のように文化的なイベントに力を入れ始めた事は本当に良かったと思います。最近では商店街に勢いがなく出掛ける先が郊外の大型ショッピングセンターくらいしかない事も残念です。丸亀町 GREEN の開発はとても良かったと思いますが、それでもテナントの内容はあまり魅力的とは思えません。生活的なショップを入れたのであれば別の商店街を開発する時にはショッピングセンターにはないような独自性のあるものを作ってほしいです。勝手な事を連ねましたが、とにかく自慢できる街になってほしいです。私に出来る事は少ないかもしれませんが、精一杯貢献していくので生き活きた高松を目指してまちづくりを進めて下さい
公共交通機関について不満である。琴電バスが少なく使い勝手が悪い。利用者も少ない為に便が少ないのかもしれないが、朝の時間帯の便を増やして欲しい。朝利用出来ないために別の手段を探さなければならない。ただ数年前に始まった太田駅～サンメッセ間のバスに本当に助かっている。南北の便は多いが、東西の便が少ない事に困っていたのでこの便で電車に乗り継ぐルートが出来て本当によかった

記述内容
町作り、物作り情報社会がいくら進化しても実際行っているのは人です。次世代の人形成のために教育に力を入れていただきたい。子供を持つ女性の働きやすい環境作り。子供を大学受験させようと思っただけの経済負担があります。子供の受験を通してすでに格差は進んでいるのを実感しました。昨今、教育現場でのいじめも全国的に表に出始め注目されていますが、いじめ、人権問題が分かった時には速やかに対応していただきたいと思います。なのでいじめ、人権、道徳も含めた教育の充実と女性の雇用に力を入れていただきたいと思います
交通の便が悪く高齢者には炎天下でバスを待つことが苦痛になっている
有料老人施設ばかりで国民年金で入所できる施設を作って欲しい。例えば市民病院跡を施設として利用する税金が高すぎる。収入が少ない上に、引かれる物が多いので税金を払うために働いている気がする。国民からたくさん税金をもらっているのに街は全く変化を感じないし納得がいけない。年金制度も私達が高齢者になっても本当にくれるのですか？色んな面で不信感です
まちづくりではありませんが、何年か前から気になってがっかり致している事を書きます。屋島について。ケープがありました時、登り降りで見渡した時、すがすがしい景色が目に入り何回も心を癒すために行きましたが今は全体的に淋しく思っています。さびれたなあと感じる所が多く目につきました。四国村について ぼたんが美しく咲いていた頃を知っているのであつと思う様になる様、お金をかけて手入れに力を注いで欲しいです。多くの人々が来るよう、観光に宣伝に努力して下さい。お願いします。
乳幼児医療制度について。県内でも西の方はほとんどの市が中学卒業までが対象になっていると聞きます。三木町も近い内になるとか。高松は遅れているのでぜひ推進して欲しいと思います
理解できる内容が少なかった。対象年齢をもう少し上げたほうが良いと思う
私は他県出身で主人が転勤族ですが、高松市はとても住みやすいと思います。ただsンでいる木太町は公園が少なく子供を遊ばせるのに車で連れていけないといけないので、もう少し身近に小さくてもいいので公園があればいいと思います。
行政が遅れていると感じることの一つに、自治会頼みの回覧板での情報共有があります。40代以下:余裕でメールを扱える。50代以下:半数はメールが使える。60代以下:1/4はメールが使えると思います。そこからもらえる人は回覧板で、あとは一斉メールで情報共有を行えばレスポンスも早く、様々な活動への協力要請も順当に回っていくと考えます。既に選挙活動がインターネットでなされているこの時代に、“HPに出していません”では無理があるのでは？と思います。
・最近ゴミ・タバコのポイ捨てや犬の散歩時の糞の後始末が出来ていないのをよく見かける。もっと啓発看板を設置するか、飼主全員に周知してほしい。それでもダメなら罰金をとる条例を作っては！ ・また、自動車運転のマナーの悪さが目につく。
13年前から住んでいる現居住地は道が細く、アスファルトがはがれボロボロ状態です。また水路には草が生え友人は「こんな整備されていない所は珍しい」と言います。大きな道路はきれいですが、奥まった住宅地はとり残されています。
丸亀街商店街について きれいに直された場所は歩いているだけでも気分が良く、お店も活気にあふれていい所が変わってきたと思います。逆に古くからある店などはお客さんが入っている時を見たことがないくらいなのに18時には閉め出したりして、まちづくりや商店街の活性化に悪影響だと感じます。以前入った古くからあると思われるミシン屋でビックリするような対応をされとても嫌な思いをしたと同時に、なぜこんな店が商店街でつぶれないでいるのかとても不思議でした。いくつかある商店街をもっとひとつの高松の中心とするためにも、そういった古いだけで客寄せひとつできない店舗はなくしていくべきだと思います。
第5問アンケートは根気がなくなる。この方法には問題あり。関心ごとのみの回答でよいのでは？
交通事故多発化にあり、車・自転車の安全運転のルール遵守を徹底強化して、とにかく交通事故減少に徹して欲しい。自転車・車>携帯電話しながらの運転者が目立ちます。取り締まりを切にお願いしたい。平然と通話しながら運転者に憤りを感じる。自転車運転マナーが悪い。主要幹線道・交差点等での見張り強化をして、どんどん取締り摘発してほしい。アンケート調査だけにとどまらず改良・改善策を講じ確実にそれも早期に解決を目指してほしい。アンケート集計結果は是非広報等にて公開提示してほしい。アンケート調査においては、結果が公開されていないケースが多く、「アンケート調査」自信に不信感があります。

記述内容
高松は気候も温暖で町もコンパクトにまとまっており、住みやすい町だと思います。街路樹の伐採などもしてくれており、きれいな街並みになっています。ただ一つ不満なのは交通マナーが悪いこと。高松市政には関係ないのかもしれませんが、赤信号でもどンドン走る・携帯をいじりながらの運転目に余ります。もっとしっかり取り締まってほしい。
子供からお年寄りまで安全に暮らせる町を維持して行ってほしい。流行性の病気やウイルス等の速やかな対策を充実させてもらいたい。
すべての通りに魅力的なモノがない。再度訪れたいと思わせるまちづくりをすべき。催しをもっと増やして、人が集まるそして興味のある内容のモノを作らないと衰退するばかりになる。
地域の活性化のため、各ブロックに公共設備を設けることにより町の中心部以外でも生活しやすくする。例：1、レインボー通り 2、川添地区 3、香西南地区 4、緑学園近く 等々
子育て支援が重要である。二人目を産みたいという場合に支援があれば子供も増え、将来を狙う人材が増えると思う。
・保育所、幼稚園の無料化。・女性、母親が安心して働ける環境整備と雇用拡大。・若い所得の少ない時期の親子世帯への充実した支援と雇用の場。・国、県、市と行政が垣根の越えた若者世帯への支援。縦割り行政を無くす。
今年子供の成人式がありましたが、県外の大学の為帰省しなければなりません。月曜日の祝日ではなくその前の日の日曜日に成人式をしてほしいです。丸亀市などは日曜日にしています。高松市もぜひ日曜日にして下さい。
まちづくりというより「住みやすいまち」を考えれば、子育て中の家庭の支援は大切だと思う。特に未成年(中学生等の義務教育児童)に対する医療費の負担について考えて欲しいと思います。現在は6歳までは医療費がかからないのですが、もう少し延長してほしいです。
今置かれている高松市の中だけで考えることは限度があると思います。高松市が属している四国の中での高松、瀬戸内海経済圏の中での高松。また広くは中国、瀬戸内海と四国をひとつの政治経圏と考えた広域な地方の中での高松はどうあるべきかを考えることが重要だと思います。現在開催されている瀬戸内国際芸術祭など瀬戸内海を中心とした文化、経済の発展を高松市が主導し、将来の地方分離時代の中心栄都市として発展するとの戦略もあっていいのではないのでしょうか。またこれを、サポートするために香川大学に瀬戸内海を中心とする文化、歴史の講座を開設することも考えていただきたいと思います。このような構想が進められるのであればぜひ参加したいと思います。
本当は高松市の商店街に行きたいのですが、行けない理由は…駐車場です。駐車料金ほど支払うのがバカらしいものはありません。どうしても無料駐車場のあるところに行きます。商店街に行ったとしても時間が気になり、ゆっくりお茶を飲むなんて出来ません。電車に乗って行きたいのですが、駅に行くまでも不便です。町内バスと電車の時間に合わせてください。または駅に駐車場を設けてください。子供のころのようにバスや電車にもっと乗りたいです。「乗る人が少ないから減らす」のでは困ります。増やして便利にすれば利用者も増やします。
犬の糞だけは絶対に許せません。罰則は必要です。他人の家の前でも平気です。考えられません。自分さえ良ければいいのは間違いです。逮捕してもらっていいと考えています。
市、中心部と山間地帯への対策に均一性のある政策を望む。
1、市債残高を減らす努力をすること。1、近い将来できるであろう四国州の州都としての地位を確保すべく努力をすること。
多くの施策があることをこのアンケートにより知ることが出来ました。行政の方々のご苦労・ご尽力されていることなど多々あるのですが、私たちの元へは伝わって来ていません！情報の開示などどンドンされるべきでは？皆様方の努力が伝われば市民ももっと協力的になるのではないのでしょうか？よりよい高松市のまちづくりのために頑張ってください。
個々のマナー(自転車・自動車)常識のあるまちづくり。市の人口より道が大きく役割以上に進みすぎていると思う。
豊かな心を育み、人の結びつきを深めるような取組み。元気で活性化ある地域づくり。あいさつの励行、重要性を子供、若い大人に教える「街づくり」は「人づくり」。

記述内容

本当に困っている障害者、障害年金、身体不自由に急になってしまった特定の病気、生活ができない人、働くこともできなくなっている人の生活のことをもっと考えるべき。働けるのに年金をもらったり、もっと調査の必要性に力を入れて安心して住めるまちづくりをしてほしい。障害者をもった家族の事、残ってしまった障害者をおいて死んだ場合の事を思うと心配でなりません。

高松ならではの特色を生かした政策を行ってください。※良い所を伸ばす。他県のマネはしない。「うどん県」←こういう特色を増やす。 ※どうしたら「住みたい」と思ってくれるか？を本気で考える！ ※観光にもっと眼を向ける。 ※地元企業がいかに「生きていくか？」が最も重要。 大きい建物が建っても入ってくれるのは県外業者ばかり…これは意味なし。 四国の企業が伸びなければ四国の未来なし。 市長は「自分の会社が倒産したらどうする？」という感覚がありますか？ あなたは大丈夫でも倒産する企業はあるのですよ。 市長殿 地元を生かせ！絶対に地元共生！！(バッチ組の)「自分たちだけが良い」はありえない。

サンポートにしても中心街にしても、駐車料金がネックになっていると思う。時間とお金を気にせずにいられたらもっと出かけていくのに…と思う。

私は現在鶴市町在住で主婦です。主人は建築業を営んでいて私も少しは手伝っていますが、経営上収入はありません。零細企業で蓄えもままならない現状で近い将来年金暮らしになった時、果たして生活が維持できるのか不安です。十年後の生活設計をどう立てれば良いか分かりません。収入源が年金だけとなった時、支払った年金額が少ないのだから年金が少額なのは仕方ないだろうと切り捨てられることは予想されます。地方消費税も上がります。これらの財源を無駄に使わず格差を無くす政策の取り組みをお願いしたいと思います。消費財が上がるのは将来の為と思えば気持ちは楽なのですが…どうか？高齢者が増える将来、安心して住める福祉環境の充実、雇用の斡旋推進、助成金制度の拡大、教育問題の改善や支援等、社会情勢がどうか難しいことはわかりませんが社会情勢に左右されることのない、揺るぎない、他県のモデルとなれるようなまちづくりを期待しています。生活環境や年齢によってニーズは多種多様でしょう。自分の立場でしか考えが及びません。あれやこれやと市政も大変とは思いますが、一番思うのは誰もが生きやすい生活環境を整えていただきたいと望みます。

・まだまだ香川県全体(高松市も)景気は悪く、企業も町全体元気がないように思います。例えばスポーツ(地域でがんばっている)ですがサッカー・野球・バスケットボールのチームにしても、なかなかスポンサーになる企業がない。香川県民の冷めた性格と言いますか、サッカーのカマタマーレの試合にも観客を増やすことが難しい状態をどうにか高松市、香川県全体で盛り上げて元気を出して応援できるようにしてほしいと思います。香川県は全国的にもうどんで有名になったのですから、サッカーの“カマタマーレ”のスポンサーには香川県全部のうどん屋さん協会！？連盟！？各店の寄付でやってほしいものです。・高松駅前サンポートの広い場所をもっと人が集まる競技場、遊園地的な施設を作って人の流れを商店街までいくようなことを考えて欲しい。・生活保護受給者がかなり多くなっていると聞きます。若くて元気な方も、そして窓口に来て大声で怒鳴るような方たちが平気でもらえているのが納得がいきません。最初の審査はもちろんですが、その受給者の方々の普段の生活状態も徹底的に調べていただきたいと思います。医療費もいらぬみたいで、高額な医療費を支払わなければならない私たちは、簡単に受診できません。毎月毎月市が支払っている何百万という(みんなの税金)お金の使われ方を見直してください。

色々な行事等の取り組みで県外等から多くの人たちが来県する中で、また県民が日常生活する中で、具体的にキタないと思うのは今ブームの犬の散歩のフンです。うどん県、うんち県、きたない県…にならないように～。地区や個人によって差があります。特に当地区内ではフンの後始末する人が少ないようです。(特に道路)昔と違ってキレイな町にするのは自然の流れです。まず、自分自身で後始末するように呼びかける看板を多く所々に行政の力で設置したらどうですか？

高松市は自然に恵まれ、大変住み心地の良い所と感じています。他県での生活は一度もありませんが、ニュース等を見てつくづくありがたいことだと思っております。最近郊外等に行くと、田・畑が住宅に変わり今後高松市民の食は高松市で賄えるのか心配しています。若い世代の方がもっともっと仕事が出来、子孫が不へ自立した市になればそして 70 才頃まで仕事、またはボランティア等が出来いつまでも健康で生活出来れば幸せですね。私は 60 代半ばでいろいろ病気をして今は孫の小学生の世話をするのが精一杯ですが、毎日少しずつ自分の体を鍛え、子供達に面倒をかけず、サンネゴには第二の人生をスタートしたいと思ひ毎日感謝して過ごしております。最後に町に公園と(グリーン)大木があればと欲を出しています。皆様全員が高松市を良くしていきましょね。

人口減少と、少子化対策に行政が力を入れるべき時代だと思う。(未婚者・晩婚・晩産対策)

記述内容

これは高松市だけではなく日本、世界で是非考えて頂きたいのですが、道路のアスファルト、ビルのコンクリート、あるいはそれ以外の素材で地上はほぼ埋め尽くされています。(農村地帯をのぞき) いわゆる住宅地におけるアスファルトや建材の新聞発を強く望みます。①水を通し地下へ雨などがしみ込んでいく、新素材のアスファルトに変わる何かの開発推進。②ビルなどの屋上は緑化を義務付ける。③新素材が開発されるまでは車の通る以外の道、歩道などのすべてのアスファルトを即刻はがす。地球が呼吸を始め、都市そのものの温度・気候が安定します。

①職員給与削減、全手当の開示と全廃。②納税回収の徹底。③市役所窓口奥の机、イスを新しいものに交換。(職場環境改善)④職員の削減⑤下水道の整備。下水道のない土地への住宅禁止。⑥水田用水路の水質検査(定期)実施。汚れが心配。⑦牟礼支所は暇そう。人員削減が必要。⑧市民病院は未だ自立生活できない(食事が一人でできない)にも関わらず、施設への異動を言われた。⑨病院を追い出し、自立支援も削減の方向はおかしい。⑩介護士の増員。(障害者施設)⑪障害福祉サービス(居宅)のサービスが落ちている。(受入体制が不十分)(病状が少し悪くなると受入断られ、病院もすぐ入院は不可。施設にも看護又は介護士の常駐。⑫市役所、古高市所、牟礼市所共に窓口対応は大変良い。以上の改善を心より願っております。高松一市民

60代の女性です。今は病院、買い物等交通手段として常に自家用車の車を使っていますがこれから先車が乗れなくなった場合の事を考えると家を引越すしかないかと思ひます。これは年がいくと誰もがもつ悩みだと思ひます。良い解決法はないでしょうか？

・自転車でのマナーが悪すぎる。特に中高校生！！(指導をして欲しい)(右側走行や二列走行など)・レジャー施設やショッピングモールが少なすぎる→公園(広い)とか・道路の老朽化が多いので定期的に巡回とかして欲しい(タイヤ跡で道に溝ができたりする)ので走りづらい車道

1、教育(義務教育)改革 学区制の廃止と競争の導入による脳力別教育要するに今のままでは伸びる子供の芽をつみ悪平等化を促進している。ポテンシャルの高い子供には相応の教育を行う。2、Uターン型社会の実現 優秀な学生は、四国外の大学に出ていき帰ってこない。帰ろうにも就業の場が公務員くらいしかないからだ。競争力、収益力のある企業の誘致並びに若者の起業を促す基盤作りが必要 3、拠点整備の促進 現在私が住んでいる所は周辺に便利施設がなく買い物も車がないと行けない。車がないと生活できないのは高齢になると不便であり拠点として整備すべき場所を市内に設け重点的に整備して欲しい 4、土地利用の制限 無制限無秩序な宅地開発が進んでおり市道や不水道など基盤となる公共施設整備が追いついていない。そもそもこのような公共施設の整備の計画がないような地域は開発させるべきでない。都市計画法の中で法的規制を入れるべき。

これから高齢化社会がやってきますが都会に比べて交通機関の充実が今後重要になってくると思ひます。現在は「車がないと動きにくい社会」だと思ひますが高齢者には動きにくい社会だと思ひます。電車バスの充実駅の中の対応(エレベーター・エスカレーター等の整備)が必要だと思ひます。

公衆トイレの整備(きれいにしてほしい、子供が使える場所を増やしてほしい)乳児医療証の有効期間を小学校卒業までに延長してほしい。野良犬野良猫の対処(ふん死がいなど)

私の近くに仏生山公園がありますが現在公園は犬を連れて来る人が多く犬の持込を禁止して多くの人が気持ちよくなる公園にしてほしい。巨費を投じて作った公園が犬の為のものとなっている。犬の持込禁止の看板を立てて美しい気持ちの良い公園にしてほしい。是非お願いします。※高齢化社会に向け病院(医者)に行かない薬を飲まない老人を作る為老人が気軽に行く事が出来るフィットネスクラブのような施設を作ってほしい 医療費の削減はまず病気の予防から私は現在 73 才病院に行かない薬を飲まないを実施しています。その時にも高齢者が気軽に運動出来る施設を作ってほしい 以上

難しい質問でしたが、現在の高松市にはまあ満足はしていますがワンランクアップの市を目指して考えていけばいいと思ひます。市街地は徐々に良くなってきていると思ひますが、その他の町は以前とあまり変わっていないようにも感じます。

県立病院、市立病院の看護師の看病に対しての対応の仕方の研修をしっかりとしてほしい。病院に来る人々は心細くなって通院しているのに、看護師さんにきつく言われるとおどおどしているお年寄りを良く見かけます。病院をいくら新しくしても、中にいる看護師と対応が変わっていかない限りダメだと思ひます。まずは病院の中で働く人の研修をしっかりとしてほしいです。安心して通院できる病院作りをお願いします。

瀬戸芸やうどん県など国内・外にアピールできる長所がいっぱいある。来てもらえば、住んでもらえば良さが分かってもらえる。田舎っぽいところ、四国の代表都市である両国を生かす街づくりをする。結婚に結びつくような出会いの場を提供しやすい環境作り、老後も仕事ができ年を取るのが楽しい街にする。

記述内容
屋島地区は橋が交通の要です。地震に強く、歩行者や自転車の安全が守られる橋の補強などを希望いたします。山間地域は道路の広い所が少なく消防車の通らない道路も多いと聞いています。水の少ない香川ゆえに、山火事等消火活動がスムーズにできる道路整備もその一つだと思っています。
☆県の所有している土地や建物を(使用していないままのもの)地域の発展につながるよう企業やNPOに貸して活用する。「申請しても進み具合がとて遅く、結局いつになるか分からない」という話を知人から聞きました。☆芸術祭でたくさんの方が来て、サンポート周辺もきれいになったと思います。もっと海や川がきれいになるような町づくりをしてほしいです。
無駄を無くし、借金を無くし、自然エネルギーを活用して暮らしやすい高松にして欲しい。お金を使って何でもかんでもやるのは無理があると思う。便利だけど道路も多いですよ… 無駄な工事とかも…。子供は将来のために大事にしなければならないが、子育て支援ばかりでその子供が将来働く環境は悪くなっている。結婚していない人や低所得の人達は将来が不安。その様な人々の事もっと気に掛けて欲しい。NHKの受信料のように行政に関することに関わる人が損をするという事はやめて欲しい。まちづくりと言っても上記の事が出来てなかったらそれは空虚です。
私は65才3人の孫の祖母です。※まず低学年時より教育の見直し 国に期待してもダメなら独自市政でもって改革すべきです。本当今になって“ゆとり教育”ってなんの為にあったのでしょうかと考えてしまいます。人権を重んじるあまりに人間としての本質が失われてしまったのではと悲しいばかりです。私はすべて人材育成があつての社会作りだと考えております。高松もご多分にもれず高齢化社会に突入しております。その中で立派な方々が活動の場を失い退屈な老後を過ごしております。その方々のお力を借りて子育て、教育の有り方をもう一度高松が全国先駆けて組織を構築し子育て、そこから高松の行政を考えればとてもいい高松の町作りが出来ると思っております。余計なことでご免なさい。
高松市の活性化について言えば交通の便であると思います。たとえば琴電ですが、今でも琴平まで一時間かかります。私が子供の時と変わっておりません。現在では車で行っても40分くらいで行けると思います。これでは電車を利用する人々が増えるとは思いません。市・県が協力して琴電の活性化をお願いしたい。もう一つは環境、省エネを考えるなら初期投資は大変でしょうが、思い切って市内電車の運行に取り組んでいただきたい。そうする琴により市民が公共交通を利用しようと思うと同時に高齢化社会には役立つと思います。宜しくお願いします。
特に不満がなく、幸せに生活しています。
仕事に専念して、時間的に精神的にゆとりの実感を感じられない人が多いのではないかと私を含めて思います。従来のコミュニティだけで活動している傾向があるだけで出稼ぎ居住者、大学生、地域コミュニティ無関心の方など市政に期待しているのみの住民が半数ぐらいいはいるのではないかと感じています。市政に携わる公務員が全力を出して取り組むことしかない。最近ラジオニュースで海のごみ回収掃除等を県下の各自治体が協力して費用等を負担して実施することを知りました。大変良いことだと感じました。高松市は香川県の発展に努めてほしい。各取組みが表面上の活動にならないように、担当公務員は自覚して報道・広報を通して住民が実感できるものとして欲しい。引き続きいろいろ活動お願いします。
私は高松市以外のまちの事をほとんど知らないのですが、他都市より高松に住むことになった人の意見も広く聞くことが大切だと思う。
今でも高齢者や障害者に対する差別の目があります。生きたいと思ったお店でも車いすやバギーが通らず入れなかったり、公共施設も使いにくいことがあります。(トイレにユニバーサルシートの設置など) 健常者の目線だけではなくハンデのある人々からの目線でもまちづくりをしていただけたらより高松市が素敵なまちになると思います。(車イストイレに子供のオムツシートだけではなく、ユニバーサルシートをつけてもらいたいです。体が大きくなっても立ってオムツが変えられないのでいつも車で変えなければならず困っています。)
四国の玄関にふさわしいサンポート周辺の充実をしていただきたい。栗林公園玄関周辺の環境作りをしていただきたいです。もっとお洒落なお土産店、くつろげるカフェなど栗林公園に沢山来てもらえる施設の充実を。
市民に対して意識調査も必要ですが、職員さんの教育・指導も必要です。支所に寄ってもあいさつもしない職員もおり、また何分もパソコン画面を見つめる人もいます。職員さんは市民から常に期待されているので、勤務時間には真面目に仕事に励んで下さい。(あくまでえ一部の人です)

記述内容
今はなんとか車の運転でこの体を自分で運んでいます、これがいつまで出来るのか不安になる時がある。時々バスが通るのを見かけてもガラガラ、屋間の電車もしがり。決して年寄りに優しい街とはいえない。死ぬまで元気と思いを攻め、ウォーキングやら体操教室に通ったりしているが限界がある。老人施設はあちこち見かけるが進んで入る所でもない。さてこのアンケート、私のような者が参加してもとても役立つとは思えない。市役所も支所も余程のことがない限り足が向かない。役に立ちそうにないアンケート、どれぐらいの費用がかかるのかと思うと寒くなる。無駄とは言わないが。
交通マナーが悪い。香川県は他県に比べ問題視されている事を踏まえると、市内のみならず町・村においても人々が利用しやすい交通機関を整えて欲しい。また、市民病院の移動など病院の整備がなされているが、土地は本当にその場で適切であるか考えてまちづくりに臨んで頂きたい。
平成の合併症により細かいサービスが出来てないのでないか疑問に思います。人と人の付き合いもあまりなく、隣近所の結付きもないし私の親の時代の時のようにお互いの心が通じ合うような社会になるよう願望します。
交通マナーの悪さの改善に取り組んで頂きたいです。
同じ税金を払っているにもかかわらず、旧市内と合併した地域とでは道路・教育・環境等、行政支援・行政サービスの格差を感じる。
スウェーデン等の社会福祉国家では民意をうまく市政に反映する努力をしている。その一方でマイノリティー（市政からもれた人：市政の恩恵を享受できない人）への優れた対応についても具体的にカーフティネットを作り、守る体制を有している。半年ごとに新しい市政を行い、アンケート等で評価する等、大変に思えますがインターネット等のマルチメディア、いわゆるビッグデータの扱いを通して市政を変えることは可能だと思われます。必ずマイノリティーの方への対応に目を向けるこのことを守ればどんな大胆な市政でも具体的な成果及び、スピード感を出せると考えます。社会政策の実験場と呼ばれるくらいの大膽な社会の方が多様性を求める世論のニーズにあったものを見つけやすいでしょう。多様性を維持するには個々が一生懸命生き残る努力が求められます。安易に多様性と口にするのではなく、命乞いする気持ちで毎日過ごす社会を目指したいと思います。
教育（大学誘致）の育充実卒業生の受け皿となる企業の誘致。観光客の誘致と受け皿となる環境、景観、施設の充実。若者人口が増えないと町は活性化しない。若者が定着する環境づくりが重要と思う。京都市なんかは全て兼ね揃えていると思う。まち自体の人口が増え経済が活性化しないといくら施設整備しても利用者のない無駄な箱物。税金の無駄遣い
教育・誉めることも必要ですが叱ることも必要・公衆道徳を身につけさせること・先生自身の人間性の向上・人間的に暖かい先生を守る教育現場を作ること・モンスターペアレンツに対し毅然とした態度をとり管理職がそのことに対し責任を取り安心して教育にとりくめる教育環境を整える
トンネルや橋梁河川等の点検をして悪い箇所があれば大きな事故にならない様早急に修理して欲しいと思います（これは県の管轄になるのでしょうか？）
高松市に公共交通機関の利便性が悪過ぎます。整備された道路の整理はこれ以上全く必要ないと思います。それより県と協力して市内を頻繁に走るバスや路面電車を走らせて欲しいと思います。関西や岡山に住んでおりましたがどちらも車を持たなくても十分に生活が出来る環境が整っておりました。交通事故減少の為市民の身体活動量増加の為にぜひ公共交通の充実を図って下さい。また市民病院の移転についてですが仏生山は適当ではないと思います。同じくらいの規模の機能をもつ済生会病院が近くにあるのに必要がないのではないのでしょうか。現在ある香川診療所の場所に合併して作れば香川県の南の方に住んでいるお年寄りも利用しやすいのではないのでしょうか。せつかく建て替えるなら意味のある移転にして下さい。

記述内容
高松市は山間群・平野郡・海岸郡と充実した自然環境を持っています。自然環境の保全はさけては通れない課題であることはまちがいありませんがまずは高松市が四国の首都を目指して市民・地域・行政が連携してまちづくりを進めていく必要があると思います。産業商業農業居住自然環境それぞれある程度のエリアに分かれている点も有効に利用考慮に入れ住みやすい環境をつくったり県内外から様々な人(特に若者)が集まるような環境(産業部門 商業部門 文化部門各部門の活性化具体的には食品以外でも香川産の商品開発や便利な商業施設有名なブランド店やレジャー施設の誘致芸術祭も含め新しい高松文化もちろん各部門をトータル的にとりこんだ新文化の創造を行う)を整えてゆくゆくは高松に住みたいと思わせるような又近県の若者があこがれるような街づくりを進めてもらいたいと思います。極端な話公営ギャンブルや各種産業廃棄物の最終処分受けおいなどリスクの高い案件(なんなら米軍基地?)すら考慮にいれてビビらず強い高松市のまちづくりを進めてもらうことを期待します。その反面で地域の結束の強化や教育(特に人間教育)の力を入れてもらえることを切に願います(人間教育に関しては民間でも行っているスポーツクラブでの指導のあり方やボーイスカウトや緑の少年団ほかおやじの会など地域で青少年に関わっているものを含む)
高齢社会は進むと思われるので介護施設を充実していただきたい
高松駅前に緑があればいいと思います。各地域のイベント情報を発行(発注)してほしい
①市保健所春日町にある動物処理場をわかりやすいようにする道路マップ ②動物死がいの処理場を確保しどこにあるかわかりやすくする。道路マップ ③グリーン地帯マップ(一目で覚える高松のみどり)工場の縮小で工場地帯のグリーンベルトが消えている。家庭の木が小さくなっている。家は 50 坪地上を確保する事。建築基準法改正する事 ④自治会のレクレーションを市から指導する事・バス旅行・工場各所等の見学・地域を知る見学(道をしらない人が増えて)⑤地域の先ばい 65 才以上の人の小中学校へ教師の補助をする(専門でなくてもよい)
信号の所の人と自転車は少しも守られていないもっと個人が考えるべき 人と自転車の所もテレビでよくうつしてもらいたい
安心して老後が送れるように在宅での支援の充実お金持ちに有利な介護保険ではないサービスを。年を取っても元気で年寄りもいるので高齢者が高齢者を介護できる生活を。どうしても在宅での介護が困難なお年寄りのために施設の確保
サンポート高松のお店のチョイスが悪い 行きたいと思う店がない せっかく高松の玄関なのになんて残念です。県外から来た人もがっかりだと思います。(東京出身のためあまりにもお店の選別が悪くておどろきました)もっと駅ビルのように活用できるようにして欲しい(GAP やユニクロなどあって当然のお店が入るべきです)
サンポート高松は県外の方々からとても交通の便が不便だと不評を耳にしますので、サンポートをPRしたいのであれば空港からのバスの増便が必要だと思います。赤字事業は廃止して下さい。高松市の声が聴ける機会が少ないと思います。ネットやメディアなど利用し、市政に対する声が聞きたいです。生まれ育った市なので廃れる光景は見たくありません。少子化対策の充実をお願いします。
自治会の集会所について 住民が高齢化し、地域内には立派なコミュニティセンター等があるのですが中々参加しにくく、最近何年も住まわれていない空き家が目につきます。維持管理する条件で安く借り、シルバーセンター等で最小のリサイクルをしてもらい利用させてもらえれば使い道は自治会以外にも老人会・婦人会・防災会・子供会等々、周知会・講習会と沢山あると思います。百世帯以上の自治会には一カ所は欲しいですね。
丸亀商店街など現在開発が進んでいるが、何回も足を運びたい!!と思う店舗が少ないように思う。郊外に住んでいるがバス・JR・琴電などの交通機関の整備が不十分で本数が少ないので利用しようと思わない。本数・ルート・価格の検討をして欲しい。
このようなアンケートをしても私みたいに市政に関心がない、分かりづらい人達にもっと理解してもらえるような取組みを進めていかないといけないのではないかと思います。
・警察署の管轄する地域が決まっているようですが、私の住んでいる辺りは境目になっているようで路上駐車を取り締まりや、事故をした時などにすぐ対応してくれず面倒がられる。安心して暮らせない。・子供の医療費の助成期間が短い。・市の浄化槽点検は全く無駄だと思う。人件費などもったいないのすぐにやめるべき。

記述内容

最近生活保護とか身体障害者とか不正に受給している方がいます。それは行政が甘いのではないのでしょうか。あまりに回りにずさんにそれらを悪用している方がいて腹立たしく思い、行政はどのような調べでその人たちが生活保護を受給しているのか？大きな家に住んで奥さんや子供がいて行政がそれを許すか？本当に生活に困って仕事もなく、明日の米さえ買えない人を行政は見て見ぬふりして老人が一人で生活しているのを見て可哀想に思う。書類が揃わなくてはと行政は言うけど、字を書くのも書けなくても行政はいつ何ときも自筆で自筆と言う。高齢者の独り暮らしについても行政がもっと力を入れて欲しい。高齢者の独り暮らしが孤独死を見て見ぬふり。税金はきちんと払っているのにずさんな行政についてどうかと思う。もっとしっかり高松市を守るのなら行政がしっかり守ってだんだん住みにくくなる高松市です。

高松市の人口を増やさない限り発展は難しい。人口を増やすために、・経済の発展 ・収入の安定 ・生活の向上 それを目指そう、君たちが！！それが市役所の務めだ！！県もそうだけど、市もだ！逃げたらだめだ。

サンポート事業など箱モノ行政の失策に伴い、公務員の給与が減り続けている現状を重く見てもらいたい。この上、中央(政府)の言いなりになって給与カットを行うことは絶対にあってはいけない。高松市としてももっと改革を促進する行政を行ってほしい。学校教育も市独自に 35 人以下の学級づくりを現実のものとしてもらいたい。中央の言いなりで良いとわかっていることをしないのはおかしい。①道路を通るのは良いとして側道があまりにひどい。自動車用にはアスファルト整備されているが、側道はガタガタのコンクリートだしマンホールや側溝があり、うっとうしいし雨の時には滑りやすい。担当者は自転車に乗って巡回してもらいたい。②一般道路の中央にドットの白線があるのは良いが、自転車が通るところまでにそれがあるのは大迷惑。それを避けて通っていますが、事故が起きたらどうするの？☆車からしたら自転車が道路を走るのは迷惑だと思うはず。せめて自転車側の道は(アスファルトにして)グリーン等で色分けすべきです。夜は車のライトが当たると自転車道とわかる工夫をして欲しい。100 円レンタルは素晴らしいと思います。でももっと借りて走ってもらうために、サイクリングロードの整備が必要です。自転車で観光客を呼び込むのも良いのではないかと思います。

高松全体が一体となって統一感のあるまちづくりを進めていくべきだと思います。

そもそも高松中央球場を無くし、中央公園にしたのが失敗。高校野球が県営に移行し交通の便も悪くなった。おのずと観客が減り、活性化がなくなった。サラリーマンなどの人たちも昼休みのほんの短い時間でも野球好きの人や母校の応援に行く人たちがいた。今ではそんな人たちや交通の便が悪く行けなくなった人が大勢いると思う。またサンポート高松の開発は大失敗である。企業の誘致もあまりなく、税金の無駄遣いである。先を見通したまちづくりが出来ていない。生島に陸上競技場を誘致することもできず、丸亀市にもっていかれたことも怠慢である。街づくりについて何が必要か。行政にとってどうすれば良いかという保守的な考えでは活性化はできない。

医療や介護など知らないと利用できないサービスがあり周知が不十分。サービス利用出来る対象者に積極的な広報をしていない。市役所に相談に行っても詳しくない人が対応してくれたらそれで終わってしまい、サービスの紹介をしてくれず行政サービスにも格差がある。対応する人ももっといろいろなことを知っておくべき。

何か月前に高松へ帰った人にこのアンケートはおかしいです！！10年間香川を出て、合併で高松市になっているから高松市政の事はさっぱり！！

私の住む団地内の道路は危険なほどボコボコに老朽化している。私道なので改修のお金を自分たちで負担しなければいけないのである。はっきり言って意見をまとめて一家族(一世帯)数万円のお金を出すのは難しいと思われる。こういう話は結構多いのでは？私道を公道に届けを出せば変更できるのだろうか？ という相談を気軽に出来るような後方のやり方があればいいと思う。最近では自治会を作らない団地などもあり、広報が手に入らない世帯もあるか？全世帯に行きわたるような手段はないのか？税金はほぼすべての世帯が負担しているのだから公平にお願いしたい。

公共の窓口で思う事一仕事内容量に対して従事者が多すぎるように思われます。その窓口はとても必要で利用者に便利な場所なのですが、いつ行ってもとても暇そうで一人で十分と思われます。あとの方は座っているだけ。又、期日前選挙場

もなぜあんなに人が必要なのでしょうか。それこそ税金の無駄遣いだと思われます。多分何名かはアルバイトとしても賃金を支払っているのでしょうか、職員だけでは無理なのではないでしょうか。内情はわかりませんが人件費からまず、税金の無駄遣いを見直してほしいと思います。道路(中央分離帯など)の雑草が放置されていますが、これは国道なので市は関係ないのでしょうか？街の道が整備されていません。

記述内容
夏祭りをもっとスケールの大きな祭りには出来ないだろうか。徳島の阿波踊り、高知のよさこい祭りは全国区になっており、香川県も追従出来る祭りを企画発案してほしい。それにより香川県の活性化と新たな雇用も期待できる。出来れば四国四県の最大観光イベントに！ 東北のねぶた祭、博多どんたく、広島の花火フェスティバル等に負けるな！ 讃岐うどんを武器にして、誰でも参加できる楽しく、賑やかな祭りが良い。
・アルバイトは全部やめて民間へ発注する。長期の人が新しい人をいじめると人から聞いた。民間なら訴訟問題だ。・役所内を監視カメラでインターネットで見れるようにする。・公共工事の落札率を発表する。・部落ごとに要望を聞いてタクシー会社に委託して週二回くらい病院とスーパーへ送迎する。・屋島の有料道は廃止する。・庵治と屋島東の間にもう一本橋を架ける。(埋立地の方へ) ・屋島郵便局の所にある水門はよくわからない。汐入川の方で水位を調整する。
1、高齢者や障害が利用しやすい公共施設を整備又考慮してほしい。 2、高齢者や障害者を労わり尊敬する教育を将来を担う子供たちに教育してほしい。
他県から高松へ観光に来た人は、高松に名所ではゆっくり出来なくてもう一度来たいと思わないという。今言われている癒しの効用が高松にはないらしい。韓国客がもう一度高松に来たいと思うような効用スポットを造らなければならないと思う。折角高松市の面積が広がったのだから多島美や森林浴、そしてアロマテラピーなどの癒しのひと時、地元で採れた食材を使った食べ物、飲み物などを生かして観光客が非日常を体験できる街づくりを進めていけるといいと思う。
市の発展には人口増が必要。人口増加施策として子ども手当、誕生御祝金(例:一人目30万円、二人目50万円、三人目100万円)、保育施設充実
お金の問題もあると思いますが、香東川の道路側の草刈りを春から夏にかけて二回ほど刈ってほしいです。草が日にすごく高くなって不用心です。
公務員の公務員による公務員の為の行政はやめるべきである。市民会館と県民会館近過ぎ、同じ活用で無駄では！ 40代の私でもわからない差別同和問題とは何か、逆に一般人が差別されているかも。
太田南地区の公園の設置を早く進めて欲しい。又、交通量の多い道路であっても(裏道)歩道はないし、自転車の無謀な運転も目につく、小さな子供が安全に歩ける交通整備を求める。※特に他県から転勤で来てから強く感じたのは、“自転車の(特にお年寄り)身勝手な運転歩行”です。車道を平気で走行し、後ろを見ずに道路を横断…びっくりしました。これではお年寄りの交通事故は減りません。お年寄りが安全に自転車の乗れる道路、そして指導を強化してください。(※平地が多い高松、移動の手段に自転車を)利用するお年寄りが多いな～と感じました。でも…高松はとても住みやすいです。環境も良いです…
中心市街地に統治が偏っている。サンポート高松は重荷になっている。郊外の住民は市政を実感できない。
信号待ちの時に運転手がタバコの吸い殻を捨てるので、毎日掃除をしなくてはいけなく困っています。道路に捨てないで家庭に持ち帰り処分してほしいです。
今は福祉施設にお世話になっておりますが…家庭の事情で急入所しなければなかった時に、特老などは難しく有料の所に入っております。だんだん経済的に負担も大きくなってきています。老人がもっともっと安心してゆっくりとした老後を送れるような誰でもが、値段の安い施設に入所できるようにもっともっと福祉を充実させてほしいです。
充実した商業施設と饅頭などの飲食店に恵まれ、交通網の不便なく、自然の美しさも堪能できる土地柄にあって住むには快適なところだと思います。市民サービスに関しても過不足感じる事は有りませんが、今後の地域の賑わいを考えた場合、韓国資源を生かし切れてはいないようなも感じます。瀬戸内芸術祭の成功により、一時の観光客増加は果たしたものの本来の意義であった諸島部の独自の地域性の魅力を理解して貰えたかは疑問が残る気もします。著名なプロデューサー指揮の元一過性の来県者の増加に頼るよりも、継続的な地域の魅力創造こそ将来にわたっての活路を見出すのではないのでしょうか。幸いにも当地には名の通った源平活戦の史跡を始め、まだmだ世間の認知に埋もれた歴史的・文化的資源が散逸しています。それらを広くコンテンツとして集約し住民自らが信念と自負を持って地域を世に紹介出来る取っ掛かりになると考えられます。地域自らが誇りを持って産官学と連携しながら、恒久的な賑わいの創出を目指す、これこそが世情の変化に流されない地域社会の豊かなあり方ではないのでしょうか。まずは今以上の地域の魅力の掘り起こしについて活性化を望みたいと思っております。

記述内容
若い時代に働いたときは行事とか市政に対して参加していましたが、出る機会が減ると状況も新聞などで知る程度で、積極的な意見も出ず、十分に答えられ申し訳ありません。特に西部地区の方は公共交通が非常に乏しく、県立中央病院、市民病院なども移転すると老人など無理が多くなり、これから先が不安です。市政も大きな課題山積みでしょうが少しずつでもよくなる様期待します。
道路に面していたり、地域の人々の往来があるところ、又は地域の人々が危険と感じる空き家の撤去を条例等を作って速やかに行ってほしい。南海トラフ地震も想定されているので。
自立支援法以外の市の助成金をもっと充実させてください。
※車を運転しない者にとっては、高松市は住みづらい。どんどん高齢化していくのに何の対策も取っていない。※レベルの高い大学がなく、若者が大学入学を機にどんどん県外に流出していく。公共交通機関が不便な香川県にはもう戻らないという子もたくさんいる。 ※高松は住みやすいが、何ていうか新しい住宅地が無造作にポンポンといろいろな場所にできていて、美しくない。また昔からある家では今でも平気で庭でごみを燃やしているし(笑)町に正直賃貸の人はそれが嫌で引越しを決めるという人もいる。そういう細かなことには市政の方は気が付かないとは思いますが、住んでいる者には大事だったりするということを知ってほしい。
市民との意見支援は要望を素直に聞く必要があることから、従来の一部の団体代表の意見のみならず、仲良く声を聴ける場を工夫していくことが重要と考える。まちづくりは特に世代間・地域間の相違もあり、困難性はあるが一極集中とならない配慮が必要である。
高松中心はきれいで楽しいですが、田舎からの交通費は高い。ショッピングは好きでよく出かけるが、ほかの人は何年もいかない。今は車に乗れるが、年がいけば買い物難民になると思う。若い人の仕事が少ないのに、まだ天下りの人が多くいるが、どうにかならないでしょうか?人数の少ない地域に市所やコミュニティセンターの職員はいらないと思う。暇そうです。数年前までは市報も各自治会長の玄関まで持ってきていたが、最近はこちらが取りに行くようになり高齢者は大変だそうです。
屋島の山上をもっと活性化させてほしい。もったいないと思う。
生活保護受給者も医療費1割でも支払ってもら。何十年も真面目に働いて、年金が生保受給者より少ないのはどう考えてもおかしい?真面目人間がバカみる社会はダメ。
まずは1日市町と合併町の格差を無くしてほしいです。どちらにも優遇されているところ、又そうでないところが有ると思いますが、結局最後は「合併したから」の一言で片付けられ、なかなか改善されないことが多いように思います。また、まだまだ市職員が多過ぎると感じます。一般企業では考えられないほどの厚遇がなされているのですから、それに見合った働きをして頂きたいものです。国分寺支所に限って言えば、対応のかなり悪い女性職員も見られます。何様?と思わせる対応をされ、いつも気分が悪くなります。一般企業ならすぐクビになるレベルです。改善を希望します。地域コミュニティが自主性を持って自立した活動を行うことは今後の地域社会において非常に重要な意味を持つと思いますが、それに市政がおんぶに抱っこにならないで欲しいと思います。例えば、街灯やカーブミラー等の設置、道路の白線引きなど、子供たちの安全を守るために設置して欲しいものすら、地域自治会等の承認がなければ施工できないというのはおかしいと思います。責任の転嫁ではないでしょうか。何にしても、何かが起こってからでは遅いのです。何かが起こる前に早め早めの対応をお願いします。そのためには、地域や住民に密着して常にその声を聞くことが大切だと思います。柔軟な対応を是非お願いします。
高松市は旧高松市と塩洋まで縦長の市です。生活の格差はすでにありますが教育の格差も少々あると思っています。高松市の子供として格差の無い細かい所に気をはって高松市の子供として平等な力を持つよう希望します
このアンケート自体無意味であり無駄です。
太田小地区には公園が少なく子供達の遊び場が少ない。その点中央小の所はどんどん開発されていて便利だ。とても不公平だ。税金の延滞者(小学校の給食費)などには子供手当をあげない。もったきっちりと延滞者にははらってもら。税金のむだづかいしない。同じ所ばかりに公園を作らない
①農地の耕作放棄地の対策(解消)について私は屋島において小規模農家で高齢の昔人間であって農地を荒らさないという意識が大切と考え飯米農家で頑張っています。近年農産物の価格の低迷で採算があわずに農産物の生産意欲がなくなり又農家の高齢化も加わり耕作放棄地が年々増加の傾向にあります。観光地でありながら景観は悪くなり病害虫の多発の要因をなついているので。対策としてたとえば◎太陽光発電はどうか◎景観作物(ひまわり菜花など)◎家庭菜園など(地域の特産品土産物)行政農業委員会など関係機関一係となって研究検討して現場の指導をお願いしたい。②冠婚葬祭の簡素化(心のこもった儀式にする)の指導

記述内容
街を活性化するためにはまず流通の向上を図る。そのためには現在玉藻城付近のコトデン踏切を高架化できる様にコトデンに強力に働きかけを行うこと。浜の町～サンポートに至る太い幹線路の確保も重要。経済面での活性化があってこそ市民独自の市政参加への意欲の向上はないと思う。衣食足りて何とやら。まず財源を確保したらサポート地区が魅力ある経済重点地区となる様ふり向ける事が重要ではないかさらに定年退職後の高齢者雇用対策も強力に推進して社会保障費が少しでも楽になる工夫が必要なのではないかと 以上
海辺より山手の環境整備、振興してはどうか
今回は広く市民から意見を聞いたわけだが次はタイプ別に分析してはどうか J・U ターン組の方 一次 3 次産業の後継者の方転入組の方など短期的にするとは全国どこでも同じ金太郎あめタイプ 長期的にすることは瀬戸の都高松の特色を出すものであるべきと存じる
高松市民は交通マナーが他県に比べて悪いと思います。もっと教習所の段階から教育する必要があるように感じます 以上
12 年以上高松に住んでいないので問 5 問 12 は問題がむつかしすぎてこたえられませんでした。今は両親を介護するのに家族は別々生活費も余分にかかり自身の親を看るのは収入にならなくて体力もなくなりストレスがたまります。私も親も年金生活で入院しても有料の部屋にはとても入れてあげられません。高松市でも介護されている人介護している人の事も考えて頂けないでしょうか
田が宅地になっているのを止めるような政策を行わないと業者が勝手に開発して農地がなくなり将来大変な事になる。今後少子高齢化で山間地の農地がどんどん自然にもどって行く中市街地の農地迄なくなると食料の自給に困るようになる時代が来る。行政で不要な農地を買い上げる政策を実施して農地を守ってほしい
自動車および自転車の交通マナーがひどすぎる。ルール自体を知らないのではないかと感じてしまう運転が横行している。市民の意識改革を促す活動を進めなければ区分整理をしたところで何も変わらないように思う。個人的な意見としては横断歩道と自転車横断帯の幅が逆なんじゃないだろうか?商店街で見られる真ん中を自転車が走行する区分には賛成なのだが統一されていない現状がまた残念に思う。
①コミュニティ協議会の設立により市民に対して行政サービスが悪くなった②市役所の職員がもっともっと住民のためにサービスを行なってほしい。③高松市保健センターが各地区に保健委員会の設立させておいて最近では事務局的な業務を随分委員会の役員におしつけている市全体でも職員はコミュニティ協議会にまかせている④高松駅前の空き地に九州の中州のような屋台村を作る⑤サンポート海剛の空き地に多目的グラウンドの設置観客が 10,000 人ぐらいのスタンドを作る。野球サッカーが併用
市の発展教育の向上は必要。それと共に人間として
・市民の文形店に集客力があり中心市街商店街になぜ集客がないのか分析する必要がある・市民病院の移転について高額利用を中心とした設備を投資して県内の一つしかないような病名を治療する病院にすべきと思う。アジア地域の外国からの患者の誘致健康診断と観光を組合せたツアーを考案し運営すれば活路があると思うが・市の特産品であるキナシロ分寿等の盆栽を観光ツアー(海外)を組み、体験ツアーを組み 帰国時には土産として購入されれば活性化にはならないか。行政支援が必要。 体験で余った時間は栗林公園琴平他の観光の組入れ、食のうどん作り試食体験瀬戸内の魚を使ったにぎりすし体験 温泉入浴等をミックスした観光ツアーはいかがか。行政が中心になり ・市民病院で・・人間ドック・盆栽・・体験ツアー・・うどん・・体験ツアー・・にぎりすし・・体験ツアー・・温泉入浴ツアー・・温泉については分散しているものを的をしぼり整備が必要。セットにしたツアーを作る
公立幼稚園に子供が通っていますが延長保育や預かり保育をしてくれれば社会にも復帰しやすいと思います。小学生からは乳児医療が切れ毎回病院へ行って会計を支払うのが苦痛であり病院へ行けなくなりました。低学年のうちはまだまだ病気になりやすいし歯科医院にかかることも多いです。他の市町村(県内)では中学校までか小学校卒業するまで医療費がかからないと聞いたことがあります。子育て世代なのでできれば子育てがしやすい環境のまちづくりを希望します。給料も税金で引かれているので子供を産みたくても産めません。2 人か 1 人が限界です(将来が不安なので・・)よろしくお願いします。
今の子供たちが将来香川(高松)で就職したい住みたいと思えるような町づくりをしてほしい。
私は現在高齢者ですが今後あと数年で自動車運転は無理となります。自動車の運転が無理となれば行動範囲がせまくなり又病院等に通院も困難となります。高松市として高齢者に対して交通機関の利用者とかタクシーのチケットの交付等もう少し考慮して頂ければと思います。そうすることにより高齢者の交通事故も減少するものと思います

記述内容
ヒト・モノ・カネの効率的効果的な活用 ムリ ムラ ムダを無くす固定観念にとらわれずより柔軟な考えでかつ迅速に動く手続きを優先するのではなく現状の出来事に重さを置いて動くこういった意識改革を元に行政や市民が町づくりに挑めばあらゆる事を実現可能にすると思う。人を育てることで自然と良い町(街)になっていくように思う。
地域コミュニティなどたくさんの人のボランティアとかお世話して下さるには感謝の念を大部分の人々はしていると思います。でも一部には一つの役職とか代表等に何年も長期にわたりついてよからぬうわさの元凶になっている事もあります。人づてに聞く事ですので本当かどうかの有無はわかりません。
市民の為に少しでもよくなりますようにお願いします
瀬戸内海に面したこと風光明媚な自然をできるだけ次の世代に手渡して欲しい。今経済優先、活性化の名のもとに開発しすぎないようにして欲しい。今高松市は活気があり美しいです。◎人材が国の基本と思うのでその育成に力を入れてください。県政・市政に関心をもっている程度でこのアンケートをよみ何でももう少し勉強し突き詰めて日頃から考えていなければ答えられないと反省しました 以上
現在整備中の屋島陸上競技場についてスポーツ文化の振興での整備には賛成ですが交通渋滞騒音等の問題の対応を十分に行ってほしい。香川は自家用車利用が多く単に公共交通機関の推進と言った言葉での対応だけでは渋滞対応ができないと思われる。道路や駐車場の整備はもちろんのこと自家用車の入場を強制的に制限する等のおもいきった対策をお願いしたい
もっと子育て支援に力を入れてほしい。母子父子家庭に支援してほしい。
まだ高松に住みだして 3 年で子どもも幼稚園へ行っていないのであまり公共施設などの利用で満足感や不便さは感じていないのですが幼稚園選びをしていて他の市では、公立でも給食や預かりがあったりするのに高松では私立にいれないと利用できない。となると仕事しようと思ったら私立に入れるしかないのはちょっと不満に思います。あと家を建てる時などの補助金が他の市より少ない。期間限定でも補助金がでるとたすかる。県外から転勤でこられているかたたちは高松は住みやすいってよく言われているので他県よりはいい町なのかも。公園も多いし外を歩いているだけで子供はしげんと友達がふえていきました。
街中の空き家、市郊外の空き家+休耕地等をインターネット等で公開して利用しやすいバックアップの仕組み作りを提案していく事により人口減対策、地域活性化の一助につなげていく
瀬戸大橋をはじめとする本州との連絡橋がかかって以来の高松の衰退は顕著となっている。折角のロケーションも活用しない。行政の考え方にはとても疑問を持たざるを得ない。どこかのマネをするのではなく地元の良さを見つめなおしお金をかけることばかりに目を向けることなく本来の良さを再確認していただきたいと思う。香川県は全国一小さな県である。これは逆にとればすみずみにまでゆきとときサービスが与えられるのだと考えていただきたい。だからこそ行政に向ける期待は大きい。交通事故のワーストにあげられるなど悪い面の改善も大切だがコンパクトで身軽である分いろいろなことに挑戦すべきであると思う。どんどん前に向かって新しいことにも積極的に一歩をふみ出していきたい。市役所の窓口で必ず口に出される「今までは～」「いつも～だったにで」ということはヤメにしていきたい。民活はもう古い。市役所自体が民間を上まわれることで市民全体が変われるであろう。住み良い自慢できるわが町高松を構築していきたい。期待している。以上
昨今景気回復の兆しがあると報道などで目にする機会が増えました。とは言え個人レベルでは未だ実感するには遠い印象を受けています。そんな中で地元の中小企業の方大変苦労していると聞いています。こう言った企業努力を評価する為に「名水 10 選」や「名川 10 選」などのように差し障りの無いジャンル絞り「企業 10 選」といった形で評価されては如何でしょうか。これにより市民からも地元また離職者や帰郷者の再就職先支援として別の形での補助金があれば安心出来ると思います。例えば住宅支援や情報支援といった形でもサポートがあれば心強いかもしれません。あるいは成功したら(再就職)の体験談があれば更に励みになる筈です。それと朝夕通勤時の渋滞事情も大きな問題です。時間ごとに道路の交通量自体を調整するなどして緩和を目指して下さればと思います。最後に福祉分野にもっと注力して頂けると安心出来ます。長くなりましたが市政に期待していればこそです。1 人の高松市民として今後のより良い街づくりに期待させて頂きます。
高松市に限らず全国的に 10 代の凶悪な犯罪が増えており幼稚園や小学校での道徳の授業をしてもらいたい。人の気持ちが分かる様な子供が増えればよりよい町になっていくと思う。
サポートに民間商業施設を入れるなどしてサポートにもっと人を集める(神戸のハーバーランドのように)県外へ出なくても 20 代 30 代が遊びに利用できるようにしてほしい。市営駐車場の料金の値下げ

記述内容
私は転勤族で他の地方から来ましたが残念ながらモラルに欠ける人が多い気がします。・赤信号になっても通過する事・横道からとび出してくる事・一次停車しない車 etc.・ゆずり合いの言葉かけをしない方々・あいさつをしない大人や子供など ほんの少しのことを大切にすることが大切だと思います。自分と人のつながりを大切にする市政であってほしいと思います。いずれまた転勤でよそへ行きますが高松がよりすばらしい市になっていただきたいと思います。
こういった市民の不満をぶつけるようなアンケートにおいて○印の最大数を決めるとは取り組む気がないと思われるから止めた方がいい。最低数を決めるに至っては何の問題もないが最大数を決めるとなるとアンケートに対する不満がたまる。イジメなんてものは人間が人間である限りなくなならない。だが教師が見て見ぬふりをしていると悪化するだけだ 高齢者と被害者に相談する勇氣があるなら被害者nならぬしやり返すだろう。よってそんな意味はない。
月 2 回の広報たかまつを楽しみにして拝読しております。特に施設行事、催し等気に入ったものには参加しております。子育ても終わりに自分の余生を送り健やかにくらししていくことを考え市の色々の行事を多くしていただいて参加しやすくしてほしい。仏生山の市民病院を早く建つことを願ってその病院の中で老人が楽しめる施設等があると楽しく病院へ通いたいもう年ですので……
水道料金と合わせてくる下水道料金が高いと思います。せめて下水道料金が半額位になればいいと思います。
・マイカーの市内乗り入れを規制し公共交通機関利用の促進を図る・国内外から観光客の誘致を協力を働きかけ特に修学旅行生の呼び込みを行う・一層の行政改革を促進し公務員・議員等の特権を解消し市民に公平感を与える・自動車道の整備
高松市のアンケートなのに高松市の業者に発注しなかったのですか？
私は世界の他都市の事情や政策について殆ど知りませんが、もし健康ならまず第一に研究対象にすべき国があります。それはシンガポールです。耳にする諸々の情報から沢山の政策ヒントが得られるような気がします。高松市の未来像、政策課題などここに活字にされた諸々の施策は文句のつけようのない文言に満ちています。しかしこれらを政策深化させ施行に移行させたところで高松市としての都市の特色は出てきません。従って市民・地域社会、行政の目標も焦点がありません。日本のどこにでもある普通の都市の一つになる他ないのであると思います。必要なのは市民・地域社会、行政が情熱を傾けられる都市づくり(まちづくりよりも次元が違います)一体となれる目標都市を見つけることではないかと思ひます。魅力ある都市をつくらうではありませんか。例えば研究学園都市、芸術都市、コンベンション都市、●●漁業都市、逆回り遍路道、空ネット四国巡回空路、潮流発電都市、施設園芸研究都市などうどん県香川のように特色を一語で表せるような特色ある都市目標をつくるのが一考と思ひます。スローガンがあれば市民行政の一体感をつくることができます。そのスローガンに沿った動きも出てくると思ひます
商店街への自転車の乗入れ禁止はよいと思うが日赤前(菊池寛通り?)の自転車道は車と接触しそうで通れない。障害者が安心して歩ける歩道の整備 小さな起伏もつまずきそうになる。スロープがあるのはよいが手すりが必要 手すりがないなら小さな段の方が歩きやすい(車イス使用でなく歩行が不安定視力弱者高次脳機能障害者より)
・買い物できるところが少ない・交通機関が不便・高速道路がこむ(2車線化)
質問の内容が不適切なものが多い。具体化した提案型の質問では無く一般的で抽象的な表現が多過ぎる。首都圏に比べ発展が遅れており中心部ですらシャッター街である。役所での対応も悪く二度と住みたくない土地である。アンケートを取る前に市民に好かれる役所となつてはいかか？期待はしていないがこの様なふざけたアンケートは送付頂きたくない。厚顔無恥な選択はやめて頂きたいと思う。内容を精査し回答したくなる様なアンケートにする事を願う。非常に不愉快だ！！
介護施設と●●のタイアップは必要不可決だが要介護者を抱える側からみて施設寄りにはならぬ様注意。市役所職員の退職後の再雇用(58才)について多額の退職金を受給し年金も共済年金も優遇されているのだから遠慮して若者の未就職者に職場を与えてやるべきではないか?若者が困っている

記述内容

合併して市民税が上がった地域もあります。高松は全国でも市民税が高い方なので将来負担が大きくなりそうで不安です。瀬戸内芸術祭開催で芸術面や産業面で少しは活性化されていていいと思う。芸術祭は今後も続けて欲しい。子供とよく色々な公園に行きますが古くなっている遊具や遊びづらい遊具は交換して欲しい。丸亀町グリーンが OPEN して商店街・街にはにぎわいが戻ってきたと思う。グリーンでのイベントがもっとあったらいいと思います。災害の時の避難場所が分かりづらい。自治会単位でこの地区の人はここですよとわかりやすく PR して欲しい。高齢社会が進行していくでしょうからこれから福祉面をもっと充実させて老人に優しい街づくりをして欲しいです。

私は高松で生まれたわけではないのでふるさとという感じはないのですが高松の海サンポートからの瀬戸内のながめはとても好きで一生あの景色を見て過ごしたいと思っています。そして今私は葬祭業に従事しているのですがまだ海への散骨を希望される方はほとんどいないのですが全国的にみて散骨の場所方法について明確なものは非常に少ないです。まちづくりは生きている人のためにするものだと思いますが人と人とのつながり後につながってゆくものとして私はあのサンポートの一角に散骨できる特別な場所があれば良いのと思っています。お墓まいりに行くにも遠くて行けない それにどんどん墓地の場所もなくなってきますが死亡人口は増える一方です。自分の親も自分もこの高松で人生のひとときをすごしてここで散るとというのが何ともいえない安心感になると思うのです。サポート(近郊)で散骨したいという人は全国にいると思います。ちがう意味で全国から人が集まってきます。それくらい良いところだと思います。私も高松の海でしずかに眠りたいとそう希望しています。

土地の調整区域を解除したためマンション及び借家等が多く建ち並び飽和状態になっている。
自然が失われている様な感じ。
その度に良い生活が行なわれていると思わない。

子供が外で安心して遊べる社会になれば幸せと思います。今は、交通事故、不審者、空気汚染、日光、放射能等全く遊ぶ事が出来ない。私たちは大人特に高齢者少しがまんをして子供達に明るい未来を残してほしい。医療費も高齢者の人は周りに何回までとか回数を決めてほしい。たまに病気になり病院に行っても老人ばかりで生産年齢の人が会社を休んで行ってもなかなか診てもらえない病院も小児科があるように老人科とか働いている人科などにわけてほしい。若い時からコツコツと貯金して老後にそなえるのは日本人の義務じゃなかとと思う。税金のムダ使いはやめてほしい。自分の職場の清掃は自分たちでして清掃会社に委託などせず民間のようにして下さい。町の清掃も毎月のように自宅付近はするようにしたらよい

返送が遅れてご迷惑をかけました。1)本アンケートが民間の委託業務作成であったせいか不適切?な問いかけが多くて無意味な印象を受けました。例)P9 重要度が一番でないとする市民がいるでしょうかこの他聞いても聞かなくてもまち作りに行行政としてどうでもよいような具体性のない質問が多すぎます。つまり行政側が市民に意見をきいていますというだけのジェスチャーだけの様な気がしてなりません。具体的に問いつめられると行政者としては困るのでしょうか 2)変わらないとか普通という数字が多かったらどうするつもりか、俺にまかせとけという高圧的な姿勢が伺われます 3)提案 1 個々の問題について具体的に何が問題か、どうしてほしいのか聞いてくれないとどうせ何も変わらないという空しい気持ちで一杯になります。経費(税金)と時間の無駄としかいいようがありません 2..... 以上その他の観点から反省を求めます もっと課題を持って意見を聞いてほしい。どうせ官僚は自分の思いと違えば取り上げないだろうという拒否反応があります。失礼しました。お役目ご苦労様です。このアンケート作成者は民間会社だから役所への報告では無視されるという気がしてなりません

現在地域のコミュニティ協議会を指定管理者に指定しているがコミュニティ協議会は指定管理者になじまないし各地域の住民も指定管理者になっている意識がありません。私の考えは高松市コミュニティ協議会連合会を指定管理者に指定し、全コミュニティセンター一括管理の方が合理的だと思います

第6問~12問の問題は時代が変わったからって上、下、全体を100%達成する事を目標とする為、行政は赤字になる。金がないのに時代の流と言って出支する。金が出来れば考えず生た金を使う。バカな役員が多い。一般の家庭を考えて下さい。金がないのに物は買えない。あなた方は税金取ればよいと親方日の丸の考え方、天下りを採用し市民政策局政策課といった名前をつけてこの様なアンケート(馬鹿げた)作ってどうなる。考えれば 1 問もいらない問題はないと思う。良くバカな問題を出すものだ。アンケートの支出金はどれほどの額か。生た金を使って下さい。

市民のマナーの悪さの意識(自転車 車など)改善

記述内容
数年前サンクリスタル高松前の道が2車線から1車線へとなりました(自動車道整備のため)そのためあの道が混雑するようになり市街地へ行きにくくなりました。車線の減少をともないむりに車線変更してくる車もしばしば見かけます。またサンクリスタル前の押しボタン信号がひんぱんに使われる為に車の混雑がさらに深刻化しているのではないのでしょうか。交通量の多い道なので歩行者や自転車利用者の安全はとても大切です。しかしそれによって自動車が運転しづらくなっている状況はかえって交通事故が増えるのではないのでしょうか。ここ数年でくらしにくいな改善してほしいなと思うことはこの1点です
高齢化率が30%を超える10年後の高松市の町づくりをどうしていくのかビジョンに対する行政の役割また市民の役割を明確に示して欲しい
少子高齢化が今後も長期に渡って続くと思われるので老人の孤独死も増加する可能性もあります。老人が安心して暮らせるよう福祉施設の充実が必要
アンケートには答えさせて頂きましたが主婦目線でありよくわからないまま〇をつけている所も多くあります。ただ雨の少ない高松なので合併処理浄化槽などすえた後の管理など個人としては少し気になります
・歩車道分離 狭い道など危険特に運転マナーが悪いので・・！ ・下水道事業の整備(住宅地のドブがくさいくさすぎる)不潔極まりない ・田畑の遊休地がもったいないし虫などいて不潔きちんと整備しないなら売却して有効利用すべき ・住宅地の歩道や道路に犬のフン ・田んぼのあぜ道と間違っているのでは?市民のモラルが低すぎる ・市街地と住宅地の格差がひどい 中途半端な住宅地なのでアンバランス。住宅地なのに牛をかつている人 くさい
まちづくりには人々が基本となっていることから市民と行政を行う公務員のモチベーションが下がらないような事が大切だと思う
「うどん県。それだけじゃない香川県」このところ香川県元気になっていると思います。瀬戸内国際芸術祭、うどん県、時間旅行物語も魅力ある内容でぜひとも行ってみたいです。香川県の漆芸も若い人達に後継してもらいよい作品をどんどん作ってもらえたらいいなと思います。身近で感じる事は朝近くの川の土手を犬の散歩をしているのですが草ぼうぼうで荒れているので残念な気がします。少し手をかけて四季の花を植えたらどうかと思います。そして災害が少ない香川県に住んで他の県の痛ましい水害やら地震等の有様がこのところ特にひどいので何とか手助けできないかと思っております
子育てをするにあたり男性の給料が低すぎて女性が働かざるをえなくなっている。子育てはやはり親がやりたいしやるべきだと思っている。保育所に預ければいいという問題ではない。まずは男性の就労状況の改善が必要だと思う。女性が社会進出すればその分男性が仕事からあぶれるのは当たり前でその分女性が結婚出産をあきらめなければならぬなどのしわよせが来ている。本当の男女平等とは何なのか両方が幸せになるためにはどうすればよいのか考えていくことが大切だと思う
こんなアンケートは無駄! お金ももったいない(時間 労力)以後控えるように!
生まれてから同一校区内に住んでいますが校区内の幼稚園や保育所に入れないのは不満があります。新しい住宅が増え人口も増え活気が出てきたのは良いですが人口増加にともないそういった施設も整備してほしいものです
ひとつずつ大変でしょうが町づくりの成長を願っています。子供の問題、近所の付き合い等昔と違って来ました。私達は隣同志の連体を密にし、子供達を●●に●って行ける様な社会に、そして有能な企業の誘致。就職等若者にますます配慮等よろしくお願い致します
中心地と農地が近いのもっと農業との交流を活発にしてもらいたい。環境先端都市等特徴を出してもらいたい
市税を使ってアンケート調査 個々の意見が反映されることを切に願う
アンケートの返信封筒や小さい郵便法の特別扱い?
箱ものの新設より現在あるものを有効に活用したい 市職員が多すぎませんか?議員を含めて
生活保護の手当や母子手当を不正に受給している者がとても多いのは市や県も認知していると思います。私のまわりにも実際います。そのような者を徹底的に取り締まる必要があると思います。なぜならば暴力団関係の者に多いからです。そのような市民だけではないですがこのような事を放置しておけばまじめに一生懸命に仕事するのが損のような気がします

記述内容
車の運転マナーが多くの市に較べてとても悪いようです。ゆずり合うことがあまり見られず特に横断歩道で歩行者のため止まることも目にしません 7月 25 日驚く光景を見られた 木太町の国際ホテル少し東の大通り歩道も広々としているその歩道の真中へ駐車しているようです。2 台も堂々と道を小さいで小学生連れの若い女性が出てきたので注意しましたが免許証交付時更新時に十分な教育を！！香川県の交通事故は日本中でもワースト 1・2 だとか聞いています ・子供の食育に力を注いでください。給食の週 1 でも地元の食材を中心にメニューを作ったりして小さい時から食材に関心を持たせると将来自分が必要な栄養素を考えたり不必要な添加物なども取らないですんだりします。大人になってからメタボを減らそうとするより子供の時から食べ物を選ぶ眼をつけてほしいものです。おいしく食べるということで勉強になるしくみを考えて下さい
地域の資源を活かしながら住みよいコンパクトな街づくりをめざしてほしい。拠点となるエリアの充実と自然と健康づくりにつながる街なみにしてほしい
丸亀街とかはきれいになりましたがもっと他の商店街も力をいれてきれいに便利にしてほしい。税金は平等に使ってほしい。ヤクザの人が道路のまんなかに駐車してこまる とりしまってほしい
商店街の町づくり活性化に参加協力してほしい コミュニティセンターが中心になって色々な活動してほしい
このような抽象的な難しい質問を並べてみて何が分かりどう生かしていくのか明確になるのか疑問に思う。単なるデータ集めではないのか。この結果が市政に反映するとなればそれはそれで疑問である。アンケート回答は単なる主観であり客観的なものではない。統計学的に多数集まると大体の傾向は掴めるかもしれないが
高齢者が増え介護必要な人にはゆうせんして色々な事をするべきだ。今の日本があるのは高齢者の方のおかげなので大切にすべきだ
福祉に力を入れてほしい
最近あまり住人が使用していない陸橋をとりはずす事はできないものでしょうか。老人が増えてあの階段は非常に登り下りが危険だと思います
介護予防に力を入れてほしいと思います。今は 65 歳以上の人で介護保険の認定を受けていない人を対象に検診しその中から生活機能の向上が必要な人だけに介護予防教室も開いているようですが保健センターだけの教室でなく各コミュニティセンターで地域の人たちが自主的に参加できるものにしてほしいです。食生活の間違った点体力の増強筋力アップの仕方など具体的なことを細かく指導する人を多く育て地域で保健活動を活発にし生き生きとした健康な町づくりをしてほしいと思います
安心して子どもを産み育てることができるまちにしてほしいと思います。高齢者福祉については現在利用していないのでよく分かりません。このアンケートの結果がどのように公表され政策に生かされていくのか市民の目にふれるようにしていただければと思います。
今現在生活させてもらっている町では高齢者になった私には今までは何にも不自由と思わずに子供を育ててきました。近所の方々とも自然につきあいも出来学校(子供の小学校中学校)での事など何でも話せて心が通じ合えて良かったです。現在人から話を聞いたり見たりしていると何だか人と人の間がみずくさくなった様に思います。それ以上に「人の事は我、関せず」みたいに感じています。学校生活でも先生方と父兄。生徒が各々考え方を合わそうとしたり話し合いを持とうとせずに自分の立場の事ばかりを押しつけている様に思います。教育委員会の方々もその中での立場だけを考えると各地区の学校の「中身」を現実に見て意見を伝えてない様に思えます。家庭での生活は親の責任ですが学校では校長先生を初め先生方が優しいばかりでなく厳しい言葉態度で生徒に接してほしいと思います。まちづくりには子供達の教育が大切に思います。※生活保護費を受け取っている方の中に離婚をして同居生活をしている人や身体が健康なのに何度も入院したりしている人がいます。審査の様な事は何故できないのでしょうか？
1、高齢者の過保護の福祉は必要なし高齢者には自助努力を勧めて欲しい 2、行政は必要性が低くなった事業を廃止する勇気を持ってほしい(例 給食サービス 敬老会のおみやげなど)
美しくやさしさの心でありたい。にこやかに楽しく暮らすことが一番に思う。(82 才です)
高松市は住みやすい町なので現状を保ってほしい。又安全安心を提供できる町になってほしい
各自がどの程度で満足できるかで考えが異なってくると思いますが昔に比べ非常に便利になりより住みやすくなっていると思います。自然も残っているし戸建て住宅に暮らし身の丈にあった生活をしている毎日です。若い人達が意見を言える場所、機会などつくりこれからの未来希望など大切に持ち続けられる社会に

記述内容
交通と観光 ①サポート 駅前には観光バスの駐車場がないサンポートには単車の置く場所がない玉藻城公園にはぜひ必要(バス駐車場②市内廃校(城内中 薩屋町小 築地小跡を有効利用③松島の刑務所栗林の少年院を尼島等へ移し再開発を行う④琴電と JR の交わる栗林駅と乗り換え可能な位置へ移設⑤高速と琴電の交差している三条では高速道の幅を拡張広くし、杉山へ阪神間の高速バスを停留させエレベーターで乗り換え(琴電)可能にする⑥「男木、女木」を活用する市民には無料(年 10 枚)を配付し自然に接する機会を増やす。せめて普通の遠足には組み込む(瀬戸内海を教育する)⑦高松駅の路線の上を観光バス駐車場単車の置き場等をつくる。太陽光パネルを設置 JR 四国ではダメ⑧市道の交通安全を図る 停止線をすべてに引く交通規制は地元住民の意見を大切に(ケイサツにあまり聴かない)⑨瀬戸内海をもっと活用する レジャー釣(プールのみでは子供はたくましく育たない)⑩この意見聴取りは大変良いことと思います
私の近所は昔から自治会があり地域の人とのかかわりがありますが最近住宅が回りにでき顔を合わせてもあいさつができてないような現実です。礼儀を知らないといったらおしまいですがお年寄りにはよそ者はなあ・・・とマンションなどといっしょで隣の人は？という状態で環境が少し悪くなって来たように思えます
私の住んでいる場所は過疎地なので小学校の子供も少ないです。これから先そうなるのだろうと考えるときがあります。子供の人数が少ないと競争する事もあまりないと思います。同じ校区で何か楽しむ様な事をしてあげたらいいですね
瀬戸内芸術祭の内容をもっと広くアピールしてほしい。どの島で何がおこなわれているかはあくしにくい
香川のスポーツチームに対して県の取り組みがひどい。もっと県が応援していくべき。J2 にカマタマを上げたいです。
香南町より高松市内に行く手段(バスの回数が少なく)が少なく不便です
高松市中心に自転車の道路が作られましたがそれはそれとしていいと思いますが歩道と自転車がとる間にさくがありますよね。あのさくは無い方がいいと私は思います。かえってあぶないしぶつかりそうになります。又自動車がわの道がせまく自転車の道が広すぎる所もあります(香川大学から西にむかって)自転車道路があんなに広くなくてもと思っています
高松市は環境にめぐまれ災害被害もなく住みやすい町だと思います。めぐまれすぎて良さに気付かなかったり甘えている所も感じます。具体的に日常で欲望を書かせて頂きます。・高松駅の南の方に高速バスターミナルが出来ようとしています。可動したら安全のために警備員を配置して欲しいです。小・中の通学路通勤通学者自転車の飛び出しなど事故のないようにして欲しいです(それと市民に見える時計をつけてください。通りすがりの人も見られるような)・交通ルールの強化(信号無視してもパトカーから見ているマイクで注意とか追跡するとか一旦停止 自転車のマナーの悪さ。自転車の放置(マンションは一軒につき3台までとか決まっているため自転車を持っていないためか盗んでマンションからはなれた所に放置している状態 痴漢と一緒にですね。すぐ直近からでなく2~3人後ろから行動し、証拠隠滅状態。自転車の通れる歩道橋では自転車に乗車したまま。本当危険すぎます。交通ルールの強化をお願いします。四国 朝日 読売 全社に ・市民のひろば市報は新聞社に依頼したらどうでしょうか?又タウン情報誌の配布の仕方としてスーパーなどの前に置いたりすると市民全員に届くのでは、ちなみに東京のとある都市は新聞に入っていて駅などにも置いてありました。経済効果もあり単身 学生などにも届くのでは 乱筆乱文で本当にすいません。又返信が遅れすみませんでした。
屋島の再開発について昔から屋島の観光は香川の観光の中心だったと思います。今後も県が観光県として成立つて行く積りなら屋島の復活なくしては成り立たないと思います。それで一言意見を書いて見ます。(意見)・屋島の復活はケーブルの復活なくしては無い。(1)ケーブルが廃止になった一因 廃止になった理由は色々あると思いますが一つは当事者利用者の増加に(来訪者の)駐車場の絶対数が足りないと思う。(ケーブルに乗ろうと思って来ても車が置けない状態が起こり来訪者が減った)(2)その対応 ケーブルカーの整備は勿論であるがケーブルカー前の広場四口村讃岐東照宮等と話し合い提携してあの一帯に大きな駐車場を作る(ウドン屋さんや喫茶店等とか連携して)再開発(3)完成後の予想 来訪者(観光客や周辺の小中学生等)は喜んでケーブルカーに乗り山頂へ水族館を見たりゆっくり散策(当然店へも寄る)後下りて四口村や東照宮等を拝観後ウドンやお茶を飲んで帰るいわゆる循環型周遊が出来る。(四口村等の宣伝にもなる)現在山頂の駐車場のレストハウス等が閉店している現状を見ると事での来訪者は次へ急ぐために山頂でゆっくりしない必然的に店へ寄らないし買い物もできない 観光客はゆっくりと歩いてもらう事が必要
全体むつかしすぎてどうおたえたらいいのかわからない
敬老会を自治体ごとに行なっていますが参加人数も減少し参加者の割合が少ないので財政的にも中止しても良いのではないのでしょうか

記述内容
1.県外から居住して5年以内ですが交通マナーの悪さが特に気になります(黄色でとまろうものならクラクション鳴らされたり後の車はとまった私の車をめき赤信号で進入したり) 2. 就業しましたが医療福祉現場のブラックにはビックリしました。時間外手当がなかったり強制ボランティア的な休日出勤はあたりまえでした。(社長の主催のハーバーベキュー飲み会等)女性が仕事をもちにくい地域性なのだと思います。現在は主婦ですがこの2点については県全体で取り組み改善してもらいたいと切に思っています
私がちまちまのまちづくりに対し関心があまりないのか今高松市がどんな取組みをしているか全く知らない。過去のまちづくり(サポート建設 商店街の再開発等)についても実際に建設過程になってから知る事が多かった。私のような関心がない若者が多いと思うのでもっとどんなまちづくりをしているか積極的にアピールしてもらえると有難い
1、このアンケート調査内容で答えが出ない問いもある。どのレベル具体的にはどうなのか分からなかった 1、調査の委託先が株式会社ぎょうせいであった為に先ず本当の調査か疑った。高松市内または県内の企業へ発注は出来なかったのでしょうか。予算だけではないと思われるが 1、調査アンケートの判断材料として高松市から取組み実績等の資料があると参考になる 1、厳しい時代ですが高松市の発展のためによろしくお願い致します。
①観光地 屋島の復興をお願いします ②交差点の信号を分離式(県方の前の信号)にする ③高潮対策のため朝日町の堤防は素晴らしい ④通学路の交通安全のため老人会のボランティアの交差点の人数を増やすこと、町によってはボランティアがいない交差点がある(子供から交通事故を防ぐ)⑤地震対策の都市計画(海沿いには個人住宅は建てない)(海沿いは工場地帯産業地帯にする)(埋立地には個人住宅は建てない)⑥水不足対策(早明浦ダムからの水を蓄えるため池を何ヶ所か作る)⑦学校教育の中に健康に関する病気の関する授業を増やす※高校野球全国高校駅伝が弱くなった。(昔の高松商業の高校野球の時代の復活に期待する)
多肥下町に住んでいます。小学校が1000名をこえて町全体が若者であふれています。良い点もあるけど60才~80才以上の暮らしには少しざわつきがあります。町を作る時学校のうけざらを住民の意見も聞入れてほしいです。コミュニティセンターも古いように利用者はふえています。大勢いる場所なのになぜコミュニティセンターは新しい場所にならないのか?不思議です。
市の町作りではありませんが… 町内における近年動物(特に犬・猫)が非常に増えている昨今ですが…人とのトラブルも非常に多くあるようです。裁判沙汰になることも…。問題は猫の飼い主について一言苦言。どこの町内でもあると思いますが、糞の問題、近所の塀の中に糞をすることが多く、非常に匂いがきつく困っております。近所の付き合いもあり、掛け合いも出来ず。私の近所では常に7~8匹の猫がいます。発情時期には数十匹以上の猫が鳴き叫びます。又、車庫の波板に飛び降りた時の衝撃音、朝2~4時頃非常にびっくりします。夏には網戸を開けて家の内に入っている時があります。猫も犬と同様に放し飼いせずに、鎖をつけ散歩、飼育する様に出来ないでしょうか… ※動物(犬・猫等他)の飼育方法のパンフレット等、各家庭に送ってはいかがでしょうか…
高松は住み安い町ではあるが、どこが中心かが分かりづらい。瓦町のデパートとバラバラとそれぞれがやっているという感じで一体感が感じられない。芸術・文化のイベント等も交通の便、駐車場の不便等が満足できない所が都会と大きな隔たりを感じる。
今ホンズ川の整備その他いろいろやっておられますがなかなか難しい所がありなかなか進んでないとの声を聞きましたが、ある周辺の80才以上の人から聞きました。ちっと雨が沢山ふったら水が沢山流れてきてそのうち人は年に2回位はタタミを上げなければいけないそうです。80才以上の方がそんなに大水が出るたびにタタミをあげたりたまったものではありません。大変です。どうか河川のことよろしくお願い致します。河川のごみをひろうだけでなく草刈りとか土砂をとるとか夢はホテルがとぶような景観を目標にがんばりたいです。本州川と香川用水の事よろしくお願い致します。ため池も水がひいたら土がかたい時にごみ拾い、いろいろな物をとりのぞく事したらいいと思います。

記述内容

いつも試合の開会式に思うことです。春秋はいいのですが炎天下(猛暑)の時あのあいさつの事です。「市民が所用の為・・・云々」「係りの者が云々・・・」とダラダラ暑い最中にテントの中の涼しい日陰でダラダラのあいさつ・・・うんざりします。我々中高年者にはこたえますよ！！いっそのことテントから出て炎天下でなさって見てはいかが？サッサと切り上げることでしよう～！！雪花の散り北風の中でも同じことです！！世界情勢などテレビ新聞で知っております。どうして「暑い中水分補給でがんばって下さい」位のおしゃれなスピーチをして下さる方がいないのでしょうか？身体を本当に心配してくださっているのでしょうか？◎介護認定の事です。私の嫁の母上が脳こうそくで歩行が少し困難で(まひの為)父君の介護を必要としておりますが市の方が来訪の折にはまことに元気で十分生活には支障がない等と強がりを持って困るとの事 それに引換え近所の御夫婦は朝に夕につえもなく一人で散歩しております。ご主人は自転車でどこまでも走っておりますし夜中に一度朝に一度犬の散歩をしており近所の方々とも口を揃えてどこが介護がいるの？と不思議に思っております。お元気なのは誠にけっこうなのですが・・・その方々と嫁の母上と同じ級らしいので・・・？・・・行政はどんな水準で決めているのか不思議です。訪問日を決めないで突然とは行かないのですね～。うちの主人は正座が出来ず(事故で)自転車に乗れず走れず(すねを痛めて)近所のその方に言うことがあります。うちの主人よりあなたの方が(会議認定うけている人)うんと元気ですねと！そしたらその人の答えは〇〇病院ならすぐ認定してくれるよ！！〇〇病院は難しくてしてくれないのだけど・・・との答えでした。うまく説明出来ませんが身近に疑問がありましたので・・・不公平やなあ～～～

・高松駅周辺をもっと活気づくイベントを考えてほしい ・県立図書館がサンメッセで遠いのでサンポートの中に分室を作ったらいいと思います。

サンポート港にコンビニなど店が少しできればと思います。

私が住んでいる三谷町は新しい住宅街が増えていく一方で、子供が安心して遊べる場所や、スーパーなどが全くなく不便です。高松市内ならこの地域でも自転車があれば、普段行動するのには問題ないような街づくりをしてほしいです。太田、伏石等に公園やスーパーが集中しており、こちらは何もありません。あと、小学校・中学校に関しても第一小学校・中学校などのキレイな学校があるのに、田舎は人数が増えてやっと校舎の増設が出来る環境。それもなかなかでした。龍雲中に関しては、そもそもお自転車通学だったうちの場所が自転車置き場の足りなさで徒歩になっています。多肥校区の一部を太田中の校区に回すのも一つの手だと思います。多肥の住宅数が増え過ぎた為、子供に犠牲が…。可哀想です。何とか早めに対策をお願いします。

問10に関連して、栗林小と現在の場所で建て替えは無茶では。決定事項だが校区内に現在もマンションが次々建設中である。適正な人数での教育はできない。当然に桜町中も同様。部活も人数が多過ぎ、個々に目が届かないのでは？食育大切とか言いながらセンターで一括で、あとは各校に配達はおかしい。経員削減ばかりで人間は育つのですか？

高齢化社会になってゆく中、公共の乗り物だけでは病院・買い物等は不便です。ドアツードアのタクシーが安くなる助成金の活用をお願いしたいです。

①琴電のモノレール化 ②県立中央病院・市民病院・エアポート並びに、瓦町・丸亀町を絡んだインフラ整備 ③高速道路の整備、片側の車線の全面開通等

・文化的施設はそこそこ充実しているが、催される中身に魅力のあるものが少ないように思われる。それ故、せっかくの施設の役割が十分に果たせていないように感じる。 ・国で決められている事であろうけれど、福祉関係に働く方や保育所、幼稚園に携わる方々の給料がその労働力に対しても一般企業に勤める人達に比較しても低いとされている。この点の改善に努めてほしい。

このアンケートに対しての苦情。私はこのアンケート対象者の長男の嫁です。本人より途中まで記入したが、分からないと持ってきました。80歳を超えた人には大変だと思います。対象者をもう少し考えて送付してほしい。

色々書いては見ましたが、何分年が年故家庭内の事さえもまともに口出しを控えている次第なので市政がどうのこうのと不足も何もありません。いろいろありがとうございます。

市長は顔が良いのでマスコミにでも使って市民に思いを話してほしい。選挙がなかったので市長の顔を知らない市民もいます。(顔を見るのは正月の対談をテレビ、新聞で見る。名前を見るのは市長の請求書に大西秀人と書かれている時だけ)

屋島のすたれようは近くに住むものとしては心苦しいものです。昔の賑わいを知っている者にとっては、開発をお願いしたいものです。

公園は沢山できたけど、犬と一緒に散歩できる公園を造ってほしい。

記述内容
丸亀町グリーンが良くなって人が集まっています。この様に南新町、トキワ街等も再開発をして昔の人の集まる場所にして欲しい。(駐車場をもっと多くして、価格も安くしてほしい)
多肥地区に住んでいます。現在最も気になっていることが学校環境です。子供の通う多肥小は児童数 1000 人を超えて、校舎増築を繰り返してもパンク状態です。土地増成にあたってこのような問題が起こることは予想されていたと思います。冷房に関してももようやく工事が始まったようですが、今年の夏は間に合わず子供たちは 30℃を超える教室で小さな扇風機で過ごしています。全体行事となると周辺は大混雑し、マナーの悪さも露出します。学校の先生の義務でない交通整理も必要となり学校だけでは対処できていません。このような状況をいち早く改善して頂きたいです。また公共交通機関へのアクセスも非常に悪く、近くの琴電太田駅まで自転車で10分かかります。公共バスやコミュニティバスは桜井高校までなので、住宅の多い小学校以南にはとても不便です。現状に合った改善をお願いしたいです。
若者が生活しやすい町にしてください。高齢者が安心して生活できる町にしてください。
・行政サービスをオープンに公正に、市民に知らせる。伝えてほしい。・横のつながりを持って、益々高齢社会になると市の対応が不親切でなりません。・人権、プライバシーの問題によりつながりも薄いと同時に、インターネット社会であり市・行政の個人情報の管理にも大変不安である。
1、とにかくにも交通安全。全国ワーストワンでは情けない。2、警察の交通指導の徹底交通マナーがなっていない。交通安全教育が足りない。免許証取得前の安全教育、合格の厳格化、とにかくマナーが最低。
まちづくりの一番身近な施設は、町のコミュニティセンターだと思います。三谷のセンターは一生懸命な取り組みで全国から研修が来るようなところと聞いています。職員が労働時間とか大変そうですが、労務関係はどうなっていますか。又、町民をボランティアだけで協力させるのには限度があると考えますが、何か良い方法は無いのでしょうか。高齢化するのにバスはない、スーパーもない三谷です。
映画などで「レディース DAY」があるけど、なぜ女性ばかり優遇されるのかが分からない。男性への優遇はないのですか。
今まで関心がなくどう答えればいいのかわかりません。選ぶこともできませんでした。すみません。
サンポート周辺をもっと活用出来る様、駐車場の整備をするべきです。レンタサイクルの充実や、屋島から生島までの海沿いの道路(遊歩道・サイクリング)を考えてみては。駅前から商店までの流れを作ためアイデアがないでしょうか。例えば土曜日は中央通を片側通行にして、歩行者天国にするとか、そして毎週商店街と共にイベントを開催しては。観光の方のためにボランティアも地域で募っても良いと思います。駅中にお接待所を作って県外の方の案内の一助に役立てても良いでしょう。
まず高松市役所職員の改変が必要。

【事業所意向調査】

問8 自由意見等について

自由意見については、18.1%（28事業所）の方から、ご意見をいただきました。
記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
3	高松市商店街中心部に公共施設が集中している為に、市全体では利用しにくい点がある。高齢化に伴う対策を講じていく必要があると思います
7	瀬戸内国際芸術祭の開催は大変素晴らしいと思います。高松の特色を活かしたものであると思います。また国内外からの観光客が増える事は高松の発展に繋がっていくと思われれます。ただ常に思うことは高松のまちづくり(香川県も)はヘタだなあとと思います。どなたのアイデアか分かりませんが、丸亀町の再開発、サンポート周辺の土地利用の現状が何を指しているのか、どれもこれも中途半端なものばかり作っていると思います。どの地方都市にも最近ありがちな開発のように見えます。私は昭和の生まれ育ちなのですが、子供の頃は平成の今より高松の町は活気がものすごくあったと思います。新しい物を作っていくながら、高松の伝統や昔の風情も残す所は残し、活かしていくなどオリジナリティの必要性があります。高松とどこの地方に行ってもあるようなまちにはしたくないと思います。刺激的でまた懐かしさのにじむまちづくり
16	トキワ商店街が活気がない。昔からのお店もあるので大事にしつつ魅力的な商店街にして欲しいです。中心部から離れると山や畑、田を職にしている人が多いので大切にしていきたい。中心部でも海があるのは珍しいように思うので活かしていきたい
18	高松市内(中心部)を横切るような川がない。城が海に近いこともあり栗林公園はあるものの、他都市と比べて木々が少なく季節のうつろいを感じにくい。交通マナーが悪すぎる。県人の特徴は以下、改善してほしい。左折時右に曲がるかと思うほど一旦逆に切る。右側通行時は驚くほど。黄から赤になっても延々と突っ込んでくる。右折レーンがあっても曲がれない。方向指示器をあまり使わない等など。荒い。自転車も含め一時停止率悪い気がする。市役所にミラーの設置を頼んでも自治会へ行ってくれと取り合わない。自治会はどこ？誰がやっている？何の権限がある？現に同じ場所で何回も短期間に事故を目撃しているのに。自転車も止まれの表示は良いが、もっとカーブミラーを増やすべき。とにかく運転マナーの向上に取り組むべき。どんな教習をしているのかと思う
19	当社は公共事業も受注していますが高松市の検査官の検査内容が常識から外れた内容である事がとても心配です。高松市の物件になると業者は高い入札金額でなければ受注出来なくなっており、市民としてもコストパフォーマンスがとても低い内容になっています。もう少し仕事の本質を検査する人が勉強していただき適正な内容と金額に近づけてほしいと切に願います
22	何を指そうとするのか明確なビジョンが市民には全く伝わっていない。コンパクトシティ高松というスローガンの意味する所が良くわからない。まちづくりが出来た人作りに力点を置かなければ本末転倒であり、学校教育、指導力育成、青少年育成など学校、家庭を含め、人材(財)の育成できる環境を整備して欲しいと切に思います。世界的な視点で見てもグローバル化の波は加速化しておりこのままでは他国(特に韓国や中国)の勢いに全てにおいて劣勢となるのは明らかである。高松市も平和ボケしないで戦略的なもっとアグレッシブな視点で計画を練り直さなければ全てが中途半端な地方都市となりませんか？だいたいどこの地方都市も少子高齢化の動きは共通しており、行政の目指すところも似たり寄ったりではないかと感じます

NO	記述内容
24	1.中心市街地の活性化と言いながら丸亀町商店街にお金をかけるのは不公平です。ゆめタウンやイオンは皆、自力で工夫して自分のお金で運営しています。税金は公平に使うべきだと思います。 2.もう箱物は不要です。河川や公園をきれいにし、市民が自由に遊べるようにすべきです。みねやま公園に行っても5時前になるとまだ帰らないのかなあ。という感じで見回りに来ます。ひどいと思いませんか？香東川も草ぼうぼうで、浮浪者が住んでいたり野良犬が襲い掛かってきたりします。気持ちよく散歩させてほしいです。 3.サンポートの使用について。組織を統合して窓口を一本化して下さい。この場所は県、この場所は市と言われても困ります。お客様目線で行政運営として下さい。 4.自転車マナーが悪すぎます。学生からピシピシ教育しないと直りません。合わせて親の教育もして下さい。市内での啓蒙活動ではダメです。毎日教師が指導しないと徹底出来ません。また無灯火や携帯電話をしながらの運転は条例で罰金にして下さい。また商店街は丸亀町だけでなく全商店街で乗車禁止にして下さい。いつも危ない目に遭います。 5.まだまだありますが 以上
37	四国の玄関口、中核市としてふさわしい住みやすいまちづくり
38	行政への認識が浅い事もあり、設問の多くで県と市の区別が判りにくく回答に迷う項目が多々ありました。市役所の取り組みをよりわかりやすく訴求し続けることも重要であると考えます。
54	都市と違って子供対策は深刻とは思えない。それよりも会社の支店等出先の閉鎖、磁場の会社の活性化など就業について(60歳以上も含め)はまだまだだと思えます。また、観光についても県外の方からはよくどんしかないと接客のサービス、宿泊施設に魅力がないともよく言われます。芸術的なアピールは成功していると思えますが、交通の便、金額、ホテルなど追いついていないのではないのでしょうか？自然の良さをアピール不足で瀬戸内の事をもっと広めて欲しいです
55	市がコントロールする部分を少なくし、住民中心のコントロールに変更していく。企業誘致は特区を設けて実現すべき。最終目標ではなく変化し続ける事を継続するぐらいの確信がほしい。ぜひ高松に住みたいと思わせる、住む人の生き方を提案出来る様なまちになればと思う。その為の投資は惜しまない事だ
57	行政サービス過大になり国も県も市町村も明治大正昭和の時代と比較して自分で出来る事は民間人自分自身で努力して実行する学校教育にしても自由にのびのびとやっていった。原点に帰って大きく見直す時にきていると思います。余り過保護に成り過ぎているように感じます。自分の事は自分でする民間で出来る事は民間です、戦前の日本人はしたたかさを持って居た様に思います
83	交通マナーの悪さを改善する努力を
85	1.通学路における子供が安心して通える歩道の整備 2.交差点の混雑を援助する為に適当な右折ラインを設備 3.旧い体質の町内会のあり方について自治会制度の根本的な制度の確立(特に最も最小単位での自治会の区別と全戸加入の為の方策) 4.学校での子供のいじめとかいじわるの程度のPTAの認識の差を埋める(特にいじわるされる子供への周囲の大人の対応を良く考える事。これは3.の自治会への全戸加入による交流でもある程度は良くなると思います。 5.都市計画による建築規制の撤廃を望みます。青少年に特に悪い環境を及ぼしたら周囲に健康を害するような施設は規制を強化する
93	私にはコンパクトエコシティや景観条例等が高松の活性化に結びついているのかどうか理解が難しい。優秀で若い人材が都会に出て行って帰ってきていないのは、別の所にある問題を見ていないからかと思っています。住み良いのも大切ですが、働き口があるはもっと大切かも。文化人等一部の人の声で市政が動いている様に感じる時が多々あります。生活している住民の感覚とどんどん乖離していくような気がします。せっかくの愛すべき高松も市民間で格差が広がっていております。何代にも渡って高松で暮らしてきた人間として残念です
97	道路の整備について。西の水道橋から中央通りに行く道がだんだん狭くなり渋滞がひどい。またその途中の高徳線(JR)の踏切が下がった(降りた)ままの時間が長い。JRの件は扇町の高橋から西町へ抜ける踏切は最悪。人は開かずの踏切と呼んでいる。今更高架には出来ないだろうが一案を講じて欲しい
99	東京オリンピックを盛り上げよう。祝日には地域ぐるみで国旗をあげよう。市民である事の絆づくりをしよう。あいさつからはじめよう。和の日本人の心を取り戻そう。皆が恥ずかしくない市民になろう。無法者がはびこらない安全なまちづくりにしよう
107	高松市が発展する為には若者が働ける職場を増やす必要がある。市が活性化するには若い人達に住んでもらえる環境が必要であり最優先と思う。今回は企業に対する施策が中心ですが、子供達の就職迄の支援策も考えてほしい=企業誘致の推進
112	具体的意見として道路の管理とごみの収集は責任を持ってやっていただきたい

NO	記述内容
113	高齢化に対し効率の良いコンパクトシティ構想の実現を
114	独自の産業がないので育成していくべきかと思う(LEDや自動車関連などのように)
121	自動車が不可欠な街であり道路の重要性が高い一方で運転マナーが悪い。また自転車の車道での走行は危険を感じる。交通事故の発生につながりかねない。自転車の利用者に対するルールが必要なのでは(逆走、信号無視など)市民への啓発、道路作りなど、様々な手法で少しずつ改善される事を望む
134	高松市に人が集まるような政策、来た人がまた来たいと思うような高松市を目指してほしい
146	私は高松で生まれ 50 年間事業をしています。恵まれた自然環境で育ち、この地域の素晴らしさに感謝しています。地震、台風被害が他県と比較して極端に少ない自慢の地域であります。大手企業の転勤者が話す言葉は皆同じで、安心出来る素晴らしい高松で永く暮らしたいと話されます。山、海など自然環境の多い中、山の幸、海の幸が新鮮、安価で求められると言います。私は冗談で地震も来ない、台風も来ない、仕事も少ないと話します。この欠点である仕事量の少ない事ですが、当社では交通整備が整っている利点を活かし関西圏の受注を活発に行い、高松の生産地で消化する事でコストダウンを計り、実績をあげています。私は行政面でしっかり後押し頂ける環境をもっと作れば高松市、香川県は素晴らしいまちになると考えている
147	交通ルールの徹底。ルールというかマナーというか全国どこで運転しても恥ずかしくないマナー安全運転への心がけ
150	窓口によって、対応レベル、対応の印象に差がありすぎる。もっと近県の他の市役所の対応を見て欲しいと思う時がある。今後市の人口を増やしたいのであれば、子育て支援や女性の就業支援は重要だと思われるが、問い合わせしないとマニュアルを送ってこない(他県の市役所で当たり前の事が出来ないし、職員が知らないのでそんな事は他でもしていませんと平気で答える)民生委員に相談するとそんな事はないと市役所での対応を謝ってくれる。では本気で増やしたいと思っているのか不安が残る。市の中心部の活性化はすでに時代遅れではないのか？高松は車移動が基本なので駐車場を考慮しない開発には疑問が残る。運転者のレベルも全国的に見て低い。高齢者の運転マナー向上も必要ではないか？
153	高松中心商業地の活性化、にぎわいのある街に戻す必要があります。特に商店街の活性化。駐車場の改革も必要
155	サンポート高松の活性化がなされていないと思われる。もっと市民が憩える場所の創造を考えてほしいと考えます。例えばオープン型の水族館とか瀬戸内の魚を集めたいけすを作り海の近くの観光スポットを作ればと思います

【有識者意向調査】

問1（1）都市として魅力ある点、満足できる点、誇れると思われる点

「問1（1）都市として魅力ある点、満足できる点、誇れると思われる点」については、92.5%（98人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	高松市街地を中心都市市街地には自然あふれる場所に瀬戸内海に浮かんだ離島があり都会から訪れる若者の癒やしの場がある。
2	コンパクトで地域がまだ生きている。自然と都市部が近い
3	コンパクトなので活動しやすい
4	-
5	高松市は生活環境も良く歴史文化良い思い日々楽しく生活をしている
6	まちづくりに熱心な人材が多い。駐車場を備えた施設が多い。近距離で病院や自治体施設へ訪れる事が出来る
7	海山の自然、景色。音楽、芸術などのイベントが豊富
8	自然災害を含めて災害が少なく気候温暖で生活しやすい事。地域の中核都市であり、ほどよい都市規模の中で行政、経済など様々な機能が集積している事。市内にわが国有数の観光地（瀬戸内の多島美屋島栗林庭園など）を有する事
9	四国の交通の中心であり四国内へのアクセスが便利。海に近く発達した都市は国内にあまりなく海からの高松の景観は魅力的である。うどん
10	自然災害が少ない、心配があまりない。お遍路に見られる接待の心がある。道路整備状況がいい
11	海の青、山の緑、整備された市街地
12	1.自然環境に恵まれ災害が少なく 2.子供達の教育により環境
13	1.地球温暖化の影響による夏の暑さ。一部低標高値に於ける浸水被害の可能性は有るものの、自然環境に恵まれ大きな災害がない 2.大きな製造会社、コンビニートは無いが、主要なる三次産業が公官庁の出先機関の多くが存在し、生活面での大きな基盤となっている
14	瀬戸内海に面した地にあり離島がすぐそこにある。物価が比較的安い
15	地方都市のゆったりとした時間の流れ、食文化の多様性
16	高松市中核都市として美しい街、生活しやすい町。安心安全な町である事に誇りをもっている。自然が近くにある(海、山)道路美しい
17	災害も少なく住みやすい
18	現在までは自然災害も少なく、また中心部(商店街)の空洞化も丸亀町グリーン等により以前より活気が出て経済的にも活性化されつつあると思います
19	-
20	自然豊かで商業都市としては殺伐な所がなく、穏やかな都市のように思われ老後もずっと住みたいと感じられる
21	コンパクトで海、山、川と自然にも恵まれ、都市、農業、漁業が一体となった街作りが展開されている
22	高松市は中心部である。サンポートにしてもまた再開発の丸亀町にしても町そのもののデザイン的(近代的)な面白さはあると思うが、機能的には高齢者には利用しにくい
23	生活しやすいこと
24	高松市は面積が狭い点からして道路が整備されているので利便性の高い都市だと思います
25	四国の中心として満足している

NO	記述内容
26	諸分野の内歴史、文化に取り組む姿勢は悪くは無いが、まだまだ生活環境、自然保護が優先される事を望む。市内の道路も計画倒れで危険が予知される所が多く、交通渋滞が増え、事故もワースト1も度々聞こえている
27	環境おだやか、被災少なく、便利が良い
28	学校、病院等施設の集約度が優れている。食料品等は物価が安く住みやすい
29	瀬戸内海国立公園に開かれた港町→島部及び、屋島を含めた地質、地形、景観は世界に誇れる。栗林公園→日本庭園(大名庭園)の最高傑作→世界文化遺産に相当する
30	都市機能が集中しているところ、ウォーターフロントの街、商業施設が比較的充実している
31	瀬戸内海に面した、文化度の比較的良好コンパクトシティであること
32	都市部はこぢんまりとして、自転車でも容易に移動できる広さが好きだ。中央通りは目印としてとても便利だ
33	全市のほぼ小学校校区にコミュニティ協議会を配し、そこを拠点とすることで、調和の取れた市づくりの基盤を整備しようとしている点である。地区毎に異なる地域住民の意識をその活動範囲内であるが、きめ細かく把握し活かすことが出来ると思う。
34	都市として景観よく人々も穏やかであり、住む人も訪れる人も心がなごむ
35	自然環境において北は瀬戸内海に面し、南は阿讃山脈を背にした立地となり風光明媚な所であり、屋島、栗林公園、塩江温泉郷と観光資源に富んでいる
36	私達が住んでいる街は市の中心部に位置し、交通機関(琴平瓦町駅、JR 栗林駅)、マーケット、病院そして商店街(常盤町等)へは高齢者の足でも歩いて10分以内に着くなど買い物弱者や交通弱者と言われる高齢者には住みよい町である
37	将来何が起こるか分かりませんが、今までは災害が少なく安心して暮らしていける都市だと思う。自然環境にも恵まれ公園、緑地も適度に整備されている
38	美しい景観の栗林公園
39	瀬戸内海に面した風光は他に例がない。江戸時代からの歴史の積み重ね
40	コンパクトで融通性が比較的事あること、自然環境に恵まれ住民の心が安定していること
41	中心市街地に様々な機関が集中している
42	海と山の両方の自然環境を合わせ持っていること。国立公園にも指定されている多島美を誇る瀬戸内海の一つの拠点。県立自然公園にも指定されている大滝山、竜王山を擁し、阿讃トレイルの中心。魅力的な歴史、文化
43	瀬戸内海の景観、交通の結節点
44	ゴミの収集がきちんとできている、自然災害が少ない
45	都市としての魅力ではないかもしれないが、水不足以外の災害がほとんどなく贅沢さえ言わなければコンパクトで非常に住みやすい町である。また田舎まちにしては商業施設が多く、中心市街地の空洞化も比較的少なく便利である。教育程度も低くはない。誇れるもの??栗林公園、日本屈指の日本庭園。数少ない玉藻城とあわせて歴史文化面を前面に出してPRしては、屋島も
46	文化活動の瀬戸内芸術祭は定着し誇れる。県外から比較してみると災害が少なく感じ魅力的である。商店街が明るくとってもきれいだ。新しい住宅街に公園があるのは子育て家庭にとっても良い
47	-
48	災害が少ない
49	-
50	創造都市と位置付け・芸術文化(瀬戸内国際芸術祭、高松国際ピアノコンクール、アジア太平洋盆栽水石大会等)
51	自然環境に恵まれ特に瀬戸内海の穏やかな景色は大きな財産。災害も少なく食べ物も美味しい。里山も里海も近い距離。大きな自然ではないが箱庭の魅力
52	文化歴史面について計画通り進んでいると思っている。歴史面については満足している
53	港を持つ都市、台風の少ない地域、松平家ゆかりの庭園(栗林公園、玉藻公園)を持つ都市
54	戦後早い都市計画が基盤となって他都市のまちの不整形でなく、基盤の分かり易い街並みに支店都市であったビルの形容に奇様な色彩の商看板も郊外に行っても比較的落ち着いた住める環境にあること。多島美を世界に誇れる瀬戸内に面し、災害の少ない気候は温暖でそれでいて春夏秋冬の四季のうつろいが味わえる幸せな土地柄の高松であること。
55	瀬戸内海、屋島、中心部各公園、中央通り等の緑など自然的環境と都市的利便性のバランスが良い
56	住宅事情をはじめ物価、医療、様々な面で生活しやすい都市である
57	都市機能がコンパクトな中で集積している街、風光明媚で気候も穏やかな点、支店経済の町なので県外の人々との交流もあり文化度も高いと思います

NO	記述内容
58	気候が温暖であり災害が少ない、海山川など自然が美しい、商業施設がコンパクトにまとまっている
59	瀬戸内芸術祭、音楽コンクール、地元のオーケストラ等、町の規模に比して芸術に対する意識が高いと思われる。中心市街地の空洞化・市民、特に地元の人々の意識が必要といわれるが、丸亀町開発は民間、地元で高い意識をもって成功させた例と思われモデルケースになると思う。現状に甘んじることなくさらなる工夫を
60	魅力ある点、生活環境(山海町文化の一体化)、満足できる点、生活のしやすさ、誇れると思われる点、観光資源(観る、食べる)伝統産業(漆)
61	-
62	古くから歴史、文化の発展している都市である。生活環境はわりあい住み良いと思う。又災害の少ない地域である
63	日本有数の商店街(丸亀町商店街再開発事業)
64	山海の幸に恵まれ、災害も少なく文化経済面においてもバランスのとれた小都市で住みやすく生活環境はある程度整っている
65	コンパクトで利便性が高い、アーケードの長さとしやすさ、街・瀬戸内の美しさ、花火大会
66	高松市都市計画マスタープランに則り、美しい街並みが魅力です
67	海と山に囲まれたコンパクトな街。大都市と比べ物価の安い街、伝統が継承される街
68	コンパクトシティである点(県市の公共機関が狭い範囲に納まっており、自転車の行動範囲にある)、自然豊かである(海、山、両方の遊び場がある)
69	瀬戸内海の島、市街地、平野郡、山間地までを一行政区画として高松市があることはこれからの利用方法によっては魅力あるものになると思います
70	1.気候が温暖であること 2.地方都市のよさがあること →①自転車でいける所に都市の中心機能がある ②ちょっといと里山、海、四国がある 3.うどんがおいしいこと 4.風水害がないこと
71	自然災害の少ない地勢であること。瀬戸内海を中心に自然環境に恵まれている。多様な食材と自給率が比較的安定している。瀬戸大橋、航空便の増加など交通網の整備で利便性が向上。学力水準が比較的高い
72	歴史遺産が数多くある(高松城、栗林公園、屋島など)まちは都市機能がコンパクトにまとまっていて利便性が高く海と山も近い
73	1.魅力ある点・瀬戸内海の都、風光明媚な所な部分が 2.満足できる点・地震や台風が少ない、自然が良好、温暖なのんびりした都市です 3.誇れると思われる点・野菜、食などの食材が新鮮で特にうどんは旨くて安いところです
74	風光明媚な観光資源
75	歴史、自然、文化等、観光や各種交流を行うのに役立つものが多く見られる。歴史上の史跡をいかした感が良く目にし、地方でありながら世界に問う事が出来る、魅力有るものである。都市と共存し少しずつ良くなっている。第一は多くの島々を要する瀬戸内海など
76	四国の都市としては交通の便が良い
77	瀬戸内海の美しい景観があること、城下町として栄えてきた歴史があること、都市のよさと田舎のよさを併せ持つ暮らしやすい都市、災害が少ない
78	瀬戸内海の島々景色と魚類が美味しい事、丸亀町通りのアーケード、三町ドームの賑わい、栗林公園、サンポート等の景色
79	海(瀬戸内海)、山(屋島等)、公園(栗林公園等)等、自然の美しさに加え、街(アーケード街)がコンパクトに美しくまとまっている
80	高松地域内においては、東西の幹線道路はやや不足しているものの、南北はほぼ整備されており地域内の交通が容易であること
81	美しい瀬戸内を背景に整備された市の経済、政治、文化の中心市街地、歴史のある観光地の存在、又全国的に誇れる中央商店街の清潔等々であるが、魅力あるかどうかは少し疑問がありますが、今の本市の現状については満足しています
82	1.市民主体のまちづくり 高松市自治基本条例を制定、地域コミュニティ協議会を位置づけ、拠点として公民館をコミュニティセンターとし各団体の交付金を一括しまちづくり交付金とした。 2.栗林公園と云う誇れる庭園を有する事
83	お寺が多い、人情深い
84	瀬戸内海にある中核都市として各種行政や会社などの中心として活発に機能している。又自然環境に恵まれ、景勝栗林公園や屋島、八栗などの旧跡もあり、田園風景、水や緑の穏やかな風景は誇れるものである
85	コンパクトな町で市内に入り易く、また逆に自動車道のインターチェンジへの進入に手間取ることもない
86	瀬戸内海と多島美、漆の技術、伝統、コンパクトなまちに多様な人、文化が混在していること

NO	記述内容
87	私は大都會の事は知りませんが、高松は海あり山ありで人口も 40 万位で市長クラスの顔も見えるしトップからも市民の中味までも見えるちょうど良い市のクラスと思われる
88	市の中心商店街に活力を復活させた事
89	国の出先機関や大手企業の支店が多くあり四国の中枢都市である点。災害が少ない、温暖な気候。教育レベルが相対的に高い。海山川など自然と共生した都市である
90	-
91	都市化しつつあるが、自然に恵まれている。歴史を大切に、国際ピアノコンクールや瀬戸芸等文化的にも誇れる
92	1.景観 特にサンポート周辺の景観が美しい 2.料理 魚介類の料理が年間を通じて美味しく食べられる 3.利便性 都市機能が旧市内にコンパクトに集中している 4.自然 海と山と両者の自然と簡単に親しむ事ができる
93	-
94	高松市は香川中央に位置し四国の玄関として栄えてきた街であるがいまや過去のものになりつつある。全国に知られた名勝、旧跡も豊富にあり歴史、文化等誇れるものがたくさんある。
95	-
96	コンパクトなエリアにほとんどの施設がかたまっており、何をするにも便利である。自然災害の少ない事と香川用水により、夏場の渇水水不足の心配がなくなった
97	街並みが整備されてきれいです。煙草の吸殻無くて気持ち良い
98	道が整備されていて郊外型商業施設が点在しとても便利である
99	都会の雰囲気、街並み
100	全てに中途半端なある意味女心
101	瀬戸内海をバックにした都市
102	コンパクトシティとしての利便性の高さについては中心部で暮らす者としては満足できる所である
103	地方支店経済のサービス機能集積がもたらした所得水準と雇用需要、全国でも珍しい水城を中心につくられた都市計画、交通拠点性(連絡船や海上交通)から生まれた海辺の公共交通結節、全国有数の従来数を有する高松港、温暖で災害のない風土(移住希望者の増加)100年を超える歴史を持つ私鉄、国立公園第1号の風光明媚な瀬戸内海のベスト景観を有する都市、地権意識を超えて整備が進む丸亀町を中心とする中心市街地商店街、茶道文化が濃く残る伝統的文化レベル、ピアノ保有率がトップレベルの音楽教育が進む都市、庵治石・盆栽・人間国宝を3人有する香川漆等、厚みを残す地場産業、芸術祭で一躍注目をされつつある船で数分の瀬戸内の諸島部を持つ都市、市民県民性がおおらかな人への寛容力が厚い(創造的都市の必須条件)以上を文章化すると、これまでの高松は地方県庁所在の中核市として、国の出先機関や金融機関・上場企業の支社支店が拠点を構え、人と情報の交流が盛んな都市である。小売サービス業の出店も盛んで有効倍率の高さも雇用という点で恵まれている。海から開かれた城下町として作られたまちづくりは水城を町の顔として構え、やがて近代となり港と鉄道が一体となる連絡船を持つ駅という結節ステーションを形成し、連絡船が無き後も他の地域では珍しいヨーロッパ型のステーションとなって現在に至り鉄道やバスが海際に集まっている。同時に本州との窓口機能がなくなった港は諸島部を取り込んだ高松港として豊かで美しい瀬戸内海のゲートウェイとも言える。従来する出船入り船の数は日本有数の数である。また市民の足でもある民間鉄道もまだまだ健在である。気候も温暖で災害が少ない地域で震災以降、移住希望の高いエリアでもある。屋島から五色台からの瀬戸内海の眺めは、国立公園第一号認定の日本を代表する豊かな景観とも言える。丸亀町商店街に特化しているが先進的な中心地区再開発事業で町の顔がつくられつつある。文化的な面でも茶道が盛んで和菓子屋さんが多く、伝統工芸が盛んだった遺伝子が未だに残っている。モノづくりでは医師の産地庵治牟礼のような日本で唯一といえる原材料の切り出し、加工、販売という業態が300社も集積する地場産業の庵治石、近年欧米で人気の盆栽の内、黒松のシェア80%という鬼無・国分寺地区、国内に2箇所しかない技術伝承の漆芸研究所を持ち、3人の人間国宝を排出する漆器を代表とする伝統工芸がある。人となりは他の地域からの人々を受け入れやすいおおらかな風土が移住者には心地よい
104	香川県は温暖な気候と瀬戸内海・ため池等に代表される自然がある。また歴史的に近畿圏に近く、古くから文化・経済活動が盛んであったと言われている。しかし土地が狭い為、次男三男には土地を分配することが出来なかった。そこで彼らに教育を施しそれを財産として県外に転出させるしか方法がなかった。現在瀬戸内国際芸術祭が好評を博している。当然、建築家安藤忠雄氏によるところが大であるが、瀬戸内の自然(海と島)が好評の一因と考えられる。そういった意味で高松の魅力はやはり自然(海、島、山、川、池)ではないだろうか
105	港町、城下町としての個性。商業都市としての歴史、芸能、伝統文化の継承定着。建築物、食、国際的芸術家の魅力、風光明媚。お遍路さんで培われたお接待、おもてなしの精神。一年を通して穏やかで温暖な気候。比較的大型災害の少ない地域

NO	記述内容
106	気候が穏やかで住民の人情もお・も・て・な・しの精神に溢れ、清潔で安全安心な都市形成がそれなりに出来ている。栗林公園・玉藻公園の自然美のみならず歴史的建造物に加えて和舟での観光に県内人のみならず県外からも多くの方が魅力を感じている。道路が整備されて、下水道が普及していること。地元意識が強い事。市長と間近で討論できること。行政と市民の一体化が必要な今、根強い絆とは信頼だと思う。行政が近くに感じられるようになったことは良い点だと思う

問1（2）問題があると思われる点

「問1（2）問題があると思われる点」については、92.5%（98人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	交通網の整備が今一つ不備と思われる。もう少し離島の船も通勤可能な時間までの増便と市街地の交通網整備が望ましい。
2	公共交通
3	交通事故が多いので道路状況や信号機の使い方が他行なのだと思う
4	-
5	環境を良くしてもらっているのは小農家の協力が大きい。小農家を思って政策も考えてほしい
6	瓦町バスロータリーなどメインの場所が危険な環境で、一見弱者対応しているつくりになっているが、実際は違っている。公共交通の便が非常に悪い。（始発、終電など時間に対する本数）交通マナーがいつまでたっても向上しない
7	ハード面はとて整っているように思える。次は中身（ソフト）面の充実
8	人口が減少していく中、郊外への大型店の立地などによる市街地の拡大化を抑制しコンパクトなまちづくりを目指す事。企業誘致による雇用の場の確保を図る事
9	公共の交通機関が未成熟である。高松市がスプロール化している。若者が働く魅力的職場が少ない
10	公共交通機関の整備が十分でない。観光施設整備が十分でない
11	防災対策（特に海と川）
12	地場産業の発展
13	1.自然災害は少ないものの人が基本となる交通事故、万引き、他社会ルール軽視が敬見され社会不安（安全、安心基盤脆弱化）の素となっている。3.平成18年までに行われた合併の効果は発現出来ているのか。合併によるマイナス面へのフォローが弱い。コンパクトエコシティ計画に於ける拠点外の名称等
14	映画館などの文化的施設がすぐ近くにない。バスや鉄道の便数が少なく行きたいところに行けない
15	自転車道の整備の遅れ
16	チャリンコ都市日本一を市長は自覚して自転車のマナーの徹底、実施
17	環境問題に関する意識が低いと感じています
18	県立病院の移転、又市民病院も将来移転してしまえば中心部には高松赤十字病院しかなく今後患者様の集中が予想される。県と協同して県立病院への交通アクセスを早急に考えて通院しやすい体制の確立をお願いしたい
19	-
20	穏やかな都市と思われるがこの環境では若者が定住するのか、他の都市との競争で負けるのでないか
21	一部大型店の影響で地元の商店街に活気がなくなってきている。大型店と連携できる地元商店街の方策を探るべきだ。
22	丸亀町の商店街は近代的なしゃれた町に変わったが公衆トイレが少ない。有料でも良い、その町に合致したそうして通行人にわかりやすく気楽に利用できるトイレが必要。そうすると子供連れの母達も丸亀町に増える
23	商店街の活性化を進めているが市民も必要としているか？（活性化を望んでいるのか）もっと違った形での展開は？
24	逆に道路が完備されているせいか交通死亡事故が多い。運転マナーが悪い。指導強化が急がれる
25	防災、減災の取組み
26	琴電の高架化が消え市内の渋滞

NO	記述内容
27	最近の夏の高温化、田畑の急減、農地転用による宅地化が早く地盤は心配
28	災害が少ないため自治会等組織の危機管理能力、自動車運転者の交通マナーの低さ。水資源の安定的確保
29	中心市街地の空洞化→丸亀町の一部街区とレインボー通りは賑わっているが常盤街、南新町はシャッターストリート。近郊農地の虫食い開発→旧市街化調整区域及びその外側地域の無秩序な開発。中山間地域の限界集落化
30	通学路の歩道が未整備、駅前の駐輪場不足、市街地に児童館がない
31	産業面が弱い。一方観光面では瀬戸内海を活かしきれていない
32	郊外から田園部、山間部については虫食い状態で長い間その状態を放置したため景観は損なわれ田園地帯や山間地帯の特徴ある美観がない。また人の住まない空き家や閉じた店舗も目に付く
33	市のあらゆる分野の問題解決が各協議会を通じてなされようとしている現状で地域への負担は増すばかりである。未来の市の骨組としての拠点として協議会を位置づけるのであれば、個々の協議会の体力強化を願う。地域活動の下支えとしての人材整備によりいっそうの考慮を願う。予算上の事出張所の事など、急ぎ対応すべきである
34	交通事故の多発
35	平成 17 年から始まった旧高松市と周辺各町との合併により新高松市が誕生したが、今一つ連帯感が乏しい。一体感に欠けている。旧市内商店街も成功した商店街がある一方、再生に苦しんでいる商店街もあり、そのあたりの整合性、統一感に欠ける。
36	問 1 (3)に記述
37	四国ブロックの行政中枢とされてきたのに都心部の空きビルが増え、経済的に地盤沈下が目立っている。中心商店街も活性化に向けて努力しているが、シャッターが閉じている箇所が多くみられる。特にその壁にスプレーで落書きがなされ放置してあるのは見苦しい
38	-
39	公共交通網の整備、特にマストラとしての鉄道、網の片よりが道路交通のバランスを欠く結果となっている。市民の理解が少ない(歴史的遺産を大事にしている)
40	人口が減少傾向にあること。大企業の誘致がなかなか進まないこと、反面中小規模の企業が多岐に渡ってあるため、経済危機においては総くずれしない利点でもある。県民性なのか派手に宣伝することが苦手。観光面などでももっともっと積極的な取り組みを
41	中心市街地以外のインフラ整備
42	長年、地理的な優位性といわゆる支店経済に甘んじた結果、市民にも行政にも進取の気性に乏しい体質が蔓延している。コンパクトシティといった、誤解されそうなキャッチフレーズ(高松市は面積的に狭いといった特性はないのであって、海、山を含む多様性を持つ市であることの配慮に欠け、必要な行政サービスを切り詰めようとしている印象しか伝わってこない)うどん県といった浅薄な標語しか出てこないところが問題
43	知的財産が少ない、郷土愛の不足
44	自転車が多いにもかかわらずまだまだ専用道が整備されていない(自転車は危険)
45	行政サービスが多様化するニーズに追いつけないのは、ある程度理解できるが役所の合理化改革は役人の保身だとか、縦割りの弊害とか末端では揶揄されているが、それらの面倒をボランティアに期待し過ぎている。コミセン職員の増員を
46	道路事情が弱者にやさしくない。例えば歩道が狭かったり、ガタガタで歩きにくい。ベビーカー、シニアのカート、車イスなど使いにくい所が沢山ある。自転車道はできてきたが、バイクは車道と同じ為後から車に接近され避けられずスピードを出す羽目になったりする。公共の交通機関が少ない
47	住民は行政にさせることが全であると考えている
48	交通事故が多い
49	香東川から西のエリアが発展から取り残されている。①バス等の公共交通機関の欠如(JRのみ)②近くにコンビニやスーパーがない(高齢者は買い物難民)③下水道の未整備 ④公園の未整備 これでは増々過疎が進行すると思われる
50	人間性の回復を基本理念としているが ・企業の誘致(雇用の拡大) ・セーフティネット機能(防貧機能) ・ワークライフ、バランス(仕事、子育ての両立を支援)

NO	記述内容
51	地域に個性がある。公共交通の便が悪い。宿泊施設の充実。文化施設の分散(文化の森、文化の集合帯等が自由に散策できる散歩道、ランナーコースなどがあれば)
52	生活環境、産業について少し問題がある。高齢化が進む中、後継者等の問題もあるように思う(経済面?)
53	災害が少ないためか危機意識をあまり持たない住民が多い、公共交通機関の交通網が極めて貧弱
54	せっかく災害のない穏やかなまちの形容をしながら住む人々の住民性が現れるともとれる自己主張優先。人様に迷惑をかけないという常識、社会規範の欠如からが交通災害の現状とマナーの悪さである
55	JR 高松駅、バスターミナル、電車の駅と商店街が分離している。サンポートエリアが大都市のミニチュア版をつくらうとして失敗している。高松の独自性が創造されていない。
56	交通弱者にとって公共交通事情は貧困である。合併町村の発展が取り残されつつある。丸亀町商店街、サンポートなどの乱開発、コトデンそごうのように莫大な負債をかかえることにつながらないか
57	都市部を周遊する公共交通機関が十分ではない。都市部を中心に住民の地域への帰属意識や人と人との繋がりが希薄になってきていると思います
58	自転車の通行のマナーが特に悪い、運転者歩行者も含めて交通マナーが悪い
59	高松城が北の端にあった関係か北端部分に殆どの町の機能が集中しており非常に歪である(十河氏の支配が続き、十河城を中心に町が発展していたらどうだっただろうか?)後記に関連あり
60	市街地区周辺の県道、市道の安全性(歩行、自転車)
61	-
62	相変わらず交通災害が多いし、マナーの悪い人々が目立つ行政の見直しを実施しムダな所を無くする事。(民間ではバブルがはじけた時から徹底的に実施した)15年ぐらい遅れている。
63	交通機関
64	高松南部地域が交通網整備に伴い、ここ数年で人口世帯数激増しており、学校教育環境の整備
65	循環バスを市内、中間、外回りなど三重は欲しい
66	サンポートの賑わい、商店街の活性に問題有り、琴電の衰退
67	交通事故の多い街、交通マナーの悪い街(特に女性)、都会志向や都会依存の高い街
68	交通マナー(自転車、自動車、歩行者)行政の目指すべき方向性が市民に明確に伝わってこない点
69	前項の魅力であると共に島々、市街地、平野部、山間地と行政の行い方が異なり、その点が難しいと思います
70	①何かをやるという気概がないこと ②特別な災害がないためか、まあ何とかなるだろうという気持ちが強いこと
71	交通ルールを順守する意識は全国レベルに比較して低い。トキワ街など中心街がシャッター通りとなっている。屋島の観光地としての疲弊。中心街のマンションの乱立による都市美観の低下
72	コンパクトにまとまっていた街が、線引き規制の廃止などにより拡大してしまったにも関わらず、公共交通がうまく整備されていないので高齢化が進展すると買い物難民などが多数生じることが心配。空港や橋の整備で本州へのアクセスは良くなったが、その分日帰り圏内となり大企業の支店城下町という従来からの位置づけを維持することは難しい。まちをけん引する地場産業が重層的に発達していないことも心配。歴史や自然環境をいかしたまちづくりができていない
73	1.農村や山間部・後継者がいない、自然と崩壊されている。収入面が恵まれず格差拡大している 2.高齢者や若者でも・田舎に行くほど廃屋が多い。また自営業者で国民年金が少ないがそれで暮らすしかない 3.仕事がないという人がいる・シルバーセンターなどで高齢者は働けると私は思うが働いてない人がいる
74	自転車の放置と運転マナーの乱れ
75	自然が守られていない事例がよくある。樹木の伐採、邪魔に感じると切り捨ててしまう。整えて美しく見せる事はしない。電力、神社他。様々な場所において山を切り崩し住宅地の造成が最近多い。都市を美しく見せようとしていないようだ
76	毎夏の水不足
77	上記良さが充分にいかしきれていない所、むやみに大型店、ブランド店、チェーン店を誘致しない
78	屋島の活性化(観光行政の充実)山頂への有料道路を無料に(所有者との話し合い 県・市が買い取り) JR、コトデン等交通機関の充実

NO	記述内容
79	交通事故や少年犯罪が常にワースト上位であり、県民性(マナー違反、自己中心的)に問題があるのではないかとと思われる
80	いわゆる線引き制度の廃止に伴い、郊外地域での農地の宅地化が無秩序に進む一方で、旧市街地では再開発が行われているもののそれは一部であり新塩屋町、築地、四番町小学校の廃止に代表されるように空洞化が顕著になっている。このような状況がさらに進展すれば開発が進む地域と空洞化する地域、双方において各種の行政需要が発生し、効率の悪い行政投資が続くことが予測される事から根本的に土地利用政策を見直す必要があるが、この点の取り組みが不十分なように思われる
81	市街地を東西に走る道路を電車路線が寸断している点、これらを含め交通網の改善整備が急がれると思います
82	1.若者が定着できない。産業、経済力が弱く、雇用力が不足。 2.高齢者の不活性化への対応 3.観光開発力の不足 4.公共交通開発力が無い
83	緑地が少ない、大きな基幹産業がない、ベンチャー意識が低い(保守的風土)
84	人口減少と少子高齢化が顕著で今後の市の活性化が問題である。都市中心部の人口密集化と郊外山農村地帯の過疎化が問題。又交通機関の便利さが失われつつあり、交通事故の発生率の多さ、老人の交通事故死の多さは大きな問題である
85	旧幹線道路を自転車で走行する時に危険を感じる
86	コミュニケーション・デザイン、広報、PR
87	-
88	高松市の平成の大合併以前に統合された新市内の活性化や活動への援助
89	瓦町駅周辺の衰退(駅の東側、常磐街商店街など)。市街地の拡大に伴いバスや電車など公共交通機関の利用が不便な地域がある。若年層の県外流出(大学進学時、就職時)。高等教育機関の不足/地元資本の有力企業の不足
90	-
91	地域によって小中学校やコミュニティセンター等、公共施設の利便性に格差がある。予算の上から仕方がないがせめてブロック毎にスポーツ施設、文化施設を見直してほしい
92	1.交通機関 バス、電車、タクシーのいずれも高い料金。夜間の交通機関がないと若者文化＝都市文化は発展しない。都市に活気がなくなる 2.海岸線が漁師に占有され市民による海のレジャーが楽しめない(瀬戸内海の美しさや良さを市民が享受できない) 3.子供達のスポーツ施設利用が十分に出来ない(施設の不足、指導者の不足)
93	-
94	行政の窓口が役所サイドになっており市民にわかりにくい。中心市街地の商店街への流れができる構造になっていない。交通体系が車使用中心となっている。
95	-
96	合併エリアをどう生かすかの点での取組が明確と思えない。それぞれの地域が特性をいかして元気であることが、高松市全体を平準化するべきのもと特性を生かす部分をうまく使い分ける必要がある
97	下水道の整備急務
98	鉄道が使い辛い環状線がない。下水等々一部市内のみしか整備されていない。農業に於いて動物被害
99	公共交通が不足、松山、高知に比べ。すぐ近くにある海、山、川を出し切れていない
100	現状 possible の機運が今一つ
101	大型スーパー乱立の中で地域の個人商店が倒産し、人と人との繋がりの希薄だけでなく、高齢者の生活維持の困難さ。公共交通機関の不十分さ、駐車場の高さ、両面性
102	経済の活性化に力点を置いている反面、中心部の景観や自然については問題を抱えている。住む+暮らす視点で都市づくりを展開することを望む。交通(インフラだけでなく住民のマナーも)大いに問題あり。自治会の加入率等との関連もあるのだろうか。市民的責任感に欠ける
103	上記の民間事業者の支店、国の出先機関などの拠点性をつくり経済をリードしてきた機能が低下している(統合・合理化等の理由)、伝統的産業もイノベーション力が弱く、次代の成長戦略が描けていない、大きく小売額を計上し且つ雇用も創出してきた大手通信販売事業者も買収統合され雇用と事業の拠点性を低下させている、都市計画の線引きが外れ、住居エリアを誘導する旧来のまちづくりが描きにくくなっている

NO	記述内容
104	香川県民、高松市民の中にはいまだに高松が四国の玄関だという古い意識が根強く残っている可能性が高い。しかし、徳島は近畿圏、愛媛は中国圏との結びつきが強く、独立独歩の感が強い。そういった意味で新たなまちづくりに対して、従来の受け身を捨て今後攻撃的にチャレンジしていく必要があるのではないか
105	滞在型の観光客が少ない。地域を代表する企業の衰退、流出。市政として税収の安定化、最大化に対し消極的な印象
106	合併町の扱いが悪い。高松市に吸収合併された町は年々、町の歴史・独創性がうすれてきている。都市としての魅力がなく満足できない。合併前の高松市への優遇が強い点。高松市内ばかりにお金が使われている。指定管理者の選定方法。特に国分寺町橋の丘総合運動公園は造園協会が指定管理を受けているが、造園協会の業者選定がまずいのではないかと？造園協会を指定管理にしているからその先の業者選定にノータッチでよいのか？現在の業者は自分達の仕事が増えるのが嫌なのか、利用者に対して大変横柄な態度を取る職員がいる。学生をひきつける大学がない。魅力ある大学に進学出来たら地盤ができるので卒業後も地元に住む可能性が高い。そこに就職先が用意されていれば若者が増え、発展すると思う。大型商店街が次々と市内で並ぶと中心地のみならず中心市街地外でも中小の店が多く閉鎖している。それによって不便になった人も多い。道路の整備も表面上は問題ないように思えるが、細部での配慮が不足しているためか、交通マナーに対する順法精神形成にも悪い影響を及ぼしている。公共交通機関の便利さが企業間の壁を越えられずいまいち発揮されていない。市の中心地にある公共施設の駐車スペースが少ない為、公共交通機関を利用するが、駐車場までの距離が以前より遠く長くなり不便を感じている(JR 端岡駅)。朝日町に県立病院が出来るのは、液状化や浸水が心配だし交通アクセスも悪い。縦割り行政の悪いところが改善されていなく、職員も住民の立場に立ったあと一歩が踏み出せていない。市の職員が私腹を肥やし過ぎ(アルバイトや個人団体)時代と共に必要とされるボランティア精神の育成。婚活の必要性(人口増の工夫)及び少子化進行ストップ(子育て支援)

問1(3) 今後、高松市において実施すべきもの、改善すべき点

「問1(3) 今後、高松市において実施すべきもの改善すべき点」については、90.6% (96人)の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	各コミュニティが行っている街おこし、島おこしのアドバイス。六次産業への支持等積極的に行うことが高松市の活力向上につながると思われる。
2	公共交通の整備、福祉(子育て、高齢者)施設の充実
3	-
4	-
5	市民が協力をし合い自分の身は自分で守る努力をし合い前向きに生活環境を作り、市と住民とが助け合う事大切であり市政考えて計画してほしい
6	人を沢山集めて目立つイベントより10、20、30年先の市民の為に子供だけではなく社会全体の教育の向上になる大学～拠点事業まで層の厚い研修、講習など取組む様、市民活動センターなどは宿泊施設も備えた研修センター、東京で言えば代々木オリンピックセンターのようなものが必要。観光や産業を動かすのは人です。人材育成しない市はほろんでいくと感じています
7	子供の将来の健康を真剣に考えた給食への取組み。今の栄養教諭の中には呪文のように30食品食べましょう、好き嫌いなく食べましょう、バランスよく食べましょうと言いつつ朝から油まみれの食事を提供している方が大勢いる。野菜を食べさす為に
8	将来の道州制を見据え、中枢機能をより高めていくこと。大規模災害に備え、安全なまちづくりへの取り組みを強化していくこと
9	公共の交通網の充実。高松中心部に人が住める街にしてほしい
10	屋島の観光案内の充実、バス等の公共交通機関の充実
11	防災対策
12	市の産業を考え経済の発展
13	1.行財政改革の一層の推進と成果の拡大 第4次行財政改革効果額=73億円(実施値) 第5次行財政改革効果額=53億円(実施値) 第6次行財政改革計画値=35億円 財政規模が1200億円から1500億円に近くに増大しているものの行財政改革効果額が縮小している。一般の努力が必要である。 2.環境マネジメントシステム(ISO18001)の外部認証を止め独自のシステムを運用しているが、廃棄物のリサイクル率が通年低下して目標値から大きく剥離している等、マネジメントシステム運用の努力、成果が見えない
14	若者や観光客などをもっと取り込み賑やかな環境にする。瀬戸内海にすぐにアクセスできる大都会という利点を活かしきる。食文化でも海をテーマにした少しおしゃれな賑わった空間を演出する
15	若者の雇用を増やして人口を減らさない
16	合併町にも外灯ももう少し欲しい
17	障害者、高齢者、生活保護受給者など、公費を受給されている方等、生活の実態調査を徹底してほしい。地域で支援を受けられていない方にはきちんとした支援が受けられるよう勤めていく
18	現在瀬戸内芸術祭が開催されていますが、第1回目よりは観光客が少ないように思われる。(タクシー運転手談)旧来の観光地玉藻城、栗林公園、屋島(琴平、丸亀城)等の今一段の活性化対策を検討してほしいかかと思えます。(経済的活性化に向けて)
19	-
20	生活環境については多くの方の意見を取り入れる方法、産業、経済等についても施策を担当するものの勉強、その意見を聞き入れ実行する者、リーダーとなるべき者の養成をすべきでないか

NO	記述内容
21	人口減少、空き家、テナント対策が必要。若い世代が暮らしやすい職場、教育、医療、レジャー産業等の充実を図り人に優しい街づくりを展開すべき
22	山間部、島崎部の思い切った空き家対策(市営住宅)をし、そうした地域の定住人が増える事を講ずるべき。それがその地域の活性になる
23	幼稚園の情報公開(特に公立幼稚園)、幼稚園で障害児受入
24	他県に比べて災害が少ない反面、災害に弱いと思う。特に海岸線は順次対応されておりますが中山間にも目を向けて欲しい
25	早急に各校区、地区内に災害時用非常食など備蓄を強く要望する
26	(2)の問題の早期取組み
27	合併後の用除地域の再編、排水路の整備、東西方向道路の拡充
28	自転車利用者を含めた歩車道の整備、水利用を含めた循環型社会の実現、自治体組織の活性化、交通マナーの向上、いわゆる箱物の整備にあたってはムダを省くため香川県との調整
29	多核連携コンパクトエコシティ政策を具体的に進める事、美しいまちづくりの積極的推進→モデル地区を重点に(模範をつくる)
30	公共交通機関の充実、児童館を旧市内に設置
31	ユニークな産業の育成。例えば多様なロボット機器
32	コンパクトで機能的な公共交通や自転車を利用し、連携が充分にとれたまちづくりをし、ムダを省いて縮小できるものは縮小し、少子高齢化と税収の減少に対応していく必要がある。また福祉費については予防医療に重点を移し、自己相応の負担をお願いして本来の行政ができるよう、予算配分する必要がある。自己責任で健康長寿を目指すべき
33	市の各部署同士の連絡を密にし、会議などの日程の重複、実施される事業の重複を整理、改善する機構を考慮したいと思う。これにより予算的にも人材的にも整理され、市全体として目指す都市構想へのフットワークも大いに軽くなると思う
34	市民が健康で長寿を全うできるように地域公園、スポーツセンターの整備
35	同上の連帯感を持たせる施策については問題ではあるが、さりとして何をすれば良いかわからない。商店街については今の商店街組合の統合
36	高松市中心部の東部地域(琴電琴平線以東)の再開発 琴電の軌道により瓦町駅が東西の交通を遮断し、東部地域は著しく格差が生じ裏町になっている。平成8年高松市瓦町駅周辺地区市街地再開発計画が提起されて久しいが、諸般の事情から計画は凍結され現在に至っている。平成19年に高松市中心市街地活性化基本計画が策定され、更に第2期基本計画に基づき、丸亀町など中心市街地は通行量などが増加するなど一定の評価はあるが、東部地域は放置されたままである。平成8年に策定された市再開発計画に従い琴電築港駅とJR高松駅の連結事業に併せて、天満屋東側から東讃地域へ発着するバスロータリーを作るなど、住民の念願である東部地域の再開発について是非とも検討してほしい
37	交通弱者への移動手手段の確保の観点からLRT(Light Rail Transit)を整備することを検討してほしい。バスでは交通渋滞のため遅れがちなので安定性に欠ける。病院等が都心部から移転している状況にあっては重要であろう
38	-
39	中心市街地のミニバスの外部者へのPRの改善とより利便性の向上を図る努力(優先レーンの設置による定期性の確保など)
40	交通面において利便性を高めてほしい
41	公共交通網の整備
42	市職員が、自分達こそが高松市のとこを最もよく知り、もっとも真剣に考えている。地域作りのプロフェッショナルだという自覚を持って、行政にあたるようになっていただきたい。そのためには、職員には、デスクワークより実見聞、保身より情熱を重視する気風を育て、もっと現地に出て市井の実情を見聞することが肝要。当然、他の自治体、外国にも積極的に出向かせ学ぶ機会を与えなければならない。職員には、外部の意見をよく聞くことはよいが、ものごとの判断と責任は外部委員などに任せるのではなく、市長と職員が行うのだという、自覚と責任感を持ってほしい

NO	記述内容
43	市民が高松市を知る事が大切である。まず市民自身が住んでいる地域を知ることからはじめる。それをまとめると上記の命題が解決するものとする。そのためには地域力アップするために地域において活動の中核を担う人の養成が必要と考える。本大学、短期大学においてもソフト面において出来る限りのご協力をお願いしたい。また、それとともに一層大切なのは市職員の能力アップである。これなどは直ぐにでも着手できることではないか
44	高松市職員の給与が国に比べ高すぎる。公僕があるのであれば給与は削減されるべきである。収入が限られているのであれば支出をしぼる
45	当地として、香南町の東西線(市道名下川原北線)を県道円座香南線まで直ちに延伸し事業化してほしい。今更県に整備要望しても県道の規格になっていないので無理筋だろう。橋を付けて別の橋(城渡橋)の袂に道をつなぐのでは何のための橋なのかよくわからない。諸般の為の手順とは言え中途半端なことはやめ、円座香南線まで高松市で早く整備してほしい。高松市全般として、高齢化は高齢ドライバーの急増、交通事故の多発、買物難民、住み難い地域へと悪循環。財政的な課題は残るが、コミュニティバスの細やかな運用
46	父子家庭の支援。子供の医療費の補助をもう少し10~15歳位までのばしてほしい。子育て支援でらっこ等すごく良いものが出ているが、あまり見ていない親が多いので見てもらえる方法を考えてほしい。第一子の時しっかり説明してほしい。新しい住宅地で軒数が少ないと自治会が出来ない。その為自治会に入れず隣の自治会に入れてもらうようお願いしても軒数によっては入れてもらえない。ゴミ出しなど色々な事が絡むので難しいが入れたい人はどのようにしたら入れるか考えてほしい
47	地域住民の自主性と企画立案させてはどうか
48	交通マナーの改善と歩道整備
49	調整区域を解除した以上、どんな街作りをイメージしているのか明確なビジョンを示して欲しい
50	-
51	文化施設が(文化の森等、図書館、美術館、歴史資料)集合する場所があれば良い。宿泊施設等が少ない、案内も少ない、観光の都市を目指すなら改善を
52	特徴がある企業、又、交通の便利面について検討する必要がある。文化等に力が入って少し市民生活面を考えてほしい
53	公共交通網としては当面路線バス、便数を増やす、経路先を分かり易く表示、利用者に待ち時間が分かる方法を
54	少子高齢化が一層進展してくる。若年世代に負担をかけないための高齢者の自立と元気高齢者の社会貢献システムを構築してほしい。自立支援には要介護とならないための予防サービスなど介保財源で出来るものもあるが、孤独孤立など独居老人増加に住むまちで小コミュニティを場として社会貢献できる有償を含めた多様なメニューを行政負担でなく、受益者も負担するサービスを構築してほしい
55	公共交通の利便性の向上 中心市街地は路面電車が不可能と思われるのでもっとバスの利便性を高める必要がある
56	周辺部の公共交通の整備
57	住民の意識を高めるための防災対策、祭りなどのイベント、スポーツ振興などに積極的に取り組むことが必要だと思います。1.市から地域コミュニティや自治会への防災対策の案内や取り組みの紹介 2.地域の祭りの支援、市としてのイベントの充実 3.屋島競技場の整備による地域の陸上選手の支援や育成、ガイナーズやカスタマーレなどの地域プロスポーツの施設面を含めた支援
58	観光客の誘致、経済の活性化
59	他の項 参照
60	市街地区周辺の県市道の歩行者、自転車通行のための整備
61	-
62	H25.10.10 付四国新聞の記事によると歳出削減に全力をとあるが、(2)で意見の通り民間では提案制度を取り入れて無駄な所を見出し優秀な提案にはその効果によって報償金制度を設けた
63	-
64	国際交流の活発化、文化芸術を育むまちづくり
65	屋島の活性化、たかまつ祭りのおどりの工夫
66	効率的、機能する交通体系の創出、都心部の車乗り入れの制限、交通網の整備

NO	記述内容
67	地産地消の徹底、都会のトレンドに振り回されない街、県外ではなく県内の学校(大学)への進学を高める施策、市内県内の修学と就職のリンケージ。東京などの都会のコンサルタント等に依存せず県内存在者の活用
68	お金をかけすぎない市政運営
69	行政が行う仕事と地域住民が行う仕事を分けて住民の合意を得て行政に取り組むべきである
70	何もいいアイデアが出てきませんが、良い人材が高松から東京に行ったきり帰ってきません。勉強は東京でいいと思いますが、高松に帰って来て何をやろうという人が多くなるような魅力ある高松にしてほしいと思います。具体的に何を提案しますかと逆に質問されますと回答できる具体的なものはありません
71	交通ルール違反の取り締まり強化。丸亀町通りの活性化を見習う事。ケーブルの復活による交通の便をよくする。マンションの建築地域、建築基準の制約
72	鉄道、バスなどの公共交通の意識した街のグランドデザインを描き、20年位のスパンで実行していくべき。企業誘致などに頼らない地域の風土をいかした地場産業を重層的に育成すべき。リトル東京ではなく歴史や自然環境をいかしたオンリーワンのまちづくりをするべし
73	1.財政健全化による 健全減らし(人件費削減によるべきである) 2.学校教育の充実、子育て支援への対応(特に一人親家庭への支援) 3. 2.7人の現役世代で1人の高齢者を支えなければならないと聞いていますが、そういう政策を改革すべきである。この対応が遅れると超少子高齢社会と人口減少では破綻する
74	駐輪場の整備と運転マナーの向上
75	瀬戸内海の世界遺産に名乗りをあげようとしているときに海岸より5~10*の山等を崩しての造成等には指導を必要とし景観を守る。都市緑化の推進、屋上緑化や、空地の緑化等また人々の緑化に対する意識の向上を図る、他県の森林税のようなもの。都市緑化税などの導入等々
76	毎夏の水不足の解消
77	あらゆる産業が多様に活性化されて他の外的(円高など)要因と災害に強い街づくり。他の都市より少しだけ様々な面で優れている。多様化による競争力を付ける
78	幹線道路の整備 木太鬼無線、成合林線 等、JR(新幹線)フリーゲージトレイン等早期導入、大雨等による浸水地域の解消
79	美しい町をさらに計画的に洗練していく、企業誘致、マナーの向上
80	郊外における農地の宅地化により次々と新築される家屋も今後少子化が一層進展すると数十年後には空き家・廃屋となる可能性が多分にある。またバブル期に無数に建てられたビル、マンションも老朽化し数年のうちに取り壊しが始まることは明らかでこれらの最終処理は行政に任されることになり、埋立地の確保等多大の財政重要が必要になることが予測される。このようなことから既存家屋の改装やビル、マンションのリフォームが容易に行えるような施策を確立し、郊外地域での無秩序な農地の宅地化が進まない政策の確立が必要である
81	少子高齢化社会に対応すべき施策の充実と思うが、改善すべき点はよく判らない
82	1.産業開発、企業立地、雇用の増大 2.交通体制の拡充、車社会から公共交通利用へ 3.高齢者の生甲斐づくり 4.高齢化予測に基づく介護体制の組織的計画的充実、箱物と在宅のバランス
83	若者が活躍できそうと思えるような街づくり。若者が高松で働き高松を錦で飾るという風土
84	中心部への若者の集中移住に歯止めをかけるべき。地域主体の働き場所や交通の便利さを制作し若者が自分の地域で結婚し住んでいけるような施策。30~40代の未婚男女への結婚できる政策。高齢者の交通便利性の施策、災害への対応施策
85	-
86	コミュニケーション・デザイン室(市長直で)の設置
87	今後更に高齢化が進む中、市道・公道等のバリアフリー化を進めたらどうか。市道、県道も含め歩道のない所が非常に多い事
88	市内44コミュニティの活性化と企業、法人、NPO等への地域活動推進への協力の意識向上と市職員への地域活動参加への強制的な指示
89	既存の商店街の再活性化(特に南新町、常磐街、田町)。市内中心部へのアクセス強化(既存の交通機関に加えLRT等の導入も検討)。観光客の誘致を強化/移住者の誘致を強化。島嶼部との関係性強化(海で寸断されてしまっている)。芸術を専門的に学べる教育機関(または学部)を設置

NO	記述内容
90	-
91	ゆめづくり等で地域の活性化を計りコミュニティに地域の輪が生まれて来たが、毎年毎年ゆめづくりにチャレンジする事でそれを支えるボランティアが疲弊している。自治会の加入率低下により自治会の力が低下している。地域のみで加入率を上げる場合ではなく、コミュニティ自治会とか安全、安心づくり会員(自主防災会員)とか生活共同体である地区民が100%参加して1世帯→向こう三軒両隣→単位自治→地区の自治→行政(高松市)となる事が大切です。災害がおきてからでは遅い
92	1.瀬戸内沿岸の都市が一致協力して公共マリーナを作り、海洋レジャーを発展させることが、余暇利用としても県外の観光客誘致にも繋がる。2.協議スポーツにおいても青少年の潜在能力を伸ばし、好成績を上げる事は個人の問題ではなく地域社会の結束を強めるのに有意義である運動施設の数を増やすとともにクラブ指導者の確保にも尽力すべき3.生活道路の整備(老朽家屋の取壊し、遊休地の買取りを含む)
93	生活道の整備、生活環境の改善、有料農地の確保・維持、諸施設の集中化、利便性の向上、観光地の活性化(屋島栗林公園)
94	さまざまな行政機関の窓口で県と市の2つの顔が交錯する。市民は高松市民であると同時に香川県民でもある。県職員と市職員の意識改革喫緊の課題である。交通機関が中心市街地にアクセスできるような体系が必要
95	-
96	職員に知恵の部分が見えない。柔軟な発想を持つもの、人づくりが大切。表面的な対応や見た目だけの行事が気になる(現代源平屋合戦?)
97	道徳心の向上
98	安心安全な町づくりのためのモラルの向上、大人の道徳心を向上させる、スポーツの振興
99	蓋をした杣場川を元に戻し親水公園、防備、防火用水として利用すべき
100	ターゲットを若者、特に若い女性に定めるのは間違い。他都市との違いをはかって思いを持つ高齢者中心など
101	バスの小型化(通勤等にも)、空き家商店の利用(地域住民のアイデアによる)おかず屋さん等、大型スーパーの商品宅配(チラシに番号つける)電話注文、人と人との出会い広場(小さくて良い)作り、市職員の専門性(2.3年後に異動は現実性がない)
102	市民社会の実現に向けてコミュニティの構築が急務である。地域コミュニティのみならず、趣味コミュニティを組み合わせる事でより活発な市民社会に繋がるのではないかと。ひとまず地域コミュニティ以外にもコミュニティの構築にインセンティブを与えてはどうだろうか
103	元来、金融民間企業の支店がリードしてきた地域経済の推進力を官民の共同による成長戦略を構築する必要がある。例)あらたなソフト産業の育成や21世紀型の地方性溢れる豊かなライフスタイルの啓蒙。創造都市局形成の狙いでもある、文化と観光と産業の一体となった掛け算によるサービス、モノづくりの産業化への育成。公共交通(私鉄)の有効活用を更に促す為のパーク&ロイド促進、仏生山、屋島エリア等の地域拠点づくり。丸亀商店街と市立美術館との空間的連携性を強める。中心エリアに若者と老人が共存できる住宅施設への公共投資(リノベーションによる資産物件の再活性化)。瀬戸内国際芸術祭、瀬戸内生活工芸祭、高松国際ピアノコンクール、瀬戸内トライアスロン等の高松ならではの祝祭イベントを行政側から全国・海外にPRする、高松の売り物になる。高松のブランド力の顔として80周年を迎える瀬戸内海国立公園の資産を活かし海園都市としてのイメージを醸成させる
104	高松旧市街地への流入は現在三方(東、西、南)からである。高松城築城時、城の衛を考えた場合、出来るだけ流入面を少なくしたかったことが想像できる。しかし都市の発展性を考えた場合、四方(東西南北)から流入出来るような都市構造にするべきであったと考える。しかし、四方から流入を多くさせ過ぎると、都市の機能を麻痺させるだけである。そして、旧市街のインフラ整備に莫大な予算をかけ、国民生活を圧迫させる。そのため旧市街地の周囲に衛星都市を整備しそれらを有機的に機能させた方がベストではないか。旧市街地は文化とか歴史を重視した景観都市にしてそれにより高松市に集客した方が良く考える

NO	記述内容
105	海の魅力を発信すべく瀬戸の海や港を有意義に利用した船舶レースや海洋パレード、キーワードは優雅、洗練、旅情、白熱。四国高松を訪れる観光客は海の幸に大きな期待を持たれるが、全国レベルで高松ならコレ(本場の味)というものがなく逸品の印象が弱い。したがって一年を通してお客様が呼べる海産物商品(出来たて、作りたて、獲れたて)の開発、発信は急務である。
106	合併町にもそれまでどおりの処遇をすべき。郊外地域も予算を組んでほしい。地元の施設を使うときに使用料が発生するのはおかしいし高い！指定管理者だけでなくその下の業者に対しても指導をしてほしい。利用者はお客さんである。自然災害が少ない点をアピールして強度を増して企業を誘致すること。住民の相談や受け付け窓口としてワンストップサービスを行える体制・機構を構築すべきである。少子高齢化に伴う住民形態の変化や税収減少に対する意識がより以上にマイナスとして捉えられすぎている。少子高齢化をプラスとして考える行政の考え方を再検討すべきであろう。予算を伴う改善・変更要請を行っても金がない、予算を組んでいない等の回答で簡単に片づけられるケースを多く感じる。住民要請に速やかに柔軟に対応できる予備費的な項目を設けた予算編成をお願いしたい。某太鼓の主査が一個人や団体への圧力をかけてくるので市職員としての立場を見直してほしい。8月の高松まつりの(ものっそ)という言葉は老人、若い人も使わない言葉だと思うし、若者言葉でもないように感じるので検討してはどうか？コミュニティ協議会の活発、推進に伴う施設環境の整備

問3 まちづくりに対する重視すべき時代の潮流について

「問3 まちづくりに対する重視すべき時代の潮流について」は、87.7%（93人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	各地区コミュニティ協議会のみ個別の活動ではなく、高松市を中心とした横の繋がりをを行い一本の線から面へと高松市の活性化へと繋ぐようにすれば良いかと思われます。
2	高齢者と子育て世代を地域で共に支えるシステム作り。消費者教育。中高生からの社会を支えるグローバル人材育成、教育。家庭教育、本当の生涯学習の充実。元気な地域の高齢人材活用システム
3	安定した就業会社の創造、男性が働ける(家庭を持てる)環境作り。高齢化は仕方ないのでやはり婚姻で子作りや教育を行わないと続いていかない。
4	-
5	-
6	まちづくりをするのは人です。人材を育成し教育に関する者への労働奉仕は、奉仕ではなく民間人でも公務になるべき部分を作っていけば多様な人の関わりを確保できるのではないかと？多様なもので協働するにはまずはそれぞれの特性を知る事が重要でありSNSも使いながら現実にはオフ会のように顔を突き合やす事も重要です。高松市のまちづくりの核となる人のサポートを行政はしなくてはいけないだろうし、それを繋ぐのは中間支援する団体でしょうから市民活動センターは意欲があり何事も実現化する行動、知力のある人材になってほしいです。コミュニティ協議会への市の関与も十分でないし。市は堂々と様々な場所へ首を突っ込んでいただきたいです。
7	発展重視ではなくヒト重視の街作り。今の企業先導の情報合戦の中では高コレステロール、糖尿病、肥満の所謂、栄養過剰(摂りすぎている)な人までまだ足りないと思ってしまう。そんな中、もっと食生活の基本に戻った考え方を指導する事が重要だと思う
8	・少子化の進行と人口減少 人口は国力発展の財源であり、男女を問わず育児環境の改善を図る事、とりわけ就業女性への手厚い施策など、これまで以上に子供を安心して産み育てる事の出来る環境作りが必要である。一方ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の急増が見込まれますことから地域で支えあうことの出来る環境作り、高齢者が生きがいを持って暮らす事の出来るような施策の更なる充実が図られるべきである。・地方の自立対策 地方自治体の自立性の拡大では地方分権一括法が施行されたもののそれほど実効が上がっているとは言えず地方の事は地方へ委ねる事を基本に国の権限を大幅に地方へ移譲することにより自治体が責任を持って主体的自主的に運営していく事が必要である
9	経済的に大きくなる高松を望まなくてもいいのでは。経済的に小さくとも、人々が豊かな社会を構築してほしい。①コンパクトシティの推進、今は広がってしまっているが。②公共交通の再整備 公共交通は福祉的な側面も考えて、経済的な評価のもとに整備してほしい。JR高松と琴電築港のアクセスは物理的にも感覚的にも遠い。JR高松に降りた人はどこに築港駅があるのかもわからない。③海の玄関高松 海と高松市街地が近いのに海に近いという利点をいかせていない。市街から高松城へのアプローチは全く無い
10	少子化の進行と人口減少社会の到来がきています。子育て支援等の充実により、人口減少傾向を弱める事を考えてほしい。中心市街地の空洞化に伴い市街地の再開発に力を入れて欲しい。栗林公園、屋島地域の観光施設に対する補助事業の充実をお願いしたい
11	-
12	行政がもっと指導力を発揮して推進する様

NO	記述内容
13	1.地球温暖化現象を認識した省エネ、省資を生活活動基準とする環境保全活動 2. 比較的低リスクではあるものの南海トラフを震源とする地震対策をメインとした防災都建設及び大きな被害が想定される他都市及び山間部地域への支援体制構築。 3.日本国の財政悪化を念頭に、極力財政基盤を安定、強化し自立した市政運営 ①食料自給率の向上 ②予想される最小降雨時にも耐え得る生活用水の確保とその体制 4.少子高齢化社会に於ける共助を可能とする地域運営 5.合併後広域となり市街地から山間地までを対象とした地域住民の生活実態。今の市政の手法で広域治政が出来るのか。 6.市民への情報伝達の手段と情報の周知度の実態把握。ホームページに掲載公表済みでは情報は伝わっていない。 7.各種マネジメントのマニュアル化。標準化が不足しており、各部署毎に手法が異なる例が多いし、方針が徹底していない
14	歩いて行ける範囲内に商業施設、文化施設などを用意する。公共交通機関の充実を図る。若者が就職できる企業などを誘致する
15	人口減少社会の到来によりコンパクトシティになるべきである
16	コンパクトエコシティの推進、交通の結接点の整備の推進、サンポートホールの空き地を市民に駐車場として拡大強化(サンポートホール利用者)
17	もっとオープンに。情報が進んでいく中適正な情報を共有しあえるような活力あふれるまちづくりを望んでいます
18	第5次高松総合計画にある様に中心市街地の活性化を継続的に推進し経済の発展を図っていく事が重要であると思います。又、郊外の大型ショッピングモールとの連携も必要である
19	-
20	市民だけでは限界があり、市民、行政、学校等の協力により新しいものの開発、システムを導入して経済、環境等に新しい風を当ててみるのもいいのではないかと。幼い子供からヒントがあるかもしれない
21	少子化対策、雇用対策、教育環境整備と県立中央病院への公共交通機関と香西、下笠居地区からの湾岸道路の建設が必要。芝山ドリームランドにゴミ焼却場、その熱を利用して植物工場、屋根には太陽光発電、環境と雇用を支える道の駅などを設置してはどうか。地域住民全てがコミュニティ協議会の一員として活動できる場としての支援体制の整備が必要。場合によってはコミュニティ税の導入を検討してはどうか？
22	-
23	幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点のネットワーク化と地域との繋がり強化。ゴミのリサイクル、意識の改革をもっと進める。高齢者との繋がり(こんにちは赤ちゃん事業の高齢者参加)
24	高松で生まれて18歳位まで在住しますが、大学生、その他職業でそのまま他県に住む傾向があると思います。子供達が高松に帰って来られる環境に力をいれて頂きたい
25	近く発生する東南海、南海地震を想定した都市作りを強く望む。その他は大西市長に一任す
26	市町村合併により広域名行政対策が必要になった為、人員不足(合理化に依る職員減少含め)予算不足が出ていると思われる。国の政策も社会保障優先が目につき費用が増える一方である。敬老会での税金77歳1万円等平均寿命以前に御祝金を出すなど旧態以前の政策も多く見受けられる。若年者、子供対策に大きく舵を取っていくべきである
27	用除地域を制限し、元来の地縁、血縁が活かせるような地域作りの為のまちづくり。地域の歴史的地理性を配慮した都市設計。地域を活かした防災都市への変化。経済性一辺倒から、人的交流社会への変化。地理、経済も含めた四国州(道州制)という観点からの意識の流れ。高松から見た日本、日本から見られる高松という意識
28	自然災害が少ないという利点を生かした個性ある都市づくり、地域づくりを行ってほしい。具体的には主要な道路や住宅地での電線の地中化事業を個性ある都市づくりの基礎としてほしい。新しい道路は特に必要ないと思われるが、維持修繕等メンテナンスを適宜適切に行ってほしい。公共事業は必要ないと言っているのではない
29	人口増減に地域差が大きい、住宅開発、土地利用を市場経済に任せず計画的に誘導すべき。防災、危機管理に対する住民の意識はまだまだ低い。参加しやすいプログラム開発体制を検討する必要がある。歴史、文化、環境を大切にしまちづくりの推進
30	若者の大都市圏への流出(特に有能な人材)農村回帰、富裕層、貧困層の二極化

NO	記述内容
31	少子化、人口減少、高齢化はここから一層加速して到来すると思う。そうした中で中心市街地の空洞化は止まりそうになく、そうした市街地に対して補助や一時的な支援は無駄である。だめな所は一旦壊れなければ再生できないのではないか。例えば常盤街である
32	食料の自給率の向上で地産地消、行政財政組織の見直しの継続。議員数の定数削減と歳費の節減。コミュニティ協議会組織の充実と発展、並びに更なる権限委譲と予算の配分、但し行政と一体となった協力体制を取ることが絶対必要。人材の発掘と活用方法について、ヒト、モノ、カネについて今後はヒトが一番重要！
33	少子化、人口減少化は時代の流れ。補うよりもそれに適応したまちづくりを進めていけばよいと思う。決してマイナス要因だけではない。前期高齢者の社会的活用を広めることにより、長寿が社会的に生かされていく社会作りを進める。また高齢者の意識変化は驚くべきものがあり、経験を活かした社会活動を進めていく。その下支えとしての介護予防に関する啓発は重要と思う。南海地震に対する情報が広がっているが、さらに継続していく。地域毎にきめ細かい対策が進められていることのいっそうの推進とご近所を知り合うことによるメリットの教育を進める。(大人も子供も)高齢者の雇用は社会の雇用の隙間を埋め、自身の生きがいにもつながる。若年層への配慮も必要。働く事に対する教育も必要である。人口減少によりコンパクトエコシティの構想は時を得ていると思うが、おのずと減少地も生まれてくる。その対策はどうか？食生活では特に家族とのつながりについて思う。まず一緒に食する機会を家庭内で作る。そこから始まる。それからアレルギー人口は増大しており、教育者に対してもアレルギーの正しい認識を学習する必要がある
34	1.子育て支援により女性労働力を高めるとともに少子化に歯止めをする。 2.高齢者の自立心を高め健康寿命を延長させる。 3.地域住民とともに作りあげる地域福祉。 4.子育てを安心してできる保育所の整備 5.子育てを安心して出来る経済的支援(高校までの教育費、医療費無料化) 6.医療、福祉施設を後の住家とすることから在宅への流れを促進する。 7.雇用環境を広げ高齢者が働く事のできる環境作り
35	例示はどれも重要課題と思われる。各コミュニティ、又は連合自治会等を通じ市民1人1人に課題の重要性を自己認識してもらい、どのような行動をすれば良いか考えてもらう事が始めの第一歩ではないか
36	(1)環境保全と経済発展の調和 ごみの分別収集を徹底し資源の再利用を進め、節電に心掛け二酸化炭素の排出量を削減する事が私達にできる環境保全であり経済効果と言えると思う。①たばこのポイ捨て、ゴミの不法投棄、ゴミステーションの新聞紙の違法持ち去りが依然として頻繁に発生しており、モラルの問題であり厳しく指導願いたい。②6月1日は環境の日、6月は環境月間、10月1日は環境美化の日、10月は環境美化月間に指定されているが、地域の人々にはごみの分別収集ほどには浸透しておらず、衛生組合を通じて啓発すべきと考える。(2)雇用関係の変化 高松市中小企業基本条例が施行されたが、まちづくりの原点と言われる中小企業の育成、振興は地域経済の活性化と市民生活の向上が目的であり地域の雇用や経済を支える中小企業の育成は地域自らが取り組む課題である。①今春の成人式に参加した新成人の69%が県内就職を希望し、地元で暮らしたいとの思いがある。理由は自然がのんびりしていること、街がまとまっていて便利なことであり、地元への愛着など地元志向が強い。このような若者をハローワーク、中小企業、地域が連携を密にして雇用に努める。(3)食生活に対する考え方の変化 私たちにとって食生活の改善は喫緊の課題である。香川県は全国有数の糖尿病県であり、しかも糖尿病患者は野菜を多く食べなければならないのに野菜の摂取量はワースト1位という不名誉な記録保持県です。①うどんや天ぷらなど炭水化物の過剰摂取、更に運動不足も大きな要因である。食生活改善推進員を中心に野菜たっぷり生活に取り組みたい
37	高齢化が進んでいる昨今、高齢者が抱えている不安をできる限り減少させる政策を推進していく事が大切である、消費税率アップにあって年金の減額がある現状では経済的不安は厳しいものがある。気をつけつつも加齢に伴う健康状態の悪化は避けられない。医療費や介護費の支出も相当なものがある。高齢者も多種多様の趣味、娯楽を生きがいの一つにしている。それらを発揮できる場所(公民館的な所)が整理、統合されつつあるのは時代の流れにそぐわないと思う
38	高齢化に耐える市政
39	中心市街地の賑わいの向上と都市機能の集約化をすすめる。拠点外の田園、公園化の促進整備。森林部の公園化によって交流人口を増加させ体験学習、趣味空間としての機能を高める

NO	記述内容
40	高齢化への対応はもちろん重視しなければいけないが、若年層、壮年層の人達が充実した社会活動が出来るように雇用や子育て(教育)面を一番に重視してほしい。地域コミュニティの役割がますます重要になってくる、機能できる体制と予算面での措置が大切。安全、安心への対応。(危機管理)自然災害、交通事故、人権侵害など
41	中心市街地の空洞化と高齢化による長寿社会の到来による中心市街地以外の公共交通網の整備
42	今後高松市が、最も重視しなければならない視点は、環境経済発展の調和だと思われる。人々が平等である方向に向かうのが望ましいという考え方は、世界中の人々が合意する価値観だと言ってよく、今後世界中の人々の生活水準が平準化の方向に進むことを前提にして地方自治体といえども、(地方自治体なればこそ)30、100年後に持続できる社会の中での日本語が目指す方向を冷静に見据えて、生活者の幸福を最大限実現することを地方自治体の役割として環境、福祉に軸足を置いた行政が求められる
43	長期的には、地球温暖化に対応することを考慮しておいていただきたい。海面の上昇を見据えた対策が必要であろうし、気温の上昇により自然環境が変化し特に農業、水産業の第一次産業には大きな影響が出るものと考えられる。魚類の変化、農作物の変化、すでに魚類の変化は兆しが現れている魚類もあるといわれ(鱈が東北地方で獲れるようになったこと)等、温暖化の影響が現れている可能性もある。また熱帯性の病原菌の侵入にも注意が必要であろう。中期的には南海地震に対する備えであろう。南海地震は太平洋沿岸に大きな被害をもたらす地震である。高松市も被害を受けないことは無いが、太平洋岸に比べればその程度は軽度と考えられる。従って全国的にみれば高松市に救援の手が差し伸べられることは、最悪ないものと想定しておく必要があるのではないだろうか。この場合、自助の体制を組んでおき、もしもの時に速やかに自らの手で復興できるような方策をつくっておく必要があろう。そのためには、1-(3)で記載させていただいた地域において活動の中枢を担う人の養成が第一歩だと思われる。短期的には地方自治体の自主性、自立性の拡大である。国を含めた変革が必要であろうと考える。国の機能を削減することで、国の出先機関の機能を県が引き継ぎ、県が持っている機能のより市民に近い部分を市に移す必要があると考える。この場合、現在の市町の境界線を遵守しながら行うのではなく、柔軟に対応していく必要があろう。事業毎に異なった自治体と連携する等必要があろう。～場合によっては県境を越えて～この場合、高松市としてはリーダーシップをとっていく必要があろう。このように近隣の自治体との合従連衡を行いながらグローバル化を目指す一方、地域を中心としたコミュニティ活動の充実がなお一層必要となるであろう。すなわち、物事を処理するために巨大化する必要がある一方、市民生活においてはより市民に近い政策を実施できるような体制作りが必要である。このような体制が整備されることにより、少子高齢化等の諸問題に対応できるものと考えられる
44	少子化の進行と人口減少社会の到来を見据えてチープガバメントを構築する必要がある。職員を減少させる必要がある。高齢化対策
45	市全体の課題は別として、身近な課題は町全体(8000人)の何%かが既に買物難民化している。吾が町にスーパーマーケットや銀行もパチンコ屋も1軒もない。少子化、高齢化が止まらない。自治会組織、自主防災組織が形骸化して中味が空洞化。30年前まで数十軒あった個人商店は全くななくなってしまった。行政改革の掛け声で町役場がなくなり、社会福祉協議会も統合。敬老会の対象者は増えるがその存亡が懸念される。明治以来長年続けられてきた行政主導のコミュニティ活動が車社会を頼りに広域化した行政機構や経済社会に、車に乗れない高齢者世帯はどう対応すればよいか。僅かな老健施設と介護保険では抗しきれない。悩みは多いが抜本的な策は・・
46	災害が少ない市という考えが多い為、危機意識がとても低いと思われる。自治会単位の訓練をしたら良いが継続性がほしい。以前一度参加したが参加した意味が全然なかった。参加者が分からないので会う人に聞くとその都度言うことが違う。やっと避難場所に辿り着くと人数確認だけであった。もう参加しないと思った。そういう人が沢山いると思うのもう一度最初から地域の人に自分の身は自分で守る方法を地域毎にしてほしい。災害の少ない市、子育て支援の充実している市をアピールして企業の誘致をしてはどうか、そうする事によって雇用も増えて市も豊かになってほしい。休耕田の活用をして農協がもっと元気になって野菜作りなど指導してほしい。子供と高齢者が一緒にボランティア活動をするような機会を増やしてはどうか
47	-
48	超高齢化社会となり高齢者の介護、医療の問題が若年世代の大きな負担になると考えられる。元気な高齢者になって頂けるよう健康面でのサポート、生き甲斐づくり、雇用の促進を目指すべきだと思う

NO	記述内容
49	-
50	企業誘致により若者のUターンを促進活動、ワークライフバランスによる雇用促進M字曲線問題、バリアフリーの町づくり、高松市子ども子育て条例の推進、地域コミュニティにおける自助共助公助のあり方
51	とても難問。あれ程賑わっていた中心地も人の姿が消えてしまっている。車社会の発展、それに伴う大型商業施設の郊外への進出、IT社会で支店事業が廃止、空事務所、空ビルなど中心市街地の空洞化が、町の魅力が失ってしまっている。活性化のためには従来の町づくりや人の流れで考えるのではなく、新しいタネを、活性化のタネを見出して行くべきと考えます。都会的、若者向け、生活市場的、観光名所的なまちでもないでしょう。自然災害の少ない(大きな川もない、火山地域でもない)瀬戸内の穏やかな海などから考えるとやはり人生最後の楽園の住家としての都市作りを希望します
52	少子高齢化が進んでいるのでもう少し対応を考える必要がある。防災計画についても市民に対する周知、参加の見える面、意識を高める計画が必要。中心市街地の改善は考えているようですが、周辺地域の活性化を考える必要がある
53	コミュニティの立場からすればやはり高齢化問題。特にひとり暮らしのお年寄りに孤独死など生じないようそれとなく見守りが大切。そのために自治会意識が重要であるので加入の奨励、またマンション入居者にあっては自治会の結成を進めているが、特に後者は難航している。全体的に近隣関係の希薄化、時代の潮流?
54	消費増税 10%としても自然増負担が増え続けグローバル化の中で地方都市も呑み込む閉塞感の漂う社会到来も予測される。それに耐えられる雇用の安定のための地場産業の創造、育成、さしずめ保健、介護事業は消費と解せずこの分野も産業と捉え健全な民による活性化、効率化するなど循環型のしかけをしていくべきかと思う。また地方分権で地方自治体の自主性は結構だが、〇〇事業すれば交付金〇〇円と多様なメニューを出してくるが、トータルすればマイナスとなる財源でなく消費税何%は地方分とするなど市に直接収入となるなどの収入源も地方移管にならないと何も特色ある政策は出来ないのでは。お金も伴う地方移管制度の確立を望みます
55	-
56	直近データによる香川県の人口は 985.846 人と 100 万人を割っており、2050 年には約 20%人口が減少し、高齢化率は 40%に及ぶと推定されている。成熟した社会が発展期に増加した人口を維持するのは困難であるから政策によって歪められた人口減少を少しでも少なくするための努力はするとしても、人口減少を前提とした社会づくりを目指していくしかない。そこで必要となってくるのは循環型、スローライフの社会ではないか。一昨年国王夫妻の来日で注目されたブータンは、九州ほどの面積で、人口は香川県に満たず、一人当たりのGDPは我が国の 20 分の 1 程度で我が国はじめ諸外国からの ODA に頼る後開発途上国(最貧国)に分類されている。ところが、国民総幸福感が高く、自分が幸福でないと感じている国民が 1%に満たないという調査も報告されている。多くが仏教徒であり、宗教的な面も否めないとはいえ、豊かさを実感できる町、生活作りが高松市にも必要になってくるのではないか。人口の減少に従って生産も減少すれば、負担増を図るのでなければ、税収も減少してしまう。働く世代 1.4 人で高齢者 1 人を背負わなければならない構造自体無理であり、現内閣はインフレや高成長によって賄おうとしているが現実味は薄い。重厚長大は昭和の時代にすでに時代遅れになっていたのであるから、成熟した社会にふさわしく、ものに頼る事なく豊かさを感じられる社会作りが必要である
57	少子高齢化対策だけでなく、少子化を防ぐような地域に子供が増えるような対策、子育て支援をして明るく活用のあるまちづくりを進めて欲しい。中心市街地のシンボルとして玉藻城の再築等を含めた文化的な事業の推進、美術館や芸術的な施設を機能的に繋ぐ試みなどを通じて郊外にはない市中心部の魅力を発信してほしい。地域プロスポーツを通じて市民の帰属意識を高めるため中心部に野球場やサッカー場の整備をすすめてほしい。市民と行政の協働は地域コミュニティを通じてすすんできているか今後もなお一層取り組みをすすめるべき
58	人同士の交流を深める、それによる防災、危機管理、地元の活性化。環境保全。農業の振興

NO	記述内容
59	マスコミや一時の世論等に流されずしっかりとした信念をもって街づくりをすべき。最近の傾向として(小泉総理時代あたりから特に)自由権の側面が強調されすぎ、社会権がなおざりにされる傾向にある(右翼ブームなのか?しかし右翼的な考えを標榜する人でもどういうわけか自分自身には社会の恩恵を望む)社会権の確保にはお金がかかるのも事実だがお金をかけるべき所にかけなければ本末転倒(ちなみに私は左派ではないが)後記だが、若年層にお金をかけ若者が住みたいと思う街づくりを。将来を作るのは若者。お金をかけない→市の魅力がなくなる→人口が減る→税収が減る→お金をかけられない負のスパイラルはどうしても防ぎたい。前記したが、町の機能を徐々に南に移すのは重要。防災、危機管理の面からもしもの範疇でないかもしれないが血液センターの様な重要な施設がなぜあんな辺境の地にあるのか?どう考えてもおかしい
60	例として上げられた変化や潮流は全てまちづくりの目標に関係するものとして重視すべきであるが、その全てに関連し、又目標そのものになるのが、環境保全と経済発展の調和である。具体的には高松の自然、文化資源の活用という事になる
61	-
62	少子化の進行を食い止めるべき国県市が具体的に実行に取り組むべきである。(現在の所対応が見えてこない)高齢化に伴い生活習慣病に気を付けて各個人が病気にならないよう日頃から対応する事について考えるべきである。(現在市当局から協力してやっているがもっとすべきである)防災、危機管理の意識は少しは良くなっていると思う
63	高齢化による長寿社会の到来、防災・危機管理に対する意識の高まり
64	ライフスタイルも多様化しており、仕事、家庭生活のバランスの重視、女性、高齢者の社会進出の拡大、地域活動への参加意欲の増大、退職後の高齢者の健康維持や趣味などに対するニーズの広がりがみられる社会に対応したまちづくり。余暇活動や社会貢献のために時間が消費できる場や活動環境の充実を図り自然環境保全、誇れる景観づくりなど質の向上に向けた取り組み
65	-
66	道州制時代に中枢拠点性を担える事を重視する
67	大量消費、生産を戦略にする時代は既に終わっているとの自覚を地方都市は持つべきであると思う。地産地消を基礎に生活と生産を立て直すべきだ。美しい街ゴミを出さない街
68	高齢化を救うのは高齢者自身です。自立して生活できるサポート適正な医療の利用を行政としては推進すべき
69	行政と市民(コミ協等)が行う仕事を分担して行う。①行政が行う仕事とコミ協等市民が行う仕事を分担すべきである。その必要経費をコミ協等へ交付して行政は手を引くべきである。(それが何であるか行政とコミ協等で充分協議する必要がある)②現在の町づくり交付金とは別の予算をもって処理すべきである。高齢者の居場所づくりを進める必要がある。①小学校区単位に高齢者が集まって色々な事が出来る施設を地域で考えて地域で管理するような施設に市は補助金を出さず制度が必要(補助金があって計画するのではなく地域で計画管理、運営に対して地域が望む必要額を補助する制度)
70	1.これからの課題は子供の遊ぶ声が聞けなくなるほど高齢化・少子化が進展しています。高齢者が元気に社会に参加し、生き甲斐を感じて生活できるようにするには何をすればいいのかがですが、専門家でもありませんのでこれということ提案することができません 2.ただ今感じているのは、働ける高齢者はどんな事でもいいのですが社会に参加しているということを実感できる仕事をしてもらおうと良いと思います。これは単に、高松市だけが考える事ではありません。国、県、市、地域、家庭全部で考えるべきことです。 3.高齢者が防災組織や自治会や地域の活動に参加できる仕組みがあり、さらに進んで社会に役に立つ仕事に関係できるような仕組みがあればいいと思います。ただ、具体的にどのような仕組みを作ればいいのかどのように機能するのかよくわかりません

NO	記述内容
71	市民と行政の協働の推進 高松市と市民を取り巻く環境の大きな変化に対応するには両者の協働は欠かせない。そのためには高松市民がこれからの大きな変化を自分のこととして認識する意識改革、自助努力がカギである。そのためには高松市はこれからの高松市の生活環境が具体的にどんな変化が起きるのか。例えば高齢化や少子化が進み自分達の向こう三軒両隣にどんな影響が現れるか、具体的イメージを提供する。それと並行して新しい力の育成強化する必要がある。それは市民サイドにあるNPO、ボランティアとの協働である。県下には高松市を中心NPO法人(321(13/10))と多くのボランティアが活動している。彼らには既得権益との関係が薄く新しい発想と市民生活の具体的で身近な情報とノウハウを持っている。しかしヒト・モノ・カネに於いて現状は脆弱である。高松市は協働を通してNPOを育て(新しい公)としてこれからの問題の解決と解消に役立つと思う
72	もっとも意識しなければならぬのは少子、高齢化と人口減少だ。子育て世代が郊外に流出していることも相まって街が拡散化しているが人口が減る中で、この傾向を維持するのは困難だ。インフラ整備、修繕の予算を抑えるためにも出来るだけ都心に回帰させる必要がある。その点でエココンパクトシティという流れは正しい。問題はどのように実行するかだ。市街地や拠点となる駅前の複雑な権利関係を整理して集合住宅や再開発ビルに集約していく必要がある。そのための法整備をして実行していくべきだ。こうした大きな流れの中で防災対策や環境問題などを取組み、同時にまちづくりの手法として市民参加を進めていくべきだ
73	1.まちづくりへ思い熱く高松市長自費出版(A5判214頁)されている通り具体化するとして早く実行して欲しい。例えば上記にあるような9項目全て近年の時代の潮流、変化は考えているより早くやってくると考えられるからです。2.予算化を急ぎ実行しなければならないが、これを担う人材の育成です(ここでは後継者の育成です)また産業学以外に全部機関を巻き込み財政面での資金を供給させる仕組みを創造すべきです(全部機関は運用先不足となっています)
74	台風被害等が毎々報じられる昨今だが、やはり防災や危機管理などに対する意識の高まりと連帯が必要と思う。それと大きな被害が出るとその都度、県市の指導の想定範囲が変更になりそのスピードに住民意識がついて行けない。設例で市民と行政の協働の進展が挙げられているが行政がもう少しリーダーシップを発揮して先導できる所は先導しなければ、その変化について行けない住民が多い。これは市民、住民の命にかかわる問題だからあえて提起します。それと空地、空き家周辺の環境浄化への道筋と明瞭さを欠く
75	食生活に対して、最近うどん県やうどんブームとうどんばかり。他の食文化があまり伸びていないようだ。昼食はうどんを中心に200~500円、ラーメン500円~、その他500~1000円、お金を使わない食事を選んでばかりでは味覚に対しての向上は望めない。高額な食事をしろと言うのではなく、本当に味がわかるようになってほしい。日本は四季折々の食を味わうという習慣がある。せめて旬の食べ物がわかる高松市になってほしい。食文化は向よりも身に近く広がりやすい。そして他にその効果はあると思う。小学校の給食やイベントでお菓子の様なものが出たりする。食育自体おかしいのでは
76	少子化の進行と人口減少社会の到来
77	1.少子化に歯止めをかけるのが最重要課題と思う。若者が移住してくる所得の向上、出産環境(産院の充実)、子育て支援、医療費無料化、教育費支援、保育所充実などをほかの県、都市に比べて少しでも多く実施する。2.育った子供達が地元で生きがいをもって働き暮らせる環境。中小企業を元気にすることで雇用の拡大、所得向上、地元で働く事は尊い事である、職業観の育成、長く住むことでコミュニティの発達3.中小企業を中心に多様な産業を振興する。中小企業、市民が参加できる行政、実態調査と意見を聞く仕組みが必要
78	少子化の進行と人口減少社会 保育所、幼稚園の一体化(運動場、駐車場、駐輪場の整備)、結婚年齢の引き下げ対策(高齢結婚のために多くの子供を産めない、3人以上の子供出産者に補助金等支給) 高齢化による長寿社会 健康を維持しての長寿(食生活指導、適当な運動指導)医療費、介護費の減少対策の推進。 防災・危機管理 防災訓練の繰り返しも大切であるが同じ様な訓練の繰り返しでは飽きが増えて真剣さに欠けてくる。いざという時にどういう行動を取るか状況に応じた対応が出来るように意識を高める事が重要(家族、近所、自治会単位、防災会での意識高揚)
79	高齢者になった時に寝たきりにならない為に健康づくり、食生活指導、体力作りに市を挙げて取り組む
80	-

NO	記述内容
81	少子化、高齢化社会の進行は止められるものではないので、これらに対応できるべき施策を中心に推進していく事を望みます
82	1.緊急課題は高齢者対策 (1)民間の資金力と協働した箱物対策 (2)高齢者の心のケア、高齢者の生甲斐目標創設が急務、年金で日々の生活を送るのみの人生では 2.中心街の空洞化、インターネット購入など、物流形態の変化ではないか。交通システムに強い自治体に成るか
83	中心市街地の居住者は高齢者が目立つ。高齢化対策はますます高松市に重くのしかかる。若い世代が高松でしっかり働いていける環境づくりが大切。若い女性、若い夫婦、若い世代に魅力的な街づくりを
84	少子化と人口減少、高齢化による長寿社会の到来を踏まえて納税システムの再考や医療保険制の再検討などが必要かと思う。自己責任率 1 割から 3 割と急に変化するのとは問題であり 2 割負担の特例は早く廃止すべきである。又市長は常に地域コミュニティの活性化が第一と言われているが、高齢化する地域への人的配慮、財政的支援をもっともっとすべきである
85	町が市周辺地域に向けて拡大し、一方で旧市内では急速に高齢化が進み、また地域の連携が希薄となり老人が孤立する恐れが出ている。現在地域コミュニティ協議会が設立され活動が強化されているようであるが、一地域住民の立場から見てその存在と役割が末端まで周知されていないように思う。その意義と重要性について各地域での地道な根気強い啓発活動が期待される
86	人口減少、地方自治体の自体性、自立性の拡大
87	-
88	少子高齢化を踏まえた市政及び一次産業、二次産業がすたれた企業活動の立て直しと 6 次産業の育成による生産活動を活発に行い、市税増収を計るべき施策が必要と思う
89	東京風街づくりからの脱却→高松でしかなし得ない自然と調和した街づくり。企業誘致のみならず人の誘致、そして定住性の実現。高齢化はこれからも確実に進んでいくが少子化はそうとは限らない。現在そしてこれからの若い世代が子供を産みたいと思う社会を作れば少子化に歯止めはかかる。子供を産むことにためらう原因を丁寧に解決していく事が求められる。少子化は対応次第で回避できる問題である。人の誘致の一環として外国からの留学受け入れを強化出来ないか。近畿の自治体でも取り組んでいるが、公営の遊休施設を留学生の宿舎として提供したり海外のプロモーションを展開することで外国の優れた人材を高松の大学に呼び込む。また並行して奨学金の創設、整備を行い留学し易い環境づくりに取り組む(香川経済同友会としても協力は可能)
90	公認会計士の業務を通じて感じる時代の潮流は経済の著しいグローバル化であるが、市場に乗らない生活もあることも実感する。自治体がまちづくりを考える場合、特徴をもたせることを考えられるのだと思うが、日本の良い点、安全なまち、善良で正直な市民、そのようなものを変わず大切に守る街づくりを考えていただきたい。昨今の潮流で憂慮する点が一点ある。善良で正直な市民が沈黙を守り中、他者の力に頼って生きる人口の増加である。福祉により守られるべき善良な市民と福祉により生きることを生業とする市民の区別は難しいが正直者がばかを見ないまちづくりを心掛けていただきたい
91	少子化の進行と人口減少、高齢化による長寿社会の到来、防災。危機管理に対する意識の高まり。自治会加入促進に行政の力を(別意識を考える)
92	美しい自然に囲まれた落ち着いた老人のまちならうとしている。それはそれで良い事であるが、若者に魅力ある都市という一面がなければ人口の流出は避けられず、都市は衰退していく。人口の自然減少を止めるには若い女性の協力が必要である。母親と子供達が暮らし良い都市にするためには老人福祉に傾き過ぎている政治を変え子供の福祉にウェイトをシフトする必要がある
93	少子高齢化は急速に進み、福祉の充実やコミュニティによる協働の組織づくりは必然の事柄ですが、住民がもっと自己責任を持って生活することが今後重要になります。家庭において高齢者を特に支えるのは基本的には家族で子や孫です。学校でのいじめや自殺問題は子育てが根本にあります、親の責任、子供自らの責任の躰が重要です。学校教育や家庭のあり方にもっと見直すべきです。ケガをしたり事故なども他人転嫁しすぎる風潮を考えなおすべき
94	旧来の住宅団地の空洞化と無原則的な宅地開発による自然破壊の進行。30~40 年前に開発された住宅団地では 10~20%が空き家で管理されず放置されている箇所が増えてきている。核家族化が進み古い住宅に高齢者が取り残され行き着くところ老人ホーム等施設に頼らざるを得ない。今後、高齢化が進むに従いこの傾向が加速されるであろう。中心市街地の空洞化と都市機能の拡散化。都市機能の拡散化に一定の制約を施す為、準区政的な総合支所の設置を検討してはいかかが

NO	記述内容
95	-
96	地域の繁栄の基は、少子化対策である。どんな所であろうと人がいなければ滅びるのみ。働ける場(企業)がなければ若い人は出ていかざるを得ない。(適切な所得)最大の雇用先が行政では未来はない。中心市街地の活性化策をとっているが、補助金なしの独自財源で賄えない活性化を延々と続けるわけにはいかないのでは・・他地区の成功例?を追いかけるより自分らしさを育てていくことが大切。辛抱がいるが
97	1.地域社会の中で助け合い支え合いの必要性。共助の精神の大切さ 2.協働、行政職員が地方の事をよく勉強しましょう 3.地域の負担を大きくしないで
98	少子化の進行
99	つまり働き方が減ってくる。人口が減る。デフレが進行、従来の枠組みでまちづくりは無理。四国州または四国市とすべき。少なくとも香川県と高松市は併存すべきでない
100	皆に住みやすいまちづくりの要説はもう少しスローペースを分かりやすく働きかけです
101	成熟記会を目指して人間が高松で80~100年、人間らしく自立して暮らせる都市づくりが必要。目に見える都市景観も必要だが、心に感じる都市空間づくりが必要。安全安心の街づくりから、安全・安心で心豊かな街づくりが必要。子供が遊べる空間作り、高齢者が気軽に集まる空間づくり(コミセン利用再考)
102	順不同であるが、ひとまず教育環境の充実より子育てしやすいまちづくりが必要ではなかろうか。女性の社会参加による子育て支援策に偏らず親子で地域参加が出来、地域との結びつきが深まり家庭の教育力が高まるような教育的視点での政策である。地域を巻き込むことで結果的に地位の教育力が高まり、地域の子供という観点からみんなが教育の当事者となるよう教育環境を整備すべきではないか。夢の実現という観点から2020年東京オリンピックがスポーツ振興のきっかけとなる。香川県でも指導者、選手の育成等、学校での体育の充実も含めて地域、民間、行政とタッグを組んで夢を追いかけていければとも思う。これも教育環境の充実の一環であろう。社会保障費がふくらむ中、もっと生活費や社会参加を政策的に展開する必要がある。学習=個人任せにすると幸せな社会は到来しない
103	潮流、変化の例をわかりやすくイメージして言い換えると。住んでみたく子育てしたくなるようなまち。豊かな生き方や終焉の迎え方をイメージできるまち。地域の人々が協力して防災や助け合いが出来ているまち。孫、子に誇れる環境を築いているまち。働く場の多い(選択肢が多様な)まち。中心市街地にお年寄りから子供達までが住めるまち。行政サービスのメニューを市民協働で推進しているまち。こだわりのある農業が元気な(逆説では消費者意識の高い)まち、農業やモノづくりの(手仕事)生産者を大切にできるまち
104	高齢者の生甲斐を確保(生涯現役)、高齢者の救護、エネルギー問題を目指した都市づくり、若者が定着できる環境の確保。高齢社会といえば、高齢者への手厚い保護ばかりに目を向けがちであるが、むしろ介護を要しない高齢者づくりと社会貢献できる場を確保すべきである。年寄りが元気に働き、その場所で最後を迎えてもらうのが理想である。そういう社会を実現するためにも社会全体で高齢者がいつまでも元気よく働ける社会を目指す必要がある
105	高松市の取り組む多核連携型コンパクトエコシティ構想は大変ユニークで有意義な施策であると思われる。しかし多核連携型として集約拠点を17箇所選ぶことは市政の立場からして仕方のないことであると理解は出来るのですが、今後はその中でも拠点毎に市との関係性において強弱をつける必要もあるのではないのでしょうか。受動的に与えられることだけを待つ市政の拠点とは関係もそこそこに自らが責任と実行力を発揮する積極的な拠点とこそ、もっと情報共有や交流、支援を深めパイプを太くしていくことが重要であると考えます。今のままでは総花的な印象は否めずコンパクトエコシティとしての目標を達することができないのではないのでしょうか。また現在、高松市は政策を具体化し、成果指標を設定し実現状況を数値で公表している点では評価できますが、今以上のスピード感と分かりやすさには更なる工夫が必要であるとも思います

NO	記述内容
106	子供中心のまちづくり、子供達が楽しめる行事、場所の充実(文化スポーツ等)をはかり、子供達が将来この町で生活していきたいと思えるようなまちづくり、それは中心市街地ではなく地域の充実を重視していくことだと思う。少子高齢化に伴う人口減、長寿社会の到来を逆にチャンスと捉える考え方を取り入れた検討を行うべきだと考える必要がある。高齢者の活用、人口減に対する行政機構のコンパクト化、効率化を行うべきだと思う。少子化に加えて高齢化が進み将来に不安を感じる。会社は今も60歳定年制を変えず嘱託として一年契約となり報酬も激減するにも関わらず、年金は報酬があることでストップしたりする。経験豊かな人材をもっと活用できる制度が必要だと思う。戦後の団塊の世代が年金族として重荷になるよりもっと働ける希望がほしい。高齢化社会の中で元気な人にはボランティアの推進をして若い働き手を支援する。農業が出来なくなると緑が失われ住宅が建ち、一方では空き家が増えている。これに対して環境の保全と農業を拡大してくれる若者の育成とその応援(支援)体制をとる。若者の非正規雇用がどの職業種にも多いのは憂えることで、結婚・少子化等にもつながることだ。人口の減少は市の衰弱を意味する。子育て支援、婚活計画が必要。高齢者に対する支援が必要。交流、情報の場、機会の提供など。防災危機管理に対する取り組みが中途半端でまだ不十分である。これには住民意識の危機管理に対する理解の低さが根底にある限り行政側だけの問題ではないと思うが、これには住民意識の危機を防ぐ視点と危機に対応する視点を分けて見直すべきと考える。市民と行政側が十二分に考え実施してきてどうしてもできない部分を住民との協働に委ねるとは思えない。市民との協働を推進するという名のもとに安易に考えていないか。もっと自然環境に特化して緑と海のまちづくりをしてほしい。中心市街地の空洞化はやむを得ない。そこに予算をつけるより高松市郊外の開発等に予算をつけるべきである。私は約20年間中心市街地(丸亀町等)で商品を購入していない。市の拠点を中心から郊外へ移行すべき。商店街に依存しすぎているので合併町へ移行すべき

問4 目指すべき都市像について

「問4 目指すべき都市像についてについて」は、83.0%（88人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	日本の心「おもてなし」四国の文化「おせったい」等市民の笑顔が高松市を訪れるお客様にとって思い出と癒やしを提供できると思います。まず、市民が幸せになる街づくりをと考え生きがいのある高松市を造りあげることだと考えております。
2	-
3	中心市街地、商店街の活性化。自転車道が途中までだったりバラバラである。注意する人が横暴な態度であったと同じ年代の方が行っていた。駐車場が高い。誰でも見られる文化遺産や芸術が街中があれば足を運ぶようになる。小さい時代に音楽に触れる機会が少ない。大きくなってもコンサートなどに行かないはず。いい出演者が来ない
4	-
5	市民皆々の協力を得て光輝く高松にしたい
6	文化で都であるなら今すでにあるものを有効利用し活性化する事に力を注ぐのですね？（サンポート高松）中心部に人が流れないのはなぜか？お金がかかるからだと思います。中心部には行くだけでお金がかかります。駐車料金も。でも中心部にはそこにしかない魅力があります。サンポート高松もフェリー乗り場～高松駅～商店街とディズニーランドのエキサイティングなイメージ。もしも天候が悪い時でも乗物から降りて十分中心街で滞在出来るとすればお金をかけても魅力になると思います。毎年少しずつ良くしていった高松に来ていつも新鮮でよくなっているのを実感できるのがよいかと思います。便利である事は企業にも魅力的ならまた新規産業も来ていただけるでしょう
7	理想像ですが。効率優先、結果優先の発展ばかりを追いかける街づくりより文化の風かおりといったゆとりのある街づくりはとても魅力的。最終的に強い街はその土地の恵みを大事にし、その土地、自然の許容範囲で越えずにつつましく生活する街だと思ふ。そんな中、高松には山、海の恵み、素晴らしい風景があり、カナダ（西海岸）のように仕事後夕方から海や浜辺に出て思い思いにレジャーを楽しむことだって可能な環境にある。ハード面のバリアフリーが進む事で障害者、高齢者の方々もイベントに参加する機会が多くなり交流が増え、ソフト面のバリアフリーも進むのかな
8	現在わが国の統治構造は国、都道府県、市町村の三層構造（広域機構を含むと四層構造といえるかもしれない）となっており極めて非効率的であると思います。このためには道州制は不可欠ではないかと考えます。これまで高松市は四国地方の中心都市として発展してきましたが、今後を見据え四国の都としてふさわしい風格のある都市として発展して欲しいと思います
9	高松市に住んでいる人が楽しめる街にしてほしい。屋島は観光地であり外から人を呼ぶ事ばかり考えています。地元の人が屋島で楽しめる街作りをしてほしい。街の中心部から高松城跡までの連続性が無い。身近に文化を感じるためにも高松中心に行き歩いて、街で買物をしたり、高松城跡までいける都市作りをしてほしい。城は街のへそであり中心だと思います。公共交通機関を再構築し、歩いて、電車で街に行ける高松にしてほしい。車社会のまがり角に来ています。白地地区を廃止したことにより高松の街はスプロール化しました。色んな手を打って修正をしていますが、コンパクトシティを目指して都市計画を見直してほしい
10	第5次高松市総合計画の目指すべき都市像に体力面、健康面に関する事が無いと思います
11	-
12	市民1人1人が自覚を持ち知識の高揚をはかる事
13	1.都市開発に目標、方針管理が不十分 ①田園都市と標榜する中で、どこまで田畑の他用途転用を許容するのが日本一狭い面積の県都として、将来を見据えた土地利用計画、方針を持つべきである。②道路建築補修は請願道路一辺倒ではなく必要なもの。計画遂行上必要なものは市が主体性を持って取

NO	記述内容
	り進め計画の進捗管理を徹底すべきである。③全ての事業を環境の傘に、と市長は言われていたが大きな設備補修が新規計画でそのような観点からの評価結果が見えない。環境重視の施策遂行が不十分ではないか。2.環境に配慮した安全、安心なまちづくり 恵まれた自然環境、地勢を認識し、最新の情報を有効活用出来る人材を育成し日々安心して暮らせる都市を期待する。その為には各種社会ルールを守る人づくり(教育)がキーになる。多い交通事故、万引き、不登校者等の減少、法律で義務付けられている火災報知器の設置。日々のゴミだしの仕方まで大人から子供まで守るべきルールが実践されていない事が多過ぎる。特に自転車運転マナー(携帯電話をかけながらメール操作しての運転、ゴミの不法投棄等)は目に余るものがある。3.高齢者でも安心して暮らせるまちづくり 個人の考え方、意識が重要であるが、地域社会とのつながりを築けていい外乱情報も無く安心して生活できるまちを望む
14	文化の風かおりというなら一流の文化にすぐに触れられるようにすべき。東京などの大都市で触れられるようなもの(音楽、絵画、映画、演劇等)も高松に誘致してイベントなども開催する
15	世界の人々が住みたいような都市、例えばオランダのアムステルダム(自転車利用の環境がよい)
16	高松市の中心部に郊外の大型店舗にない特色ある(衣食住、娯楽、遊戯、スポーツ・レクリエーション等)整備集約する
17	歴史や文化をもっとアピールし、特産品を色々な人に知っていただく事で誇れる高松市であってほしいと思います
18	前ページに記入しました
19	-
20	-
21	丸亀町の商店街に人が多くなり活気が出てきた。街に出掛ける人も多くなると公共交通機関の重要性が高まる。高松市西部の香西、下笠居地区においては人口の増える見込みが少なく高齢化も顕著になる。そこでLRTとかモノレール、地下鉄といった設備を導入し、新しい公共交通機関で利用促進を計ってはどうか?このままではバス便も減少の一途を辿るのみ、新たな政策を考えてはどうか?文化面では香西には勝賀山がある。この勝賀山をいかして高松市民が訪れやすい里山作りをしてほしい。また海の汚れも進んでいると聞いている。瀬戸内海国立公園 100年のイベントを盛大にすべく里、海作りにも取り組んでほしい
22	-
23	文化の風かおりとは?具体的によくわからない。大人も子供も住みよいまちづくりにして欲しい
24	瀬戸内芸術祭は県民あげて推進しております。年々人の数も増えております。今後は輪を広げる為中山間等にも検討して頂きたい
25	今の計画で満足している
26	-
27	海に向かっての都市想像は大事だが、道州制を見据えた四国州の高松という都市の考え方が必要になる。人間が活動するのは地上であり、その多くが山地である事に目を向ける事が大事。四国州をけん引する役目をすると思うが、四国全体を見た経営観が必要と思う。高松でも合併後山村が増え、それら過疎地に対する配慮も必要、活かせる土地や資源も増えたので内陸に目を向けるべきと思われる
28	四国遍路に代表される癒しの聖地であると同時に活気のある街づくりに取り組んでいただきたい
29	総合計画、都市計画を策定するたびに、目指すべき都市像がキャッチフレーズで示されるが言葉が踊っていて実質がともなっていない。瀬戸の都、高松とするなら全国、全世界の人々から何百年にも渡ってそう言われるようなまちづくり(都市づくり)をすべきである。個別事項は問3で回答した通り
30	鉄道も道路も他県の主要都市にはかなわないかもしれませんが水上交通は可能性を感じます。近い将来、水運が再び脚光を浴びる時代が来るかもしれませんので先行投資して水上交通の拠点として瀬戸内海のNo1を目指すべき
31	同総合計画は見えていないので何とも言えないが、規模よりはレベル向上を目指すべき。文化の風かおり…。この具体的な肉付けはどの程度万能なのか。特に企業が具体的に参画していくことが重要と考える
32	多核連携型、コンパクトエコシティを構築して地勢や伝統文化、歴史を活かした効率の良い都市、里山、池、川、森等バランスの良い高松市、面積的には最小の県だが、県都として誇りのもてるまちづくりを目指して欲しい

NO	記述内容
33	広く時代を見据え、30年後を目指した施策によりかなり住みやすい地方都市になっているのではないのでしょうか。コンパクトエコシティ構想が実際にどんな形になっていくのか見守っていきたいと思っています。もともとの広さ、人々という変革しやすい地方都市であると思っています。ハード面で恵まれています。あとは人を育てていくというソフト面をどう広げていくかで都市像の実現の可能性が掛かっています。それにはまず今の大人・実際に施策に関わる人達の意識の変化が重要だとひとえに考えます
34	子供達の育成環境や教育環境を整えて夢や希望を持った若者を育てたい。24時間開業のスーパーや娯楽施設が本当に必要なのだろうか。高松市はこんな市にするというビジョンのもと他の市とは歩調が合わなくても独自の取り組みを実行していただきたい。
35	市民が安心、安全な暮らしができる街。地域経済の活性化
36	私は平成12年に自治会長として地域活動を始め、現職時代は地域と繋がり深い業務であり、地方自治体について理解しているつもりであったが、平成11年度高松市行政改革の取り組みを拝見して初めて行政の苦労がわかった。全国的に大都市を除き少子化と高齢化が同時に進み、高松も同様であり人口減少社会に対応する都市政策が求められる。中心市街地は一部を除き年々人口が減少し、家族の構成は2人未満でその大部分が一人暮らしの高齢者か高齢者夫婦である。花園地区の少子高齢化は一段と進み、高松市を100とすると高齢化率は136%、少子化率は175%であるこれからの都市像は少子化、高齢化を見据え、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを実現したい。公共交通の充実(循環バスの運行復活)私の町内にはショッピングレインボー循環バスが30分間隔で運行されており、高齢者が70%を占める町内では三越やJR高松駅へ行くのに非常に便利で地域住民は大変感謝している。一昔前は旧市内全域を網羅して1番線から5番線までの循環バスを運行しており復活されたい。②自転車利用の環境作り(自転車専用道の整備) 現在、自転車専用道は丸亀町商店街を除き中心部の市街地に設けているが朝夕のラッシュ時に安心して自転車を利用できるよう自転車専用道の整備拡大を要請する③高齢者専用休息所の整備 中心市街地の歩道に高齢者が一休み出来るような簡易休息所を設けていただきたい
37	地域のコミュニティ等の会合に出席すると、会議の冒頭に高松市の街作りのスローガンを唱和させられます。良い事づくめで結構なのですが、形式にこだわりすぎの感じも致します。将来にわたって必要な事は何といても安心、安全な都市が第一でしょう。そこから活性化や豊かさ更には文化度、国際性の向上などの課題へと進むことができるとお思います。
38	キャッチコピーが実現できる都市になってほしいです
39	スマートシュリンクを図り中心市街地のこれまで以上の活性化と拠点のみとの交流増大手段の導入が求められる
40	問が抽象的で具体的には表現できません。しいて言うなら住民が高松市民で良かった、高松に住んで満足していると思えるような高松市でいてほしい
41	行政が考えるべき問題だと思う
42	高松市は、島嶼部から県境山間部まで自然にも歴史文化にも多様な特徴を持った地域であり、これからは地方都市としてゆとりのある生活と文化の住んで良く、訪れて魅力のある地域づくりの一層の実現を目指すことが肝要と思われる。大都市の街づくりの模倣であったり、今住んでいる住民の身近なニーズだけを見て地域づくりをしてしまおうというのではなく、訪れる人、移住してくる人にも目を向け、もっと広範は視点で住んで住みよく、訪れる人に魅力ある地域づくりを進める必要がある。沖縄、北海道、信州、ヨーロッパの地方都市の実情などもよくよく参考にし、島嶼部および海沿いの地区、市街中心部、中心部以外の市街化地区、市街化調整地区、里山地区、山村地区のそれぞれの持つ特徴を伸ばし相互に多様性を活かしあつた厚みのある地域づくりをすることが望まれる
43	個性的な街づくりをお願いしたい。文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松 とあるがキャッチフレーズとしては無難と思われる。しかし重要なのはその内容であることは言うまでもない。高松の都市としての一体化 平成18年に合併して以降、本当に42万市民が一体化しているのか検証するとともにその結果に基づいた対応が必要となるであろう。地域によっては温度差があるのかもしれない。地理的な戦略 香川県のほぼ中央東よりを占める高松市は交通の結節点として位置づけられている。それは県内での位置づけと国内での位置づけが考えられ、前者では不動の位置を占めているものの、後者では地位が低下している可能性を指摘できる。土地の評価に関する各種指標などがそれを端的にあらわしていると考えられないか。これらは交通網の発展に伴い変化するので、社会の流れに逆らうことができない

NO	記述内容
	いものの東京との時間短縮を伴う変革は熟考のみ対応しなければならない。東京都の間が短縮されることは高松市がその圏内により強く含まれることである。従って、反発できる要素が高松市の生き残りにとっては大切である。言い換えれば、東京に無いものを、他都市に無いものを幾つ持っているかではないだろうか。細かなものでもいいからまず、どの様なものがあるのか、知る必要があるであろう。事例として遍路文化の結節点(観賢、真念、涅槃の国讃岐)、瀬戸内海の景観(屋島遊鶴亭、夕陽、海のピラミッド大鎚)、水を大切にする心(四箇池、三郎池、新池、平池、小田池、奈良須池)その他にもたくさんあると思うが、分析の上対応していただきたい。地域の中心的な都市として 四国の中枢管理都市としての地位は堅持する必要があるが、今後は高松市を中心とする圏域を構成し、発展させていく必要がある。高松市都市圏の発展と充実が大切である。空港や商業施設を核として徳島圏域にも目を配るとともに、付近で最も大きい岡山市圏と適度な拮抗関係を維持していく必要がある
44	子供達について 体力の低下、生活リズム、道徳心等に対して家族で意識の向上。サンポート高松の有効活用、大型水族館を作ったら
45	緑明るい栗林公園、瀬戸のさざなみ呼ぶ屋島、市民の願い、美しいものですが何故唱和してもそこにはいつも空々しさを感じます。その訳は、昭和 55 年制定のものを一文字も変えないまま(6 町合併したのに)インフラと教育に力点を。市職員が市全体の事をもう少し認識するように。せめて自分の地区のコミュニティ活動に参加して一般市民の平均レベルになりなさい。そして高松市外のことも知って行政サービスに当たってほしい。前が見えてくると思う県都の自覚を
46	住んでいる人が良かったと思う町、年寄りにやさしい町、住んでいる人が誇れる町にしてほしい。色々な世代が交流し一緒に活動することによって子供に生きる力がつくと思う。未来の高松の担う子供達をしっかりと育てよう家庭の力、学校の力、地域の力を高めて欲しい
47	高松城の下に栄えた港町であるが、平成の合併で海辺の市街地から農村部、そして南部の山間部に至るまでの自然に恵まれた自治体であり、歴史の散策や山間部には健康づくりに役立つハイキングコースの創設など、各地域の特色を活かしたまちづくりを行うことが必要であり、可能な自治体であると思われる
48	災害も少なく、温暖な気候で住みやすい町である。経済的にも支店経済と言われ大手企業の出先が多く転勤者も多い。もっと多くの人を受け入れられるよう行政、市民も一体となって開かれたまちづくりをするべきだと思う。特に観光客の方々には古くからあるお接待の心を忘れず、親切にするべきだと思う。特に商売されている人は
49	-
50	-
51	まず、「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」このような町に住めることが出来、とても幸せです。ただ文化の事だけになると風かおるほどに文化意識は低く感じる。例えば、多くの文化施設は分散し個のイメージで帯としての風の運びを感じるほどでない。又、空間的文化意識、森、テーマなどもないので風かおりの意味からは遠い。もっともっと文化の森などを瀬戸内海の家とともに美しい町を目指してほしい
52	①都市像は良いが、周辺地域の山林、田園、地域開発の考えは？である。②緑化面の考え(中心市街地のみ考えているように思う)が少し不足している。③田園や城の意見も取り入れる必要がある
53	「安心して暮らせる 活力あるまち」高齢者が安心して暮らせるまち、近隣の人達とコミュニケーションを交わす、買物など日常生活の利便性を。若者に働く場所作り、県民所得の伸びが極めて悪いか。少子化を迎える中、労働力を迎えられる場所作りが必須、地域の活性化
54	グローバル化し著しく内外の経済状況やそれを視野に入れた都市づくりも社会資本投資もできないと思う。世界に誇れる多島美の瀬戸に豊富な山海の産物、1 の(1)で記したような土地柄こそが高松市の誇れる特徴だと思います。それをいかした創造や方策を具現化するのには優秀な職員皆さんの力であって郷土高松にかけの使命感と熱意の職員が要となって努力する成果が見えてくる。その方は職員の方の皆さんの発奮を期待いたしております。私は目に見えない所の視点から述べさせていただきますが、文化とは何か、音楽、美術、芸術は目に見える立派な文化であります。人々が永い暮らしの中で生活習慣となって創られてきた風習や考え、社会の営み、社会規範と申しましょうか。僅かこの半世紀余りの間に明治維新のような変化があったかと感じます。荷物提げ前に立つ高齢者にシルバーシートに座ってメールを打ち続ける若者、メール歩行者に老人が接触、怒った顔して去る若者達、(2)で記した現代社会現象を

NO	記述内容
	目のあたりにします。戦前子供の頃、親が寝込むと誰となく近所の人がおかずを作ってきてくれたり、看病しあい思いやる事がごく当たり前のように行われていた生活習慣が息づいていた。昔から人は金銭だけを尊ぶ人間を軽蔑し人として品位のあることの方を金持ち成功などより尊しとしてきた。それが戦後民主主義という素晴らしいものを手に入れたとともに、旧き良きもの、日本の美德を封建的の一言で捨て去って物の欲望が満たされることを善としてきたのでは。ですから地域社会の中で延々と造られてきた価値観、我慢、辛抱、清潔、礼儀正しさ、正直、公德心、勤勉、恥を知る、けじめをつける、親切、忍耐、責任を取る、儉約、物を大事にする、もったいないという日本人がつくり上げてきた文化は失われてしまった感があります。それならそれに代わる新しい論理観や価値観をつくっては来なかった事、そのつけが今様々な形で事件になってきているのではないのでしょうか。そこに住む人々の考え方、生活習慣がその町の薫り高い文化を創り上げる。これからの30～50年かけてもいい。良いものを復権させてほしい
55	自然、文化、温かな心がふれあう瀬戸の都高松というイメージ。3本の本四架橋の中で高松は真ん中でいわば縁側の存在。人、情報、芸術文化、モノなどを求めて人々が集まり交流する瀬戸の都の創造
56	第5次高松市総合計画は2008年から2015年の計画のようであるが、記載の計画は高邁であるから実現のために継続的な取り組みが必要とされる。町づくりの基本的な考え方は第5次高松市総合計画に全く同感で前問でも述べたように心の豊かさを重視し、持続可能な都市づくりを目指すという基本を継続すべきものと考えます。先ほど発表された2012年の香川県の合計特殊出生率は1.56で、全国の1.41を上回り東京都1.09を大きく上回っている。首都圏に比べれば、まだ子育てしやすい環境にあるのではないか。しかし高校を卒業した段階で、後期高等教育を受けるにしろ就職するにしろ県外にそれを求めざるを得ない地方の悲しさがある。逆の面から言えば地方都市は豊かな人材を都市圏に供給するというきわめて重大な我が国の将来を左右するほどの役割を担っているといえることができる。本項では協道にそれるが、こうした地方都市の役割に鑑みるに、あるいは道州制と言って地方分権が要請されているが、否定的ならざるを得ない。地方が多額の育成費を投入して一人前に育て上げた子供が首都圏で働いて、首都圏の自治体の税収入が潤う。そして場合によってはふるさとの復旧には充てられず、五輪施設に投資される。齟齬もはなはだしいと言わざるを得ない。地方は豊かな人材を都市圏に提供しているのであるから、都市圏はその継続が可能な環境づくりをともに考えるのが相互発展の道ではないか。目指す都市としては子供達が豊かに成長できる町づくりが必要です。子供達が豊かに成長できる環境はあつと高齢者にもやさし環境となっていていいのではないかと。自分達が故郷に大切に育てられたという意識は、故郷を大切に思う気持ちに繋がります。様々な意味での帰郷がそこから生まれることもあるでしょう。そんな誇りの持てる町づくりを目指すべきだと思ふ
57	このテーマの通り瀬戸の都を全面に推し進めてほしい。瀬戸内海を活用した観光や高松城(玉藻城)の再興など文化面も充実させてほしい。このテーマがさらに内容充実することを望みます
58	生活しやすい(暮らしやすい)高松市
59	かつては現在世界最高の指揮者といわれるジョルジ・プレートル氏(オーケストラはパリ管)が県民ホールでコンサートをし(しかもチケットが都会の半分の値段であった)香川県も捨てたものではないと思つたものである。しかし、時代の流れからそんな大物の来県もめっきり少なくなった。一方で前述のとおり瀬戸内芸術祭、音楽コンクール、地元のオーケストラが出来る等芸術や文化に対する意識が廃れてしまったとも思えない、それが現状の状況か。文化の風というがはっきり言って文化や芸術に関して高松はこれと言つたメジャーな特徴や伝統があるわけではない(漆芸くらいか?あとはイサムノグチ?)しかし文化や芸術を創出していくことは可能である。予算の許す限り芸術特区というのもありだし、そういった文化や芸術の創出をNPO等の民間にやらせるシステムを充実させることもできると思ふ。当面の現実的な仕事と出費で精いっぱいというのも分かるが、ならばなぜ文化の風と銘打つたのかという事も考えてもらいたい。余談だが、シンボルの一つ那須与一、那須の人間である。なぜ高松のシンボルなのか?平家物語は好きだし、牟礼に墓のある佐藤継信の男気は感じ入るがだからこそこれは本当に教養のある人が考えたのかと思つてしまう。ただ、些細なことなので考える必要もない
60	高松の資源を活かして富を生み出す、仕事を生み出す、希望のある町づくり、観光都市化
61	-
62	H20年度からスタートした第5次高松総合計画が実施されていますが、早5年が経過していますが何が出来てないか検証はできているのでしょうか。H25年度、今年は見直しの年です。スピードアップする施策とそうでない物の仕分けが必要と思ひます。又その情報開示は出来ているのでしょうか。せめてコミュ

NO	記述内容
	ニティ協議会に対し何かの機会に知らせてもらえればと思います。土地利用構想とありますがその中に休耕地の対策がありません。高齢化する中で農業に従事する人が減少する中で休耕地が増加しています。現状それにつけこんだ2.3のアパート建築業者が建築を進めており若い人たちが結婚しない中で空室ばかり増えている状況にあります。行政はどのように考えているのでしょうか
63	-
64	-
65	瀬戸芸、世界ピアノコンクールの継続
66	第5次の計画としては実現出来れば素晴らしいと思います
67	地産地消の推進が忘れられ、省エネも24時間電灯をつけて消費を促進させるのはおかしい。地方が大都会を同じように消費戦略を追従する姿を異常と思わなくなっている。教育環境の劣化による頭脳の流出、労働の流出を食い止めようとしなかった事を黙認し教育も地産でなければならぬと思う。地産地消の推進が遅れ地産品目が大手企業の流通商品よりも高くなり、高松は都会の消費戦略と飲み込まれている。この現象を打開する施策や地元産業生産品の保護が要請されている。利便性の追求を終えスローライフにシフト瀬戸芸のようなイベントを後押しする場合も地元地域に経済的効果が感じられる事実がもたらされるように支援すべきである
68	文化の風がわかりにくい。具体的にどの分野に光をあてるかはっきりしてほしい
69	高松市の計画で山間地の役割をはっきりさせた上で総合計画を作ってほしい
70	1.第5次高松市総合計画はよくできていると思います。2.中心地に人口を集め集積を図ることは望ましいと考えます。なぜなら中心市街地が空洞化するとシャッター通りとなり人が寄り付かず、中古住宅やビルが廃墟となってしまう。放っておくと手をつけられなくなります。魅力ある中心市街地を作るよう、民間の力や香川県などと協力してすすめていただきたい。ただハード面では高松市の役割と思いますが、ソフト面では民間の方が優れているからその力をうまく生かしてもらえればと思います。3.あともう一つは人材の事です。総合計画の中で人材の流出が顕著となっており、若者の向学意欲を満たすと共に本市への定着化を図るとあります。他の地方都市に比べればまだマシの方だと思いますが、高松から大学でも東大や早慶などに行くと90%は東京などで就職し10%が四電、県庁、市役所などに就職して高松に帰ってきています。就職先が少ない、あっても東京の企業に比べると見劣りがする(給料が少ないとか)ためです。4.しかし通勤時間の短さ、海や山にすぐ行ける環境、教育水準のレベル、勝つか負けるかだけの世界で一生を終える意味などを加えると決して東京などに見劣りしているわけではありません。5.高松の良さ、地方都市の良さをより一層際立たせて東京などに行った若年層が喜んで自ら帰って来て仕事をする、事業をおこなうというようになると、高松市全体が活性化し、類は類を呼ぶということになるだろうと思います。江戸時代では各藩に藩校があって、何も東京(江戸)でなければならぬというわけではなかったのです。そして、そこから藩の改革などを推し進めていった事を思い出せます
71	私のある1日の過ごし方で代弁してみたい。朝ごみ出しに行き会う人達には出来るだけ挨拶する。1人暮らしの知り合いと暫く他愛のない話を別れ際(楽しかった)という。お互い様だ。黄色い旗を持って通学の子供達を見守る人は高齢者、ご苦労な事だが役立っている思いもあろう。近くの公園の中で今朝も落ち葉やゴミ拾いをしている人がいる。健康のためだろうがボランティアだ。地域仕事は地域の人がやるのがうまくいく。犬の糞で困っていた家で子供が通行人に挨拶の声を掛けるようになり、そのせいか、いつの間にか糞が放置されなくなったという話を聞いた。人間関係がハードな対策より効果があるエピソードである。家庭教育の効果はバカにならない。朝食はご飯と味噌汁と漬物と果物が定番メニュー。ご飯はもちろんさぬき米、旨くて他に変えられない。おかずの野菜や果物は産直JAで買う。安くて新鮮、地産地消にもなる。さて今日は地域ゴミにバザー用にリサイクル品を持っていく。我が家にも使われていない趣味骨董類が残っている。身辺整理の機会だ。福祉施設などで役立てば一挙両得か。昼は郊外道の駅へ。ここは地元の魚料理専門で新鮮で他店とは一味違う。健康にも地産地消にもなる。併設する県内外の地元の名産物を買うのも楽しみである。市内各所に商店の人達が共同して他には無い店舗作りをすれば便利だが。帰りは広報誌で知ったサンメッセのイベントに立ち寄る。地元NPOやボランティア団体も参加して商店とは違った商品が見られた。ここは学園研究地域とか整然と落ち着いた建物が多い。自然災害に強いメリットということで全国的にも有数なデータ企業が進出するという話を聞いた。これからもこのウリで各地から誘致できればと思った。夕食後はNHKのテレビ番組、瀬戸内の小島の探訪番組を見る。この島の出身ゲストで選ばれたとの事だ。島の人達には前代未聞も大事件だろう。この過疎の未知

NO	記述内容
	の小島も賑わうのではと思う。瀬戸内海の景観を活かした観光ネタはまだまだある(あまちゃん)的効果を生むアイデアはないか。関西の都会に住む孫が時折来るのも自然に恵まれた土地での気分転換と山海の新鮮な食べ物目当てなのだろう。時代は安定成長期、カネとモノを活用して人を豊かにする理念の第5次高松市総合計画、掲げた目指すべき都市像は現在進行形ではあると思う
72	大量生産、大量消費社会の後、人々はより洗練されたもの、格調の高いものに集まる傾向があると言われる。派手さはなくても質の高い住環境、ここにしかない仕事美味しい食美味しい自然環境と歴史遺産を整備して快適性の高い、実際住むのにちょうどいいまち、幸福度の高いまちを目指すべき
73	1.まず議会改善検討委員会が設置されていながら、この委員会が十分に機能を果たしていないのではないか？これこそ公開して議論の内容を公開すべきでしょう。2.また議会基本条例の制定をしながら一問一答であると聞く。反問を求めて議員間の自由な意見が支援できれば本当にいいものが決議されると確信します。3.また3月議会で子ども・子育て条例が制定されましたが、学者の言う子供の地域やその地域援助が目的であり本来あるべき子育ての環境整備を促進するものになっていません。4.私達の現実でも児童虐待や在籍しながら発達に遅れが見られる子供がいます。私はどこの地域、家に生まれたかで子供の一生が左右されないような施策の充実を願います
74	瀬戸芸では県内、市内の島がPRされ相当の効果を挙げたと思われる。観光都市を目指す高松市にとって今急がれるのは瀬戸芸の秋上会が終われば早急にこの行事の取り組みの総括と反省点を模索し次回に備える事が重要と思われる。そこに自ら進むべき道が広がるのではないが、多くのお客さんに市へ来てもらって賑やかさが増せばこんなに有難いことは無い
75	世界を考えて計画し、現在の瀬戸芸等国際的に通用する事例が多く見られ、まずまずの成功を治めているのではないのでしょうか。しかし、高松市は地方都市でありながら、中央とは異なる文化を持つ、歴史的にもっと大切に扱われる文化を持つ地域と思えます。中央風なものではなく地方は個性を生かしたものがもっとあればと考えます。屋島城内、歴史的にそこに何があったなどは記述はありません。それを復元などといって作って見たり観光としては良いが、将来において正しいかどうか。瀬戸芸では色々意見はありますが、島が注目され一時の活性化にはなったと思います。でもこの先どうなるのかブームの後にはそれまでとは違った過疎が進むのでは。今後の長いときに活性化が感じられる対策を今までとは異なる政策を出す必要があるのではないのでしょうか
76	散歩やジョギングが楽しめる大きな公園を整備してほしいと思います
77	ここに暮らす全ての人が安心して充実した人生が送れるように一人一人を大切にする街を目指して下さい。少子化に歯止めをかけること、瀬戸内の景観を生かす、他では真似できない歴史を生かす(高松城の復元、城下町の再現など)、中小企業を中心にした産業の多様化、多様な産業の振興
78	文化の風かおり光かがやく瀬戸の都・高松も大切な事だと思いますが、安全で安心して暮らせる都市づくり、防災、交通安全、防犯等に重点を置いて欲しい
79	-
80	-
81	総合計画の実現が、これからの高松市がこうあるべきを示しているのをこれを強力で推進していくべきと思う。但し、まちづくりについては市民と協働していくことであり、これらの意見、提案等については真摯に受け取り本市の目指す都市像として良いとなればそれらを総合計画に反映する柔軟な対応も必要と思います
82	豊かな社会を構築するためにまずもって経済基盤を確立することが大切と思う
83	高松の文化的なイメージアップ(芸術祭、ピアノコンクール、映画など)は好ましいが、これからの問題に本質的な対応策ではないと思える
84	文化施設面での充実が今一つであり、又自然環境の利用という面での施設等の整備が不十分である。特に屋島、八栗の活性化は観光客を呼び市の活性化の最上のポイントであると思う。又、水と緑のうるおいのあるまちづくりの一環として里山の整備や植樹、植栽など地域あげてのまちづくりへの支援補助費など計上し校区毎に意志合うような施策はどうか
85	1度は行ってみたいと魅力を感じるような年中行事(瀬戸内芸術祭もその一つ)や施設が欲しい。屋島はかつて修学旅行の対象になったこともあり、歴史もありまた風光明媚な所であるので何とか再整備して以前の賑わいを取り戻してもらいたい。高松港を起点にして他の地域と連携し島巡り、瀬戸大橋観光など瀬戸内海の魅力をアピールして如何

NO	記述内容
86	多様化を容認する寛容な高松市、創造性の発揮
87	-
88	文化のかおり光かがやく都市づくりもけっこうであるが、もう少し市民の生活現状、市民の意向を考え高松で永く生活できる場所、他の県、国からも移住してもらえ環境づくり、少子高齢化の中でも人々が集い活力ある町市をつくるべきと思う
89	高松市が掲げる第5次高松市総合計画(目標年次:平成27年度)で推進する6つの目標 ①心豊かな人と文化を育むまち ②人と環境にやさしい安全で住みよいまち ③健やかにいきいきと暮らせるまち ④人がにぎわい活力あふれるまち ⑤道州制時代に中枢拠点性を担えるまち ⑥分権型社会にふさわしいまち。これらについては成熟した社会、経済に住む我々がモノやサービスの次に求める価値観に基づくもの。そこに明確なゴールを見出すこと事は出来ず今後も継続した取り組みが必要と考える。高松市は四国を代表する都市でありその影響力は四国のみならずその他の地方都市にとっても大きいものである。健全な財政に裏打ちされた機動性を確保しつつ香川県やその他市町とより強固かつ柔軟な連携協力体制を構築し地域作りを進めていただきたい。魅力ある街づくりは最終的には人づくりが、その成否を握る。様々な課題に取り組むにあたっては市民・企業・その他団体等とも連携しその調整役とリーダーシップを期待したい
90	高松市に限らないが経済や人の移動が地球規模になる中で、日本の地方都市は首都圏集中の競争力の余力をもらって生きている状況にある。このような中で持続可能な社会の構築は世界的な課題となっており高くても安心できるもの、良心的に作られているもの、作り手のビジョンを買うというような消費行動も一定の地位を占めてくるのが考えられまた地域でのコミュニティの密度がより求められる時代になってくると思われる。江戸時代の日本はゼロエミッションの循環型社会を構築していた。そこに戻ることはできないが、少しそちらの方向に向かった地域社会が求められてくるように思われる。その中で従前と異なる点はそのに今住んでいる人だけで社会を構築するのではなくあるビジョンや方向性を示し、実行の意思のある地域には人が集まって来ることと思われる。高松市は災害が少なく大変暮らしやすく風光明媚な瀬戸内海に臨み、かつ南部では森林に親しむ事も出来る。気候と自然に恵まれた土地柄であり、コンパクトにまとまった町と組み合わせると地域としての競争力は高いと思われる
91	市長が高松に住んで良かったと思える事、それが高松市の目指すべき都市像です。県外から帰省した時高松の街を見て、きれいな街、こんないい所に自分は住んでいたのか、心が癒される事がいつもです。文化の風かおり光かがやく瀬戸の都高松、素晴らしい言葉だと思います
92	-
93	風光明媚な瀬戸内海の中心地であり、歴史や文化が豊富な高松市であります。自然災害も極めて少なく穏やかな環境は人柄も温和で人情味があふれていると思います。しかし人間的には消極的な面と根気に欠ける点も県民性らしいと感じられます。何不自由なく恵まれ過ぎている現状に将来が不安になります。屋島や栗林公園を観光産業として再構築するための投資は困難と思いますが、滞在型の観光、宿泊施設がなければ金も落ちず結局採算が取れません。高松港を拠点にする遊覧船や海鮮料理の提供できる事業は？(サンフランシスコのフィッシャーマンズワープのような)
94	文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松 これを目指して邁進するべきです。それには市長だけではなく市職員全てがそれぞれの部、課で何をすべきか常に研鑽され市民に接してもらいたい。またそれに対して市民との連携を強めてもらいたい
95	-
96	文化の風かおりは良いが、個性の無い総花的なもので独自性は？各種事業に市民の参加度は？主体は市か市民か？担当者はノルマ消化になっていないか
97	コミュニティを軸とした協働のまちづくりを進める。それぞれ地域の特徴を生かしたコンパクトなまちづくり。全ての市民が誇りをもって暮らすことができるまちづくり
98	人が安全で住みやすい町づくり。犯罪がなく災害の心配もなく人が人として貴ばれ、笑顔で働き買い物や文化、芸術にふれること、病院にかかるといった日常が困難なく行える町
99	「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」具体的なイメージが浮かばない、他にこれといったものが無いから挙げているのかとも思う。セントセンターマイニングみたいな街にならざるを得ないだろう
100	海島をメインに瀬戸内海と一体となった癒し系都市。例えば四国八十八カ所通路の接待をヒントに四国を高齢者居住の島に高速道路を不要にして

NO	記述内容
101	目指す都市像は目に見えるものではないが、市民がその目標を肌で感じる都市づくりが必要です。丸亀街中央商店街も都会的雰囲気になったが、あれでいいのかと思う。ショッピングを楽しむには良いロケーションです。地域の役割としてそれを果たしているように見えるが都市づくりで大切なのは住空間ではないでしょうか。今のマンションのスペースは人間らしい空間でしょうか。人と人が出会うスペースもないようです。マンション住民と団地住民との交流スペース(ミニ公園、コミセン)の活用の検討が必要。古いパリの裏には人が出会える広場がたくさんあった。そんな広場に新しい型のイタダキさんがいてもいいのではないのでしょうか。高齢者にとって物を買えるだけでなく人とのふれあいも可能ではないのでしょうか
102	ここでは個別の問題を論じるのではなく、大きくどんな人材育成が重要か特化して記述する。ファシリテーターの養成、4000人(人口1%)計画。ファシリテーターは地域住民の当事者性を引き出す可能性を持つとても重要な役割を握っている。コミュニティの構築や市民社会の構築とお題目を唱えていても何も変わらない。地域住民の人々の潜在的な力を引き出し、それを活かしていく人が必要である。行政職員に最も求められる力であるとも言える。コミュニティセンターに配置することもいい政策であると考えている。このように大量に記述させるアンケート書類を見たことがないので意欲が持続しないのでとりあえずここまでとする
103	成熟した欧州型のまちづくりを目指しましょう。文化にあふれ、風土を活かした豊かな観光資源をいかして国内外からのお客様をおもてなしする上質なまち。禁欲でなく、リピート(再訪)していただける人の満足を提供するまち。地方にこそ新たな成長産業が生まれ育まれるような起業風土を作り出すまち。優秀な人材が高松なら行ってみたい・住んでみたい、また出身者が是非帰りたいという輝ける都市(建築家コルビジエの言)。一般の皆様からすると、これらを現実の活動や生活の延長に置き換え、外からの高松市像もピタッ!!と一致するようなコンセプトをコピー化することもあり?とも思う(確信はありません)そこで高松市の目指す都市像ですが、海園田園を活かすコンパクトシティは空間的な構成イメージを想起する。創造都市を掲げる施策提言からはソフトイメージだ。ここではその2面から論じたい。1)都市空間の構成(ハードなまちづくり)について、周辺市街地のへそづくり。仏生山、屋島、香西という周辺拠点の持つ歴史とポイントとなる施設(例えばパーク&ロイド的な結節ポイントや駐車場を伴うセンター)整備と開発で周辺地域のおへその機能を持たせる。海園部のセンターであるサンポート 北部側街区利用。住居施設にせずに、公園的に活用することを前提にすれば、イサムノグチさんのスライドマントラ(現在ブラック・スライドマントラが札幌大通公園、ホワイト・スライドマントラが米国マイアミのベイフロントパークにある)を据える。イサムさんのご遺言で後一基つくることを許可されて、日本とお世話になった高松ならばという、幸せなお話があるようだ。そのスライドマントラ(庵治石や瀬戸内の石で和泉さんの手で作っていただければ、地元産業と素材の象徴になる)を中心に、イサムさんの遊具シリーズを周辺に設置するという絵が描ける。また水辺の噴水も夏場の子供達遊ぶマグネットになっているので、これらの遊具も相乗効果を生む事だろう。更に現在行われているフリーマーケットやさぬきマルシェ等のテント的設備の常設版として小規模な出店社が簡単に店として出店できる軒先施設を設置し強風を気にしない常設市場として可能な集いの場を作るのはどうだろう。雨風にしのげる軒先と囲み、電気、水道の水場が近いという日曜市の現代版だ。ウォーターフロントの魅力づくり 市営ヨットハーバーの再整備が計画されているがサンポートの湾岸が一体となったマリナーの拡充整備を望みたい。セイリングやクルージングは特別な人の観光ではない、高松市はこれだけ便利な都市部隣接のウォーターフロントを活かしきっていない。瀬戸内の小型船(ヨットを含む)の停泊を受けいれる施設にしたい。中心市街地再開発 丸亀町商店街を中心とした中心市街地への投資について。丸亀町D街区は市立美術館との一体となったゾーニング構成が求められる。商店街と隣接した美術館は高松ならではの目玉施設になり、創造都市のある種、核施設になり得る。議論は美術館協議会や丸亀町の再開発で出ている。また南部3町の課題は丸亀町同様居住者(特に南部は若者)を増やすということ。既に計画もあると聞いているが、リノベーションの手法等で今あるハードを活かしながら、安価な居住空間が提供できるようになれば面白い商店(小資本でユニークな起業)が復活してくるのではないだろうか?中心地区と周辺を結ぶ私鉄(コトデン)を市民で盛り上げる。事業者さんにも公共交通の利用促進を呼びかけ、エコタウンの象徴としてコトデンを盛り上げようという機運を作り出そう。一企業の営業努力という枠ではなく、市民が利用しやすいアイデアや支援、相談が持ち込みやすい私鉄であることを知っていただく。パブリックな動きを広げ、自転車を載せる等の社会的実験を市民と一緒に実施してもらおう。更に電車のLRT化による市内周遊型を再編成するのも魅力ある公共交通の将来像になると思う。諸島郡(離島)、塩江等山間部について 男木女木大島の諸島部や山間部は、日本の未来社会の縮図。少子高齢化の先端地区だ。人材がその地に魅力を見出し新たなス

NO	記述内容
	タイルを提供して暮らせるような実験場として捉え、地域づくりのモデルケースとして位置づけたい。幸い、瀬戸芸等のアートで一步の糸口が見えてきたが、一過性のイベント＝にぎわいづくりという枠を超えて、新たな価値を共に創出するという実験場として捉え、平常での交流や実証・検証を断続的に行っていきたい。市が借り上げてリノベーションして定住を条件とした事業従事者を誘致するなど辺境を逆手にとった少子高齢化へのモデル政策が描けるかもしれない。2)創造都市としてのソフト事業面について 瀬戸内国際芸術祭や国際ピアノコンクール、瀬戸内生活工芸祭等の国内外からの良質なメディア、作家、お客様の集まるイベントは高松市のブランドを広くPRできる祝祭事業です。高松といえば〇〇と想起できる上質な価値を作り出している。創造都市的、市民サービスの提供という視点 現在の創造都市ビジョン策定は産業構造のソフト化という要素が強いが、高松市行政サービスの提供という狭義の解釈から、地域社会との協働の創造的構築という視点になる。全庁的な創造都市高松をどう作るか？とう議論を深めたい。海外の事例や、地域社会で実証できるような事例、地域による多様性、企業協賛による経済的投資を含めた平等優先の横並びでない経営感覚あふれる行政運営まで範囲を広げたい。具体的な一つの事例(末端の事例)をあげると、現在のレンタサイクルをもっとオシャレに統一できないか？という議論も生まれる。今ある部品で捨てられた自転車を再利用しているというもったいない運動の価値は認めるが、街の顔にすなりそうツールなので、今後企業の広告入りのオシャレな自転車も街のブランド形成のイメージパーツとして重要である。海外では多くあるケースだ。更に50年前の出来事。過去さぬき民具連が結成された50年前の時代、ニップラさんが竹をアクリルで挟んだ照明器具を作った。今も東京のホテルで現存している。近くの石屋さんの加工技術をご近所のニップラさんが活用した先駆けのモノづくりの事例であったという。そのような地域にある異業種の掛け算こそ産業の構造転換における創造的活動である
104	-
105	市長の掲げるところの文化の重視、人間性の回復のテーマは大変良いと思いますので、これに向けて邁進されることを望みます。またこれに鑑み技術、音楽には現在も力を入れて取り組まれています、一層の充実と情報発信をお願いしたいと思います。この分野では全国レベルでも一目を置かれる突出した魅力を持った都市になる必要があると思いますし、高松にはそのポテンシャルを十分に感じます。また県外や国外からの観光客が誘致できるコンテンツに成長することへも期待が持て、市民としては誇らしく楽しみにしています。できれば小規模でも良いので美術館、アートホール等の増設にも取り組んでいただきたいと感じています
106	子供が生活しやすい都市。交通網の発達した都市、海に面した都市として宇高航路の再検討。地上ではフリーゲージトレインを四国の玄関口まで運行して人の動所を増やし、町でその受け入れができるような経済発展の支援。目先だけの文化事業より周辺町の歴史文化にもスポットをあててはどうか。中心部だけが高松市ではない。意識を変えない限り高松市は中核都市にはなれない。古い財産は後世に残さなくてはと思う。古い屋島の城が整備されると観光目玉になると思うので、北嶺の整備も検討し、山上の賑わいを取り戻してほしい。ケーブルも再開にもなると良い。文化の風が漂う都市。恵まれた自然環境を大切に。今取り組み始めたものの充実と継続、また他県より集まって来る行事を開催

問5 高齢社会への対応について

「問5 高齢社会への対応について」は、87.7% (93人)の方から、ご意見をいただきました。記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	高松市の人々が必要とされるまちづくり、若い人々から慕われる智慧と経験から培った知識の活用。
2	高齢者の生きがいを持てる安価でいいので対価のある有償ボランティアの仕組み
3	父親がグループホームに入所しているが職員がよく変わる。ドクターだけが利益を増やしているようにも思う。毎日の血圧の測定だけで医療費が多い(一部負担)
4	-
5	高齢者になっても自分自身で守る。一人一人の努力が必要。高齢者を介護したりにしすぎる
6	居住区に居場所が家以外にあるのが重要でコミュニティセンターの文化教室といったものを独占してしまわない様、自主的にサークルの活動が出来る仕組みや場所を市の取組みとして提案する。放課後こども教室へ踊りを教えに行く。地域子育て支援拠点事業へ世代間交流に出向くなど歩いて行ける所へ行く場所が見つかる様、そこで出会って助け合えば近所付き合いも進むでしょう。
7	まずは健康寿命を延ばす事が必要になると思う。老健施設や医院で勤めた事もあるが、健康寿命が短いと結局は社会との関わりは薄れていく。健康寿命を延ばす為にはゆとりある文化やスポーツ生涯学習が充実した街づくりと食事が大事になる。うどん屋さんやヤサイをと行政が指導しうどん屋さんにはマヨネーズやドレッシング、チーズが導入されている現状を見ると気が重い
8	コミュニティ活動や自治会活動の活発化により地域内の交流を一層深めていくこと(顔の見える近所付き合い)高齢者の積極的な社会参加を促進すること(家庭に閉じこもらないように)
9	健康寿命をのばすための工夫がほしい
10	1人世帯の高齢者に声かけが出来る自治会組織の活性化
11	-
12	若い内から健康に気をつける様。高齢者になっても健康で暮せる様に。老いても明るく楽しく人々と会話による社会
13	1.高齢者の健康管理 元気で過ごせる様に 2.高齢者の生活実態の把握(個人別に) ①健康度 ②生活力(経済力) ③意欲(どのような暮らしがしたいのか) ④家庭環境 ⑤地域力(共助、公助対応か) 3.前項の実態に基づき高松市として何が出来るのかビジョン設定 4.前項ビジョンの実現に向けての市民の理解を得る取り組みが必要
14	高齢者も働ける場所を用意し、違った世代と触れ合える環境も用意する
15	医療費が少なくてすむようにする
16	高齢者がいつまでも健康で暮せる為にスポーツ競技等を助成してあげるべき。世代間交流の推進
17	高齢の方に対し、働く場所を提供したり昔ながらの手作り等の文化を伝える機会を作るなど社会参加を促進するような取組みが必要だと思います
18	少子化等により一人暮らしの高齢者が増えてきている現在、低所得者も安心して楽しめるデイケアが多く必要ではないかと思えます
19	-
20	ものを給付するだけでなくお年寄りが生きがいを持ち続けて生活出来るような制度の確立
21	時間とゆとりのある高齢者。しかし外に出ようとするきっかけは仲間作りであり、趣味であり、サークル活動、農作業、漁業関係者による釣りへの興味を引くような政策の導入を検討してはどうか?また買物に出掛けるメリットと医療を受けやすい体制作りの検討をしてはどうか
22	特別養護施設を増やし、低所得者が安心して入所できるようにすべき
23	近所のおじいちゃんおばあちゃんがよく口にしてるのが、することがない、死んでもわからん、何かあったら困る。高齢者も交流できたり、ほっと集まれる居場所があれば

NO	記述内容
24	住み良いまちづくりに向けて高齢化に伴い健康寿命運動の推進 1.住民 2.医療機関 3.行政 この3つが一体となり取組んでいただきたい
25	-
26	福祉に満点は無い。切る所は切る必要がある。高齢者はしれくて当たり前と思う人が多くなっている。若者に目を向け10、50、100年後を見据える政策が必要である
27	道路や自動車交通に頼る生活様式が高齢者を住みにくくしている。民間で食料品等の宅配サービスが増えつつあるが、徒歩で生活出来るように支援していくのも大事。老健施設ばかり拡充しても利用のコスト負担は重く、対症療法でしかない。小規模店舗が経営しやすい法整備も必要で有名無実の商工会や商工会議所にきちんと役割もさせるのが大事。徒歩社会の再生は大事と思う
28	食事や運動を通した健康づくりを基礎に自治会活動の活性化を希望したい
29	徒歩、車いす、自転車(超小型車)で移動可能な生活圏作り
30	公共交通機関の整備により、80歳を超えて自動車を運転しないと生活が不便ということがないように希望します。今は70歳位で健康な方にはいい町かもしれませんが自動車が運転出来ない身体状況になって独居だと日々の食事も心配です。高齢者が施設だけではなく地域で独居でも安心して暮らせるよう、訪問生活サポートの事業への支援を希望します
31	元気な高齢者と弱い高齢者との差が大きくなっていくと思う。元気な者は益々元気に暮らせる好環境を自ら進出していけるが、弱者への対応を重視すべきだろう。弱者は消極的となりがちなので、その対応にもボランティアな協力が欠かせないと思う
32	予防医学が重要。食事、運動、睡眠が基本であり健康か不健康かは自業自得。50代以降は健康人とそうでない人との差は両極端に出てくる。医者にかからない気持ちが重要である
33	現在の高齢者と違い将来の高齢者は歩いていない高齢者であることを考慮すると(また市は車なくては暮らせない所である)はたして健康で長寿が望めるかどうか。その為に意識して介護予防の施策がなされていることは非常に時を得ていると思う。またこれからの高齢者は情報も多く入手し、生活ニーズも多様に持っていると考えられる。こうした行動の変化はこれからの高齢者対策を考える上で絶対欠かすことの出来ないものと思う。世代の変化に対応出来る施策を願う。
34	1.地域、行政、民間企業で総力をあげて在宅で生活する市民を応援する体制を作りあげたい。 2.地域コミュニティがもっとお互いに助け合うことを風土としてつくり上げる
35	介護施設等のインフラの拡充も大事かもしれないが、その前に介護者とならないような取組み、元気な高齢者になるようなプログラムが必要ではないか。高齢者が一人暮らしにならないような、家族が家庭にて見守れるような補助金のシステム等の施策が必要ではないか
36	政府は平成24年秋に高齢社会対策大綱を閣議決定し、高松市は多核連携型コンパクトエコシティ推進計画を策定した。高松市の予測によると、平成22年度の人口は約42万人だが、45年後の平成67年には30万人に減少する。また65歳以上の高齢者人口は平成22年後には9万6千人だが、45年後の平成67年には3万1千人増加し、高齢化率42%の超高齢社会が到来する。①人生90年時代の到来をうけ従来の高齢者の定義。おおむね65歳以上を高齢者とする敬老会に招待する75歳以上に改正されたい。②最近市内の各所で歩道をガス管補修などの為掘り起し工事が行われているが、工事前の状況(例 タイル張りの歩道はモルタルでなくタイルを敷く)に復元されたい。高齢者にとってデコボコ道は非常に歩き難く、高齢者にやさしい配慮が求められる。
37	問3の項目で回答として記しましたが重複を恐れず記してみます。1.国の施策との関連で困難かもしれませんが、年金が目減りしている現況にあって医療費等の確保が出来るような制度作りを考える。 2.高齢者が安全に外出できるよう、バリアフリー施設の拡充や低路床交通機関の整備を図る 3.高齢者が趣味や娯楽を楽しむ場所としての施設の充実に努める
38	デイサービスなど日中活動の充実、緊急でショートステイが利用できる施設の充実
39	高齢者が地域を主体的に保全していくというアクションを喚起させることが必要。病院通いをやめさせる働きかけには責任ある仕事を委ねることが大切
40	衣食住、医療が充実していること。最近実感することは郊外になる程、公共交通機関が利用しづらい事です。やむを得ず車を運転する高齢者が多く交通事故の加害者、被害者になっているのが残念です。今後増々増えると思いますので特にバス路線の充実が急務だと思っています。年金、医療費の減額、についてはある程度仕方がないかなと思います

NO	記述内容
41	公共交通網が空白化する中でより安心に安価な費用で病院通いや買い物に行ける交通網の充実を計るべきであると思う
42	高齢者自身の健康や、高齢者自身の楽しみを支援する公的サービスは以前に比べ格段に充実してきている一方、かつては神社の祭り、葬式などをはじめ、地域には伝統的に高齢者が重要な役割を果たす諸行事があったが、今はそうした伝統文化や家庭のあり方そのものが様相を変えてしまい、高齢者に対しては求められるものが少ない社会になってしまっている。今後高齢者が生き生きと暮らせるためには、高齢者はいつも福祉を受ける立場にだけ立つのではなく、高齢者自らにも社会に役立ち、そこに生き甲斐を見出せる機会があるような仕組みも必要だと思われる。その際行政が注意しておくことは、全市一律にやっとうまくいくような妙案など無いことを理解しておくこと。コミュニティセンターや連合自治会に依存した通知行政、補助金行政では解決しないことを理解しておくことが肝要。高齢者行政だけを単独に考えるのではなく、行政側が環境部門、観光部門、地域振興部門など複数の部門の協働を前提に、適当なNPOなどに呼びかけて推進することができれば、実効が期待できると思う
43	高齢者の社会参加、役割分担が必要であると考え。生き甲斐づくりが必要であろう。コミュニティ活動の主軸。高松PR隊を組織し、全国に派遣する。本学としても生涯学習センターの活動等を通じて高齢者の生きがいづくりに協力していきたい
44	コミュニティバスの運行
45	車がなくても乗れなくなっても安心して暮らせる環境整備。インフラ整備、地方への商業施設出店の対策等。今すぐ行う必要。買い物にもいけない、少々銭は持っても餓死するケースが目前にある。民協や自治会で生じた弱者のリストを作っても更新が追いつかない現状です
46	ノンステップ、コミュニティバスをもっと走らせてほしい。例えば・・レインボー近辺に住んでいる人が高松市立病院へ行くはずがない。何の為の市民病院かわからない。もうすぐ県立病院が出来るが交通機関はどうなるか。要支援になる前に健康な状態を維持、向上させる事が大切。コミュニティセンターで健康体操などが行われているがより参加者が増えるための工夫が必要だと思う
47	高齢者の外出の機会を促し、元気に日常生活が送れる事が大切である。また農村地域は後継者不足で休耕田が多い事から趣味や興味のある方々に休耕田を利用した花、野菜づくりをしていただく方策が考えられないか。地域の美化にもつながる。休耕田を借りて利用する方法はないか(行政的な考え方)
48	高齢者の雇用促進。前期高齢者はまだまだ働けると思う
49	-
50	コンパクトで美しいまちづくりを進めて下さい。保健、福祉、医療、施策の充実を図って下さい。高齢者の足として市内の循環バス、福祉タクシー等。介護施設(特別養護老人ホーム)の充実
51	働ける場所の提供で生き生きと生涯社会との関わりのある生き方。団塊の世代が次々と定年を迎え働き手が減少、年金生活者がどんどん増えていく。又、少子化など社会保障の財政も貧窮は自ら作り出すために働く場所の提供が必要、個々が自立した高齢社会
52	高齢者の参加しやすい施設が必要、集會會合などで交流を深める場所の検討、中心地外での検討
53	一端のみですが。歩く事の出来るひとり暮らしの高齢者(極めて大勢居る)はできるだけ外へ出てもらい集う事のできる場を決める。連日でなくともよい、定期的に場を提供し、食べたり、遊んだり、眺めたりする場をしつらえる。私のコミュニティではふれあいサロンと称しまだ日は浅いが喜ばれている

NO	記述内容
54	団塊の世代も含め、生涯勤勉に働き続ける日本民族、それが今日の豊かな日本を築いてきた。元気で懸命に働き続けた年月は足早に過ぎ去って誰も迎える高齢期。気が付けば生活習慣や価値観、ものの考え方は一変した。心身が不自由になり誰かに見てもらわないと暮らせない。今は元気でその不安はつきまとう。子にみてもは貰えない。グローバル化してみたくてもみられない。戦後核家族化した自分の暮らしが成って親は後、子供には世話かけたくないし、当てにしていけない、というのが多くの心情でしょう。もうすぐ秋祭り、重い御輿やちょうさを多勢で担いでいたのは昔の事。昨今は、ちょうさは軽くし、車をつけて引っ張っている。今の高齢化社会檜巻では、1の(3)で記した元気高齢者の担ぐ側での参加仕組作りと要介護者が増え担ぐ者が少子でどう支えるか。それが見えてこないと不安がつきまとい生き生きとはなれないでいる。消費税を際限なく上げ続けないと財源はない。無理な話で国が言う重点化効率化もやむを得ない事態にある。しかし国では重度者以外は施設へ入れない、在宅でと誘導する独居、高齢夫婦増加で無理なこと、地域居宅で暮らせば幸せだと高齢者の心情をテコに住宅で住めるサービスが整っていないのに国もマスコミも煽る。地域密着も定期巡回訪問介護も理想だが、金がないのにコスト高にサービス不足、理想と現実とは大きく異なる、高松市は他県都市と異なり狭い都市に地域ごとに拠点となる機能、人材を備えた施設が地域密着とも言える位置に設置がある。施設が運動したローコストで効果的な小規模サービスの展開が居宅、施設であれ流動的に安心して利用できるサービスを構築すべきと思います。
55	高齢者のまちづくりに参画していける学習の場、主体的に活動できる居場所の整備 各地域に子供と高齢者の居場所、交流の場の整備(経験豊富な高齢者の能力を活用する)
56	今年、4人に1人が65歳以上の高齢者になったと報道があったが、高齢者が健康でいきいきと生活するためには、高齢者が社会的役割を共有していること、生き甲斐が感じられる生活を送る事が必要であると言われている。高齢者の活動を促す為には、移動の手段の保障が何より肝要と思われる。高松市は中心部がコンパクトにまとまっている一方、市町村合併による市域が拡大し、周辺部から中心部への移動にエネルギーを要するようになっている。ほとんどの場合自家用車に頼っているのが実情であるが、自家用車利用については高齢者運転の安全性、エネルギー問題、コスト面など様々な問題が指摘されており、公共交通機関の整備に持つところが大きい。実態としては地域の公共交通網は縮小の傾向にあり、時代の要請にあった施策が必要である
57	地域での居場所作り、活躍の場作りを推進して生き甲斐をもっていきたい生活できる環境を作ってほしい
58	高齢者が地域を主体的に保全していくというアクションを喚起させることが必要。病院通いをやめさせる働きかけには責任ある仕事を委ねることが大切、安心して生き生きと暮らせる施設の数だけでなく多くの人が入居待ちしている。施設の数を増やし介護する人も増やすべきだと思う。その為には介護する人の給与を上げるべきだと考える。高松市は民間企業との連携を強め補助していくべきと考える
59	市の範疇でないかもしれないが、特養、老健、グループホーム、サ高住等とあるが実際のところご老人の状態に応じて棲み分けが出来ているとはいいがたい。行き先がなく仕方なくその施設に入っているといた感じ。制度そのものの問題。また基本的に包括支援センターは何もしてくれない(人手不足?)成年後見制度にもっと理解を。資産の乏しい人も第三者後見人がついている場合が多いので後見人報酬の予算をもっと充実させてほしい。もしそれが出来ないのなら市がそういった人々の法人後見をしたらどうか。はっきり言って市は民間に押し付けてほったらかしの状況。その上、高齢者の生活保護の打ち切り、本当に必要な人は審査請求も出来ない程度の人が多い。動物と同じで弱いものは死ぬということなのか?これらの点行政能力がないのなら素直に認めれば?
60	高齢者が働く町
61	-
62	現在各地域には休耕田が多く見られます。又空室の家屋、アパートがあります。その物件を活用して高齢者同士が共同で生活出来る移住空間を作ったらどうでしょうか
63	-
64	-
65	地域コミュニティによる繋がり→1対1の見守り(高齢者と若者)
66	70.80歳でも元気であれば働くべきで、働ける環境を多岐にわたって創出すること
67	高齢者の公共施設の利用を促進する。高齢者のボランティアや社会活動への参加を促進する、寄付などを減税する

NO	記述内容
68	安心して利用できる交通機関(バス、乗り合いタクシー等)を考えてほしい。高齢者が自動車の運転免許を返納しやすいシステムを考えてほしい(イルカだけでは不十分)
69	高齢者を対象に地域で下記のような事業をした場合、補助金が出せるような制度づくり ①地域の高齢者に弁当の配布に対して ②地域の高齢者の買い物の支援に対して ③地域の高齢者の交通支援に対して 地域の住民が地域の高齢者を助ける事に対してすべてがボランティアではなく利用者負担+補助金+ボランティアのような形で高齢者支援が出来る制度
70	1.困ったときに相談できるような人が近くにいて、更に社会に参加していて社会に役に立っていると思えるなら、自然と生き生きと暮らせると思います。近くに相談出来るようなと言いますと長屋などはそうでした。(もちろん隣の声が丸わかりとなりますが) 2.長屋と同じには出来るわけはありませんが、隣近所と行き来があるような社会にする必要があります。その為には自治会や防犯組織や防災組織や民生委員その他の地域の活動が何より大切で、その中で地域の団体の役員がどう工夫をこらして進めるかにかかっていると思います。 3.そのサポートの役割は市役所や香川県庁であると思います。
71	県外から高松に移住して18年、自宅周辺には田畑が消えて次々とマンションや会社、商店が増加する一方、高齢者の一人暮らしや空き家が目立つようになってきた。カエルの鳴き声は車のエンジン音に変わり正に(滄桑の変)といえよう。これからも増加する住みにくさの進展を抑える事が急務と思う。高齢化は障害者化という面を持っているという認識で対応をしなければならない。例えばマンションや民間賃貸住宅などの乱立状況に都市美観といずれ直面するスクラップ&ビルドの難問を長期的視点での制約する必要がある。自然に恵まれた高松市がコンクリートとの塊にならないように。防災、防犯面からも増加する放置家屋や空き家、店舗の有効利用。交通面から利用度の低い高架、地下歩道の歩きやすさなど高齢者、障害者には無用の長物である
72	病院、施設の整備、いまあるコミュニティの再生なども必要だが、クルマ依存のまちづくりから脱却し徒歩や公共交通でまちを回れて交流出来るようにする必要がある。クルマしか走れないような道路はコミュニティを分断し、またクルマがないためどこにも行けない高齢者を生み出す。都心部や駅前に集合住宅を整備するなどしてまちにお年寄りのコミュニティを再生ないし新設するべきだ
73	1.独居老人、老々介護、高齢者虐待問題や軽く困っているのは認知症者の対応です。金融機関の力を借りて小規模施設を沢山作ってください。2.私自身72歳ですが介護予防に力を入れて最後のその日まで健康でいれるよう目指します。とともに私は若い人に色々なことを協力して教えています
74	余り足腰の充分でないお年寄りを孤独にしない事が必要と思います
75	元気な高齢者ばかりであれば良いのですが。何事も自分で行き、他の人の力を借りずに暮らすのが良いと一人で頑張っている人達も多くいます。介護の認定に市から職員がやってくると元気なふりをする。そして認定はされずに数ヶ月後入院する。この様な人達をもっと正しく判断してあげる事が出来れば認定する人達のやさしくて厳しい目などのレベルアップが必要なのでは
76	-
77	高齢者は社会のお荷物ではなく社会に貢献できる環境の整備
78	健康で安心して暮らせる事が必要、食生活指導(改善)、テレビ族からの脱却推進(外出する機会を多くする)仲間づくり趣味の発見援助、適度な運動の推進
79	市全体で取り組む市民の健康づくり
80	歯科医師会の立場から 成人歯科健康診査は充実した制度となっているものの、現在は75歳が最後となっているので後期高齢者の口腔内を保つための制度の拡充を希望する
81	現状の高松市の高齢者対策、少子化対策事業を強力に推進してほしい
82	高齢者が生きる目標を創設する知恵、徳島の葉っぱで高齢者がパソコンを使う葉っぱの取引をチェックするなど行政マンの知恵袋を十分に発揮できないか。毎日朝早く歩くことでの健康が目標の人生、毎日趣味に明け暮れる人生、認知症にならないための講習、生甲斐だろうか
83	若い世代が高松から流出することを防ぐ事が何より大切
84	高齢者が自立し、生き生きと暮らせるよう、ある程度目標を持った仕事や役割を与え進んで励めるようにするとよい。何の仕事もなく病院通いや、介護施設への訪問などあまりに老人ばかり大切にすることでなく若者の負担を少なくするような施策をすべき。例えば敬老会の費用を1人2640円も出さず各コミュニティにその用途は任せるなど。
85	-

NO	記述内容
86	高齢者の経験や知恵を尊重し、それを子供を育む方向に活用する機会の創出
87	各路線にコミュニティバスの運行を進めたら良い
88	高齢者が自分で生活し活動する移動手段や居住地近くで人々との交流を設ける為の施設、施策は不十分でありもっと推進すべきと思う
89	今後も高齢化は間違いなく進んでいくが、人口は減少する為、長期的な視点で見た場合介護施設の需要は頭打ちとなる。自分の子供と同居しない高齢者の数は今後も増えると予想される。よって高齢者が求める介護ニーズは外部の人間に必要な時だけというものに変化する。(勿論全てではないが)そこで生活援助員事業やそれに類似するサービス(見守り隊、安否確認隊)がますます重要になるとと思われる。また香川県が進める医療ネットワーク(K-MIX)を用いた在宅介護等も検討してみてはどうか。高松市が進めているユニバーサルデザインへの取り組みを強化
90	高齢者をひと塊に捉えないことが重要と思われる。高齢者が増加すること、これは年金以外の収入が少ないという意味では福祉対象でも余暇時間が増えるという意味では地域社会への参加も期待できる。定年後就農という選択肢を取る方もいらっしゃる。高齢になるほど身体能力は低下し、罹患率も上がるが高齢者が全て病気になるわけではない。また生活補助が必要な人口が増えることは予測できる。その対応も今の枠組みだけで行うのか高齢者による高齢者介護というような互助の仕組みも考えられる。また、高齢者の比率は増えても高齢者数自体の増加はそう続かないと予想されていることも一般市民には伝わっていないように思われる。
91	衣食住の三原則に最低限、困らない様に校区毎にコンパクトな生活空間を創ることが必要になる。家の近所にある店が減ってしまっている。(コンパクトエコシティの構想で大きく3つの地域に区割りしようとしているが)。施設に入居しなくても、隣近所が助け合える、そんな施設が大切。(生涯教育、サロン活動等でふれあいの場を創出する事)又、元気な高齢者には地域の子供達とのふれあいボランティアに参加してもらい生甲斐作りを実践してもらおう
92	-
93	私自身が年寄りになっており、将来が見通せず不安があります。農業者として妻と二人で700余りの耕作で稲や菜花を出荷したりしていますが、息子達は都会に出ており後継者としては期待できません。基盤整備もやっていない農地は借り手、担い手もなく、近い将来荒地になるのではと憂えています。農家も多種多様な状況です。行政として国土保全の立場からも地域別の方向性を示してほしい。
94	車に頼らず安全で安心して行動ができるシステムづくり
95	-
96	元気な高齢者であることが大切。地域で必要とされる出番のある場づくり。外に出る機会と交通体制づくり。どう孤立化を防ぐか
97	ライフラインの改善、特に生活の足の確保、高齢者。夢を見ました。コミュニティセンターがコンビニエンスストアになり高齢者の方々が買い物している
98	元気なお年寄りが増える様にスポーツクラブの補助やシルバー人材センターの充実など元気に生き生きと生活してもらい医療費を減らす。年寄りの生甲斐を増やす
99	移民政策(国の内外を問わず)第二次大戦後は釣鐘型の人口構造であったが、移民政策を取り入れ盛り返す
100	高齢者の生き方最優先、毎日が敬老の日、生活のスペースが合わない人は市外県外移住
101	心豊かなコミュニケーションができる環境づくり、近所に出向いていくと気軽に話し合える場づくり、買い物をしてくれる中高年ボランティア、仲間が訪ねてくる地域づくり
102	自治会単位の集会所や空き家、空店舗等を活用した居場所、縁側作り、クラブサークルづくりなどが必要だろう。政策的には高齢期を60~65、65~70、70~80、80~の4.5区分にしてそれぞれ有効な取組を考える必要が出てきているように感じる。60~65はまだ働いている人が多い。これまであまり地域に関わってこなかった、そんな人達をターゲットにした事業を展開する。65~70は本格的に地域参加であるが困難を感じているという所もある。等々知恵をだせばいくらかでも健康寿命を伸ばすことを目的に

NO	記述内容
103	私の母親も介護付き共同住宅への入居を申し込んだが、一人で過ごすことへの不安をいただく年齢になると、終焉を如何に過ごすかというテーマになる。施設を見学させていただき感じたことを意見として活用する。施設の介護職員以外の社会との接点(例えば小さな子供達や幼稚園)との交流。アーティスト(音楽家や作家)等との交流等。介護という範囲とサービスの領域を少し拡大して、楽しさや刺激との交換が必要だと認識した。弊社では、保育園幼稚園に芸術士派遣を行っているが、デイサービス等の中にアーティストが入ることで、楽しくユニークな時間が過ごせることは言うまでもない。一部芸術士は障害者の施設への訪問も日常化して行っている。
104	-
105	高齢者が存在意義ややりがいを見つけ生き生きと社会の中で働ける労働環境の整備や拡充は引き続き大切です。高齢者は高い賃金よりもやりがいや社会との関わり合い、貢献度を重視する傾向にあります。市はこの点には今までもしっかりと取り組んでいただけていますが、今後は高齢者が関わることのできる市民ニーズ(仕事となるものや作業)を掘り起こすことと、このニーズと高齢者雇用をマッチングさせることに意欲的な既存の組織を市が支援することでより効率的な成果が生み出せると考えます。高齢者に新たな雇用が発生することは税収にも寄与できます
106	長寿大学やコミュニティ等の高齢者教室で元気な人は学習すると共に若者を支援するボランティアで生甲斐をもってもらう。してもらうのが当たり前ではない。若者が払う保険料を出してもらえるようにパートやアルバイト的な雇用を早く改めて正規採用して働ける場をつくるべき。高齢者が地域の中で自分の役割や分担(責任・義務)を発揮できるような仕組みを作るべき。高齢者が地域社会の中で受益者側にあるとの認識は改めて責任と義務を果たせる戦力の一員とする方策を与えるべき。人が生き生きと暮らせるのは高齢者に関わらず自分が必要とされる所があるかどうかだと思う。働く、楽しめる場所、高齢者の目線で考えて市中心部だけに集中させず、各町での活動にゆとりを持たせる事も大事だと思う。祖父母が孫と接することができる行事や場所の充実が重要。老人ホームの拡張。医療機関の拡大。近くの病院に行ける。市の境目の住民への配慮

問6 少子化・子育て支援への対応について

「問6 少子化・子育て支援への対応について」は、90.6%（96人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	教育の充実による学校統合による合理化も必要とは思いますが、地元優先の各地区で子どもの声により地域が元気になることもあると思います。
2	地域全体で育てる仕組み作り。小学校区に3ヶ所位の居場所を作り地域の高齢者と共に過ごせる場作り
3	いい先生を育てる
4	-
5	経済的に安定した収入を得られ子育てに力入れられる経済環境が必要
6	保育を望むか幼児教育を望むか、家庭内育児を望むかそれぞれにある問題を把握して現場の実情、現状を行政が足を運んで理解するのが重要だと思います。人口減少したとしての社会作りをしていけば住みよく働きやすい環境が生まれもう一人子供を持つ気持ちになるのではないのでしょうか。子供が健やかに生まれ育つには大人が幸せである事が重要です。大人に余裕があれば自力で努力して子供の為になるよう生きて行くのではないのでしょうか。大人が1人1人強く生きられる高松でいたいです
7	県外へ進学しそのまま県外で就職すると、県内、高松で出産する人自体が減っていく。大企業、有名企業に入らなくても仕事に忙殺されず文化の風がおる街、ゆとり、レジャー、自然などの魅力ある街で生活し子供を育てる人生もある。との価値観が大切にされる社会になれば高松で子供を産み、育てられるのだろうな
8	家庭のみでなく地域で子供を見守るための施策を充実していくこと
9	少子化はどこかで落ち着くと思います。子育て支援する事は重要ですが、直接金銭的に援助することには反対です。子供の医療費無償もどうかと思います。無償にした事でモラルハザードが起っています。何事もバランスが取れた支援をしてほしい
10	子育て支援として赤ちゃんの救急施設の充実。児童虐待に対応する施設の充実
11	-
12	①家庭における子育ての教育 ②食育(健康面)を考える ③地域社会で育てる社会作り
13	1.生涯を通じての生活設計が可能となる社会の安定性。(高松市だけの課題ではない) 2.少子化、子育て支援への対応としては ①まず家族での自助努力(大野小学校では9割の児童が急な事態が生じた時送り迎え可能) ②放課後子供教室も地域により実施状況に差異が有り、市としても地域の実態に合わせ取組めば良いとの考えであるが、本当にそれで問題ないのか地域毎の実態把握の上で対応策の検討が必要ではないか。 3.子供達の遊びが個々人に偏っておりもっと複数メンバーで自由に遊ぶ時間を持つようにすること
14	県外に若者が出なくていいように教育、文化、就職先、交流の場などを充実させる
15	中心部の小学校を減らさないようにする
16	独身貴族には税の負担を増やす。結婚(子育て力がつくような支援をする)出来るような体制作りが必要
17	親が子供を安心して預けられるように保育機関の質の向上が重要であると思います
18	私達の時代は学校と卒業と同時に都会に就職してそのまま住みつく人が多かった。今後地場産業の育成振興により、地元への就職を増して定着化させる事により人口の増加を図る
19	-
20	子供から大人になるには学生生活を経て社会人となり家庭を持つ事が一つの道となっているが、現在の社会では一流大学出の者は一流企業に入社と進路は決まっているので親達はこぞって子供の塾のための学費を稼いでいるので給料の安い者は子供の教育費が不足するため少子化となっているので教育改革、社会改革が必要でないか

NO	記述内容
21	婚活イベントなどを展開したり、空き家を安く貸す制度、空き商店を安く貸すなどの制度を導入したり、市としての支援体制を整備するように、また漁業関係者には漁港整備事業として活きの良い魚介類の販売スペースを確保したり、飲食の集合施設などと合わせ水族館や科学技術館などの設置をする事により瀬戸内海の災害の少ない町をアピールすることで若者の集まりやすい街作りを展開してみはどうか？
22	-
23	学校関係、保育所地域子育て支援拠点コミュニティセンターが一体(ネットワーク化)になること
24	高松市の各コミュニティ協議会でその地域に合ったワークショップ(各種団体)等で色々意思を出して頂き何かこの地区で大切か検討する
25	市長に一任し別になし
26	地域活動に子育て支援事業を重点的に行う指導が必要
27	問5の意見とほぼ同じ。宅地が乱開発されて若年人に偏っているのも問題、全域に各世代が住むように何らかの条例、優遇が必要では？人気や利便性だけで住居を選ぶのに任せては一気に高齢化になる団地ばかりになってしまうだろう。徒歩しやすい道路行政も考えるべき
28	男性の更なる育児参加を促すような仕組みや取り組みを推進されたい。また行政自らによる集団合コンを実施することも考えてみては如何でしょうか
29	夫婦共働きでも安心して子供を産み育てられる環境整備(職場環境、保育所等)
30	未就園児の居場所、幼稚園から高校まで放課後の子供たちの居場所を作ってください。こども未来館にも期待していますが、地域によってはアクセスに問題があります。学校の近くに児童館を、児童館のない町高松が全国で有名になってはダメです。子供の居場所が商業施設なのは残念です
31	保育園と幼稚園の一体化したこども園のようなものの推進はどうなっているのだろうか。親や行政の立場よりも子供の立場をより優先した環境整備を進めるべきと考える
32	地域コミュニティの再生。隣近所の人達のふれあい、助け合い、地域を自分達で守り育てる事。家族制度の復活と復権。誇りの持てる地域づくりには隣近所のふれあいと助け合いが必要不可欠。自然に子供はその中で育っていく
33	すでに現れている子育て世代を見ていると、親世代の近隣援助(昭和世代には意識せずして地域にあったもの)がうすく、育ちの中での経験も少ない。(親自身が核家族の中で育っている)ためか子育ては非常に他からの援助を必要とするように見受けられる。親世代の親としての自由なスペースが存在すれば親も情報を得られ心の安定感も増し、そのことにより、おのずと子に対する対応も育っていくように思われる。本来、家族内で継承されてきた事を求めるばかりではどこにも進めない。その足りなさを他(地域や行政)でどう埋めていけるかが急ぎ問われていると思う。子育てに待ったはきかない
34	どのような環境であっても安心して子供が育てられる支援について真剣に仕組みを作る
35	親が子供に対し高いキャリアを望む人が増え、教育費が多くなってきている現状に問題があり、収入の増加が必要となっており、共働きの家庭が増しており、子供も1人で家庭にいるような状況を少なくする対策が必要であると共に、女性が働ける環境(就労場所)の増加が必要
36	高松市子ども子育て条例が平成25年3月に施行され、若いお母さん方には強い後ろ盾が出来たと思う。条例を活かすには地区コミュニティ協議会を中心に自治会、老人クラブ、学校関係団体や福祉関係団体が連携して児童福祉に取り組む体制を作り、市政出前ふれあいトーク(48番 子育て支援について、49番 児童福祉について)を活用して自己啓発に努めたい
37	コンピューターゲームやスマートフォンなどに親しんでいる(あるいは蝕まれている)若い世代とそれより年長の高齢者などの世代との交流が非常に少ないと感じている。三世代交流の在り方などについて研究することが必要ではなからうか
38	保育所の充実、母親が仕事と育児が両立できるサービスの充実
39	各拠点エリアでの保育所の拡充による待機児童ゼロを目指すべし
40	子ども、子育て条例が県下の他市町にさきがけて施行され喜ばしい事です。早速内容について市民に説明し、各人がその立場で積極的に参加するよう広めてほしい。また具体的な施策も進めてほしい。学校教育への予算を充実させること。子供の目線に立った環境整備を、不審者対策、遊び場の確保、安全
41	何故少子化になるのかを考えるべきである。今日本中で若い方々の晩婚化や何故結婚をしない独身者が多いのかを重視すべきであると思う

NO	記述内容
42	少子化は若者の収入不安定、若者の婚期の高齢化が直接の原因と思われるが、背後にはこれまで人口の都市集中化、核家族化を行政が事実上後押ししてきたことにも原因がある。大規模な保育所の充実より、多様なニーズに素早く対応できる意欲ある経営の可能な中小企業の保育所を数多く残すこと、認可外保育施設も含め、民間サービスがもっと参入できるようにした方がいい
43	子ども人口を増やすためには、子どもを育てるための環境づくりが必要である。そのため本学では安心して子どもを育てる環境づくりの一助として高松大学発達学部、高松短期大学保育学部を設置し、それに当たる人材の育成に努めている。今後はこども園という新しい政策に対応していけるよう努力するとともにその実践として本学園が運営する高松東幼稚園の運営の充実にも努めていきたい
44	-
45	学童保育の充実を。子育ての為に女性の職場が安定しないのでは。女性が税金を納めるだけの所得がない。財政計画も？となる
46	放課後児童クラブの充実。母親が安心して仕事ができる環境を整える。市立保育園も母親が安心して子供を預けられるように親とのコミュニケーションを取り、役所、仕事の硬直化ではいけない。親に不信感を与えない保育所を目指して欲しい。放課後児童クラブや幼稚園、保育所に高齢者に来てもらい懐かしい遊び(お手玉、あやとり、身近な物でのおもちゃ作りなど)と一緒にしてはどうか。今の子供達は体験が少ないと思う
47	女性の社会進出により地位の向上は喜ばしい事であるが、晩婚化が進み出産の高齢化と子供の減少に繋がるとされる。また若い男女の出会いの場が少ない
48	まず婚活から
49	-
50	子ども子育て支援施策を充実。子どもの為の拠点施設として保育所・幼稚園・認定こども園や支援事業の充実と就労支援である。ワークライフバランスや放課後児童クラブ・学童保育・コミュニティセンターの解放等の促進
51	住みやすい街作り、将来高松に居住したいところであれば、子育て支援になるかと、安心して住める場所。子供達に未来、夢を見られる場所であれば。
52	子育て支援については子供と親の交流場所の検討が必要である
53	母親が育児ノイローゼにならないよう保育所、幼稚園の協力のほかコミュニティセンターでの育児相談などの講座の受講を勧めるPRを徹底することも大切
54	少子化は小さな香川県においても100→80万人、徳島は80→60万、人口減少は地域衰退に繋がる。安心して子供を産み育てられる環境作りが必要な事は誰もわかっています。どんな手立てをすればよいものか。女性の社会進出就労が定着し、むしろ女性の活躍が経済発展の重要な役割を担う事からすれば、職場で気兼ねなく当たり前で育児できる事業所の子育て支援への意識改革を職場ぐるみで真に理解実践する職場環境を作る。その仕組みを創り出してほしい。簡単なことながら、子供を健やかに産み育てる企業表彰とか金銭の賞でなく社会的に価値のあるものとしての認定事業所とか啓発も一つの方策ではないでしょうか
55	保育所申し込みにおいて場所、時期など希望通りに対応できるよう整備する。学童保育もどの校区でも希望通りに対応できるようにする
56	少子化の原因の一つに晩婚化とそれに伴う第一子出産時の母親の年齢の高齢化があげられているが、平成24年人口動態統計によれば、第一子が大きく減少しているのに対して第二子、第三子の減少幅はさほど大きくはない事から、子供を作れるか否かの環境による差異が顕著であることが窺える。すでに言い古されているように若年層貧困は深刻で全国的にも優位にある香川県の求人就職状況をみても、求人の6割は非正規で求職者数の3分の2が正規を求めている実態と逆転している。こうした中で結婚、出産を促す為には労働環境の改善が強く求められるところであるが、経済状況の改善が容易でないだけに、行政の役割が重要で子育てのための手厚い政策が求められる。具体的には①出産、子育てのできる住宅の提供(2LDK以上の低家賃の公営住宅の提供)②学校教育費の軽減、子育て支援の充実(学校給食費の無償化、標準服の廃止か支給、体操着等の支給等)③家庭教育費の軽減(学校施設を利用した学力対策、退職教員らのボランティア活動と公費による事故補償などのケア)などが考えられる

NO	記述内容
57	教育環境の充実、地域での子育ての支援の仕組み、大学、高校卒業後での地域での職場(働く場)の確保など安心して子供が産み育てられる環境と支援で全国でも数少ない自然増の都市になってほしい。まちの活性化は若い人がいないとダメ。子供や若い人がいないまちには発展はないと思う。高松市が漁業でいえば藻場のような子育てにやさしいまち作りを進めて欲しい
58	保育園、幼稚園を増やし親が安心して働けるようにするべきと思う。小学校、中学校と併設する
59	幼稚園、保育所の充実。制度としても親が仕事をしていないと保育所等に入れられないのはおかしい。順番として保育所が見つかったから仕事を探すのではないか。公立高校は授業無償化なのに対し私立は有償なのはおかしい。平等に教育を受ける機会を。老人福祉も重要だが、まず子供達の為に予算を。子供には選挙権がないからこうなるのか？児童養護施設的环境もお世辞にも良いとはいえない。こういった子供達の平均的なその後の人生はどうか？彼らにも他の子供達と同様の人生のチャンスを与えてほしい。また、医師や弁護士しかお金持ちしかなれない制度、構造も問題。有能な人材確保の観点からも市として何が出来るか検討してほしい
60	大人が希望をもって生きる町づくり
61	-
62	将来少子化の進行は仕方がない事かもしれないが、そうならないように努力が必要だと思う。問3①で述べた通り行政は子供が健やかに生まれ育つ環境作りを早急に行うべきである
63	-
64	市立保育所の整備、放課後の学童保育
65	保育所、園等での時間外での受け入れ、無料化
66	昔のように多岐の人々が子供に関与し叱ったりほめたりした環境を作る
67	保育所、学童保育所、児童館等、子育て支援をはかる
68	子育てをサポートしてくれる所は増えたがお金がかかりすぎる
69	子供は地域の子として地域ぐるみで子供が育てられる制度が必要である。産休後の母親の仕事が確保できる制度が必要である、学校へ行きかけてから放課後の居場所の確保が必要である。地域コミュニティの役割が望まれると思います
70	1.子供を知識で育てる、見ているという良い環境を作ることが子供が健やかに生まれ育つことに繋がっていると考えています。2.そうすると問5と同じですが、隣の子供におはようと言ったりするような環境を大人が準備する必要があります。地域の活動などで知り合いになることが手始めかと思っています。これもそうですが、地域住民がまず考えることがあって市役所はそのサポートをすることが役割であると思います
71	この設問に対しては予備知識の不足である。思い付きレベルで記入する。少子化：家庭において三人目の子供から教育費、医療費などは助成金を提供するなど実質的に無料化する。予算は先行投資として十分回収できる
72	子供を育てやすい環境づくりも重要だが、まずは子育て世代に子供を作ろうというマインドを持ってもらうことが必要。子作りを阻害する要因としては経済面での不安が大きいというのでそれを払拭することは重要だ。その点でこども手当は方向性としては正しいと思うが、制度として粗雑だったように思う。自治体には限界があるかもしれないが、子育て世代には何らかの形で所得再分配の工夫が必要だ
73	子育て支援として未就学児、学童保育、福祉施設に取り組むため各地域にボランティアを募集しその人材を育成することで助け合い精神を養成(若者に)してゆくことからです。そして地域で子育てをしていく環境を作ることが必要であると思います。その仕掛けを作る為には、まず市役所の会議室を貸し出して実態把握をして下さい
74	母親がまず健康でなければいけない。それには医療機関の充実と女性が働きやすい職場環境や保育所等社会資本の整備は急務
75	高松市は全体に緑が少ない。そして公園も。小さな子供が安心して遊べる公園があれば良いのです。高価な遊具ではなく安心してさわれる砂場とか木の滑り台など。犬、車、不審者、汚染などから守られた広い場所があれば
76	若年層の雇用の安定が必要と考えます
77	他の都市に先んじて少子化、子育て支援対策を強化すること。そうすれば若者や子育て世代が高松に集まる。子供の医療費無料化など真っ先に実施すること

NO	記述内容
78	子供を多く産んでもある程度安心して生活出来るような社会。早期結婚(25～28歳)、保育所、幼稚園の1本化と施設等の充実、子供手当等の充実と拡大、学校教育、家庭教育、地域教育の充実
79	未婚者に対する婚活支援、女性が安心して働ける職場環境づくり、保育所の整備、保育士の職場環境向上により保育士の拡充
80	今後、産科の減少が懸念されることから産科を中心部の日赤、県立中央病院、東部の屋島総合病院(香川大学医学部)、南部の市民病院(移転予定)の基幹病院に集約し医師、看護婦の1日3交代制を完全保障するような施策を考えるべきである
81	安心して頂ける保育施設等の拡充、充実。今高松市が進めている少子化対策事業を強力に推進してほしい
82	末は博士が大臣か、学校の恩師、現在の子育て目標はなんのでしょうか。現在の子育て目標、教育目標をもう一度見直し考え直すことはできないでしょうか。専門家の行政マンのお力拝見
83	まずは高松でしっかり働ける場所が必要、子供を産む親がまず高松で暮らせることが先決問題
84	まず結婚しない、したがらない若者をなくす事。そのためには婚活支援活動を行政や各種の所で行うべき。次に結婚し子供を産んでも生活していける環境づくりが必要。仕事を居住地で得られ、保育所得の整備が必要
85	共働き家庭の増加が増えており、保育所の整備、延長保育、病児保育など親が働きやすい環境作りが大切であると思う
86	共働きが可能となる施策、例)夏休み中の期間中の子供の居場所づくりなど
87	もっと学校と地域が交流を進めるべき
88	子育て世代は日々の暮らしを成り立たせるため一生懸命である。その人達にゆとりを与える為の企業への働きかけ地域における支え方等を検討すべきである
89	未婚化、晩婚化が進む中、経済的負担等も重なって出産を諦めてしまう方も多と思われる。また子育てと仕事を両立するには保育サービスの充実が今の時代不可欠であるが時間・曜日・定員等の縛りからどちらかを断念してしまうケースもあるのではないかと感じる。ただ全てを行政に求めるのも無理があると感じる。かつて3世代が同居していた頃は祖父、祖母がある程度育児に参加していたが、それが叶わない時代であるのであれば母親だけでなく父親の育児参加が不可欠となる。行政側としてはハード面の整備以外に市民や企業に対する啓蒙を強化してはどうか(子育て、ワークライフバランス等)根本的には女性の待遇アップ(給料アップ)が不可欠と思われる。精神的、そして経済的にも余裕が生まれれば子育てと仕事の両立に向けた工夫が名人でなされ出生率のアップに繋がるはずである
90	子供が健やかに育つ街づくりのためのインフラは、一昔前に比べ格段に充実しているが、ソフト面でのインフラとして地域で子供を育てる意識を地域住民が持つことが今後の課題と考える。そのためにはコミュニティの育成に尽きるのではないかと。孫の面倒をみているリタイヤ世代の方を見かけるが家族単位のこの世代交流をコミュニティに広げることなどが方法として考えられる
91	1.若者が安心して子育て出来る環境を作してほしい。医療費の補助、子育て支援(保育所、保育料)育休の実施状況を調査(育休が取りやすい環境を作る) 2.結婚支援 結婚したいが人とのコミュニケーションが下手でチャンスがない若者が多い。行政がイニシアティブをとって地域コミュニティとの協働でふれあいパーティ等を企画したらどうでしょう
92	-
93	学生の減少により学校の統廃合も進んでおり、子供は将来の希望や夢を考えていない状況と言われているとあります。子供が熱中したり友達と遊ぶのは単なる集まりで別々の方向を見て遊んでいる。体力や気力、頑張りの出来る子供育成の為、先ずスポーツ教育の徹底をするべき。協調性と努力性を養うべき。又家族でも学校でも何か仕事とか責任負担により成果を味わい、達成感のわかる機会を与えるべき。教育は怒るのでなく叱ること、その子供の将来のために
94	子供が郷土に愛着が持てるような施策、単なる体験学習だけでなく子供達が地域で育っているという実感の持てる教育も必要ではないか
95	-
96	少子化と経済事情を考えると雇用の確保がまず1番。1人の収入では暮らせなくとも、二人で働けば生活は出来る事から子供を安心して預けられる施設が重要。預けられる時間や場所(電車・バスなどの駅に直結)で、そして地域での見守り

NO	記述内容
97	市教育委員会、人材の育成に全力を尽くしてください
98	若年者所帯向けの住宅等の整備、またそこで暮らす人がルールを守れるようにする。例えば何年か住んだら出ていくというルール
99	子供が健やかに生まれる事を北方行政が助けてくれますか？国家の将来に関する事は国がやるのが当然
100	子供が育つ環境を高齢者の暮らしやすい環境は似ています。もっとおおらかにもっとゆっくり
101	企業の女性への勤務配慮が必要、今は帰宅が遅い母親が多く子供との時間が少なく成長期に父母の役割が十分でなく人間的未成熟な大人が増えている。もちろん父親の超過勤務を少なくする。公務員も同じである。行政マンの育休取得の推進
102	尊敬できる大人、市民を増やすこと。責任を持ってまちづくりに地域行事に参画する姿が地域にあふれること、だらしない大人の姿が少子化や子育てに不安を与えてしまっている。そのような仮説に立てば地域コミュニティの活性化は不可欠だろうし出来るだけ多くの方々が力を発揮できる場を作ることが求められるであろうし、それにスポット当て、広報啓発することが大切となる。子育てサービスの提供だけでは際限なく求められる社会となるような気がする
103	上記問5でも触れた芸術士派遣事業は、我がNPOの事業活動の為にことさら述べにくいですが、全国で唯一高松市が行政の活動として面的に実施しているこの事業は、全国からの注目を集める活動になってきている。イタリアレツジョエミリア市はすでに70年に迫ろうとする歴史を持つ活動となり発展進化したレミダ(廃棄物を教育資材として活用するプロジェクト)も市をあげての事業となっている。こどもをキーワードに市民を巻き込んでまちづくりの精神を育てるというプロジェクトは未来に繋がる希望の灯となる
104	子供を社会が育て、社会で見守るという環境整備を早急に整えることが重要と考える
105	施行された子ども・子育て条例の有効活用に期待をしていますが、現在十分に機能しているのでしょうか。広報と現場への浸透が進むことを期待しています。子どもを増やすためにも是非、若い世代が他の地域からどんどん移住してくるような高松の魅力創出にも今後ますます注力してほしいと思います
106	若者の正規雇用で安定した収入が得られるようになると、結婚を決断する適齢期の若者が増える。すると新しい命が生まれ少子化、人口増に繋がる。共働き世帯は子供の保育が重要なので幼稚園や保育園との連携が大切だと思う。晩婚も多く、拍車をかけているように思う。奨学金制度や市と企業共同で保育園の充実等、まずは結婚の後押しを。働きながら子育て支援のできる環境作りが大切。コミュニティへの協力体制作り。地域の子供達が地域社会の中でどのような係わり方をすべきか。学校側だけでなく保護者や地域住民を含めた活動。(学校地域行事への参加)を推進する必要がある。祖父母との交流

問7 教育問題への対応について

「問7 教育問題への対応について」は、88.7% (94人)の方から、ご意見をいただきました。記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	学校教育と地元コミュニティ、PTA一体となった教育活動が必要。
2	文科省のシステムそのもの。やる気のある教師を伸ばす仕組み作り。雑用が多すぎる。地域に学校を開く。
3	両親が共働きや、母子が多いので家庭教育にゆとりがない。宿題を見ない親が沢山いる
4	-
5	教育環境を良くしてその子その子に合う教育力をつける
6	教育を向上させるために教師に仕事を増やすのは問題があると思います。現場と事務を分けた職員のあり方を検討して教育の質は現場から浮き上がるものを大きな枠でまた検討するなど業務のすみ分けや他方面からの多様な支援や協働を受け入れられる学校作りをするのが重要だと思います
7	教育機関に全てを押し付けるのではなく、家庭、学校の役割を保護者が自覚しないとだめだと思う。その中で学校は従来通りの学習、道徳、運動、音楽などを子供達にしっかりと学ばせてくれたらいい。今問題になっている多く(学校崩壊、自殺、体罰)は保護者と子供との関わりあいの中で解決できると思う。晩婚化とともに、保護者が教師より年上だったり大学生の保護者も数十年前に比べたらずっと増えたことで、教師に対しての見方が変わってきてしまった事が子供にも伝染してしまっている。専門の課程を修めている教師に対して専門職として尊重する事が必要
8	児童に対する画一的ともいえる過程のみの指導でなくもっと個性を重視した教育の実践を行う事
9	小中学校に自主性を持たせて欲しい。教育委員会の制度を止めると少しは良くなるのかと思います。小中学校の先生にももう少し権限を持たせてほしい。先生が何か問題を抱えた時にサポートするシステムが欲しい。今は真面目な先生ほど苦しい。あまりにも書類が多すぎて書類を書くために大切な教育にあてる時間が取られています。
10	各社社会に対応し就学援助家庭への補助の充実
11	小中高一貫教育を検討してみたら？
12	対人と対応を円滑に出来る事(正常な社交性の教育)相手、友人、先輩、目上の礼儀の教育
13	1.社会規模(ルール)を守るような人作り教育 2.知的には未来社会が要求する知識、技能教育が必要 ①環境教育 ②希望する人、必要な人には海外でも生活可能となる知識、実務教育 ③自己解決能力を身につける教育 3.個々人の能力、意向に合った多種多様な教育
14	優秀な教員を育て高松市や香川県内の教育機関の充実を図る
15	日本人としてのアイデンティティーを中心に教える
16	日本に生まれ育つ事が誇りに思えるような教育の推進
17	ひとりひとりの個性を尊重しつつ、集団生活の大切さを身につけられるようになる事が重要であると思います。意見交換と意識改革が大切だと思います
18	あまりわかりませんが、今後国際化の進展が早くなると思われますので英語の授業を早くから取り入れて慣らしていく必要があるのではないかと思います
19	-
20	知識も必要だが精神的に強い子供、また人の話を上手に聞く子供ガマンのできる子供
21	家庭教育が重要、その為には経済を安定させ父親だけの収入で生活できるようなまち作りに取り組んでほしい。勿論、就労人口の減少となることはわかっているが、家庭教育の充実とは母親か父親のどちらかが家に居られて親としての目を向ける事が健やかな子供を育成する基盤となる。学校教育、特に義務教育が大切。学力の充実は地域を支える最も重要な案件である
22	-

NO	記述内容
23	学校の先生は疲れている。親が教育に口出しすぎ。先生も安全な方向へ流れていく。この子の為にと 思う先生は少ない。学校のあり方自体(先生の数、専門家等)変えていく必要があるのでは
24	今までの2学期制～3学期対応は良いと思う。諸行事、勉強の集中等で子供に合った教育が望ましい
25	意見を述べる立場ではない
26	-
27	子育て世代が十分に子供と時間が取れない共働きや片親などが増えているのも問題。学校教育に限ら ず家庭でのしつけが出来る事を後押しするのが大事。色々な世代が交流して社会性を備わるので同世 代が多く住む団地的な環境は問題だと思う。しつけの出来る社会が重要。学校・知識、体育。社会・ しつけ 役割分担の構想
28	教育現場よりも基礎となるべき家庭教育の充実につながるような取り組む施策を推進することが大切か と思います
29	個性を大切に、育てる教育。人間性を大切に、育てる教育。環境を大切に、育てる教育。
30	教員の負担軽減 学童保育、クラブ活動の指導など民間へ委託などにより本尊に専念。対地域、対保護 者などには教員でなく専門スタッフを配置して対応
31	小学生から塾へ行くのが常識化している現状は望ましくないと思う。出来ない子供が落ちこぼれになら ないように学校での教育は何とかならないものだろうか。中学校での部活動の強制も何か変だ
32	公私の区別が出来る事。元気で明るい子。向上心を持っている。他人との協調性を持つ子供(自我の主 張を抑えられる)責任感の強い誠実な子供。思いやりのある子供。ふるさとを誇りに思える子供。本当の 日本人を育てたい
33	子供周辺の環境が激変しています。バーチャルな機器がオモチャとして広がっている。ゲーム等。情報 が過多。パソコン、携帯電話など。ごく身近な所の安全がおびやかされている。不審者、交通事故など。 子供の減少によりこれらの要因が戸外で遊ぶ子供像を一変させ、しかも現状を認めた上でないと子供の 事すら語れない状況である。家族ではない、他者が出来る事は何か。様々な体験の場をあまり規制せず (安全とのバランスが難しいが)創り、そこで自然発生的な出会いや心のきっかけを待つことしかないの ではないかと思う
34	高校教育までの無料化に取り組む、教育レベルは落とさない、学校が責任を持って一定の水準まで子 供達を教育する(義務教育)
35	教育現場である先生方にサラリーマン化にならないように気概を持って教育にあたってほしいが、最近 高いキャリアをもった親達が増加、LMPなる方々が増して来ているという声も耳にしている。子供達の教 育よりもそうした親の再教育を行うような研修機関なりPTA研修が必要ではないか。
36	最近、学校をめぐる様々な問題点や課題が浮上し、その対応に追われ学校、教育委員会など学校関係 者は日々苦勞されていることが推察される。体罰、いじめ、児童虐待などの不祥事から本来学校が取 り組むべき学力テスト、英語の教科化、学校給食などの課題が山積みしている。時々小学校の授業を参 観する機会があるが、児童が自ら考え発表する授業風景、学習発表会などの全校集会では児童全員が 何らかの役割を分担して発言姿に接し教師の苦勞を実感した。①諸課題の解決にはこれまで実施して いる地域、家庭(保護者)、学校の関係者会議を更に充実させ地域ぐるみの協力体制づくりが必要であ る。
37	格差社会となっている現実の中で、少しでも上級(ランクが上という意味)の仲間に入れて学校で授 業だけでは満足できず、塾通いが通例化している。それが親世代にとっては経済負担を増すことにもな っている。私どもが育った時代は高校進学は小学区制であって平等社会の気風が感じられ高齢者とな って同窓会などで懐かしんでいる。そんな教育環境に再び近づけることは出来ないものかと夢見ている
38	学校が組織として対応出来る力とともに教師個人のスキルアップ
39	スマートフォンの教育への活用技術の研究を早急に進めたい。高校生、大学生のきたえ直しプ ログラムを導入する必要がある。ボランティア活動(例えば1～2ヶ月東日本大震災被災地支援に向く など)を必修にするなど
40	各学校が現状に応じて創意工夫して教育活動に取り組めるよう人的支援、施設、設備支援、予算支援を 重視してほしい。学校を非難の対象にしがちな風潮を払拭し、住民それぞれが自分の置かれた立場で 教育に関われるようにする

NO	記述内容
41	教育問題を考える前に少子化問題を考えるべきであると思う
42	最近の学校は個人情報に注意を払うあまり、クローズな場所になりすぎている気がする。もっと情報開示が必要だと思う。小中高どのレベルにも、学校間の違いを互いに学び合う関係、競い合う関係が大事だと思う。高松市ほどの市になれば、学校にとっても教委事務局にとっても、もっと私立学校の参入があることは大事だと思う
43	教育問題では首長の責任において対処すべきとの近年の動きに同意する。ただしそれは形骸化した教育委員会組織を新しく形成しなおすために発揮されるべきものであって(教育委員会事務局と現場との遊離等)首長が恣意的に教育問題に介入すべきではないと考える。高松独自の教育を組み立てるためには、教育現場が意見を出しそれをもとに議論を進める雰囲気を作るべきであろうと考える。そのためには現場における教育職員の充実が重要であろう。また、教員の人事権は財政的な裏付けも含めて県教育委員会から市教育委員会に移すことは当然である
44	各種イベントの開催は出来ていると思うが、参加者がかたよっている。ボランティア活動の義務化
45	地方都市には優秀な私立、国立学校がない、故に市立や県立の学校がもっと先進的な教育を担うべきだろう。特にこれからは英語、高松出身です⇒ああ、じゃあ英語は喋れるのですね。これぐらいになってほしい。教育を国家戦略にしている国の教育を参考にしようか。競争がないところには成長はない。フォローしつつ、到達度によるクラス編成を実施すべきだ。これは、一面で個性に応じた教育を行うということで効率もよく学級崩壊やいじめ等への抑制に
46	特に道德問題の充実化。貧困や虐待(ネグレクト)などの為、教育を受ける機会がない子供が現実に高松市にもいる。実効性のある取組みで1人でも減らしてほしい。経済的理由で高校進学が出来ない場合、返済不要の奨学金制度を作りたい。学校には勉強だけでなく色々な事が期待されるようになってきた。正規の先生以外にも講師、非常勤、部活指導者、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーなど多くの方が入ってくるようになり、良い事と思うが十分な連携を取り活用することが大切だと思う。生命の教育、性教育、子育ての教育が大切、少子化で子育てを全く知らないまま親になることも増えている為中学生と赤ちゃんや幼児との交流の機会があればと思う。参考・高知県四万十町のいのちの学習、高知県立春野高校子育て支援講座
47	-
48	自分の身は自分で守ること。自分で判断する事ができる力
49	-
50	ハード面として校舎の老朽化と耐震対策、感染症対策として冷暖房設備、校庭の緑化運動として芝生や樹木の植樹。ソフト面として少人数学級と障害児の対応、いじめ等に対するスクールソーシャルワーカーの派遣、食育推進から郷土料理や地産地消
51	教育の現状はわかりませんが、消費者教育など生活の知恵、生きる知恵も教育の場に
52	総合教育の必要性(両親が勤める方が多い)
53	教育施設は市町村長の権限下にあるが、ソフト部分は教育委員会の下に置くべき。その為には任命された教育委員の内、教育の経験のない者はやはり一通りの研修を受けるシステムが必要と思う
54	自己優先、他人への迷惑は気付きもしない無礼さ、そんな事言っといたらグローバル化する社会で生きていけないよと思われるかも知れないここは中国とは違う自分達が住む日本です。社会は人と人との関わりあいできり立つ、徒党を組んでのいじめ、冷酷な暴行、いたわりも思い遣りもない索漠としたものになればそこに住む人も地域も不幸です。物はあっても心が貧しいから悲しいことです。何か起これば学校側ばかりが是非を問わないで社会全体が省み、良くしていく風潮作りが大切と思う。福祉の仕事をしている関係者は人へのやさしさ、思いやりの心を育み、人作りと世間へ現場から発信し送り出す社会教育の場でもあります。そういう面からも貢献していかなければと見ております。中学生の仕事体験とかボランティアで半日でも来られて体験したその作文からも人間愛の育みを感じます。地道であってもそんな機会を多くの人が出会える仕組みができればいいなあと思います
55	人権問題 いじめに迅速に的確に対応していく。小学生から男女共同参画学習を取り入れる。情報リテラシー教育に力を入れる(交通安全教室と同レベル程度に)ネット利用におけるモラルの向上、加害者、被害者にならない方法についての教育が必要

NO	記述内容
56	「OECD カントリーノート『図表で見る教育 2013』にみる日本の教育」によれば、日本の教員の法定労働時間は他の OECD 加盟国よりも長い一方、教員の授業時間は OECD 平均よりも短いと報告しており、この時間の隔たりは、教員が授業以外の業務に割く時間を反映している可能性があるとしている。この報告に待つまでもなく、教員の長時間労働は目に余るものがあり、深夜まで明々と明かりがついている職員室の状況からは到底心身ともに健康な状態で子供の教育に当たれるものではないと推察される。教育委員会等の教職員管理のあり方に問題があり、高松市がそうであるとは思わないが、君が代斉唱に唇の動きを監視したという子供の成長を祝う気持ちをうち捨てて、教職員を罰する目的で監視監督するような教員管理は教育の発展を損なうものである。同報告では教育機関に対する公的支出の GDP 比は OECD 加盟国のうち最も低く平均の 3 分の 2 に過ぎない。教職員を増員し教職員の事務的雑事を軽減し、学級定員を一層少人数にして教職員を子供達の元へかえすための具体的な施策が求められる
57	地域の連携、施設の充実、校舎等の改築(安全面で)
58	いじめの問題が最重要課題と考える。親への教育ももっとやるべきと思う。学校での授業のあり方
59	問 6 参照
60	グローカリズムの精神を涵養する。東京都、大阪府、を反面教師とする
61	-
62	各地域には先人が活躍した歴史があります。そういう人達の事を子供達に伝える事が必要かと思えます
63	-
64	国際化を視野に入れた教育の充実、学校教育環境整備、校舎、規模の適正化
65	教育現場での競争原理を取り戻す
66	日本を愛し郷土を愛す人間性豊かな教育の重要
67	地元大学への進学を進める。これも地産地消。土曜日も授業を行い、教員を増す学童保育を充実させる
68	クラス 30 人制の採用、教員の指導力向上の為の研修。人員増に行政も積極的に支援すべき。教員の事務にかかわる時間数を削減する為学校事務員を増やして教員サポートすべきと思う
69	最近、学校の教育方針が変わりすぎると思います。①二学期制の変更 ②ゆとり教育の変更 ③全国統一試験など 教育方針を 10 年 20 年で変えるべきではない。何が良いか悪いかわかってから変えるべき
70	1.基本的な事をきちっと教えることが必要です。これは家庭、地域、学校が関係しますが、本来は家庭です。しかし家庭で放置されている所もあり、親が全くそれをしようとしません。2.その時は仕方がないのですが、学校で教えるより他はありません。自信を持ってきちんと教えてほしいと思います。3.クレームを理由なく言う親がいると聞きますが、そのような親には言葉は優しく中身はバシッと言うべきだと思います
71	子供を学校だけに任せない意識を作ることである。家庭や地域での教育上参考になる具体的な善悪の実例を PR することも一策である。近くにある公園は日々子供たちの声が聞こえる。休日にはより賑やかである。保育所などの運動会も開かれる。周辺の大人たちが声を掛け見守っている。私の見間違いであればいいのだが、市役所前の中央公園の中央付近ではイベント催事以外は閑散としていて子供達の走り回る風景は見たことがない。西側隅には遊戯場所はあるが、自由な遊び場を提供し自主的に色々な人達と交流させることが大切。体験の大切さ
72	学校教育に頑張ってもらふ事も大事だが、子供達が夢や希望を持てるようにすることが何より大事だ。そのためには大人達も夢を持てるようにする必要がある。親が後ろ向きで愚痴ばかりこぼして周りにあたっては、子供の心も荒れ夢も育まれない。未来が見えるような次世代の産業育成、カッコいいスポーツチームの育成など、わくわくするような政策を打ち出して子供も大人も夢を見られるまちを目指すべきだ。また、グローバル化が進む中で企業にとって魅力のある人材作りのためにも英語教育には重点を置くべきだ。仮に地元の高校卒業の子供達が英会話や読み書きに堪能であれば、他地域からみて非常に魅力的な人材市場に見え地域の大きな武器になる。
73	教育問題では我々はひとり親家庭を支援しています。シングル親の場合、毎日バタバタと仕事してばかりいるので忙しい日々の中、学校の先生方、おじいちゃん、おばあちゃん、親戚の人や友人などの手を借りて時間を頂いているのですから、当然私達は 8 時までの延長保育です。これから年末にかえて特にこの現象が顕著になるようです。ここでの保育料は無料化にしてゆきたいのです

NO	記述内容
74	幼児教育の問題がより大事になってきている中で幼保一元化が話題に上って久しいが、中々具体的な方策が進まない。やはり教委と福祉部門との兼ね合いが充分ではないのではないかと。孫と同居しない私にとってはこの問題は正直いってわからない。ただ、年寄りの独り言として聞いてほしいのだが、そんなに遠くない昔市長のもとに教育部があり教育部長が他の部局部長と対等に話していた事を記憶している
75	勉強を教える事の出来る先生がもっとほしい。1年間に1年分の授業を教えられない。イベントばかり算数、国語等の時限をつぶしている。社会見学、次の日は城の観察勉強、次の日はPTAのバザー。運動会の練習、先生達の勉強として時限の短縮などひとつひとつが悪い訳ではないのですが。体力低下→クラブ活動、学力不足→土曜学習。疲れた子供達に勉強は過酷、もっとバランスよく、長期にわたる計画を立てて
76	地元の大学に進学する生徒が少なすぎる。魅力的な高等教育機関が必要と思います
77	-
78	学校内だけの教育には限度があると思う。家庭教育、地域での教育、各種の講演研修が必要。特に道徳については親子への研修、教育が必要と思う
79	規範意識の向上、将来心身共健全な子供を生み育てるための早い時期からの教育
80	近年、高等学校を卒業しても基礎的な漢字や掛け算の九九を知らない者が増えていると言われている。食育や躾等、本来家庭が担うべき分野まで学校教育が担わなければならない状況下で、しかも給食における食べても害のないような些細な異物混入にも大騒ぎする風潮の中において、現場の教職員の苦労は大きいものがあると思うが基礎学力を持たない者が社会で自立することが難しいことを理解させるとともに競争させる大切を身につけさせる教育が必要である
81	小さい時からの道徳教育の徹底が重要と考えます
82	教育者の再構築は出来ますか、現在の先生の再教育で間に合いますか。現在の国の目標も経済です。ゴルファーでありサッカー選手であり、目先の行き当たりバッタリの目標ではいじめ以上に大切なものがあることを教えて下さい。素晴らしい国づくりをお願いします
83	多様な学力の基盤となる人間力、人と関わる力、人間関係かが本質的に重要
84	学校5日制を再検討すべき。また年2学期制は良くないので、元の3学期制に戻すべし。施設設備面では学校の空調化など良くなってきているが、運動場の芝生化など屋外環境の整備が望まれる。教育意識向上の為、パソコンによる事務処理などは出来るだけ少なく子供とふれ合う時間を多くして欲しい
85	ゆとり教育、学校の週休二日など本来勤勉な日本人の勤勉さをスポイルするようなことは止め、受験勉強ではなく、もっと社会に出た時に知っておかなければならない基本的、実用的な教育内容を検討すべきではないか。例えば対人教育、お金に関する基本的な知識など
86	教員の意識、一人一人の子供の学力に責任を持つとする気。
87	-
88	少子化により学校体制の再構築と学校毎と特殊性を持った教育による学校選択の自由化
89	かつては香川(高松)の教育レベルは非常に高かったが近年は徐々に低下しており早急な対策が必要と考える。現在小中学校が抱える問題のひとつに授業崩壊が挙げられる。その対応策として少人数学級や副担任制を実施しているが十分機能しているとは言い難い。(将来のモンスターペアレントを生み出してはならない)また教員もそのような児童等に対応するあまり疲労困憊してしまっている。一方学力上位の児童にとってはそのような状況の下では授業内容に興味を湧かず(興味を抱けず)その結果、伸びしろを伸ばしきれない児童も多くいるように感じる。教員OBや地域ボランティアの活用など学校の内と外との連携をより強く実際の現場でどのような問題が起きているのか共有し合う体制が必要と感じる
90	詰込み型が良くないといわれていたが、考える力を持たせる教育にしても学力の向上をはっきりと目的にすることが良いのではないかと。一方で専門的な職人的な仕事に就くことを望む子供達が学力に劣るといことで劣等感を感じる事がなく、ただ違うだけだという意識を持てるようなコース別教育も一定年齢以上から導入するのが良いのではないかと。現在は専門学校がその任を負っているように思う。また倫理-道徳、難しい事ではなく人に迷惑かけないこと、自分なりの正義感を持つことなどを小学生のうちからしっかり教育していかなければ、日本の形が保たれない。そのためには大人がしっかりしなければならずまず父母や祖父母に対して倫理の教育をする仕組みを考えるのがよいのではないかと

NO	記述内容
91	学級崩壊とまでは行かなくても授業中、教室をウロウロしたり、居眠りしたりおしゃべりしている子供が多いと聞いています。誰でも等しく教育を受ける権利があるか勉強の妨げになる行為は何とかしてほしい。ぜひ実態を調査して現状を把握してほしい。勉強についていけない子、昼夜生活リズムが逆転している子、色々な原因があると思います。その1つ1つを解決して行くことが大切です
92	-
93	最近子供同士のいじめや自殺問題が大問題になっており、一方教師による体罰も問題になっています。これらの問題の根底には能力などの程度の格差があると思います。人間の能力や大量には最初から差があるのに同一場所に入れて同じ教育をしようとしても落ちこぼれの子が出ていじめに繋がります。差別扱いには問題もありますが、良い普通劣る三分割をしてそれぞれのレベルをアップするという方式はどうでしょう
94	地区の小中学校の取組みには一定の評価をするが、学校内に留まっている。地域との連帯感を高め児童・生徒たちにも地域全体の構成員であるとの認識を深める事が必要
95	-
96	大学全入が言われて久しいが、進学率が上昇するほどだめな大人が増えているようだ。良識(常識ではなく)のない人(理屈はいえるが現実的でない)の増加。学校教育で知っているだけで知恵のない人の量産。特に女性に多いのが残念(プライドだけになっている)教師の能力アップが必要。社会性のない教師が多い。知識偏重組が教師になっているのでは。実業学校の生徒に実践力を備えると企業はやってくる。即戦力を求めておりこれに対応できていない
97	指導者、教育者の人格向上に取り組む
98	教育者の人格
99	親の責任を重視すべき、教員の労働者観を払拭すべき
100	家庭教育再生、親はしっかり子育てに向き合う必要があります。経済的な理由は自分の生き方を正して解決可能では
101	勉強が出来る事も必要だが、知識教育に力点が置かれ人間的視点が少ない学校教育がうかがえる。21世紀に生きる人間にはグローバルな視点(人間を大切にする、他人を大切にする)が大切です。企業の国際化の中でも大切である
102	学校支援地域本部等、地域や保護者がもっと学校との関わりをもって学校、教師、児童、生徒、家庭の状況を知るべきだと考える。学校への無理解が保護者や社会の暴走を招いている。また、マスメディアの責任を大きく、地道に素晴らしい教育実践には目もくれず問題のみを取り扱うことへの反省を促したい。学校には地域との関わりを積極的に持とうとする教員が必要であり、社会教育について見識を持つ教員を増やすべきである。急がば回れ、地域を味方につけられる才覚を持つ教員を増やす
103	学校教育という枠を超えて地域・大人という視点が重要な要素だと思う。例、牟礼中学校の総合学習のプログラムで高松市合併前にもっと地域の誇りを知ってもらおうとの願いから源平の古戦場研究やイサムノグチ庭園美術館訪問といういくつかのプログラムを地域の大人が教師となってつくった。イサム庭園美術館はご存知のとおり子供達は無料で受け入れていただける。サロンINかがわの当時理事長の中村さんからイサムノグチの説明スライドを見せていただき、やがて映画となるレオニー(イサムの母)のお話や中学時代の留学の事を詳しく紹介いただいた。その上でご近所であるが行った事のない庭園美術館に見学。そして翌日、アーティスト水谷忠敬の指導によるワークショップ(文字で立体彫刻をつくる)を経験することができた。研究発表も全員が鋭い視点でまとめたのが印象深かった。そのように地域の大人が中学校という現場に入り、大学のゼミ的な活動を行うという稀に見るすばらしい事例であった、現役の先生のご協力もさることながら地域の大人のすばらしさを中学生に感じ取っていただいたのではないだろうか？このように地域から学ぶ資源は限りなくある。特に高松ではその質が極めて多彩で上質である素材が多い。盆栽、漆、石材等の店頭の産業しかり、瀬戸芸等アーティストとの出会いの場はすばらしい教育となる
104	人間が本来社会生活を営む上で大事なことはなにか。それは道德教育の確保と夢を持たずことではないか。更に親(特に母親)に学校教育を関与させるのではなく家庭教育を充実させることが重要と考える

NO	記述内容
105	教育環境の整備も大切な事ではあるが、もっと本質的な部分での方向付けが明確になればと思います。先祖や家族、仲間を敬い、地域や国家に対して誇りと責任を自覚できるようになること、世の中の仕組みを知り、自身がどのように社会と向き合い貢献できるかを探れること、社会や仕事は楽しいし、やりがいがあると子どもが思える事。このような取り組みとしてほしいと願います
106	学校教育の充実(生徒指導の強化)先生の子供への指導は怒るでは叱る。家庭教育(保護者への教育)親の躰は怒るではなく叱る。学校内のみならず校外の情報をキャッチしてそえにも対応できるようにしていくことが大切。本当にゆとりのない現場を知っているので内外の連携を早く取ることが重要。個人の権利は当然ながら地域や組織に対する義務責任についてももう少し考えるべき。そのような教育(道徳、情操..)について再認識すべき。土曜日授業の実施。地域での支援(地域で子育てを)昔存在したご近所を取り戻したい

問8 地域コミュニティを軸とした協働の推進について

「問8 地域コミュニティを軸とした協働の推進について」は、84.0%（89人）の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	一地区コミュニティだけでなく横の繋がりが今後は必要と思います。
2	自治会のデリケートな仕組みの建て直しができれば若い人の参加意欲向上へ
3	年配の方の人口が多いので頼っていいと思う
4	-
5	グループ化を生しその地域に合う活動をし、皆が参加出来、市民が協力し合い町を発展させる市政を作り計画して欲しい
6	新しいまちづくりなら今まで関わった事がない人材が声を上げる場が必要ですね。地域コミュニティは崩壊しています。高松は10年以下で県外に出る人が何%しめているのでしょうか。永住する人とうまく合わせてのコミュニティ作りが必要ですが個人情報保護のせいでいっこうにはかどりません。子供が自立して以降、人との関わりもなく高松から離れる人も多いですよね？地域のコミュニティにラウンジが必要です。（地域の人がふらっと訪れる場所）
7	トライアスロンの企画や屋島山上の取り組み。音楽を街に広める取り組みなどとても素晴らしい活動が誕生していると思う。市ではその広報活動を進めて欲しい
8	企業との期限付人事交流を行う事
9	市民参加の難しい地域だと思います
10	地域コミュニティに市民が参加しやすい場作りの充実
11	行政側が上から目線ではなく同じ目線に立って指導、援助してほしい
12	①各地域に多目的活用出来るホールを造る。②地域社会協力助け合いの気持ちを持ち自治会加入推進
13	1.高松市の市民に対する新しいまちの提示 2.現在のようなゆめづくり推進事業方式で本当に効率的効果的に市の目標とする新しいまちに近づいているのでしょうか。そろそろ成果、手法を見直す時期に来ているのではないかと。3.高松市は市民に何を期待し求めているのか、協働の役割分担の具体的な中味が必要と考える
14	地域コミュニティとしての人々の繋がりをもっと作る
15	地域の祭りをもっと盛り上げる
16	地域の共同で行事を開催しなければならないような事業を推進する
17	市民同士、又は市民とコミュニティとの交流を図るために定期的なイベントを行う事が必要であると思います
18	私達地区の中でも地域住民の参加をどの様にするか悩んでいます。又コミュニティ協議会の各種団体との協調性をどの様に進めるか思考中です
19	-
20	市民参加といっているが、一部分の人達だけが参加しているので昔のように隣近所仲良く出来るシステムを作り自治会活動の活発化が必要だと思う
21	コミュニティ税などの導入により、コミュニティに入っていないと何か教養文化、健康づくりなどでデメリットを感じられるようなシステム作りをしては？地域住民全体のコミュニティでなければ地域住民の意思として反映されにくい。特定の人が一何役もするような現在の仕組みは変えなければならない
22	協働による町作りをする時に地域によっては市からの助成に頼らざるを得ないがその際の規制はその地域の状況にあうように緩和すべきである
23	今やっていること、これからやろうとしている事、どんな姿を目標にしてやっているのかももっと市民に情報公開し広報が必要では

NO	記述内容
24	地域により(旧市内、中山間、島東部)人の流れや考え方も異なる。地域にあった協働によるまちづくりが必要
25	今のままで良い
26	協働の推進は当然と思われるが、ボランティアには限度があり、市民参加が必要な行事が多くなると続かなくなる。コミュニティ活動には常勤の職員が必要である。人件費の補助を考える時がきている
27	目に見える形のイベントや結果を求めすぎ。一部の人々のみに無理が集中しているのが分かる。現役サラリーマン世代が無理なくできる普段の小さな活動で良いのでは？変に予算をつけなくても良いと思います。地域差が出ているのでは？気軽に来場できる所の雰囲気的大事。行政サービスで出来るものを増やしては？
28	行政側のニーズとNPO等市民活動団体とのミスマッチを防ぐ上で定期的な話し合いの場を設ける事が必要かと思えます。
29	コミュニティ活動の活発化、問題:自治会加入率の低さ→古くからの住民と新規転入者の意識のずれ
30	コミュニティセンターとコミュニティ協議会の体制がわかりにくく地域によって関係性がかなり違う。地域性もあるでしょうが活動の中心メンバーの超高齢化が著しく若い人が参加しにくい(主体となりにくい)雰囲気がある。学区にこだわらず再編は出来ないのでしょうか
31	-
32	近年、住民よりコミュニティで何とかしてほしいという声を直接耳にすることが多くなった。地域コミュニティ協議会が地域住民の軸となってきている事を肌で感じます。ただ、住民より会費はもらってないので予算的に14事業の限られた範囲でしか活動出来てない。地域の活動には(非自治体員も含め)全体的に使用できる予算があればもっと自立した活動が出来ると思う
33	地域には現在まるで市の下請けのような形での仕事が各方面からいっせいに集まってきています。行政間の事業や会合、学習計画などの整理をお願いします。そして職員の意識を時代に合ったものに変革できるよう学習の機会を持って下さい(形だけではなく)そして絶対的に不足している人材について、庁内で融通しあえるよう(この変化の期間を)考えて下さい。地域住民は出張所とコミュニティ協議会の人と仕事のバランスをじっと見えています。地域の善意のボランティアの方々を支えるために是非お願いしたいことです
34	出来るだけ多くの市民が参加できる体制作りをする
35	旧町住民においてはコミュニティ活動が不慣れな地域住民が多く急激にコミュニティ活動の推進を求めた事により、戸惑いと活動自体に不安を感じている住民も少なくない。コミュニティ活動推進サポーター、相談員等のソフト支援も重要となるのではないかと
36	これまで連合自治会がリーダーとして地域活動を推進してきたが、自治体の憲法とも言われる高松市自治基本条例の制定により、地域のコミュニティ協議会が市長が認定する唯一の団体として地区内をまとめ様々な活動を推進してきた。活動方針は地域コミュニティ協議会総会で決定したコミュニティプランに基づき、平成24年度は防災、防犯、交通安全を骨子とし、平成25年度はコミュニティ協議会の主催行事及び各種団体が企画実施する行事、イベントにもコミュニティ協議会加盟の全団体が参加するなど加盟団体の連携強化を図る。①各種団体は様々な事業に係わる事で事業を理解し団体間の垣根を取り除く。②これからは地域内の各種団体だけでなく、行政、コミュニティ協議会、NPOの組織及び地区内の有識者(個人の資格)を巻き込んだ体制を作り新しいまちづくりを進める。地域活動の原点 1.地域の常識で判断～現職時代の職場での常識は通用せず、地域の人々とふれあいで得た地域の常識で判断する。2.無形の財産づくり～地域住民とのふれあう機会を多く作り、相手をよく理解し自分を知っていただき、お金で買えない無形の財産を増やす
37	総論としては賛成ですが、各論としては会合の回数が増えたり、世話をすることが複雑になったりして困っております。小さな政府という考え方がありますが、高松市が小さな自治体という立場に立つことも一つの見識を考えますがいかがでしょうか
38	-
39	コミュニティリーダーの養成が必要。地域コミュニティの成功事例を意識して人材の育成と具体的活動の波及を図る
40	市長が各地域に出向いて住民と対話する取り組みはとても良い。市長だけでなく市職員一人一人が積極的に話し合おうとする意識を持つと良い

NO	記述内容
41	地域コミュニティを中心とするならばもっと自由な予算化するべきであると思う。地域にとって必要である様々な費用を必要とするコミュニティ事業をすべきであるが行政の予算化の縛りがありすぎると思う
42	現在の地域コミュニティセンターないし地域コミュニティ協議会は、市内の歴史的なコミュニティを引き継ぐものとしても、今後望まれる地域社会のよりどころとしてもどの程度有意義なものか疑問がある。合併町の塩江町の中でも限界集落といえる、崩壊部落を抱える上西地区に住む私個人は、行政が2005年の合併時に歴史や風習を無視して上意下達で作ったという認識が否めず、コミュニティ協議会を前面に押し出すことで行政が本来責任を持つ組織のはずだった公民館運営から手を引いたことを含め、地域のことは地域でと言いながら地域振興の責任をすべて地域に押しつけたという印象を持っている。地域で祭りも出来なくなれば子供もいなくなって、上意下達の公共施設の統廃合、コミュニティバスも名ばかり、これほどの地域の崩壊を目前にしながらコミュニティセンターやコミュニティ協議会は、そのしたことにはひとかけらの問題意識も持たずしてどのようにコミュニティの活性化など語れるというのか
43	1に人材育成 2に人材育成であろう。話を聞けば各地域コミュニティそれぞれの活動に差があるという。すなわち活発な活動のコミュニティとそうでないコミュニティがあるということである。問 1(3)に、各地区の力のアップには地域コミュニティの力のアップが必要であるということも書かせていただいている。市民との協働によるまちづくりを進める上で、活動の個性は認めるべきであるが活動の低迷は避けなければならない。その為には人材育成が重要なことは言わずもがなである
44	地域コミュニティは地域の老人達を中心に運営している様はところもあるので若い層の参加をもっと。
45	市がすべからく直営で行うのではなく、協働の名のもとに地域コミュニティを活用すること自体は理解できるが、必要な経費が十分に出されているとは言えない。また都市部では大多数の無関心な住民をよそに、一部の熱心な住民が運営している。旧郡部等では現在のところ、それなりにまともにはあるものの、ボランティア精神に富む特定の者に頼っている側面が強い。しかしその後継者の確保は日増しに困難になっている
46	地区のコミュニティ協議会が一部の人だけの協議会になっているように思われるので住民との接点を持つようにしてほしい。コミュニティセンターの活動に参加している人達から意見を聞く時間をとってはどうか
47	夫婦共働、核家族化による子育て不安の支援と鍵っ子対策として地域の公民館や学校の教育施設を利用して子供の見守りや3世代交流等により地域の高齢者や子育て経験者の協力が得られる方法はないか
48	誰もが参加しやすい行事を行う
49	-
50	-
51	地域コミュニティを中心に見守り活動を。地域のリーダー養成を
52	①地域コミュニティについては市民にももう少し理解できる内容の検討 ②現在は各地域で考えているが基礎的な基準があっても良いのではないか。各地域の特徴の明確化
53	地域の各種団体への補助金を一元化してまちづくり交付金としてコミ協へ一括交付とされたことは一歩前進ではある。ただ、これにより市の担当部門が力が入らないのか遠慮をしているのか、市の考え方が地域の首脳部へ伝わって来なくなった。コミ協への雑務を整理して市の施策のうち地域に関連する事項はもっと積極的に伝達すべきと思う
54	地域には行政に関わる様々な組織団体があります。それぞれの目的を持っていて活動するもの、また各団体がまちまちで地域全体がまとまらないもの、連合自治会の傘下に置かれるもの、また地域を包含した連絡協議会を組織するものなど、同一地域の中で意思決定に困難する仕組みに課題があるようでした。この度のコミュニティセンターにすべて包含するとかで例えば敬老会も実質社会福祉協議会、民生委員会が行ってきたものコミュニティセンターにまとめた事は一刻はきしみがあっても将来そうであるべきものと評価しています。問題は市民が協働することが大切で、どちらかといえばこれまで行政側も担当課がそれぞれに市の行う事を持ち込み依頼、下請けの遂行を行ってきたことから地域の自発自主性が発揮できるかどうかこれから気になります

NO	記述内容
55	市民の活動、交流拠点として地域コミュニティセンターは地域の人々によって運営されている。が、マンション住民、戸建住宅などで新たに転入して来た人が新たな視点、能力を発揮して地域づくりに参画できるような環境作りが必要だと思う。人作りに力を入れる。地域コミュニティ協議会、市民活動センター、各種NPO、市民活動団体との交流会を持ち連携できるNPO、団体と協働で地域の問題、課題解決に向けて行動を起こしていく。それが人を育て住み良いまちづくりへの参画力アップに繋がる
56	地域コミュニティはともすれば閉鎖的な集団と受け止められ、少なくともコミュニティ外部、周辺からはそのように見られてしまう。そのことが参加拡大の障害となっているのではないかと。高齢化がいよいよ進行する中で、協働可能な高齢者はますます増加する有利な状況を活かしていくためには市の基本指針に第一にあげている情報共有が全く不足している。閉鎖されたコミュニティ内ではおそらく共有されているのであろうが、広く人材を掘り起こしていくためには既存の共同体の中にとどまらず広く情報を発信していく必要がある。さしあたり、マスメディアに通じない格差の理解を求め、意義について深い賛同を得ながらこまめに報道してもらうことが有効である。インターネットなどの発信は相手が求めている場合に始めて有効であるが、不特定多数に対する発信が必要とされている
57	協同事業の推進
58	地域コミュニティ同士の意見交換、それを反映する市政を望む
59	次の機会に
60	地域コミュニティの主役が高齢者になっている点に問題がある。壮手期の人々の積極的参加が必要である
61	-
62	地域コミュニティと行政が身近な情報を共有していく事 例・・ごみの問題、防災、自治会等
63	-
64	各地域のビジョンに基づくキャッチフレーズの提案
65	-
66	参加しやすいシステムと内容を管理出来る部署が必要では？
67	高齢者の活用、有償で。伝統的技術を復活させる事業を行う
68	市政への提言をしやすいシステムを作ってほしい
69	ここでは町づくり交付金(現在の制度について)意見。①現在の制度は全額使用方法については地域のコミ協に任されています。これはコミ協としてはありがたい事です。しかし町づくり交付金の中にはコミ協としても中止できないものまで入っています。②そこで提案ですが。町づくり交付 1.コミ協 独自の判断により自由に予算分できるもの→現在の町づくり交付金とする。 2.行政の指導の基に市民との協働で行う事業については別途予算計上する→河川、道路の清掃、ゴミの収集、分別等は別途予算とする
70	1.まちづくりはどうすればいいかですが、住民参加があればうまくいくという保証はありませんが、行政が住民の意見をきかずにやってもうまくいくという保証はありません。 2.いかに吸い上げどう判断して決定するかが力量と思います。と言いますのは住民といっても人それぞれであって住民の意見が1個という訳ではありません。全員が満足するような結論は、ただ決定しないに等しいと思います。 3.どのような参加の方法を取るのか明確にしてすすめるといいと思います
71	高松市の委託事業とNPOを地域コミのまちづくり活動に活かすこと。市の委託事業と高松市のNPOが地域コミの活動に利用されているのだろうか。市政にとって委託事業は財政的にも市民へサービス提供において重要な役割を担うと思う。それだけに身近な市民窓口である地域コミが委託事業について市と共有して役立てる必要がある。これにより地域コミのサービス活動が充実できるし実践活動としてNPOやボランティアも育成できることが期待される
72	協働や市民参加というのは、単に下働きの作業を一緒にするとか、行事に参加する事ではないはずだ。その地域に必要な施設や交通インフラ、防災対策などについてきめ細かく意見交換して市民と一緒に政策課題を考え協力して解決を図っていくべきだ。身近な政策課題を一緒に考えていくうちに、政策に通じたプロ市民が増えていき、自治体の政策立案能力も上がる。そうした共に討論して意見を深めていく関係を築かなければならないと考える

NO	記述内容
73	1.コミュニティを住民のためにもっと開放して利用しやすくするために溜まり場的になるべきである。特に公務員的発想でなく民間に委託することは如何ですか？ 2.また国民の方々や若い人の意見を聞いて自治会に加入してもらう事から始めるべきです。地域コミュニティは住民の目線をお願いします
74	センター利用について、少し辛辣な意見だが依然として昔の公民館的な考え方が垣間見られる。市からの配分金を受け取るのは会長名全体金額のみしか知らされない。実際は管理運営委員とセンター長と主任で。中々中味が見えてこない。随分人気の良い科目もあるが極端に人数が少ない部門もある。しかし昔からの付き合いで中止することにはいささか困難があるのではないか。年度当初の計画通り進行しているし、また少ない講師手当てで来ていただける先生方には万控の敬意を表したい。しかし計画と通りと良いが、もう少し弾力的に科目等が取り上げられないか、例えば最近話題となっているボケ防止のための切り絵とか夏休みを利用してデジカメ講座パソコン教室など時代の流れに添った取り上げもアドバイスしていきたいとおもうのだが
75	色々なイベントが多く、参加を強く求められるものも多い。協働によるまちづくりは賛成だが、地域コミュニティを軸とした。この場合少し整理してほしい地域外からの参加が出来にくかったり、会場を借りる時の条件が急に変わったり。参加しにくい場合が増えている他
76	-
77	定住人口が増えていくことが地域コミュニティに大切。住民が自分達で出来る事(道の清掃や公園の管理)から取り組む
78	地域コミュニティについて。各地区、地域によって格差が大きいと思う。リーダーの養成が必要だと思います
79	-
80	地域コミュニティについて、市民の理解は行政が考えている程ではなく、浸透度は極めて低いと考えられる。これは、行政サービスの充実に反比例するもので、当然の結果であると理解すべきである。行政側から一方的に市民参加により高松市の新しいまちづくりを求めても無理で市民の側からの提案を待つ姿勢に転換することも必要である。それには批判も伴うが、提案を行政からばかりしていたのでは真の地域コミュニティは育たないと思われる。また、地方の実態に無知な各省庁の役人より、地域コミュニティを無視したような計画を次々に立案しているのが国の役人にも地域コミュニティを理解させる必要がある。(例)単位自治体、隣組等があるにも関わらず自主防災組織を設けさせたこと。在宅診療に関しての地域小会議の設立を求めていることなど
81	市民の声を反映さず協働は必要とは思いますが、今学区においては学区コミュニティとしての体制の充実、学区コミュニティとしての存在感を自治会加入者以外の学区住民に浸透さすかに苦心しており高松市と協働して高松市の新しいまちづくりを考えるまでに至っていないのが少し残念ではありますが
82	高松市政は行政のスペシャリスト、専門家の集まりです。これからの高松市のあるべき方向をしっかりと見据え行政としてしなければならないことに専念し、市民に委ねられるものを委ねる事が協働ではないかと思う。いかに現在の仕事をスリムにし市民に委ねられる仕事を見出すかが大きな課題と思う。専門家の力を信じます
83	高松発のベンチャー的起業の支援。経営ノウハウを広く若い世代に伝える
84	地域コミュニティがいくら頑張っても色々企画しても一般の市民は多忙で、なかなか協働によるまちづくりには参加してくれない。そこで何か参加することによって得をするような税制上の措置とか金銭上の何かがあればと思う。例えば市民税の特別減税措置など。又企業、公官庁などで地域コミュニティへ参加するよう特別の指導が必要である
85	-
86	地域コミ協に市の事務を下請けさせているというのではない。独創性と創造性のある協働関係
87	-
88	地域コミュニティ中心としたまちづくりの中でそれぞれの地域に必要なプラン作成と片寄ったまちづくりの防止。市の職員の地域活動への積極的参加。(職員の協働への参加は出来ていない、上から目線で協調なし)

NO	記述内容
89	市民の意識やニーズが多様化し街づくりに対する各々の需要をひとつにまとめることは非常に難しい。そこで重要な役割を担うのが地域のコミュニティとなる。各個人、各企業のニーズを吸い上げ集約し意思統一を図り行政に参画する。しかし課題をしてはコミュニティに参加する人材をどのように確保するかまたコミュニティと行政の橋渡し役を誰が行うのか。その為には親世代のみならず次世代(子)に対しても街づくりに参画する動機づけが必要である。また行政側にもコミュニティに参加して共に課題解決に取り組む職員を育成することも不可欠である。高松市自治基本条例に定められたように市民が主体となり行政、議会の協力。支援があつて協働による街づくりが出来る
90	-
91	現在地域コミュニティと高松市の協働は手探りながらも前進していると思います。ただ地域コミュニティの中で自治会の力が低下していることが一番の問題です。42%の加入率ではコミュニティを支えきれません。地元も手をこまねいてみているわけではありませんが、行政に何らかの手を打っていただきたい。連合会では自治会加入促進研修部があり、勉強していますが、もうそんな段階ではありません。コミュニティ自治会に変えるなり自主防災自治会員に変えるなりして手を打つべきです。市民参加による高松市の新しいまちづくりを進める上で自治会の改革を行うのは今でしょ！
92	-
93	本町では本年度4月に新しいコミュニティセンターが完成し、従前のコミセンと2カ所で活発に生涯教育や同好会利用、諸会議で活用されており、感謝しております。利用者は町外からも多くの方々が来られ満足されているようです。今後とも広域での施設活用を行うべきと考えます。コミュニティの役員はボランティアばかりと思いますが、今後は実費手当など検討するべき、後継者対策として
94	地域コミュニティを軸とした協働の推進とあるが、精一杯の制約付の交付金の中で何もかも実施しろでは関心のある一部の者に限定された活動に留まり、地域の特性を生かした活動を期待するのは難しい。もっと地域コミュニティが責任を持って活動しなければならない仕組みを構築すべきである
95	-
96	市民との協働によるまちづくりとは言うものの、行政と市民が対等とは思えない。行政の敷いたレールの上でのものでは思い切った変化は表れない。行政にとって一番大きな予算の考えを変えない限り、きれいごとで終わってしまう場面が多いのでは
97	職員の育成、意識改革。協働推進委員の積極的活用
98	-
99	行政のかかわりは最低にして、住民の自己責任を明確にすること(小さな政府)最低限の義務を果たさない住民には公的サービスは不要、受益者負担の原則を
100	自治会の作権 みんなの町内会とみんなで納得できる様に
101	行政市民との協働プランが全体的に少ない。例えば道路上のゴミ収集を市民の税金等で行う時代はポツポツ終わりにする時代ではないだろうか。協働できる組織作りがコミュニティセンターで出来ていない。地域の団塊世代とコラボするプラン作りが必要
102	地域にファシリテーターがいるかどうかを鍵を握るのではないだろうか。実践者、実力者がいる所は現在はどうだろうか？後継者がいなければ一代で終わってしまいます。地域住民のよさを引き出すファシリテーターこそ、これからの市民社会づくりに必要である
103	市民協働のまちづくり 地域コミュニティセンターによる活動の解決のファクターとして組織的に位置づけているように思われる。現在の Facebook、Twitter、Google+等の SNS が持つネット社会の普及で地域のみ活動にとどまらず、戦略的なコミュニティづくりの仕掛けも必要になる。エリア単位のコミュニティセンターと各種コンセプトで結ばれているコミュニティの戦略的な掛け算が求められてきたのではないだろうか？
104	地域コミュニティを中心として市民との協働によるまちづくりを進めるのが理想である。しかし、地域コミュニティの融和が単にイベント行事のみと考えるのは早計である。地域コミュニティの軸はやはり単位自治会の地道な活動であり、自治会と各部会・連携団体の合意に基づき、地域コミュニティを推進すべきと考える

NO	記述内容
105	市長がマニフェストの最初に取り上げておられる重要な施策ですが、形にすることは非常に困難を伴うともいえます。市民1人1人の取り組み方、関わり方が今後の市や県の在り方や方向性を決めていくといっても過言ではない。そんなメッセージを自治体が市民に送り続けて欲しいと思います。既に積極的な地域活動を行われている方も多くいらっしゃいますが、もっと多くの市民が自らに責任と積極性を持ち、お互いを助け合い支え合い、地域の発展に貢献することの大切さに気付くことができればと願わずにはいません
106	コミュニティにもう少し権限・予算を与えては？本来なら高松市の職員がすべき仕事をしている。まちづくり事業についての内容や予算の使い方について地域コミュニティに対する制約が多すぎる。地域コミュニティが地域住民目線での事業が行えるように大幅に権限を持たせるべきだ。事業についての成果や反省は地域の第三者委員会(地域コミュニティ以外の委員)が主体的に実施する事でチェック機能が働くと考え。地域コミュニティに町民として協力してまちづくりをするためには、役員は本当にボランティア精神で細かい気配りをすることが大切。役員が上から目線ではダメ。役員だけが仕事をしているという気持ちが表面に出過ぎるのはよくない。各町にはそれぞれの歴史があり、無理に一本化した制度を押し付けず、各コミュニティで選択できるよう配慮すべき。手足が元気なら本体も活動しやすい。人の体と同じ。コミュニティの会長を天下りではなく選挙等で選ぶべき。NPO 法人と各種団体との協働のための強化対策

問9 安心・安全なまちづくりについて

「問9 安心・安全なまちづくりについて」は、86.8% (92人)の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	近隣との日常会話を通じた一声運動から一步進んだ活動が必要。
2	顔の見える地域コミュニティ作り
3	-
4	-
5	自分の身は自分で守る事
6	70歳以上の免許証の返還システム(愛媛や大阪の取り組みを参考)早急に整備。交流の便の悪い箇所にコミュニティタクシーのようなタクシー会社と協働の取り組みが出来ると防災については避難所の開設訓練をコミュニティごとに取り組む。防犯は人の目が一番地域に人の目がたくさんあるまちづくりですね。
7	防災・自然災害に対しては避難場所などハード面の充実は勿論だがあととにかく身を守る術を皆がしっかり学ぶしかないと思う。防犯・普段からのコミュニケーション。コミュニティでの交流が小さい頃からずっとあるとちょっと道を外れそうになった青少年でも地域の方との挨拶が続く限りそんなに大きくははずれない。ただコミュニティが蜜になる程、狭苦しさを感じ反発することもある。不審者、子供が知らない人と歩いている。子供の様子がいつもと違うなどに目を光らせる事にも少しは有効だと思う。長い目で見ればヒトを大切に作る街づくり=交通事故も犯罪も減るのだろうな
8	自主防災組織の強化、充実を図ること。交通ルールの遵守の徹底と取り締まりを強化する事
9	小中学校で安全教育を推進してほしい。子供がすれば親はついてくると思います
10	現在の防災、交通に関する地域状態の周知の徹底
11	-
12	自主防災組織の全地域結成
13	1.ルールを守る人づくり、コンプライアンスが徹底している社会作り 2.先方は正確な実態把握が出来ているのか検証が必要ではないか。結果の数字だけを議論しているように思える。子供、青年期からルールを守る教育指導に徹底すべき(今の大人が手本を示す事が大事だが、問4の2項に記載したような現実から無理と思える)長期的課題である。 3.今高まっている意識を一過性に終わらせず一つの課題解決に生かし改良、改善を実現すべきである。その改善への取り組み手法も含め結果を公表、住民と共有化すべきである
14	交通事故などが多いのでマナーを守るようにさせる
15	交通事故が多いので学校で交通安全の教育を増やす
16	地域の絆、家族の絆、夫婦の絆を生かせる為の出来る推進。危険な所を整備し安心、安全なまちづくりに協力しあう
17	地域住民間の交流を図れる様な環境作りが重要であると思います
18	香町から昭和町に自転車道を作りましたが実際走ってみますと歩道に自転車が通行しているのをよく見かけます。自転車道を設置して歩行者が安全、安心して通行できているかどうか検証する必要があるのではないかと(車道を一車線にした為に交通事故などはどうかも含め)
19	-
20	自治会加入率の向上
21	防災意識の向上を図る研修会、講座の充実。自主防災会の組織をもっと小さくして自治会の班単位のような隣組でお互いに助け合っていこうという近くの人と助け合っていく組織の体制作りが急務である。近所が仲良くなればきっと安全。安心なまちづくりの礎となる
22	避難場所の整備や避難食備蓄のための助成。特に島崎部には必要

NO	記述内容
23	-
24	地域が一体となり(防犯、防災、交通安全)常に住民に終始徹底する組織が大切かと思う
25	3 ページに延べている事を実行してほしい
26	地域住民の意識改革が必要である。講演会等を増やし地域住民が集う機会を増やせば交流に繋がり安全、安心、共助を発展するのでは
27	市の地理教育としっかりする事(防災面からの知識を入れて)しつけの不備が少年の非行の元と思われるので前述のしつけ社会への取り組みが重要。交通は自動車のウイカー促進と右折レーンの確保、将来的には前述の徒歩社会を進め自動車台数を減らすことが大事。防犯的には住居が密集しないようにする施策で空き巣も減ると思われる
28	交通マナー向上につながるような意見や要望を集約し出来る事から順次推進していくべきと考えます
29	問 8 と関連 近所付き合いの希薄化(隣は何をする人ぞ)が問題→防犯、交通安全については思い切った交通規制(通過交通主体の幹線道路と住宅地の街路の区別)交通安全講習の徹底
30	通学路に歩道を、市街地の側溝にフタを、街灯を早くLEDに、放課後の子供達に居場所を、住宅街が抜け道にならないような道路行政を
31	防犯等のボランティア活動を一層活発化させるような方向が望ましい
32	防災活動も高松市内全域でコミュニティを中心として拡大、組織の整備をしてきた。毎年、防災活動を事業として実施していく体制は出来たし交通安全も母の会を中心としてコミュニティで安全運動を実施している。今後は各住民個人の防災や交通安全に対する自覚は必要な事は勿論であるが、各校区地域でのコミュニティ組織を十分に活かした防犯活動が必要な時代になったと考えている。川東地区ではセーフティポリス隊員による自主防犯組織を立ち上げて活動を始めている
33	各地域の安全に関する行動隊を育てていくこと。そこではきめ細かい地域の情報(住民構成から地域の状況など)を持っているのでその上に立った、現実的な対策を実現することが出来ます
34	市民の意識を高める。21～23 時以降は商店は閉じて夜若者が集合して活動する場を提供しない。地域毎に防災、防犯、交通安全活動を行い結果のデータで競争する
35	地域の連帯がもっと重要な事項であるが、その地域連帯感が逆に遠くなってきている地域も少なくない。自治会の離脱又は未加入住民が増して来ている。現在も勧められてはいるがもっと強力な自治会への加入、自治会作りが必要か
36	私達にとって最大の課題は天災と言われる地震対策であり、人災と言われる防災対策や交通事故防止対策である。防災、防犯、交通事故防止を三点セットで平成 25 年度は重点的に取り組む。①防災対策当地区では自主防災組織は 28 地区が結成しており今後は自治会単位から枠を広げ地域単位で結成し、カバー率の向上に努める。これまでは地区単位で防災訓練を実施していたが、今後は複数の地区が合同で訓練を企画したい。②防犯対策と交通事故防止対策 不審者や交通事故から高齢者や児童を守る活動として青色防犯パトロール車を運行し、更に地域住民による立哨活動を実施しており今後は参加者の拡大と活動回数の増加に努める。③要望 災害時指定職員は地域の防災訓練に参加し地域のつながりを深めていただきたい。香川県災害ボランティア協議会及び高松市ボランティア協議会は平成 16 年に設立されたが地域の認知度が低く積極的なPRをお願いしたい
37	施設等ハード面の整備と人的交流の親密化などソフト面の展開との両立作戦で進めるべきでしょう。マンション等が増えて付き合いの度合いが希薄化しているのをどうやって高めるかが今後の課題でしょう。自治会の加入率にも大きな差がみられる地域が存在しています
38	-
39	地域防災力の向上は地域の防犯にも役立つことから小学校区を単位としたような防災訓練を全市で同時開催するなどして普段から北域住民の交流の機会を増やしておくことが大切。特に本市は通勤族が多いこともあってマンションなどでは相互の交流が皆無であることは、緊急時の対応を難しくするものと危惧される
40	-
41	特に防災は重要であると思われます。避難所を指定しながらライフラインである発電機の整備や水の確保、食料の調達等が全くなされていないと思われます

NO	記述内容
42	防災への対応は市街地と住宅地、臨界地域、山間部では全く違うことを念頭に、日頃具体的な災害を例えば 100 種類想定して対応を考えておくべき。担当職員は支所に指示をして計画づくりに協力させるが、必ず数名の職員で全体を掌握しておかなければならない。そうした中で、防災訓練はイベントをこなす感覚ではなく、具体的な災害を想定して実際に行わなければならない。行政が責任として行わなければならない部分、サービスとして余裕があれば行う部分なども、日頃内部で議論しておかなければならない
43	防災面のうち地震では問 3 のところに書かせていただいた。加えて地球温暖化に伴う台風の巨大化、ゲリラ豪雨の頻発等、気象現象に伴う防災も考慮しておく必要がある。現在気象情報は購入する時代でもあり、可能であれば市自体で気象予報士と契約、もしくは雇用するなどの措置が必要ではないだろうか。また小中学校の生徒の非行が全国的に見ても極めて多いという事実がある。一気呵成に解決できる問題ではないが、学校教育だけでなく地域の力、そして家庭の力等を結集してあたる必要があろう。交通安全についても上記と表裏一体のところがあるのではなかろうか。なお、老婆心ながら太陽フレアによる高エネルギー荷電粒子が起こす被害の可能性についても念頭においておくべきであろう(市単位では対応できないだろうが)
44	各地区で組織化が出来ているが、人々の温度差は大きい。行政の力を借りて自主防災などの集まりに多くの人が出てきてほしい
45	高松には深刻な津波は来ない。直下型地震や竜巻、土砂災害の対策の方が重要と思う。またワースト記録で有名な交通安全対策として最も有効なのは公共交通網の充実と交通安全思想の徹底。交通安全協会の加入義務化、自転車や電動歩行機運転免許制度実施。悪質違反者の罰則強化。市民病院の早期移転、中央病院が海の方へ移転して南部の市民のみならず多くの人々が不安を。市民病院の早期完成と進入路早期完成を
46	小学生の通学路が危険な箇所が多いのもう一度見直してほしい(特に郊外の学校程多いと思う)
47	過疎地の山間部、島嶼部は近隣住民の強い絆で結ばれていると思われるが、市街地や新しい住宅団地等は希薄な部分があると思われる。安全安心の出来る地域作りは住民の手で地域作りを行う事が重要であると思われる
48	近隣との繋がり
49	①ため池の耐震補強 ②道路沿いの無人家屋への対策 ③避難所の確保
50	-
51	相談窓口の設置、市役所までいなくてもコミュニティレベルで相談や駆け込みできる専門委員の制度
52	安全安心一面については市民の意見、発言できる場所が必要ではないですか。机上計画では？
53	防災、防犯、交通安全、いずれも地域住民一人一人に動いてもらわなければならない事。まちづくり交付金の元の内訳にも補助金としてはほとんど含まれていなかった分野だが、これからは大幅に増加が必要となる。配分が難しくなる
54	災害の少ないまちといっても想定される震災は個々でなく町ぐるみの崩壊もある悲惨さに直面する。せわしい日常生活でつい先送りしがちで地域が市と協働して避難策を作り繰り返し行うことその他、個人の責任で行える事の重要な事が、自宅の家屋の耐震診断、補強をいかに早期に進めるかによって被災を少なく命を守ると言われています。行政の一層の啓発が必要と思います。また県民、市民の恥とも言える交通事故一番、マナーの悪さは前記の我良かれの生活態度と人間愛の欠如で根深いものもありますが、交通安全キャンペーン、高齢者自身の自覚啓発など繰り返し行う事が大切かと思えます
55	防災、市民にまず自助力アップへの意識を高めてもらう。市役所 1 階、各地域のコミュニティセンターに防災グッズコーナーを設置。住宅の耐震化の PR に力を入れる。防災、減災のための避難訓練の参加者が固定化しているという声を聞く。もっと市(消防署等)が自主防災組織を指導し、地域住民が積極的に参加するよう働きかけて欲しいとの声がある。防災活動に地域間格差があるので行政の方で格差を埋めていく必要があると思う。地域の住民の中には自治会の役員に声を出しにくく行政の指導を待っている人も少なくない

NO	記述内容
56	東南海地震が近く想定されている中で、地震津波などの災害の際の避難場所として小中学校が指定されている。各避難場所には緊急の食糧は保管されていることと思うが、中長期の避難が必要になった場合、近年の大震災でも教訓として残されたように長期にわたってパン、おにぎり、コンビニ弁当を供給し続けるというのは、被災者をいっそう、疲弊させることになりかねない。仮に避難場所に調理施設があるならば、数度に一度でも温かい食事を提供するなど、被災者を元気づけられるのではないか。コミュニティセンターなどには調理実習室の設備されている所もあろうが、平成 24 年度高松市教育振興基本計画の進行管理及び点検、評価にかんする報告書によれば、学校給食調理場は単独調理場が前年度から 1 力所減少し、災害時の要請から後退していると言わざるを得ない。とりわけ、学校給食は数百人規模で食事を提供できているのであるから単独調理場を減らすことなく災害時に備えるべきである
57	自治会、コミュニティとの連携が必要だと思う
58	学校、企業での指導
59	県の管轄だが、警察の予算が少ないから警察官の数も少なく装備もチープ。飲酒検問もやっているのを殆ど見たことがない。用水路、川、池に欄干が殆どない。市民は感覚がマヒしている感もあるが、信じがたい状況。水利組合は水路の管理とかいうが命とどっちが大事なのか。道路に歩道がない。通学路でも。白線の外側 30 センチ、どうやって歩けというのか？ 車道を狭くしてでも確保すべき。土地改良区、水利組合が、というかもしれないがおおよそこちらの団体は公共性には関心がない既得権益集団であることが多く早晚解体してもっと合理的なシステムを作るべき。議員さん方が役員しているからすぐ出来るでしょ？ 幼稚園、保育所の駐車場が少なくそこかしこで送迎の車が付近の道路にあふれいつか事故が起きる。人柱が立たないと何もしないのか
60	知識の普及と環境整備
61	-
62	当地区は安全、安心の町づくりの為にボランティア活動を中心に行っています。①立哨当番 ②環境パトロール(香東川パートナーシップ) ③防犯パトロール ④青パト ⑤エコキャップ洗浄
63	高潮対策
64	地区自主防災組織の充実、消防力の充実
65	地域コミュニティの中での緻密な連携作り、青パトの巡回指導を増やす、歩道は歩きやすい平らなものにする(レンガはだめ)
66	今の状態で良いのでは
67	コミュニティの場となる会場の充実をはかり、防災防犯交通安全等の講習会、意見交換を数多く実施する
68	全ての公共機関、市道において海拔表示がなされること、避難ビルの指定も(公園等)、一次避難場所、二次避難場所の表示が適正になれること、交通ルールについて自転車から厳しく指導されてほしい。自転車免許もあっても良い
69	①自主防災組織の強化 ②消防団員不足の対策が必要である。山間部においては市消防局の出勤が遅れて大災害となる事が考えられる。しかし、地域の消防団員は市内(中心部)へ仕事に出ておりません。そこで例えば 1.企業と協定を結んで対応をお願いします。 2.市の職員は全員が消防団員(無理かな) 3.女性消防団員結成
70	1.防災・防犯では隣近所と繋がりが大切だと思います。 2.これはあると困ったことがあったらお願いしますとか、何かがあったら連絡してくれるなどの事があります。そうするとやっぱり地域との関係を住民がどう作っていくかという事に行き着きます。 3.交通安全では隣近所の問題とは趣を異にしています。家庭や学校で教えるしかないように思います
71	安心安全に暮らせるまちづくりは自治会の役割が重要である。自治会の活動は要約すれば向こう三軒両隣の共助活動である。淡路阪神大震災をはじめ人命救助などの多くは共助が貢献したことは周知のことである。しかし安全安心の優先度の高い障害者、高齢者などの個人情報尊重が共助の効果的な進行を遅らせていることを懸念している。防災防犯など安全の確保が緊急に必要な場合に期限付きで緩和できるようルール作り、例えば地域内の民生委員と自治会長の話し合い、また対象者本人の自主的個人情報の申告などを検討する。安心安全なまちづくりと隣はなにをする人ぞの共存策が急がれる

NO	記述内容
72	南海大地震については避難訓練や市民教育などのソフト面の対策だけでは不十分だ。シミュレーションを重ねながら、要所はハードの見直しを積極的に進めるべきだ。残念なのは(県の話だが)新しい県立中央病院の立地だ。津波が来て同病院へのアクセスが困難になった場合の想定もしておくべきかと考える。交通安全についても今後、高齢ドライバーが増加するのでより一層厳しい状況に置かれると危惧している。ここでも車社会からの脱却が根本的な解決策になる
73	1.防災・各自治会の自主防災活動の支援は消防署が一定の地区をまとめてする方法が効果的である。2.防犯・警察力は評価できるが、防犯灯や街路灯を完備して夜間も安心して歩けるよう環境作りからです。3.交通安全・民間の活動で地域ごとに出来ているが、高齢者の交通事故はあとを絶ちません。私の場合、自分が自分に心掛ける事しかできません
74	部門ごとにバラバラという感じ、防災は消防、防犯は警察の防犯部門、交通安全は警察の交通指導部門と市の特設部門。それぞれの地域のまとめ役にはコミ協会長がアテ職で指名される。コミ協会長は万能ではないし忙しい。何か考えて欲しい。もう一つ意見、私見として聞いて欲しいのは交通安全対策で死亡事故が増えたとすぐ早朝、薄暮のキャンペーン実施の通知が来る。キャンペーンに参加する人はいつも同じメンバーで充分交通教育は出来ている。通りがかりのドライバーもまたか！という意味が強い。交通事故多発の原因の一つにお年寄りの自転車マナーの欠如がある。そういったことに目を向けるべき時に来ているのではないか
75	交通・踏切での一旦停止や黄信号での走行。シートベルトの取り締まりより先にすべき事があるのでは。シートベルトは事故が起これば良いですが、事故を起こさないという事が先。防犯・交番の人がいない。もしいつも居ればもっと防犯に役立つのでは
76	-
77	建物の耐震化、災害時の避難訓練の実施。交通安全について高松市はドライバーの交通マナーが悪いのでマナー向上の啓蒙が必要
78	防災、防犯、交通安全、共に意識の高まりに年齢に応じて関心度が違う。防災→訓練も大切であるが、何か発生した場合の行動について常に意識しておく必要がある(家族内、会社、職場での話し合い等が必要) 防犯→青パトの充実、見回り、見守り隊の充実。常に行動していれば加害しようと思っても用心するので事件は減少すると思う。交通安全→キャンペーン等も必要であるが意識改革までには至らないと思う。警察なり準警察(警察官のOB等)により取り締まりを強化しては、予算もあるが
79	地域の絆の強化
80	東南海、南海地震の発生が高い確率で予測され、各種の団体と大規模災害時における救護活動等に関する協定を締結しているようではあるが、これらは災害が発生し数時間を経過した後への対応である。また自衛隊や警察、消防等が態勢を整え活動を本格化させるまでにはかなりの時間を要する。大規模災害が発生した場合、被害を減ずるには市民1人1人の活動が重要になるがこれを認識している者は殆どいないと思われる。このようなことから行政で対処するものと市民で対応すべきものを明確にし、その周知を徹底する必要がある例えば地震には火災や津波による浸水が付きものであるが、東南海、南海地震が発生した場合、現在の消防力では対応は困難である。そこで単位自治会を自主防災組織に位置付け、手頃な可搬ポンプを配布し、初期消火はもとより比較的軽易な浸水対策などには消防団員をリーダーとして自主防災組織等地域住民で対応できるような体制作りが重要である
81	防犯灯設置の拡充
82	思いやり、人と人との絆づくりが言われています。地域での絆づくりとして地域のイベントは欠かせないと思います。例えば夏祭り、防災訓練、花いっぱい運動、餅つき大会など、地域の力、労力、しかも財力が必要になりますがこれができるのか出来ないかで、地域での人と人とのつながり、思いやり、良好な人間関係が出来ると思います
83	-
84	交通モラルの低下は香川県の交通事情の最大の問題点である。自動車学校等での指導に問題があるのではないかと。例えば右左折のウインカーを直前まで出さない運転、交差点で右折する時中心部まで出ないで横断歩道の所でじっと待っていて後続車が全然右折出来ない女性ドライバーが多い。又相変わらず黄色信号が突入してくる車の多い事、右折矢印のある交差点でそれを知らず信号が出てもなかなか右折しないドライバー等、交通渋滞の原因を作るドライバーが多すぎる

NO	記述内容
85	横に並んでの走行、無灯火走行、信号無視など自転車の走行には目に余るものがある。もっとキチンと取り締まるべき。地域の住民にとって今はプライバシーが強調されお互いの見守りの精神が廃れてしまい他人の事には無関心になっている。地域の安全を守るためには鬱陶しさはあるが各地域でのある程度の結束が必要である
86	市民活動団体、ボランティアの充実、活動支援
87	-
88	空き家、空地の整理と空地利用による土地の集約化と道路整備(特に住宅密集地の空家撤去)
89	ハード面については東日本大震災以降各地で耐震化、減災対策が進められており、この傾向が今後も継続されることを期待する。しかし民間が所有するビルやマンションについては耐震化の遅れが生じているのではないだろうか。重要な道路沿いに立地する建物が崩壊した場合、緊急車両の通行の妨げになる恐れがある。幹線道路沿いや市内中心部の建物については耐震化を義務づけるなど対応が必要ではないか。ソフト面については市民が防犯に対してどれだけ関与できるかがポイントになると思われる。防犯パトロール以外でも清掃や草木の水やりといった日常生活の延長線が防犯に繋がることも意識し地域が一体となった無理のない取り組みが必要ではないか
90	安全で安心な街づくりについても、コミュニティの力の大小に影響を受ける。住民が自分の足で歩き、自分の目と耳で自分達の住む町の危ないところを確認する作業をすること、そしてその危ないところを危なくなくするためにどうするかを考え、対策ができない所には近づかないよう周知することが重要である
91	地域の防災組織をしっかりと作り上げておくこと。企画、立案の段階で老若男女のバランスを考えて構成すること。安全で安心なまちづくりを進める活動に参加する人はほぼ同じ人。無関心な人にどう参加してもらうのかがキーポイント
92	-
93	交通安全の抑止ではなく交通事故の抑止と交通モラルの向上、ルール徹底を図るべきだと思います。事故防止キャンペーンも意識啓発にはなっていると思いますが、地域の交通安全協会が会費(免許証更新時納入)を活用して昔の様に年1回位は会員を召集するなどして意識の高揚を図るのがいいのではないのでしょうか。(協会の自由加入が問題)
94	高松市が最重要課題の一つとして明確に打ち出しある一定枠の事業費を保証し各地域の独創性を尊重しながら、すべての地域で取り組めるよう協働推進事業とすべきである(蛇足であるが、行政の横の連携が必須である)
95	-
96	IT化の推進が急速であるため社会性が欠如した時代が増えており、これが防犯や社会の安全を損なう事態になっており今後ますますその方向に進む可能性が大きい。地域での関係を深め、それぞれに社会における役割があることを理解し、各自の責任を守る教育を行う必要がある
97	高齢者への安全教育、コミセンを大いに利用して仲間作りをする。グループでの安全に対する意識を高める運動
98	教育の向上、若者だけではない
99	自己責任において啓発すべき
100	防犯面で玄関灯を必ず各家庭で準備、点灯が必要です。交番は何故少なくなっているのでしょうか
101	防災、防犯が自治会の男性中心の組織から女性の日常の視点を有効利用する組織作りが必要ではないか。障害者自身の防災、防犯のための組織作りも必要か
102	基本は挨拶の出来るまちづくりであろう。そんな町なら悪人は住みづらく何かあった時に声がかげやすく、人目を考えて交通違反が少なくなる。でもそもそも関係が希薄なためそううまくはいかないだろう。自治会総会等で周知するなどイベントではない会場での啓発活動であろうか。もっと市民性が高まればいいのだが
103	防災・防犯・交通安全等安心安全な暮らしのまちづくり 地域の校区、連合自治会の単位で進められている防災のネットワークは末端自治会が存立しているエリアにとっては極めて有効な手段だと思われる。向こう三軒両隣の安否確認が可能な地域はより相互に助け合いができるエリアになろう。しかしそのコミュニティが形成されていないエリアはどんな手段があるのだろうか？中心地区等の高齢化が進むので21世紀型の御用聞きや新しいコミュニティサービスが望まれるようになって防災安全管理をも担う役目になるのではないだろうか

NO	記述内容
104	全国交通事故ワースト1を返上する為、各地域で交通量の交差点で交通事故防止キャンペーンを行っているが、そこにはもっと根本的な問題が潜んでいるような気がする。私達はそれを見逃しているのではないだろうか。1つは歩行者、運転などの交通マナーの低さ(人間性の欠如)である。またもう一つはインフラの不備(道路、道路施設等)である。交通マナーの低さ(人間性の欠如)は教育で補填するしか方法がないと思う。免許証書き換え時だけに交通ルールを教育するのではなく、幼稚園児から高齢者まで強制的に交通に関する教育を実施すべきと考える。また、インフラ整備の不備は行政が直接現場に足を運び、インフラ問題を解消していく。机上では決して現実の問題は解消できない。今後、予算的に厳しい事が予想されるが、出来るだけ無駄を排除し、現場の問題を直接自分の目で見て確認し効果的なインフラ整備を行う
105	犯罪を抑止するために防犯カメラの整備と声掛けを含めた市民の挨拶励行を心掛ける。交通事故を抑止するために市が自転車を公共交通の柱と位置付けるならば、自転車のマナー向上にもっと力を入れるべきであると考えます。自転車のルールは学生時代に徹底して学ばせる事、自転車は車両であり厳しい交通ルールを守ってこそ運転の資格が与えられるべきとし、自己中心的にルール無用で安易に自転車を生活の足として利用する事の延長戦上が香川県の自動車運転マナーの悪さと事故の多発に繋がっていると云わざるを得ません。自転車の運転ルール遵守は自動車の交通事故防止と密接に関係していると思っています。高松は広く海岸に面するため東北大震災の教訓により南海トラフ大地震発生の際においても大きな津波被害を想定しています。しかしながら、現在の対策は津波被害にあまりにも偏重しているように思われます。大火災や建物倒壊の被害対策やシミュレーションにも十分な検討を行い、見直しを図る必要があるように思えます
106	地域内の防犯・防災・交通安全について、縦割りの組織が多すぎる。同じような活動や重複した事業があり、非効率的でもあるが、一番の問題は全体を把握できていないこと。一元的に全体が見える体制に改編すべき。各論については、その体制の中で分科会的に行えば対応が可能ではないかと考える。地域の人々の目と触れあうこと。地域の人々が交流できる行事・場所の充実。大人も含めた道徳教育と地域社会の横のつながり。自治集会や回覧板等で学習したり、役立つ情報を隣近所で共有してできることを協力してやろうとすること。自治会でできないことはどこに連絡すればできるのかを情報として持つこと。防犯カメラの取り付け、衛星による24時間監視体制作り。被害の想定の情報交換により危機感を持つこと。コミュニティへの指導・援助

問10 商工業・観光などへの取組について

「問10 商工業・観光などへの取組について」は、86.8% (92人)の方から、ご意見をいただきました。

記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	一地区のみでなく高松市全体を見つめた観光ルートの設置、ホテル等、食と文化、芸術の紹介を行うこと。
2	他の地域との差別化、アイデア、柔軟性
3	スーパーばかりにならないので中心に公園を作る
4	-
5	観光農園を多くし体験学習にも力を入れ農業の関心度を高め遊休地解消を図る
6	高松は日帰りでも楽しめる観光なら考えられる部分もあるでしょう。商工業も中心部への誘致、観光とのコラボレーション(工場見学、養殖場、屋島登山など)ファミリーならさぬきこどもの国と空港見学で塩江温泉やペンションに宿泊などパックにマラソンブームですので屋島マラソンとか複合的な魅力を作る試みがあればと思います
7	身の丈に合った高松市の土地柄、自然、環境にあった取り組み。地域の特性を活かした産業の活性化。発展といっても新たに大きく発展していく形ではなく今ある資源を誰もが十分に満喫できるような環境整備
8	観光資源、とりわけ屋島の再生活活性化を図る事。交流人口を増やす事。積極的企業の誘致を図る事。サンポート北側街区の有効活用を図る事
9	外から人を呼ぶことばかりを考えており、高松に住む人が高松で観光する事を考えていないような気がします。高松の人は高松の良い所を知らないような気がします。瀬戸内海の良さを言っても無視されません。エーゲ海よりは良いと思いますが自分の住んでいる町のことがわからないのでは
10	うどん以外の商工業の作物の発掘と観光地の再開発、観光地に元気がない
11	-
12	地域における商工会の活性化
13	1.今後の潮流の把握 2.大規模な商工業の展開は考えにくい。特長ある技術、商品を生かしたニッチ領域で展開を図るべきである。地域ブランドの売り上げ、自主化の集積も一つの地域起こしにつながる。3.各観光地を巡る公共交通機関網の整備が望まれる。コトデン電車沿線は比較的恵まれているがそれを外れると不便が多い
14	若者や観光客などをもっと取り込み賑やかな環境にする。瀬戸内海にすぐにアクセスできる大都会という利点を活かす。食文化でも海をテーマにした、少しおしゃれな賑わい、空間を。若者が就職できる企業などを誘致する
15	高松でなければ体験できないような事を考えていく
16	高松市でなければ特色のあるものを生み出していく。小規模な特色ある企業の育成強化を図ることが大切
17	特産品の開発が必要と思います
18	3ページの(3)に記入しています
19	-
20	現在、各地区で行なわれている伝統行事、作られている商品の再発見をしてその後押しも必要でないか
21	目指すべき都市像、高齢化社会への対応、少子化、子育て支援、地域コミュニティを軸とした協働の推進はまちづくりに対する重視すべき時代の潮流をトータルに考えていけば取り組み方法は自ずと見えてくるしこの取組みが必要
22	-

NO	記述内容
23	コンパクトに整理されたまちづくり。ここへいけば〇〇できるというように
24	瀬戸内海を中心としたPRと他県寄りの観光にし、システム作りが必要かと思う
25	今のままで良い
26	-
27	家族経営か、大規模経営かの2極でないと生き残れない時代になっています。観光もホテル業の経営再編で大資本化している。日の目が当たったうどん業のように家族企業がよくなるように後押しが必要では？そこでしか食べたり体験出来たりしない事が観光の方向になるのでは。ただあまり観光ばかりに力を入れず産業活性化を目指しては？観光は四国の他県に任せても良いくらいで他のものをしっかりしてほしい
28	生活インフラである水の安定的な供給に取り組むべき。セトゲイのような一過性に頼るべきではなく瀬戸の都を感じられる都市に高松の香りを創造してほしい。市の花を公募し普及させてみては如何でしょうか
29	観光について、点だけではダメ、点から線、線からネットワークへ広げる(近隣自治体との連携必要)商工業 大企業は無理だが Only One 企業はある。今後これを推進する
30	起業しやすい町づくりを(特に若者)既存の事業者の振興ではなくセンス、意欲のある若者にチャンスを与えて下さい。2、3代目などではなく、アイデアはあっても金と信用がない若者に向けて
31	ユニークな特産や産業技術の種について。小企業レベルでも情報交換が出来やすい場やイベントを活性化すべきと考える
32	伝統芸能や歴史文化、並びに特徴あるものを更に特化して周知していくことかな
33	既存の観光資源にとらわれない全く新しいアイデアのまちづくりが人を呼ぶと思う。すでに全国的で行われていることを見てもその地区にある従来目にもかけられなかったようなものを活かして成功している。アイデアは地域と少し離れたよそ者の視点が出やすい。主要道路の路肩の植物のはびこりがひどいです。行政だけでは出来ないと思いますので地域の手を借りてのアイデアで進めていけないでしょうか。観光は美しい道路からです
34	観光地は市が(県が)整備する。商工業については土地の特徴あるものを支援して継続発展させる
35	商業界においては時に大規模商業施設が増加しそれらの競争が激化するあまり個人商店が激減している。適度に点在していた商店がなくなり、高齢者等が買い物に支障をきたしてきている。大規模商業施設の規制は難しい事だと承知はしているが総合調整が出来る。特区のような法整備も必要か。屋島の活性化も必要だが塩江温泉の活性化を急ぐ必要がある
36	①瀬戸内海を中心とした観光コースの開発 エーゲ海のように多島美に恵まれた瀬戸内海、古戦場で有名な屋島、海際に広がる市街地を守るかのようにそびえる高松城。そして殿様気分分船上からしか見られない庭園美を味わえる天下の名園栗林公園など古里の宝を掘り起こした観光コースをつくり高松市の魅力を全国へ発信 PR されたい。②伝統工芸品の松盆栽、香川漆器、庵治石などを様々な情報手段を駆使して PR に努め、地場産業の活性化を図られたい
37	官民一体となって進めていくべき事項なので民の方が意欲を示すよう補助金などで官の方がサポートすることが求められる。厳しい財政事業では一朝一夕にはまいるまい。観光面でいえば世界遺産に始まる指定が力を与えてくれるので高松市は五色台や屋島のメサ地形を前面に押し出してジオパークの指定を目指してほしい
38	四国の玄関口としてのピーアール、メディアを利用し全国へ発信
39	江戸時代から現在に至る日本文化の重厚な歴史伝統技術を本格的に再現し、観光の目玉が栗林公園、屋島、玉藻城だけでないことをまわりの人々に知ってもらおう努力をするべきである
40	小手先でなく思い切った施策が必要なのは。特に観光面では屋島をもっと売り出す。屋島会議の取り組みはとても良かったが素晴らしいと誰もが納得する提言とそれをもとにした施策ができていだろうか。屋島東町の立石港埋立地の活用。莫大な費用をかけているのに瀬戸芸、現代版源平合戦のイベント以外利用されていない、ぜひとも活用を考えてほしい
41	地域の特産物等に関する商工業についてはどうしても行政等のバックアップが必要であると考え。高松市の取り組みはどうか？やっとな行政が主軸になって事業展開すべきと思う。個人事業主や地域の組合で限度があると思われ
42	役所が商工業、観光に果たす役割、効果をしっかりと考えておいてほしい。市内の商工業、観光に効果の大きいもの、意味のあるものについては職員自ら市内を回って発掘して、役所の予算と一緒に

NO	記述内容
	宣伝するくらいの積極性があったらよいと思うが、業者を育成するといった予算やマンネリ化した団体補助のようなものはよほど慎重にすべき。他自治体のこともよく勉強して無駄なものは廃止してほしい。例えば企画コンペで支援対象を選ぶ場合、実現性や実効性、他への波及効果などが期待できるものであれば、広報宣伝技法の未熟さはむしろ行政が取り上げる事で広報宣伝になるのだから、あるいはそうした広報宣伝のノウハウこそ役所が指導しようと言った視点で支援すべきだと思う。商工業、観光行政に限らないが、研修予算をどこかの団体に流して講演会をするような予算消化行政からは脱却してほしい
43	観光について述べさせていただきたい。屋島における観光は現在、魅力ある屋島再生協議会によって新たな屋島観光等について協議が進められている所であり、その成果を待ちたい。ただ今まで屋島観光に対して様々な計画が立てられてきたが、そのいずれもが失敗に終わったことを忘れていただきたい。それらの計画に関係していた人には、外から見ておいていただく必要があるのではないだろうか。同じ轍を踏まないようにお願いしたい。栗林公園の観光については県が中心になってやっているが、これだけが独立してしまっていることが懸念材料である。協力しながらと話してはいるもののそのような成果は見えてこない。お互いに県、市という立場を乗り越えて、グローバルな立場で実施していただきたい。同額の費用を投入しても個別で事業を実施すればその効果は上がらない。将来、法然寺が文化財に指定されるということを仄聞している。その時にどのような観光事業が立案実施されるのか期待を持って見守りたい。次にお遍路さんである。四国遍路は目に見えて観光客が増加するわけではないが、徐々に効果が現れてくるものだと考える。宗教的な行為であり行政が関わる事に問題はあるが、高松シルバー人材センターが国分寺前で行っているお接待は重要である。行政としては両隣の坂出市、さぬき市が行う事業との調整や高松シルバー人材センターが行う事業に対する援助など様々なものが考えられる。因みに牟礼州崎寺には四国遍路の父 真稔の墓がある。このような情報提供も行政の仕事であろう。
44	高速バスターミナルの新設はよかった。屋島を利用した楽しいところ作り、ケーブルカーの復活
45	前述(3頁)の通り、商工業については？
46	交通網の発達によって支店経済都市機能が失われつつある。役所の出先をもっと誘致してほしい
47	観光都市高松の美化についてはまず地域の生活道路の清掃から始めては。自治会が中心になって高齢者、特に携わっていただき歩道の清掃や花による美化も可能ではないか。今までは行政が中心であり(悪ければ行政に連絡するシステム)
48	マンパワーの育成
49	-
50	今後も芸術文化の促進
51	瀬戸内海の美しい景観をもっともっと広める事。消費ニーズの変化に対応、過去の繁栄や地位にこだわらない有効な策、種を探すべきだと思います
52	商工、観光の特徴の明確化の必要がある。四国の玄関として行くべし
53	情報によると、高松市は金沢市と観光面を主体に提携するとか。格差がありすぎるようだが、心意気を吸収してほしい。町並み、お茶屋等の他、文化芸術面での行政のテコ入れは比較にならないと聞く。しかし負けないものは・・と探すと港を接点にした瀬戸内海がある。国立公園指定 80 周年でイベントもあろうからそれを契機としてその特色を活かして欲しい
54	地場産業を発展させる支援大学も県外で学んだ若者も職を得て定住しづらい環境が産業停滞と人口流出減少につながることは見えてきています。創造開発の異業種相談会のような企み、既存企業の育成、大成功の瀬戸内国際芸術祭の資源をいかした観光など創出する力が重要であります。一方、視点を変えて税と負担の財をただ消費するだけと見える介護サービス事業も多く雇用を生み、物流や建設の活力を生む新しい型の成長産業と捉えれば超高齢社会の産業振興となるものと思われま
55	観光についてはいかに高松に滞在してもらうかの視点が重要。玉藻公園、栗林公園、屋島など、従来の観光名所においても観光客の五感(視覚、触覚、嗅覚、聴覚、味覚)を満足させるものになっているかどうか見直す。観光に学びの要素を加え、多彩なプログラムを用意する。それにより滞在型観光を推進する
56	瀬戸内国際芸術祭が秋会期に入って夏会期以上の盛況であると報道されている。島の住民との素朴な交流が、展示物にもまして高い評判を生んでいるようであり、教訓とするところは多いのではないか。香川県や高松市では海外からの観光客に対応するために、韓国語や中国語の案内標識を設置したりしているようであるが、海外からの観光客が増えるというのは派手であるけれども、地元の発展につながると

NO	記述内容
	は思えない。東京五輪ではおもてなしというようであるが、四国にはお遍路さんへのお接待があり、古くから地元の人と来訪者との交流が図られてきた。観光についてもお接待の観点からふれあい、体験のできる観光の具体的な取り組みが必要ではないか。町にあふれる高齢者に対する啓発をすすめたり、もっとも効果的な小中学生に体験の場を提供してはどうか
57	NPO や地域、学校など各種団体と連携することが必要だと思う
58	民間企業とのマッチング
59	次の機会に
60	サンポート高松駅、港、高松城を核にして商業地区、栗林公園、峰山、屋島を統合した観光都市の創造
61	-
62	当地区は先日連合自治会の研修旅行に伊予市双海町、人間牧場主 若松進一様の所へ行ってきました。大いに参考にすべきだと思います
63	屋島山上の活性化、サンポート地区の整備
64	玉藻城の再築を十年間計画で実現化、国際観光機能の充実
65	瀬戸内海のクルージング、屋島ドライブウェイの無料化、観光推進のプロをおく、塩ノ江温泉郷の活性化(植物園、動物園、ゴルフ場)、屋島山頂に植物園、動物園
66	新しい考え方を入れる
67	若手後継者の育成、若手の経済的な支援
68	観光客の増加の為に、交差点の道路表示に統一制がなく交通マナーの向上も
69	他県から観光、仕事で来られる人に対してお接待の心を高松市民、皆が持っているような気持ちが必要だと思います。その方法 ①地元の事を市民がよく知ってお客様に親切に接するようにする。②日常の会話にお接待の気持ちが伝わるように心がけるようにする→難しい話です
70	1.うどんはやはり香川県(中心は高松)ですから、高松市の企業で全国にうどんをベースにした商品や店舗を展開するところには何らかの協力をするのはどうであろうかと思えます。もっとも事業をやろうという人がいなくてはなりません。丸亀製麺は姫路出身の人らしく全国展開をしています。(福島市内にもありました)
71	栗林公園内の物産館は購買意欲を刺激する県下各地の特産品の販売を名勝観光地と組み合わせた目新しい店舗展開と思えます。また道の駅牟礼の里も地元産品はもちろん県外各地の特産品も並んでいる。それに加えて地元の魚を食材にした献立で他店舗と差別化を図っている。またまちづくりでは高松市丸亀町の再開発による活性化も注目されている。県はタレントの起用や様々な企画でうどん県として全国的にイメージアップに成功しています。しかし現在のうどん県のイメージが定着するまでには業界の取り組みと行政の長い協働があったのは周知の事である。高松市も現在の観光や商工業などについて他地域にない差別化された企画を観光、商工業を中心にした企画を検討しては。例えば九州 JR の豪華観光列車、七つ星列車のように
72	まず伝統工芸や観光地などの先人が遺してくれた遺産や海、山の幸はとことん利用し尽すべきだ。例えば高松駅周辺を歩いても、うどん以外の何が名物で何が売りなのかよくわからない。東京以外は何か色を出さなければ生き残れないと思う。その中で派生する商工業は高松でなければ成り立たない業種となりフライトの心配もなくなる。こうした独自性の高い商工業を育てていくべきだ
73	1.高松城(玉藻城)の復元を進め高松城跡の価値や活動状況を発行して早く天守再建をしてほしい。守りたい地域のシンボルと思っています。 2.またオリンピックを控えスポーツの振興を新たな切り口で魅力発掘してこれを観光、交流に繋げる事です
74	そろそろさぬきうどんとキンマの時代は過ぎ去ったと思わなければいけないのではないかと。県外の方々にもう1回足を運んでもらうには次の一手を考える時期では。例えば夏期には見られなかった男木の水仙を春休みを利用して子供を巻き込んだ貸自転車利用の灯台までのサイクリング。高松の温暖な気候のPRにもなる。また高松まつり中の花火大会。公的施設を開放してのビアホールも大好評であったし近県の方々にも自慢できる。頭を働かせて高松の素朴さと温順な土地柄をクチコミで伝えたいもの
75	丸亀街商店街などは成功事例の一つ。しかし若者中心に思える。ライオン通りは高齢者の通りにするとか、年寄りが行く事が容易い所がほしい。年寄りは何でも0円というのではなく小額でも料金を集める
76	-
77	今までの様に大企業誘致や基幹産業の育成などあまり実現性の無い政策を取らない事。昨年制定した

NO	記述内容
	高松市中小企業基条例の理念ののつとって政策を実施することが望まれる。地元中小企業の育成、振興。広く中小企業の声を聞く実態調査。特定産業に頼らず多様な産業の育成、振興に努める。観光で他の地域が真似できない固有の歴史や景観を立脚すること
78	商工業、観光発展についてはどこの市町村も悩んでいると思う。イベントの実施、開催も良いが一過性に終わりがちである。商工業→丸亀町振興組合が良い例であるが、各組合が知恵を出し合って頑張っ て欲しい(行政が援助) 観光→高松の観光資源は多くある。特に屋島の衰退は目を覆いたくなる。前にも書いたが有料登山道はどうにかならないものか
79	市町が一体となった個性的な取り組み、美しい瀬戸内海を生かしたイベント
80	全国的なシェアを誇る特産品もなく、企業城下町でもなく、高速道路の整備に伴い企業の拠点が撤退するなかで行政として商工業の発展に取り組むことは困難と思われるのでこの分野は民間の自然発生に任せるべきである。観光についてもその資源が乏しいことから既存の資源で他県からの集客を図るには限界があると思われるので、今回の瀬戸内芸術祭のような創出が重要である。例えば阿波踊りやよさこい祭りの重なる高松まつりを見直し、三木町が取り止めた獅子フェスタを引き継ぎ、周辺町と一体となった高松獅子まつり(仮称)のようなものを秋頃にサンポートを中心に継続的に開催するののも一方策ではないかと考える
81	重要な転換期を迎えているとありますが、何が重要な転換期がよく判っていませんので今後の取り組みについて特に意見はありません。高松市は今でも他都市に比べて遅れているとは思えません。観光については歴史的にも重要な史跡のある屋島について様々な取り組みが行われておりますが、1つには有料道路を無料にすべきと思う。特に市街地を望む夜景は神戸にも劣ることはないと思われま
82	観光の目玉の栗林公園、琴電栗林駅からの商店街の活性化
83	-
84	大型スーパーがありすぎ、又コンビニエンスストアの多発競争など狭く人口の本市においてある程度規制が必要でないのか。又商工会などが衰退してきており何らかの支援施策が打てないのか
85	-
86	上手なシティプロモーション
87	-
88	耕作放棄地の利用促進による一次産業の活性化と二次産業の誘致、六次産業の育成による雇用促進
89	今年、香川県が経済振興の指針として策定した香川県産業成長戦略をより実現性の高いものにする為、高松市にも協働で取り組んでいただきたい。香川の独自性、付加価値をアピールするためにも希少糖、オリーブ、アートといった分野は世界からも注目され得る可能性を秘めている。交流人口、ひいては定住人口の増加にも繋がる構想であり今後10年が非常に重要なタームである。観光においては海(多島美)をこれまで以上にアピールできないか。屋島、玉藻城、サンポートの街並み等、海から眺めるとまた違った景色がある。海を交通の障害ではなく道(またはツール)として安易に楽しめる仕掛けがあればウォーターフロントの魅力も更に増してくるのではないかと
90	商工業については円安で日本の労働力にもやや競争力が出てきたものの、グローバルな市場に乗っている商品についての対策は難しい。持続可能な社会という課題から企画力に優れたもの、地域に根差したものなどが強い競争力を持つと思われる。観光も産業も自分は気づいていない地域の力を発掘し、育て、発信することが重要であるが、これらについては一定の取り組みが既に行われているように思われる。新しい事をするのではなく今の取り組みをより実効性のあるものにしていくことが重要である
91	全国的に有名な名所だけでなく、高松のよさ、高松ならではの文化を掘り起し、新しい名所を作ることが大事(東京の下町の生活を外人さんがツアーで巡っているコースが今、人気があると聞いています) 同業者が協同体を作り時代の流れに打ち勝つ必要がある
92	-
93	-
94	総花的にならず、今高松市にあるもの(香川県)、地域で生産されているもの、今後地域で必要と思われるものを中心に、行政と一体になったプロジェクト体制を組み他地域全体に広める事が必要である
95	-
96	商工業にとってそこに人がいる事が第一であり(雇用消費等)人口が流出、減少は地域にとってプラスになりえない。いくら商店街をきれいにしたところで顧客のいなくなるようでは先はない。大型スーパーやコ

NO	記述内容
	ンビニへの人の流れを変える事が出来ない今、高齢者等の生活を守る様々なやり方が出ているが、一定の規模による効果的な方法(大きな投資の必要なシステム)を取らないと収益が上がらないため、地方の少零細事業所では対応できない。交流人口を求めて観光対策が講じられているが、一時しのぎのものでは、すぐに終わりがきてしまう。飛び上がったものの着地点がもとより低くなつては、最初より悪化してしまうこともあるので、思い付きでのスタートは慎重に
97	ご当地名物うどんを大いに利用する。うどんサミットを開く等。アクセス道路の整備
98	施設へのアクセスの充実
99	ない。伝統がない、歴史的遺産がない、ヒーローがいない。蜂須賀小六と阿波踊り、人形浄瑠璃、坂本竜馬、紀貫之、四万十、坊ちゃん、道後、坂之上の雲、俳句、高松 栗林公園、屋島、金毘羅、弘法大使は市外
100	中央商店街の開店時刻の延長と休憩場所の確保
101	団体バス等で観光地巡りも増えると思うが、瀬戸芸のように個人が島々を訪れるような観光も増えると思う。おいなまつりもその一つかもしれない。地域が持っている地域文化を改めて見直す必要がありそうです。小さな地域文化をつなぐ作業も必要です
102	余り関わっていない分野なので無責任なことは書けません
103	これまでの重厚長大型のモノづくりが 21 世紀に行き詰まっているようにこれからの産業構造の転換は誰しもが予見するところである。元々風土的資源やエネルギー供給などの産業立地があるわけでない高松市では、手間を掛けた付加価値型の技術が市場を作り出してきた。多くの盆栽、漆器、石材(ここは風土資源のおかげだが)等。近くはタダノさんやヒューテックさんなどの特殊な機械製造+IT、アオイ電子、オリエンタルモーター等の精密機械+IT、カトーレックさんも同様に運輸業を超える IT 製造と付加価値を如何に生むかという真面目で論理を掘り下げ改良する事業者さんが多い。前述の問 1 でも述べたが、それを金融業や国、企業の出先の情報と商流で育てるといふ風土が高松である。四国の他の工業地区(例えば阿南の発光ダイオードの集積や、東予の重化学工業の集積)とはかなり差があり、これならではという大きな特色は無い。そのような付加価値を作り出すと言う指針から地場の伝統的産業への高付加価値を如何に創出するか?というのが一番のポイントである。その創出の手法は伝統技術とソフトな創造的業種との掛け算しかない。掛け算というのは人の出会い、交流がスタートとなる。多様性の尊重、異質な発想を認め合い競い合うという文化風土は高松の特色である。50 年前に彫刻家の流政之氏を囲んで結成された讃岐民具連の取組はまさにその先駆けであった。その時のメンバーの年齢は 30 代半ば、まさにエネルギーに満ち溢れる息吹が溢れ、その思いに米国からジョージナカジマが感動し後にメンバーに加わり現在も販売されている多くのミングレン・シリーズが誕生した。そのような動きが再び、瀬戸内生活工芸祭をきっかけに動き出した。桜製作所の永見会長の展覧会を軸に、建築家中村公文さん、木エデザイナー三谷龍二さん、ファッションデザイナー皆川明さん、漆芸家赤木明人さんらがゲスト参加して秋、阪急梅田店で発表をする。日本を代表するモノづくりの人気作家が会する新たなコラボレーションとなる。そのように伝統的技術を大切にしている地場産業と、現代の潮流を作っている作家のコラボレーションが現実的に行われ、他業界にも積極的にコーディネート・プロデュースできる可能性をここ高松は秘めているのである。新たな(生活工芸)モノづくりの震源地として挑戦して行くしか道は開けない。観光 近年の旅は個人型(小グループを含む)の観光になっている。そこで求められる多様性は着地型のメニューの提供という形で多彩なニーズとコーディネートが必要となる。お遍路と富士山周辺の着地型観光以外は、日本ではまだまだ育っていない現状ではあるが、ここ瀬戸内海の諸島部を含む観光資源はまさに着地型観光のネタに溢れている。なんとか事業としてのインバンド型事業をブラッシュアップさせたい。更に前述の地場産業をも、魅力あるツアーとして盛り込むことが重要である。作家のアトリエ工房を訪ねて作り手の思いを聞きながら作品を買うというのが、個人の旅の妙味である。小さくは工房への訪問、大きくは庵治石等の丁場見学までこれまでの観光地以外のシーズを上手くコーディネートするノウハウと人材の育成が急務である。大手旅行者さんには無いメニューの開発ということになる。これまで観光業とは無縁であった各方面の専門家(文化財研究家、芸術家、工芸作家、音楽家、盆栽事業者、農家)がツアーのコンシェルジュとなるようなスタイルが望ましい。また、それを全国世界に発信する、PR 力も重要になってくる
104	商工業では従来の重工業を招致するのではなく、香川という自然条件を利用した自然エネルギー先進モデル地域に官民をあげて進んでどうか。かつて塩田が盛んであったとういうことは、日照時間が長いと

NO	記述内容
	いうことであり、他と比べると自然条件に優位性が見られる。例えば、ため池等に浮かべた太陽光発電システムは空間利用の観点から1つの選択肢と考えられる。また香川用水、ため池等を複合的に利用すればかなりの水力発電が可能となる。観光は、高松を単なる通過地点にさせるだけでなく、客が来て、滞在して、楽しみながら高松で充実した時間が過ごせるよう工夫を凝らす。そして今後もう一度高松に来ようと思う人をどんどん増やしていく。
105	屋島、塩江は観光資源としてまだまだ有効であるため、予算をしっかりと取り、外部の実績のある観光プロデューサーを招聘し2年間くらいの短期間で一気に進めると結果が出せるのではと思う。高松城は外観の資料が揃っており、既に城壁が完成したのでこの機会にスマートフォンのアプリ(新たなソフト開発が必要)で拡張現実AR(城跡にカメラをかざすとCGのリアルなお城が再現され映し出される)の手法を使い身近に感じてもらい、再建の啓発と要望の高まりの呼び水にしてはと思う
106	商工業・・大きい会社だけが生き残るのではなく、中小・個人が生き残れる取り組み。地域社会の充実、人口を増加させる事、生活しやすいまちづくりをすること、市郊外地域の発展から中心地へ。観光・・地域に埋もれている観光場所の発掘、観光マップ作り、地域でのおもてなし。高松市の特産品・伝統工芸品や名所などのPRの継続。名所等でイベントを行う。いつまでの屋島山上の観光にしがみついているのは、昔の栄光にしがみついているのと同じ。どうしても屋島観光に力を入れたいなら、有料道路の無料化などを行ってからでなくては無理?金を払ってまで屋島山上のゴーストタウンは見たくない

問 1 1 健全な財政運営について

「問 1 1 健全な財政運営について」は、83.0% (88 人) の方から、ご意見をいただきました。記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
1	高松市のブランド品の作成と各地元の六次産業への援助、協力による収入源の確保。
2	強力なコンパクトシティ作り、未来の人材育成
3	他県から来た人は住みやすいと言っている
4	-
5	出来るだけ無駄のない市政に取り組む。高齢者が健康に過ごせる自分自身の体は自分で守る指導が必要。健康長生き出来る市政を変えるべき。市民意見を良く聞く
6	継続的になりえない事業に予算はつけない事。財政を動かすような人材を育成する大学の誘致。教育者に対する運営力の研修。市民活動での共助の精神への正しい理解。行政職員への担当課配置転換への客観的評価
7	財政運営についてはよくわかりません。ただ納得のいく使い方をして頂きたい。財政の仕組みを利用し一部の人が私腹を肥やしたり生活保護のお金が不公平に使用されるのはどうかと思う。生活保護の方(一人暮らし)が私達家族(大人2人子供5人)より多くの食費を使い、美味しい物を食べ、いつまでも糖尿病がよくなり入退院を繰り返し、介護タクシーの持分?を使い切る為に病院からタクシーに乗っておやつを買いに行く姿には違和感を持つ
8	行財政効率化の観点から委託可能な業務の民間への委託を徹底する事。職務や業務内容(量)に応じた適正な人員配置を図る事。市議会議員を含め職員の定数を見直す努力をすること
9	①建物等の絶対量を減らしてほしい。古い建物を改修して使い続けてほしい。今の高松市は未だに前時代のスクラップ&ビルドをやっている。政治ではなく外部の組織で評価してほしい。②色んな支援で無償で行っているものがある。2%でも5%でもいいから実費を取る事でモラルハザードをおこさないようにする。③高松市の職員労働の work share を考えてほしい。Full、half、quarter などの仕事を作り市民に work share することでコストを下げる、窓口業務にFullの人は必要でしょうか
10	子供は将来の宝です。教育に予算をかけてほしい
11	経常収支比率をもっと下げる努力をして欲しい
12	青少年に夢と希望を持てる社会 ①現状の厳しい財政状況等の教育 ②労働の必要性 ③生産意欲の教育 老人に対し社会的貢献の活用 ①仕事の場を作る ②地域社会にて活用 ③家庭、家族での活用
13	1.徹底した歳出抑制 不要、不急な事業の中止と不断の見直し 2.新設、更新よりも現有施設の延命利用 3.負債の一層の圧縮 4.行政の効率化推進。小さなムリ、無駄の排除から革新は生まれる。その基礎はマネジメントの総点検と改善結果に基づく標準化 5.上下水道の広域化計画の他、県等との協働による事業の効率化による経費節減、財政基盤の強化
14	高松市に企業などを誘致し、また起業家を育てるなどして増やす
15	ショッピングセンターなどの固定資産税を増やす
16	無駄をはぶく、企業誘致、災害に強いまちづくりの推進
17	市民に見える財政運営を行っていけるよう力を入れていくべきだと思います
18	マスコミにもありましたが、不必要な生活保護者への実態調査を徹底していく必要がある。不必要なものには出さない事が重要
19	-
20	-
21	健全財政が重要であることは納得出来る。その中でも政策の実現に向けて各課が連携、協力する体制が必要。縦割りでは横との繋がりがいまいち見えてこない。格子のような基盤目のような協力体制作りこそ力を注いで欲しい

NO	記述内容
22	-
23	無駄をはぶく、効率を上げる
24	高齢者が増える中、お年寄りが安全で安心して暮らせるまちづくり、特に国保との関連がありますが、社会保障制度改革に取り組んで頂きたい
25	市長に一任し別になし
26	若年層子供向け予算の増加
27	選択と集中、優先順位が必要で予算内で確実に出来る事からするべき。全てに少しずつお金をかけて全て中途半端ではダメです。安全、安心な教育から始めるべきでは？災害少ないことのアピールから住民、企業等の移転、移住をうまく推進出来れば良いかもしれない。その際に偏らない誘致が必要
28	国や県との二重行政を慎むべし。箱物の整備にあたっては初期投資だけでなく維持経費を考慮し出来るだけ簡素な行政運営に心かけるべき
29	税金を使ってやることと、民間努力でやることの仕分けをきちんとする(市民の了解を得て)
30	市民文化センターは何も切り捨てられずにあまり新しい機能もなく建て替えだけでは残念です。都市間競争に勝つためにも指定管理者制度などで民間の力を利用し公共施設運営を優良な民間企業に委ねるべき
31	人の効率化・・・もっとボランティア活用すべき。施設の効率化・・・もっと委託できるはず、もっと売却してスリム化出来るはず。高齢化によるメリハリある生活。ニーズに応じていく財政では支払は増大の一途だろう。財源の中でもっと優先順位をはっきりさせていき、ニーズがあっても順位の劣るものはカットすべき
32	-
33	なによりも重複したり必要のない、また適材適所ではない人件費の整理が必要なのでは(市関連全て)難しいとは思いますが思い切ってメスを入れて欲しい。地域の実情にあった予算配分を。生涯学習の予算は人口比で良いのでは。それが社会教育の低下につながるものではないと考えますが
34	若者の雇用の創出、子育て支援、高齢者支援は十分であると思います
35	合併前の各町ごとの合併協議において約束事項となっている箱物等の整備がされているが、ハード面に関しては類似施設が多く本当に必要なものだけに再度、市全体を見つめ直し検討を行い今後の整備を進めていただきたい。ソフト面、例えばイベント、祭り等同種なものがあちらこちらで行われ右肩上がりの時代ならともかく、総合的に総括していく時ではないか
36	①3年毎に財政改革計画(案)を策定し、取組み結果について広報たかまつを通じて広く市民に公表しており、今後も開かれた高松市として継続してもらいたい。②平成21年に事業仕分けが実施され、不要、民営化、民間活用の拡大などに分けて提言され、市も業務の廃止、補助金の見直し、外部委託などに取組み経費縮減や運用効果の向上に努めたことは評価したい。③平成25年度から3年間で取り組む第6次行財政改革計画が発出され、職員数の削減、給与カットなど人件費を削減する模様であるが、市だけが身を削るのでなく私達市民が出来る事と言えば市税の早期完納などに心掛けなければならないと思う。
37	総花的なばらまきが良いのか重点的な予算配分で我慢すべきところは我慢するのがベターなのか迷わされる。問2で示された施策でも60ある。年度を決めて施策のランク付けをしたらどうか
38	-
39	都市機能の集約化によるスマートシュリンクと魅力的な観光スポットを線で連結した厚みあるツーリズムの構築に力を入れていくべきである
40	市職員が多すぎるのでは
41	もちろん産業人口を増やすべきであると思われる。若い方々が住みやすい働きやすい町づくりをすべき
42	役所の仕事は単年度ごとだと思う。長期計画のようなものをこしらえてもそこに長期的な収支計画を作って、それに重要な位置づけを与えているといったものを知らない。今後、公共施設を作った場合や新しい制度を作った場合、関連して必要となる年々の維持管理や運営の経費を計画しておくことが必要だ。といったことは意見としてはもっともでビックプロジェクトにはそれなりにやっていたりするのだろうが、そうした計画を担保する制度も無いようなので所詮計画のための計画になる恐れ十分といった感もする。役所の仕事は民間の企業のように利潤という一つの目的に収れんさせて単純に数値化できる代物ではない。健全ということであれば職員一人ひとりが高潔な意識を持って職務に当たる事、職員幹部の人は自己研鑽し、私心のない目で正しく将来のことを予測するいわゆる目利きの才能を伸ばすことに努めてい

NO	記述内容
	ただきたい
43	健全な財政運営は絶対条件である。無駄な支出を切り詰める必要があるが、何を持って無駄と判断するかが難しいように思う。また、単年度収支に固執するのではなく、数年にわたって計画してメリハリの効いた財政運営も必要でないか。消費税の地方税化も必要であろう
44	高松市競輪 明るい施設にリニューアルし家族で楽しめるイベントをしたりして入場者を増して収入を多くする
45	コミュニティ税の創設、生活保護制度の見直し。生涯を真面目に働いてきたのに国民年金さえかけられない不遇な一時期を過ごした人がいる。70歳を過ぎても3、4万しか貰えないとか。働かないとその日が食べられない。生活保護で10万以上貰っているとか。僅かな農地と家を相続した分は税がかかる処分も出来ない農地と宅地家で売却金額がゼロ円以下のケースさえあるという。働ける体として働かない人にまで生保扱いはするな。詳しい事はよくわからないが、そんな話が聞こえてくる。財入欠陥にならない財政計画、滞納整理、きちんとすること。借金は払わないかんという意識がどれだけあるかの問題でないか
46	人員削減、合理化をもっと進める。(正社員を減らしてアルバイトを入れるのは今までと同じことになるので他の方法でしてほしい)
47	-
48	無駄を省く
49	-
50	-
51	-
52	一般住民の発言は難しい。行政がもう少し考える必要がある
53	最近特に関心を持って勉強をしていないので意見はありません
54	地方財政はともすれば国に振り回される仕組みのように見えてきます。都市にとって市民にとって斬新な発想の行政サービスや地場産業に取組もうとしても、問3で述べたようにタグの入った桶で規制という縛りで域を出られず。また国のメニュー事業をやれば交付金を出す、あれこれやってまるめトータルされて年々減っていくようなことでなく、事業個々分の確定交付とされますように。多少異なるが、例えば交付金の算定要素になっている貧困生活困窮者の施設入所措置はまさにそうで、これまで国が実人数分国負担分として80%財源の裏付け収入がなされてきたが、地方分権、自主性尊重で行政まとめたの交付金となり、措置入所させれば全額市負担、介護保険制度のサービスに誘導すれば12.5%の負担ですみ、生活保護対象にすれば20%負担ですむ。市町の現場財務からすれば著しく市負担減となることもあってか措置を渋り真の困窮している高齢者の適正な救済が行われないという財の用途のないようにすることも健全な財政運営でもあろうかと思われま
55	税収を増やす施策に力を入れる。観光客を増やす、新たな視点で魅力ある滞在型観光の開発に力を注ぐ。女性が仕事と子育ての両立ができる環境整備に力を入れ企業において活躍し収入を得、購買力を高めてもらう
56	限りある財源の有効活用の方途としては、行政の役割について問い直す必要があるように思う。現在、政府が1千兆円に及ぶ負債を抱えて我が国の繁栄があるが、負債と引き換えに現況があるのであればこの繁栄は虚飾と言わざるを得ない。収入の倍もの支出を繰り返した行為は国民をだまして借金を重ねさせたに等しく少なくとも高松市は同じ轍を踏んではならない。今後の課題としては、施政の軽重を明確にして本来行政としてあるべき弱者の暮らしを最優先におくという基本姿勢を確立すべきである、その為にはいわゆる箱物を切り捨てるなどエコ、簡素な生活が可能な社会の創造を目指すべきである
57	地域経済の活性化より、税収も自然に増えていく事が望ましい。行政コストダウンも引き続き必要。コミュニティの活用により地域のボランティア活動で行政コストを下げることも必要かもしれない
58	財源の確保
59	内容等を十分検討できておらず無責任なことも言えないので控える
60	高松市の産業を盛んにして税収を高めるべきである
61	-
62	予算執行でなく実行方決済方式でもったいない節約方、けちけち決済で余った予算を使い切る方法は見直すべきで経費の節約をした地域、又は部署は自由に使用可能にすべきである。そうする事によって

NO	記述内容
	色々考え節約し工夫が生まれると思う
63	税の確実な徴収
64	-
65	-
66	地元優先での発注
67	ふるさと減税 寄付には県産品の付与や減税を充実させ、収入と県品流通を推し進める県市内で教育を行えるよう(県外に出ないようにし学費や生活費の流出を抑制する)学校(大学)を充実させる
68	新しい建物(公共機関)の建築が次々と予定されているようだが、本当に必要か。再考してもらいたい。優先順位は厳しく査定してほしい。子供に借金を残すような運用は望ましくない
69	役所にビジネス手法を用いると良いと思います。コミ協にコミュニティビジネスの団体を作り、ビジネス手法を取り入れて協議会に取り組みでそれなりの成果がありました
70	1.全てを100%満足させることはできません。何が重要か優先順位をどうつけるかです。2.優先順位は結局何に力を入れるか(入れない所には予算配分は少ない)にかかってきます。3.個人的にはどのような事が高松市全体として重要か判断するだけの知識・見識がありません
71	財政の健全化は一般的には簡単な問題である。収入を増やし支出を減らすことである。しかし現実に実行するのは難問である。支出減らす。ボランティアとNPOとの協働による委託事業の推進。市の新事業はNPO法人を公募する。既存事業でNPO法人等に委託事業にするための見直し。県下のNPO法人数が320余ある。その多くは高松市に拠点を置いて活動している。高松市とこれらの活動団体との協働を積極的に進める事
72	行財政改革により、行政コストをカットすると同時に増収を増やす努力を続けるべきだ。米国コロラド州のリトルトン市では地元企業を天塩にかけて育てるエコノミックガーデニングにより1990年から2005年までの間に雇用者数を2.3倍に、増収を2.9倍に増やしている。大企業の誘致ではなく、地元の中小企業を熱意をもって粘り強く支援していく事が重要だ
73	地方公務員制度を改革して、特に人件費削減により、給与水準を引き下げ人件費率を低下させる事です。私達身近には(NPO〇〇〇〇)高松市内の放課後児童クラブの児童指導員(非常勤、嘱託員)の報酬(週30時間勤務で保険、有給休暇つき)は恵まれすぎていると思います。これを民間の学童保育機関と比較すれば格段にうらやましい限りです。ものさしが高すぎるのです
74	市長が掲げるいくつかの重点項目のうち長期中期に亘る施策の中で毎年毎に最重要項目をしぼり議会の同意を得ながら、予算上特別に突出する、いわゆるメリハリのきいた支出があっても良いのでは。そうすれば市長が次年度はこの項目に力点を置いているかが市民に分かり易い、ここは数字に表すこととうまい説明が必要。それから財政黒字をあまり強調しない方が良いのでは。住民の気持ちを安心させる事は良い事だが、同時に市債とか市の借金も相当額があるという事や納税率が落ちればすぐに財政難に陥ることも知ってもらう必要がある
75	空き家などが最近目立つのみ、田等つぶした建築が増えている。マンションも大半が空いているものもある。景観上、防犯上良くない。屋島山上のホテル等の撤去等は利用を考えても無い方が良い。でもその後はどうなるのか
76	-
77	従来型の公共投資は徹底的に無駄を省く、少子化子育て教育にしっかり財源を投入すること
78	財政運営についてはよく努力されていると思います。経済環境の変化により各企業の支店が少なくなり税収入も減少している。難しいとは思いますが企業誘致に起業家の育成等は?
79	1人1人が自立し健康な生活を送れる施策
80	我が国が高度経済成長を遂げるまでの間、単年度収支は赤字が極僅かの黒字に留まっていたことを考えると実質収支が66億円もある現状は厳しいとは言えないのではないかと。しかもその額が前年度に比べ10億円も増加しているから健全財政そのものであり問題ないではないかと
81	高松市は厳しい財政状況の中、大西市長のもと健全な財政運営が出来ていると思います。このまま推進して欲しい
82	高松市の産業を盛んにして増収を高めるべきである将来目標、産業立地ですか。観光立地ですか。まず目標を定めて下さい。目標が定めれば、人、もの、金を作る。具体的な計画、手法は行政のスペシャリストを駆使すれば出来るはず。目標が定まらなければ健全財政も持続もないと思います

NO	記述内容
83	選択と集中、若者支援
84	自治会加入者が年々減少する中、自治会に未加入の世帯には特別市税をかけるなど新しい税制か協賛金を市民に課す事は出来ないのか。又未納税の取立てをもっと厳しくすべきではないか。又、税申告の際の査定をもっと厳しくするべきではないか。歳出面の削減としては、市職員数の削減(出張所はすべて廃止し地域コミセンで対応する支所制度にすべき)
85	-
86	縦割りの意識や前例、慣習の撤廃
87	-
88	厳しい財政での運営といいながらある部分したと同地区への過大な遠慮等、では必要外な予算を使っているとおもう。もう少し法に基づき公平な行政を望む
89	①社会インフラの維持管理について。ある試算では国の設備投資が2035年度には維持更新だけで限界に達し新設投資が行えなくなる可能性を言及している。これについてはその他多くの地方自治体でも同じような状況と思われ対応が急がれる。保有資産の総量・利用頻度・老朽化の度合いを把握し、人口動態や税収と支出の予測と照らし合わせて資産を個別に管理(補修、複合化、処分等)する必要があるのではないか。②行政ノウハウの継承について 民間企業と同様に地方自治体でも職員の構成年齢が歪になっていると思われる。20~30歳代の職員数が少ない為、行政に関するノウハウが十分に継承されていない可能性がある。今後は他の自治体とも協力し合い人材需要のマッチングを目的とした人材派遣、専門知識やノウハウを共有し合う仕組み等が必要ではないか
90	ゼロペースで考える事、既得権にしばられないこと
91	生活保護の見直し(働ける人には働いてもらう様に指導する)、企業の誘致、地場産業の育成、行革を多岐に渡り行うべき(不必要な行事はカットしていく)
92	-
93	高松市も平成の大合併により広範囲な行政負担により厳しい財政状況になっていることはわかります。少子高齢化による税収の減少や福祉充実の要望への対応による支出でパンク状態ではないかと思えます。報酬や給与の引下げや見直しも人員の削減も必要ですが、市民へのサービス過剰は見直すべきで合理化への説明、周知を徹底し実行すべきと思えます。近い将来発生が予測される震災への備えは充分して動くべきと考えます
94	高松市独自での財政の捻出は限界があり、持続可能な健全財政に維持にも無理がある。金がないから何もできない。ではなく、今の財政で何ができるかに目を向け、高松市の将来に向け必要な施策を実施すべきである。醜い各部・課や議員の予算の分、捕り合戦はもうやめにしてほしい。市民が納得の持てる施策を熱望する
95	-
96	市民との協働を進めるならば、基本的には職員と議会のあり方を考える事になる。議会については行政の見張り番的な立場への変更が必要か。議員数の減だけではなく、ボランティア的な方法(無報酬、議会は夕方以降と休日開催により、有権者の大半であるサラリーマンが中心となれるようにする)職員も半減し、一人が複数の担当をすることとする。行政本来がすべきことを見直し、全てを書類制からの脱却を図り、管理職がしっかりしていれば口頭での伺いと報告ですむものはそうすることで、事務の簡素化が大きく進むはず
97	中小企業振興を図り税収を増す。就労の場を確保
98	無駄を省くこと
99	受益者負担、義務を果たさない者は公的サービス不要
100	財政分離の調整、重点配分を明確に一律マイナスシーリングはかえって不平等
101	金、物への豊かさから生きている実感できる都市づくり。高齢者の孤立化をなくす活動。障害者が街でいきいき活動できること。瀬戸内美を世帯に発信し、外国人観光客が楽しめるロケーション作りが必要(長期滞在型へ)
102	社会保障費の削減に繋がる取組み。健康寿命が伸びる取組への支援。住みよい地域コミュニティになるための支援。ソフト事業や新しい財政支出などにもっと目を向けるべきではないか
103	日本全体が厳しい財政下にあるのだから、自らがモデルとなる地方自治の経営を進めていく必要があるのは言うまでもない。以前の横浜が注目を集めたように持つ資産と資源を有効に活かしながら、42万人

NO	記述内容
	の全員経営を目指して行政部門はその舵取りを担う総務部であると思う。市民全員が経営者であるとともに社員であるという視点に立つならば、価値を作り出す担い手。1人1人がどんな価値を作り出せるかという視点に立って考えてみるトレーニングをしていこう。お金を稼ぐ(税金をたくさん納める)以外にも色々な貢献がある。ボランティアは人力で奉仕して価値を作っていく事になる。人材を育てるという事も重要な価値であり、すばらしい未来への投資である。そんな発想を市民で共有することだけでも市政経営は大きく変わってくる
104	今後、少子高齢化が急速な進展することが予想される。その為高齢者に対する社会保障費の増大が見込まれることは明らかに想像される。若者にだけ、将来その費用を負担させるのは酷であり、問題である。高齢者の中で自助が出来る人は自分の生活は、自分で責任を持ってやってもらう。しかし、どうしても自助できない場合は共助・公助を行う。人にやってもらうのではなく、自分でやる。意識作りとかんきょうを整備すべきと考える。そのためには、若者の雇用と壊すのではなく老人に少しでも働く機会を多くし、社会とのコミュニケーションが取れる場所を確保すべきである。老人が生涯現役でいれる場所を確保し、自分が社会と関わりを持っていけるように目指すべきではないか
105	民間の経営感覚及び人材を取り込み、現状に重ねて更なる無駄の削減と税収増加に対する策を検討させることで新たな発見や施策が生まれる。また今後はもっと行政サービスをハード・ソフトとも有料化してよいと考える。コストパフォーマンスに長けていれば需要もあり喜ばれるのではないか。負担を市民に強いても対価以上のサービス内容であれば理解は得られるはずである
106	全てを行政でカバーしようとするとう無理が出ると思う。住民の一番の満足は収入のアップだと思うのでそれを実現することを最大目標にするべきだと思う。中心市街地への無駄な援助を減らす。事業仕分けをした結果を実行する。税の滞納を督促し納めてもらうこと。市職員の減収、人員整理(不良職員の解雇)少子化・高齢化、経験したことのない長寿社会・人口減に伴って厳しい財政状況になることは容易に想像され、将来にわたり持続可能な健全財政を目指すのは当たり前で、これらをマイナスと捉えず、効率的な重点予算編成(総花的な予算の廃止、受益者負担範囲の拡大)や行政機関の大胆な縮減、地域コミュニティへの大幅な委託等を今から困る前に将来への工程表を作って少しずつ実現してゆく勇気(住民への理解と協力を得るための粘り強い説得と継続的な啓蒙活動)を持ってほしい。市民全体が節約・我慢・助け合うなどその気になるべき。成功した自治体(県や市)の情報収集と市民への訴えが大切

問 1 2 自由意見等について

「問 1 2 自由意見等について」は、59.4%（63 人）の方からご意見をいただきました。記述内容については次のとおりです。

NO	記述内容
2	フォームをメールで送ってくれれば。文字を書くのが大変です。
3	明るく元気な市長、県知事を期待する
5	厳しい財政の中、どのように長期見通しを。十分市議会で協議、審議願いたい
6	高松市政で感謝してもきれいな所もあれば不信感を覚える所もないと言えはウソになると思います。市役所に1歩足を入れても市民のクレームに耐えながら窓口業務や業務に対する適正な評価や感謝の気持ちも1人1人の職員にはなされていない事でしょう。高松市のため尽力されている方々が意欲的に仕事に取り組める様、考えてもらいたいです。ただ、行政職しか経験のない方には一般の企業や市民感覚にズレがある事も否めません。何が正しいとかでなく人が人として幸せに生きるために今出来る事を一つずつ事業化する力が市政に備わる事祈っています。乱筆お許し下さいませ。あと有識者じゃなくてスママセン
7	活気ある街の為にはヒトが必要。ご飯中心、おかずは質素だった食事からほんの数十年で食生活は大きく変わった。その事で健康面に何も起こっていないなら何も言わない。でも現実には色々な生活習慣病を抱え大量のクスリを飲む人が増え、動物性食品の摂取が多くなるにつれ、餌の輸入(トウモロコシ、大豆など)も増え、自給率は大きく下がった。国が30品目食べましようと言わなくなっていることに気付いているのかいないのか、未だに何でも食べよう、バランスよく食べよう、野菜を食べよう、食べよう食べようのオンパレード。行政の指導の為うどん屋さんにまで野菜を食べようとドレッシング、マヨネーズ、チーズが進出し始めた。以前はお好み焼きにマヨネーズをかけることに世間は驚いていたが、今は何とも思わなくなったように、うどんにマヨネーズをかけて食べる事が普通になればそれは行政の責任だと思う。メディアは○を食べない、は扱わない。○を食べようしかスポンサーの関係上扱わない。栄養士までがその情報に惑わされるべきではないと思う。全国的に見ると真剣に子供の将来を考えている施設では牛乳を出さない選択も増えている。もっと真剣に取り組むべきだと思う。活気のある街の主役ヒトの為に
8	高松市はこれまで瀬戸の都と謳ってきておりますが、高松市の発展の為に多島美を誇る瀬戸内海の素晴らしい景観を観光資源として一体的に取り組み、有効活用を図っていくべきと考えます。来年3月の国立公園指定80周年を機に、出来れば岡山市と連携し(将来もう少しエリアを拡大し広島県東部から兵庫県まで東瀬戸圏内の関係都市の連携も)海を活かした共通の課題に取り組んではどうかと考えます。例えば瀬戸大橋を活かした高松、岡山間の駅伝や自転車競技など。テレビで市議会定例会の状況を見ておりますと台本通りのセレモニーのような感じがします。市議会の改革も少しずつは進んでいるようですが、当局と質問者が向き合い一問一答式で丁を発し議論出来るような、場合によっては当局も質問出来るような仕組みを検討していただきたいと考えます
9	政治のような圧力団体で物事を考えるのではなく、ぜひ第三者機関で計画を作成してほしい。最後は政治が決定するのはわかりますが、方針は専門家集団にお願いできないでしょうか
10	市職員の皆様がよく努力され、市長さんが高松市政への深い考えと実行力があることを常に感じております。市民が一丸となって高松は住みやすいいい町ですね。と言われる町づくりを進めていただきたい
12	①自治会に全市民が加入、促進をはかる。②各組織の活性、市民一丸となる心構え

NO	記述内容
13	1.地域の实情、実態を充分把握いただきたい。大野小学校の体育館、バリアフリー化が成っておらず広域避難所としての運用は不可。早期の改修が不可欠。 2.取り組み事項についてはスピード感を持って実施頂きたい。 3.情報発信としてのホームページ掲載には限度がある。必要不可欠な情報の伝達には万全を期して頂きたい。 4.具体的推進事項についても地域の实情に合わせてということではなく、市の方針に沿っての確実な指導、実施をお願いしたい。 5.拠点地区外について。諸施策の遅れがないように担当者を明確にしたフォローをお願いする。 6.実施施策についての結果のまとめの周知にも配慮を願いたい。地球温暖化対策推進内容の進捗状況が不明等 7.下水道配管の延伸等必要と思われる所のインフラ整備は地域状況の変化を見つつ行って欲しい
15	瀬戸内国際芸術祭が非常に良いのでこのような文化的なものをもっと企画すれば人が集まると思います
16	組織改革の細分化しすぎて市民の皆様方は困っている。分かりにくい。あまりにも横文字を使いすぎて理解しがたい
17	市役所の窓口等ではいつも丁寧な対応をして下さりありがとうございます
21	魅力ある高松市の輝きを失わない政策を継続してほしい
23	転勤族の方々は高松は田舎だが、住みやすく子育てもしやすいという意見が多い。その反面、車がある人はいいがない人は困る。ものを大事にする意味からもゴミの分別減量化を色々な分野の立場から取組んではどうか？教育の競争が激しすぎる
27	日本一狭い県の県庁所在地であり、都会や海外に目を向けがちだが、ゆくゆくは四国州となる観点からの行政運営が必要と思われる。四国州が何らかの特区になった時の高松の役割は大きくそれにより不利、不便にならないことも見据えてほしい。教育、しつけもソフト面では大事な問題。将来の高松を担う人達には良くなってもらいたい
28	住民票の交付事務などを公民館等支所で行える事は行政サービスの向上と評価したい。更なる対象業務の拡大、土日の交付にまで繋げてほしい
29	連携、協力がキーワード 市役所内部の縦割行政打破。公共改革に関しては国一県一市の連携。産、学、官の連携も。市民参加の推進
30	市主導で国、県、市の機関の地理的統合を推進してほしい。ハローワークと労基、税務署と県税事務所など合同庁舎の方がありがたい。県保健所も市内にあってほしい。市の機関も国、県の機関の近くにあってほしい
33	何かと批判されがちな行政ですが、近年日本が見直されているのでは行政に寄る所大と思います。国のどこかであった事故などに関してもすぐに地域はどうだ？と考えて動く、これは行政のきめ細かさだと安心します。職員の方もまず人々のために働ける立場にあることを誉れとして意識していただきたいです。人のために働ける仕事はなにより幸せな仕事だと思うからです。時代、世代の変化に最前線で対応する仕事は本当にハードだと想像します。どうかおひとりおひとりが高松市を支える一員であることを思い頑張ってください。
34	最近街が活気を取り戻しているように感じます
35	第5次高松市総合計画が立派に出来ているのであるから、今一度現状検証を行い、どれだけ実施出来ているか否か。再検討を行い時代にマッチしていない所があれば修正を加え、まだ出来ていない部分があれば早急の実施する事が寛容ではないか。余談ではあるが、今回のアンケート調査は記述回答が多くて、又難しい問が多く返答に苦労した。乱文、乱筆をお許し下さい
36	①小学校校区の考え方について 教育委員会が定めている小学校校区の境界付近の住民は境界に接するどちらの小学校にも入学できる自由区と認識しているが学校区を決める趣旨から判断して自由区は考えられない。自由区は非常にあいまいな表現であり、自由区について教示願いたい。②年次別に総合計画、行財政改革計画、総合都市交通計画等が発出される都度、広報たかまつに掲載されているが、特集号にまとめ永久保存用として発行願いたい
37	高松市民にとって市政に対する満足度には差があることは周知しており、苦情処理等で懸命に対応しておられることに感謝しています。宝塚市役所への放火事件のような事態が発生しないとは断言出来ませんので十分気を付けてほしいと願っています
38	よくわからない中での回答となっております適正でないかもしれません。よろしく願います

NO	記述内容
41	行政がもっと主導権を発揮すべきであると思う。単なる事務屋であってはいけないと思う。どうすれば市民の為になるか、どうすれば市民の暮らしが良くなるか考えるのが行政だと思う。今、公務員の仕事により我々市民の生活安定が決定されるのでは？何故なら市全般の諸問題を把握しているのは行政だから
42	民間企業は社会で生き残るための経済競争を通して社会貢献の在り方を磨き、消費者の審判を受けているといえるが、行政は市民の考え方によって制御される建前だが、他地域との比較の中で最も多く磨かれ市民がわかる範囲でしか批判されないのが、近隣の追随を許さないほど大きな規模の自治体、市民の目に見えない、手の届かないほど大きな規模になった自治体は自らを厳しく自制する考え方が最も大事。積極的に情報開示すると共に、これ以上は合併で拡大することがあってはならない。行政の最も重要な役割は、民間経済活動で矛盾が出る場合や、強者と弱者に差が付きすぎる場合に自由な活動を制限したり弱者を支援したりすることだと思う
43	本学としては地球との絆づくりとの言葉に代表されるように高松市との関係を強化していきたいと考えている。高松という名前を冠にいただく大学であり、学生の多く教員の多くが高松で生活している。このことは本学の基盤が高松市にあるということである。平成 21 年 5 月 29 日に高松大学、高松短期大学と高松市との連携協力に関する協定書を締結させていただいたように今後も可能な限り協力させていただきたい。ひとつ提案させていただきたい。合併 10 周年を迎えて高松市史の編纂は考えられないだろうか。昭和 44 年の新修高松市史以降、市史年表、百年史という形での発行はあったが通史としての高松市史は発行されていない。新修高松市史の記載に問題はあるわけではないが、現在の歴史学の立場から見れば陳腐なものといわざるを得ない。おそらく他の県庁所在都市の中で市史を 50 年余りに渡って発行していない都市はそう多くないのではないだろうか。合併してから数年で 10 年を経ようとするとき、市史を発行することは改めて新生高松市の歴史を寿ぐ事業と思われる
44	職員や議員が仕事をする上で 誠意、使命感をもってあたる、無駄なお金は省く。 市政に関する事の情報公開
45	市の機構が頻繁に変わり、仕事の内容が一般市民には極めてわかりにくい。市民の側から各種の要請をしてもなかなか届かないとか話が途中で止まっているとかある。縦割りの・・も度々耳にする。私にくれる通知なども自宅とコミセン両方に来たりどちらにも来なくてパソコンを開いてみたらメールで入っていたり、無駄を省いて統一と合理化を何度も呼びかけてはいるがなかなか。担当が変わったらまた元へ戻ったり次元の低い話でごめんなさい
46	昼休み中はエレベーターを最小限動かしたり、電気を消す等節約してはどうか
47	今回の意向調査は都市の発展の為に重要なもの、地域の生活環境に重要なものについては行政と地域住民が役割分担、地域住民の手で安全安心できる地域作りを行うことが重要であり掲げられた 60 項目の施策は重要であると思われる
51	今回のアンケート、記述する内容が多くとても大変でした
52	①昨今、子供のいじめ問題がよく報道されているが、市教育委員会は考えをもう少し明確にする考えは？ ②財政問題については行政、議会側の両輪でもう少し考えるところはあるかと思う。 ③職員の対応について教育をする必要性はある
53	最近当校区内であった事案。老朽化した住宅があり、居住者は長期間なし、先日戸が外れ公道上に落下、どうやら未登記の家屋で管理者は不明。近所の A さんが市議に相談、市議はコミュニティへ回してきた。私から A さんに近い自治会長にまずは市民相談へ行こうと提案し事情を調べてもらった。するとすでに A さん市民相談を通じ弁護士相談も終了。その答えは私権に関わる事なので裁判に持ち込むより他に方法なし。費用は私費。そこで A さん市長に手紙で直訴、その答えは全国に類似例を生じていることから国でも法改正を検討中なのでその結果をみたいとの主旨。ここでストップ。法的にはそういうことだろう、だけど現地ではその道路に通行人がいる。廃屋へゴミを持ち込む人もいるとか。安全安心な市民生活を送るために行政としてもう一步踏み込んだ対応、相談ができないものだろうか

NO	記述内容
56	厳しい財政と言いながらよく外部委託できるムダ金があるものだとも思う。市の職員を削減し、嘱託やアルバイト職員を増やし、働くものを低賃金に追いやっておいて、一方で外注する構造が理解できない。市当局が市民の意見を聞きたいのであれば中間に外部のものを入れて、間接的に聞き取るのではなく、直接聞き取るべきである。江戸時代の事だから確かかどうかは知るよしもないが、吉宗の目安箱にならってこそより市民の気持ちが汲み取れるのではないか。ありきたりのコンサルティングまがいの調査で市政の改革、改善が図られるとは思えない。市職員こそ市の実態をよく知っているのであるから実効が期待できる。この件に限らず指定管理者制度、嘱託、アルバイト、外注など継続性がなく従事者のスキルアップが困難な制度をやめ、本採用の職員を増やし職員によって様々な企画がまかなわれるようになってはじめて市政が完結出来るのではないか
57	広く議論をオープンにして市政を運営される事を望みます
59	毎年夏になると水がない、水がない全く進歩がない。もはやダムには限界があることをお気づきではないのか？以前市役所2階 資産税課でのこと。相続人より委任を受けて固定資産証明書を請求したところ委任者が相続人でないとの回答。夫の父親が亡くなりその後続けて夫が死亡。妻が夫の父の証明書を請求した事案。当然夫が父から相続した分を更に妻が相続する。こういった基本的な知識もないのに窓口に座るべきではない。この程度の知識では逆に無権利者からの請求に気づかず個人情報を提供、流出してしまう可能性もあるのではないか
66	パーク&ライドの促進
67	物質主義、拝金主義などの価値観を変えるような施策を。可能なら小中高の学校教育を土曜日半日の授業を行い知力を高める。このことは生徒も保護者にも時間の余裕やゆとりが与えられひいては経済的活力に転化すると思うのだが
68	お金のかかる大型施設を同時期に着工、建設することがよいかどうか再度検討してほしい。市民病院、子ども未来館、陸上競技場等
69	市の行政だけでなく、県国も取り組む必要あり ①山林の管理について。緑豊かな森林資源、重要な水源涵養地域、市民の安らぎと憩いの場と言われている山林は現在個人(所有者)の管理となっている。しかしながら山林からの個人的収入はゼロである。このような状況では個人の管理は無理であり、国県市で何らかの支援を行う必要がある。例えば ①管理を希望する方に対して日当を支払う方法 ②山林の自由使用を求めた上でボランティアによる管理を行い市民の森として利用する。 ③山の下刈を最低でも5年に1回行政で行う。 ④その他 いずれにせよ山林は皆で守ろう
70	よくやっていると思っています
71	時折公私で市役所に行く。その度に窓口の職員は懇切丁寧で行き届いた対応に満足する。お役所仕事というネガティブなイメージが薄くなった。高松市の広報誌(広報たかまつ)について。設問の回答の参考にするため10月号を読んでみた。何時は読み飛ばすことが多い。このたびは丁寧に読んでみた。市民生活全般にわたり衣食住を始め各分野の情報記事が満載されている。市政の情報発信、市民への呼びかけは十分に認められる。この情報がどれだけ市民に読まれどのように日々の生活に役立っているか知りたいものだ。これらの各項目の実績を調査が市政の見直しにも結び付くと思う。自治会の強化について。これからも自治会の役割は重要性を増すばかりと思うが、逆に自治会活動を担う人達(中でも自治会長)の高齢化と負担増や会員数の確保、参加意識の低下など活動が停滞する現実が在る。地域によりそれぞれ状況は異なるが早急な対策が必要である。最後にアンケートの記入についての感想。不特定多数の市民の声、情報をアンケート方式で収集することは手っ取り早い。しかし設問に答えるための市政の直近の資料を準備して欲しかった。書きながら単なる思いつき、断片的な意見になっている疑念が残った。記入のために市政や地域コミの活動などに関する資料を読むことで勉強になった収穫があった。一方回答のために資料収集の時間と労力の負担もあった 以上
72	情報公開、市民参加、協働など市民の新しい市政ないし行政への関わり方が言われて久しい。その為の条例整備も進んでいる。残念ながらまだ見えない。市民と議会や行政と一緒に考えて作り出す新しい政策を見てみたい。そして高松市役所にはそうした新しい争点に新しい政策でこたえられる市民目線の地方政府を目指して欲しい

NO	記述内容
73	私は子育てに対する就学援助を拡大して子供の学びを保証し、放課後児童クラブや民間の学童保育の補助費を少しでも増やしてほしいものです。子供の教育費が充実します。これはPTAの包括に繋がっているからです。さもなくば、子育ての為にボランティア募集に力を貸して下さい私は人材の育成より、よりよい子育てが出来ると確信をしています。将来を担う子供の数を増やしたいからです。私達が高松市寄りの委託事業になれば全員でよりよい非営利活動法人として再出発できます
74	県と市の行政上の境目が未だにはっきりしていない住民がものすごく多い。例えば県道、市道の別区。河川関係の占有と影響の度合いなど。市民が毎日生活する上で色々な事が地域のあちこちで出ている。これがモロに出ているのが住環境の整備と主導する方法、方策を植えることは急務、不利益とか苦情をどちらへぶつけたらいいのか
76	朝夕の渋滞を何とかしてほしい
80	先人達の努力で都市としての基盤がほぼ整い、また各種施策の充実により生活をする上においての利便性、豊かさは図りしれないほど向上していることを行政関係者はもとより、市民にも十分に認識させることが重要で社会経済情勢の変化をことさらに強調し、あたらしい行政需要を作るべきではない。国民負担率が限界に達しようとしている現在において主体的で創造的なまちづくりを進め、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現していくことが強く求められているとすること自体見直すべきである
84	行政の縦割り制はだいぶ改善されたが、依然として市職員自身その変化について十分理解していなかったり周知伝達していない面がある。例えば地域コミュニティ協議会が各校区のすべての中心となることになっており、その中核として連合自治会や各種団体があるのだが、教育委員会関係者へはそれが十分伝達されていないのか各中学校から色々な校区への行事(入学式、卒業式等)への案内はコミュニティ協議会会長宛ではなく従前の連合自治会会長宛にてくるなど学校関係者は知らないのか
88	旧市街地へ市東南部への活性化や活動推進のみでなく新市街地(市南西部及び西部)にも目を向け、高松市全体で公平な市政の施行を行う事を願う
89	讃岐ジオパーク実現に向けた取組を強化していただきたい。ジオパークというのは人を育て自然と共に地域づくりを目指すことが根幹にある。香川県と高松市が主導の立場に立ち、県内地域そして産・学が一丸となった取組を期待したい。日本酒の産地である京都市では日本酒による乾杯を条例化することでその普及と伝統産業、日本文化の促進に努めている。高松市でも同様の条例を検討してみてもどうか(市としてもまた日本酒に対しても注目と関心が集まる)本アンケートは内容が非常に濃くまたボリュームもあり回答する側としては少々労を要しました。次回は回答の方法を少し変えてみてはいかがでしょうか。ご検討のほど宜しくお願い致します
91	土日、時間外の入り口を南側に変更してほしい。地下駐車場から北側の入り口に行くのに苦勞する。職員間の挨拶は出来ているが、来庁者にも挨拶出来る市役所であってほしい。部から局に変更し、組織が複雑になった。管理職の肩書が長く困っています
94	高松市民に対し、市長と市職員、市議会議員達が一体になって高松市の施策取り組んでいるという姿勢がうかがえるように願いたい。そのことにより市民は安心して託す事が出来、市からの養成にも積極的に協力できるであろう。香川県をリードする、誇れる高松市になってもらいたい
96	出来るだけ住民に関するものは、中央集積化をやめて支所ベースで終わらせる。申請等に本所まで出向く時間と費用のロスを省く。働く人(市民)の生活を考えた対応を常に考える。職員であると共に市民であることを徹底し、地域での職員のあり方を理解し行動する(職員の生活の場での活動が少ない。住民としての動きが問題点の抽出する機会になる)
97	災害時要支援者支援制度早く確実なものにしてほしい。議員数、管理職員、少し減らしましょう
99	職員が地場コミュニティ活動に殆ど参加していない。時間がないというのはいつもの逃げ口。住民と市政をつなぐ場も適任者次第。地域住民の顔を知っている、知られている市の職員
100	市長さんをもっと身近に感じたいと思います
102	みんなが小さな損(役割)を引き受けて大きな得が生まれるような社会づくり。損得勘定の言葉の意味が変わるような人々の心の育成に期待したい。まずは公務員、教員、大学関係者は地域と本当に共に生きているのか。ひとりひとりが考えなければならないのでしょうか。もちろん企業人もぎょうせいさんも

NO	記述内容
103	市長直轄のデザイン室(政策部や創造都市局、広報室に近いかもしれない)の設立。ここで言うデザインの概念はグラフィックスやインダストリアルデザイン等のジャンルの絵とか形の意味でなく、コミュニティデザインの事。かの昔、金子香川県知事は政治はデザインであると述べている。議論するプロセスこそがデザインであると言う意味である。21世紀の成熟社会が進む市行政の役割の中では行政と市民というだけでなく、市民からメディアまでを想定し、アナログとデジタルの両面でコミュニケーション戦略を立てて、コーディネートしていく推進チームが必要となる。もちろん広報的なプロモーションをも含むことになるので新たな広報の概念を生むことになる。最も重要なことは市民活動の協働のイロハやノウハウの提供を業務に含み、公民館活動の運営の指導という市民側の仕掛けと共に庁内での会議や議論の手法・横断的な研修プログラムの開発まで仕事の領域は多岐の及び、多角的な視野を持つという事である。それ故に組織的には市長直轄となるのが必須である。以上 アンケートの領域をこえてしまったかもしれません。ご一読ありがとうございました
104	高松の魅力は他県にない、ゆっくりとした自然(海、鳥、山、川、池)の流れではないだろうか。そこに香川独特のおもてなしの心があれば。安藤忠雄氏に代表される瀬戸内国際芸術祭は瀬戸の島を題材にした自然と一体化したイベントであり、まさに一つの成功例といえるであろう。今回の瀬戸内国際芸術祭により、香川あるいは高松の方向性が見えたような気がする。四国の都市は香川以外、徳島の阿波踊り、高知のよさこい祭り、松山の道後温泉等を持ち、それぞれ独特の存在感を示している。高松は瀬戸の島々ののどかな田園風景(川、ため池、里山)等、魅力あるビューポイントがある。この自然をうまく活用していくべきではないか。高松に泊まりゆっくり瀬戸内海の島々を巡り、次の日は琴電を使ったのどかな里山・ため池・寺院の散策。ゆっくり屋島の散策(ケーブルカーの復活)紫雲山からの高松の夜景(上に登れば360度のパノラマ)。しかし観光だけでは人の心を取り戻すことは出来ない。やはり、そこには他県にはない最先端の環境技術が必要と考える。それがエネルギー問題ではないか。昨今が脱原発に向かって社会が大きく舵を切ろうとしている。その為には、クリーンエネルギー(自然エネルギー)の先端地域とし、そしてエネルギー活用の最先端都市と大きく舵を切ってはどうか
105	市の職員は公僕であるということの一部の方は自覚が足りていないと感じます。市民と同じ目線で立ち問題解決や成長を図るべきであり、市の職員が権限に笠に着て民間機関を指導したり圧力をかけたりするようなことがあっては絶対にならない。これでは信頼関係が築けないところが、情報共有やコラボレーションは図れるはずありません。一部の方ではありますが、今一度市民や関係機関と真摯に向き合うことを第一にお互いの利益や成長となる対応をされることを強く希望いたします
106	生活する中で、毎年水不足が不安なので、安定した水の供給ができるようお願いしたい。田中角栄さんの所得倍増計画のごとく個人の収入がアップできるようにして欲しい。JR 端岡駅周辺の整備(高架橋にするなど)。城東町のコトデンと浜街道の交差点を高架橋にする